

館山自動車道
豊成高架橋耐震補強工事
契約参考図書
(率計上項目及び概算数量、図面)

令和6年10月

東日本高速道路株式会社 関東支社
市原管理事務所

- ・ 契約参考図書は、率計上項目や概算数量等を指示する資料であり、設計書第1条にいう設計図書でない。（請負契約上拘束力しない）
- ・ 当該内容は、受注後に協議を開始する項目であるため、内容に関する質問は受付けない。

図 面 目 次

図 面 名	図 番	図 面 名	図 番
1 . 数量総括表	・ ・ ・ ・ 1	31 . 大曽根高架橋（上り線） 下部工検査路復旧図（その1～2）	・ ・ ・ ・ 66 ～ 67
2 . 豊成高架橋（上り線） 排水装置撤去図（その1～2）	・ ・ ・ ・ 2 ～ 3	32 . 大曽根高架橋（上り線） 付帯工撤去図（その1～3）	・ ・ ・ ・ 68 ～ 70
3 . 豊成高架橋（上り線） 排水装置復旧図（その1～3）	・ ・ ・ ・ 4 ～ 6	33 . 大曽根高架橋（上り線） 付帯工再設置図（その1～3）	・ ・ ・ ・ 71 ～ 73
4 . 豊成高架橋（上り線） 下部工検査路撤去図（その1～3）	・ ・ ・ ・ 7 ～ 9	34 . 大曽根高架橋（上り線） P2橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 74
5 . 豊成高架橋（上り線） 下部工検査路復旧図（その1～25）	・ ・ ・ ・ 10 ～ 34	35 . 大曽根高架橋（上り線） P3橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 75
6 . 豊成高架橋（上り線） 昇降梯子撤去図	・ ・ ・ ・ 35	36 . 大曽根高架橋（上り線） P4橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 76
7 . 豊成高架橋（上り線） 昇降梯子復旧図（その1～2）	・ ・ ・ ・ 36 ～ 37	37 . 大曽根高架橋（上り線） P5橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 77
8 . 豊成高架橋（上り線） 付帯工撤去図（その1～3）	・ ・ ・ ・ 38 ～ 40	38 . 大曽根高架橋（上り線） P6橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 78
9 . 豊成高架橋（上り線） 付帯工再設置図（その1～3）	・ ・ ・ ・ 41 ～ 43	39 . 大曽根高架橋（上り線） P7橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 79
10 . 豊成高架橋（上り線） P1橋脚仮排水管設置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 44	40 . 大曽根高架橋（上り線） P8橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 80
11 . 豊成高架橋（上り線） P2橋脚仮排水管設置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 45	41 . 大曽根高架橋（上り線） P9橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 81
12 . 豊成高架橋（上り線） P3橋脚仮排水管設置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 46	42 . 大曽根高架橋（上り線） P10橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 82
13 . 豊成高架橋（上り線） P4橋脚仮排水管設置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 47	43 . 大曽根高架橋（上り線） P11橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 83
14 . 豊成高架橋（上り線） P5橋脚仮排水管設置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 48	44 . 大曽根高架橋（上り線） P13橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 84
15 . 豊成高架橋（上り線） P6橋脚仮排水管設置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 49	45 . 大曽根高架橋（上り線） P14橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 85
16 . 豊成高架橋（上り線） P7橋脚仮排水管設置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 50	46 . 大曽根高架橋（上り線） P15橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 86
17 . 豊成高架橋（上り線） P8橋脚仮排水管設置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 51	47 . 大曽根高架橋（上り線） P16橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 87
18 . 豊成高架橋（上り線） P9橋脚仮排水管設置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 52	48 . 大曽根高架橋（上り線） P17橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 88
19 . 豊成高架橋（上り線） P10橋脚仮排水管設置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 53	49 . 大曽根高架橋（上り線） P18橋脚仮排水管配置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 89
20 . 豊成高架橋（上り線） P12橋脚仮排水管設置図（参考図）	・ ・ ・ ・ 54		
21 . 姉崎第二橋（上り線） 排水装置撤去図	・ ・ ・ ・ 55		
22 . 姉崎第二橋（下り線） 排水装置撤去図	・ ・ ・ ・ 56		
23 . 姉崎第二橋（上り線） 排水装置復旧図	・ ・ ・ ・ 57		
24 . 姉崎第二橋（下り線） 排水装置復旧図	・ ・ ・ ・ 58		
25 . 姉崎第二橋（上下線） 付帯工撤去図（参考図）	・ ・ ・ ・ 59		
26 . 姉崎第二橋（上下線） 付帯工復旧図（参考図）	・ ・ ・ ・ 60		
27 . 姉崎第二橋（上下線） 仮設防護柵図（参考図）（その1～2）	・ ・ ・ ・ 61 ～ 62		
28 . 大曽根高架橋（上り線） 排水装置撤去図	・ ・ ・ ・ 63		
29 . 大曽根高架橋（上り線） 排水装置復旧図	・ ・ ・ ・ 64		
30 . 大曽根高架橋（上り線） 下部工検査路撤去図	・ ・ ・ ・ 65		

数量総括表

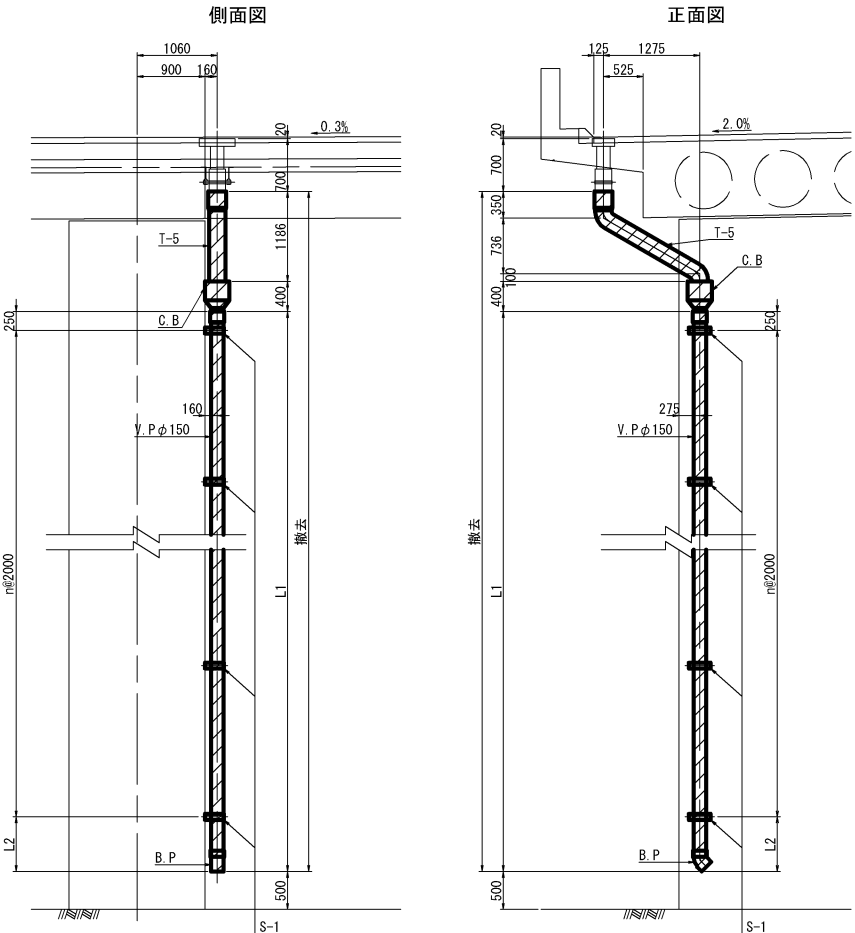
番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
項目名称	コンクリート ブロック張工	裏込め砕石	基礎工	集水ます				排水管	検査路	防護柵撤去設置工		立入防止柵 撤去設置工	立入防止柵の出入口 撤去設置工		視線誘導標 撤去設置工	距離標 撤去設置工	簡易舗装工		縁石工
区 分	コンクリートブロック 張り(空) 控12cm		コンクリート 基礎工 TypeA	TypeA	TypeC	TypeD	TypeE	A	B	ガードレール Gr-A-2E	ガードレール Gr-C-4E	一般型 非積雪地用	一般型 非積雪地用	門扉W=3.0m	A2-1	D2	切込砕石 路盤工 (t=10cm)	加熱アスファルト 表層工 (t=5cm)	アスファルト縁石
単 位	m ²	m ²	m	箇所	箇所	箇所	箇所	m	kg	m	m	m	箇所	箇所	基	枚	m ²	m ²	m
豊成高架橋(上り線)	-	-	-	-	1	1	1	178.2	9,731	-	-	285.0	4	-	-	-	3.3	3.3	-
姉崎第二橋(上下線)	465.5	20.7	62.1	2	-	-	-	20.4	-	63.1	-	-	-	-	2	4	-	-	63.1
大曽根高架橋(上り線)	-	-	-	-	-	-	-	138.5	568	-	27.0	178.3	4	2	-	-	7.9	7.9	-
合 計	465.5	20.7	62.1	2	1	1	1	337.1	10,299	63.1	27.0	463.3	8	2	2	4	11.2	11.2	63.1

番 号	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
項目名称	コンクリート シール工	構造物等取壊し工				立入禁止板 撤去設置工	交通保安要員			仮設防護柵	撤去工		撤去・設置工						
区 分	(t=10cm)	コンクリート 構造物取壊し (TypeA)	コンクリート 構造物取壊し (TypeB)	アスファルト 構造物取壊し (TypeA)	アスファルト 舗装版取壊し (TypeA)		交通監視員 A	交通監視員 A(N)	交通誘導 警備員B		排水管A	検査路B	PuL・0.30・ 0.30	PuL・0.45・ 0.45	PuL・0.60・ 0.60	PuL(CH1)・ 0.40・0.40	Dv-PuL・ 0.30・0.30(5)	P(H)・2・ φ0.40(Sd-B)	排水管 VP φ60
単 位	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	枚	人・日	人・日	人・日	m	m	kg	m	m	m	m	m	m	m
豊成高架橋(上り線)	-	2.3	0.4	-	3.3	8	-	-	2,274	-	176.9	4,522	179.0	6.4	17.2	4.3	-	3.5	-
姉崎第二橋(上下線)	39.6	72.9	0.1	1.4	-	-	234	12	-	168.0	21.2	-	65.4	-	-	-	4.0	-	6.0
大曽根高架橋(上り線)	-	-	-	-	7.9	5	-	-	1,002	-	141.7	465	75.5	-	-	-	-	-	-
合 計	39.6	75.2	0.5	1.4	11.2	13	234	12	3,276	168.0	339.8	4,987	319.9	6.4	17.2	4.3	4.0	3.5	6.0

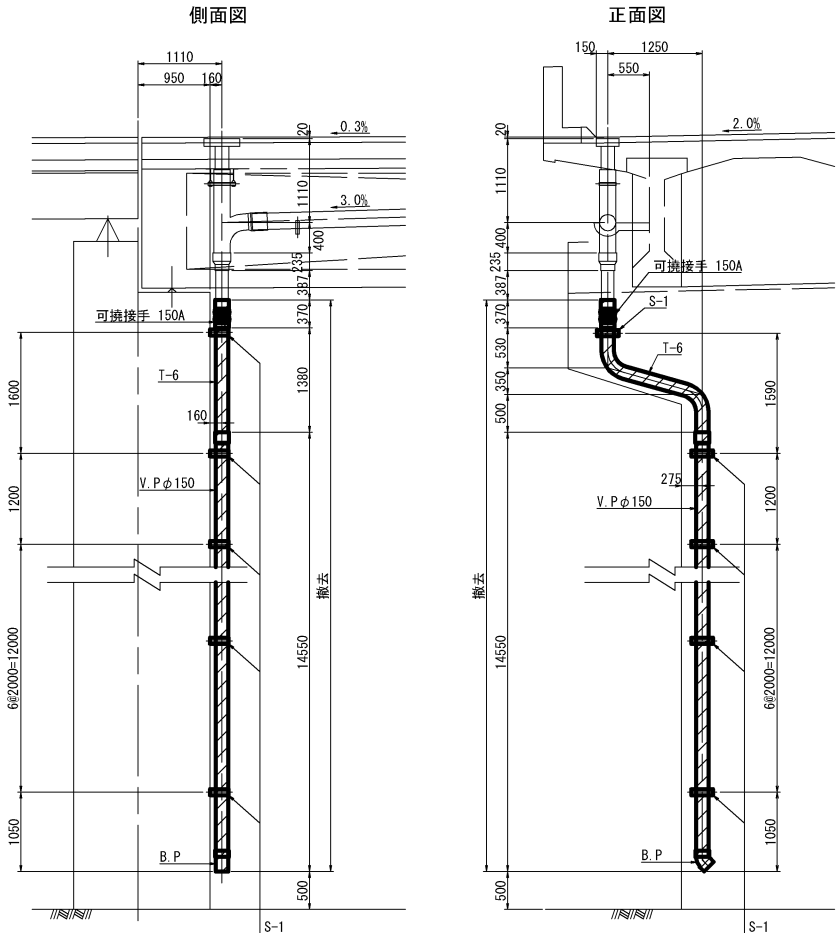
番 号	39	40	41
項目名称	撤去・設置工		
区 分	案内標識	グレーチング 蓋	用地境界杭
単 位	基	枚	本
豊成高架橋(上り線)	-	1	14
姉崎第二橋(上下線)	1	-	-
大曽根高架橋(上り線)	-	-	-
合 計	1	1	14

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数量総括表		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

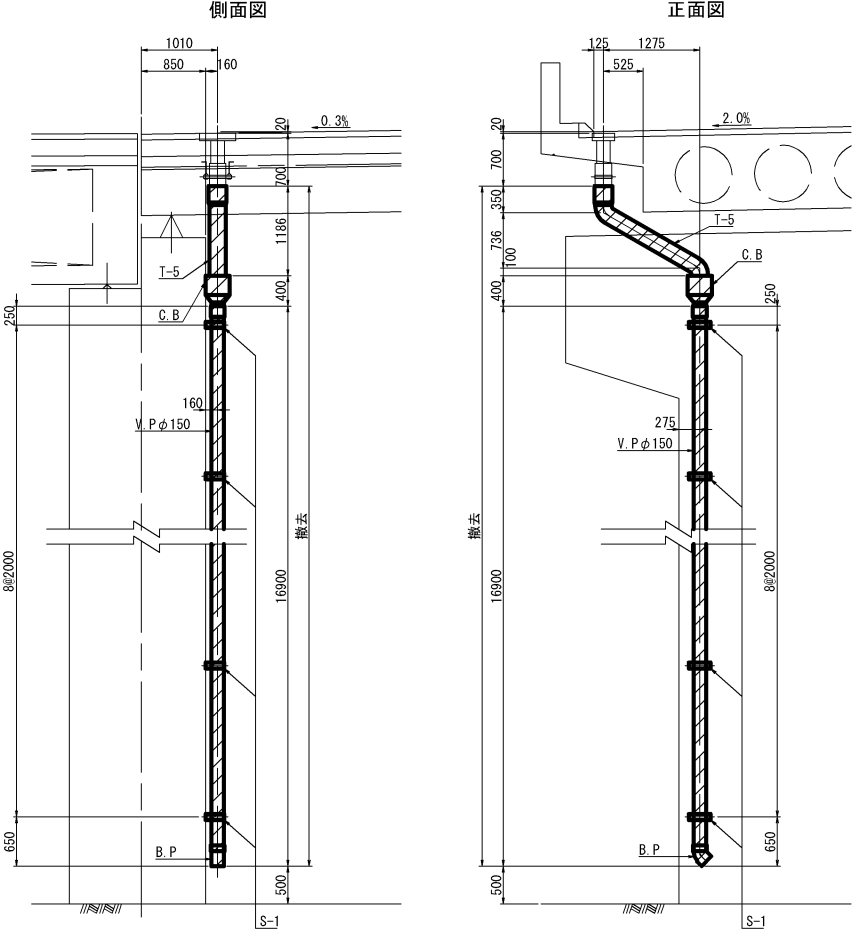
P1, P2, P5~P13橋脚



P3橋脚



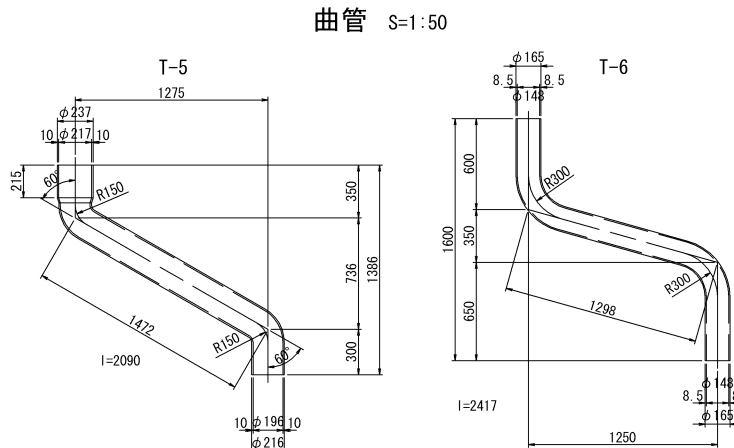
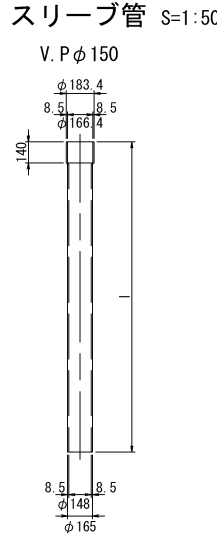
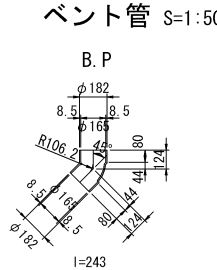
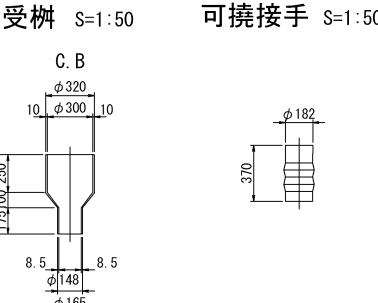
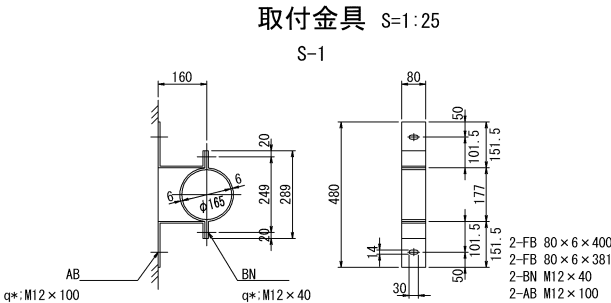
P4橋脚



館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋 (上り線) 排水装置撤去図 (その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

豊成高架橋(上り線) 排水装置撤去図(その2)

排水管詳細図



寸法表

機脚	L1 (mm)	n	L2 (mm)	スリーブ管長 1 (m)	流心延長 (m)
P1	9800	4	1550	9.604	12.057
P2	15300	7	1050	15.104	17.557
P3	14550	6	1050	14.354	17.084
P4	16900	8	650	16.704	19.157
P5	15600	7	1350	15.404	17.857
P6	15400	7	1150	15.204	17.657
P7	15300	7	1050	15.104	17.557
P8	15600	7	1350	15.404	17.857
P9	15600	7	1530	15.404	17.857
P10	13400	6	1150	13.204	15.657
P11	10400	5	150	10.204	12.657
P12	3900	1	1650	3.704	6.157
P13	2300	1	50	2.104	4.557
合計				161.502	193.864

※流心延長(m)

・ (P1, P2, P4~P13) 2.090 - 0.200 + 0.400 + スリ-ブ管長 + 0.243 - 0.080
(T-5長) (受樹内T-5長) (受樹) (B.P長) (B.P内スリ-ブ管長)

$$\bullet (P3) \quad 0.370 + 2.417 - 0.220 + 14.354 + 0.243 - 0.080$$

(可撓接手長) (T-6長) (可撓接手, スリ-フ管內T-6長) (スリ-フ管長I) (B. P長) (B. P內スリ-フ管長)

*当該工事対象外

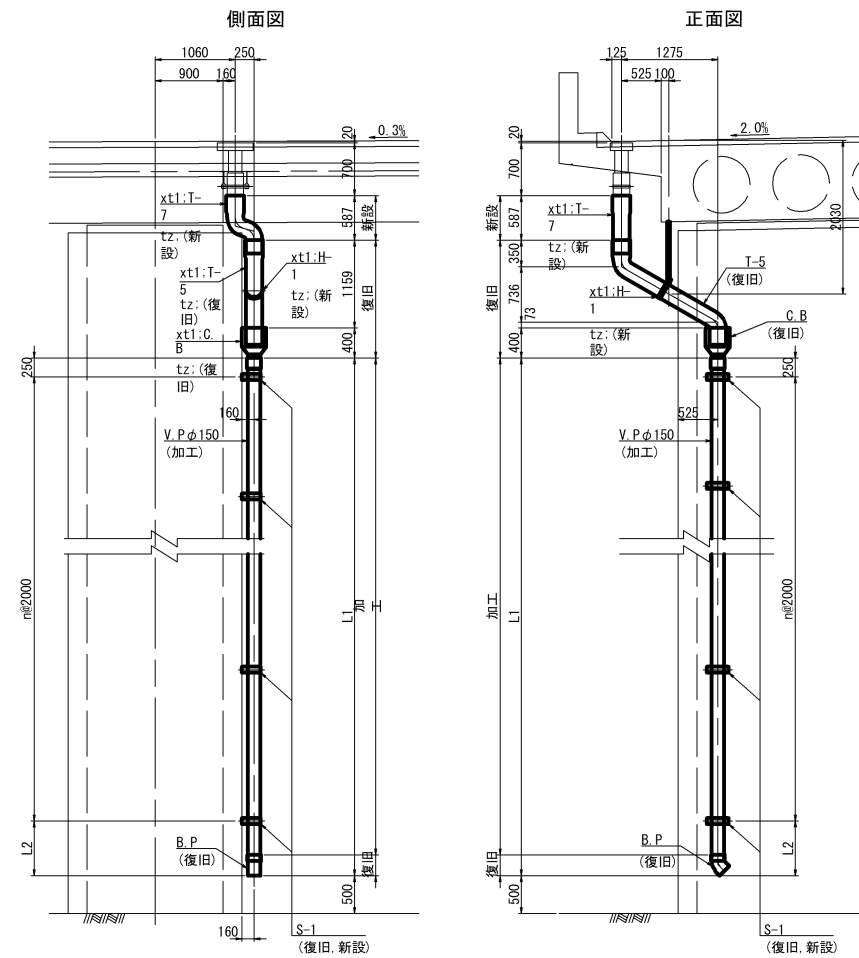
撤去数量

[illegible]

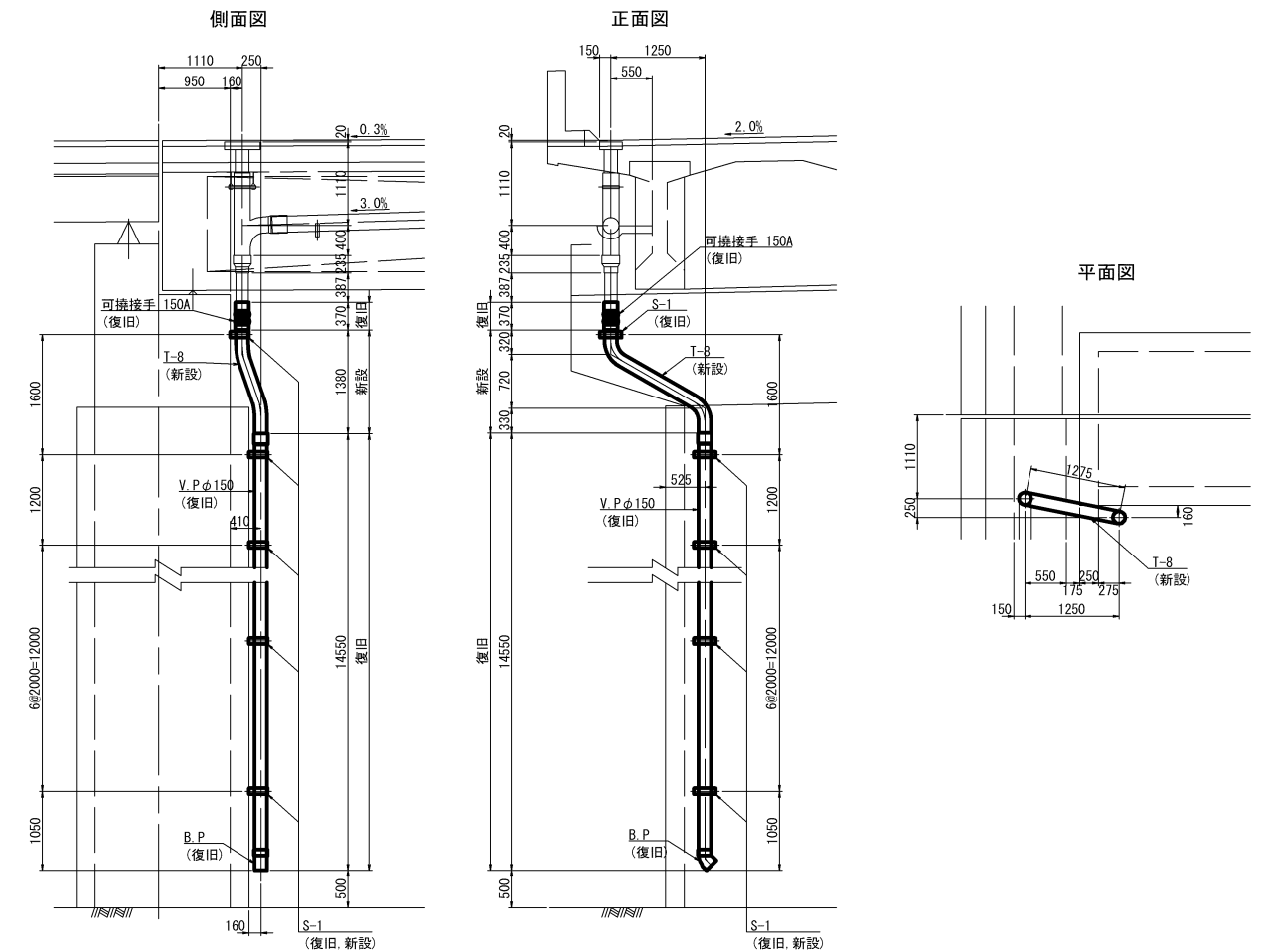
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事		
図面の種類	豊成高架橋（上り線） 排水装置撤去図（その2）	
縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所	

豊成高架橋(上り線) 排水装置復旧図(その1) S=1:100

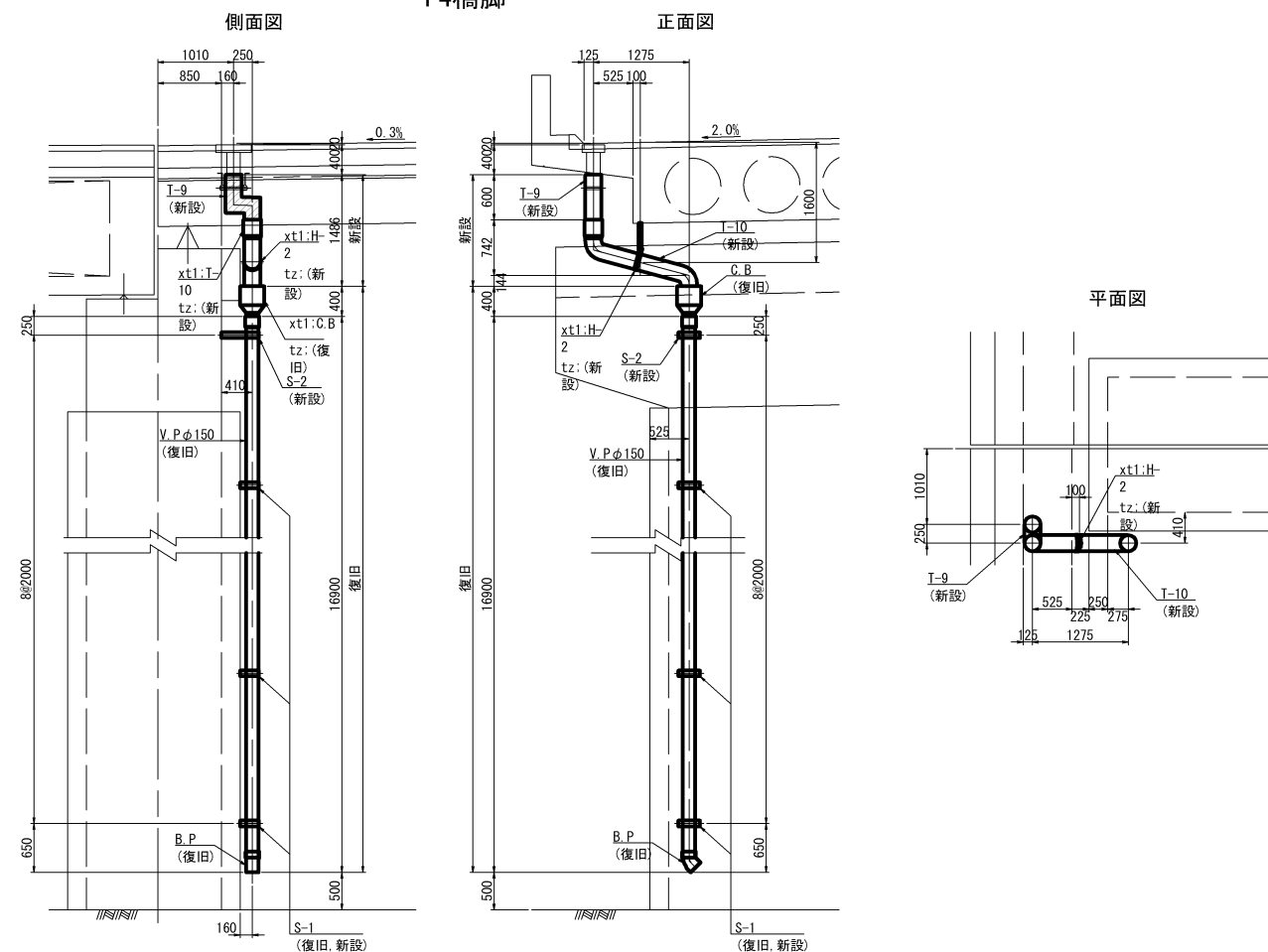
P1, P2, P5~P10橋脚



P3橋脚

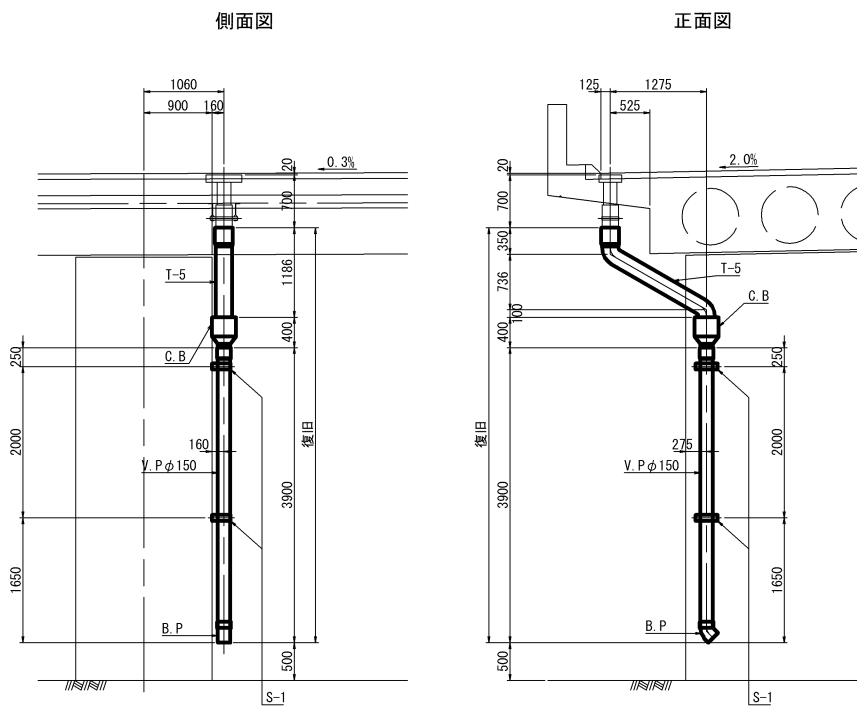


P4橋脚

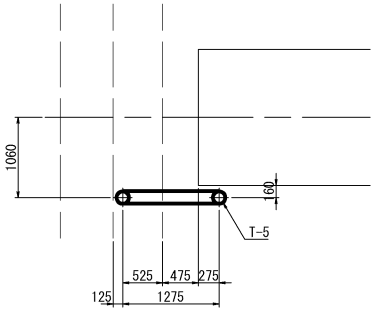


<p align="center">館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事</p>			
図面の種類		<p align="center">豊成高架橋(上り線) 排水装置復旧図(その1)</p>	
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	<p align="center">東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所</p>		

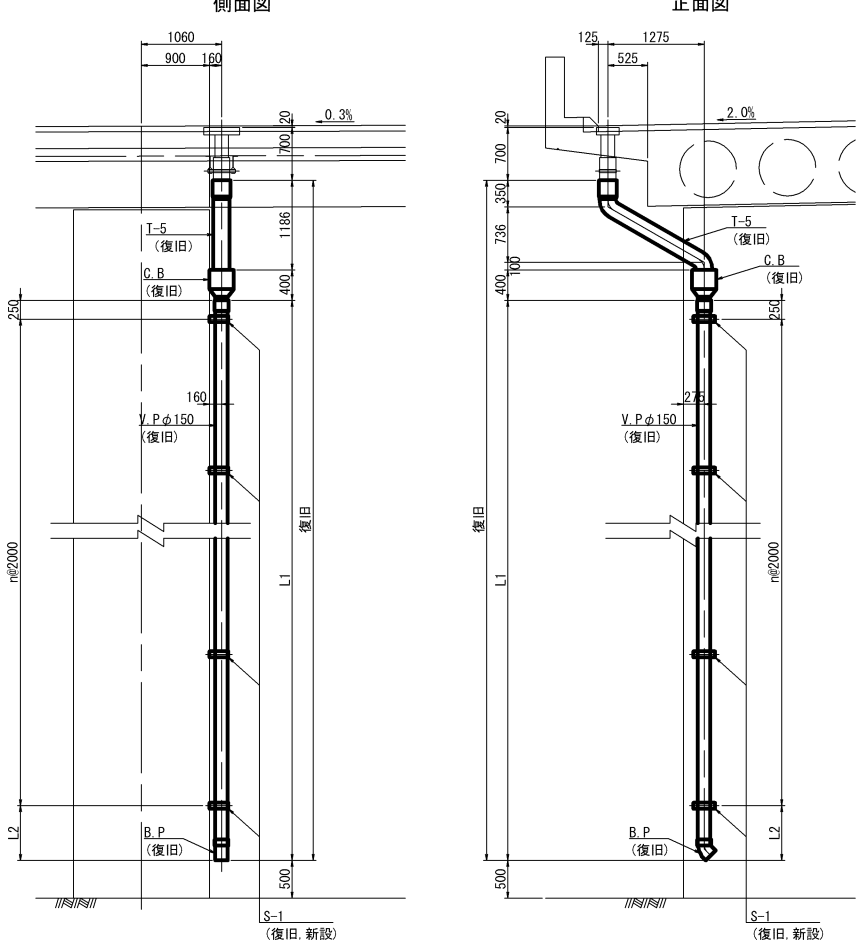
P12橋脚



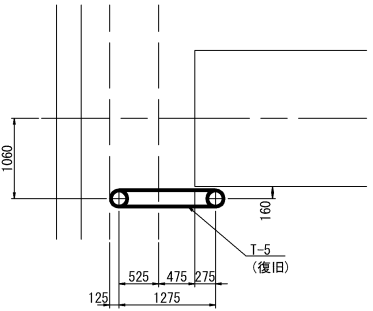
平面図



P11, P13橋脚



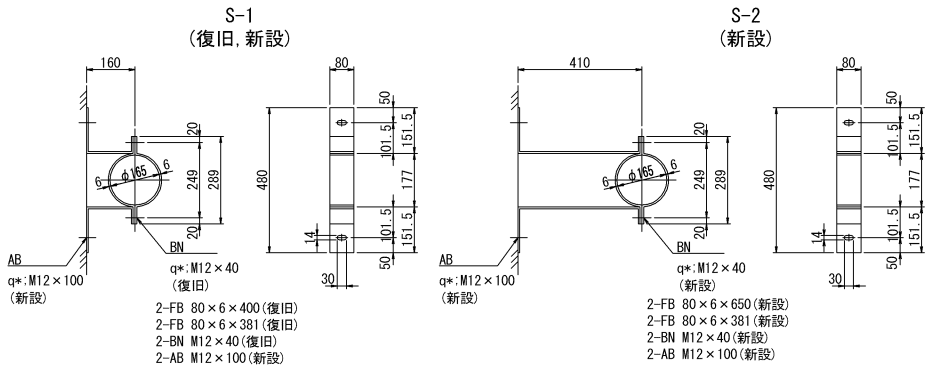
平面図



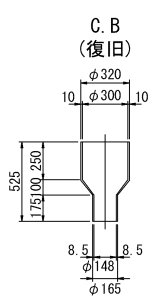
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	排水装置復旧図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

排水管詳細図

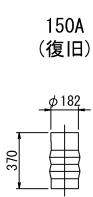
取付金具 S=1:25



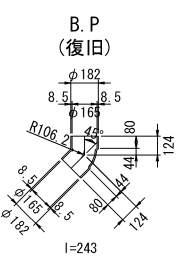
受桝 S=1:50



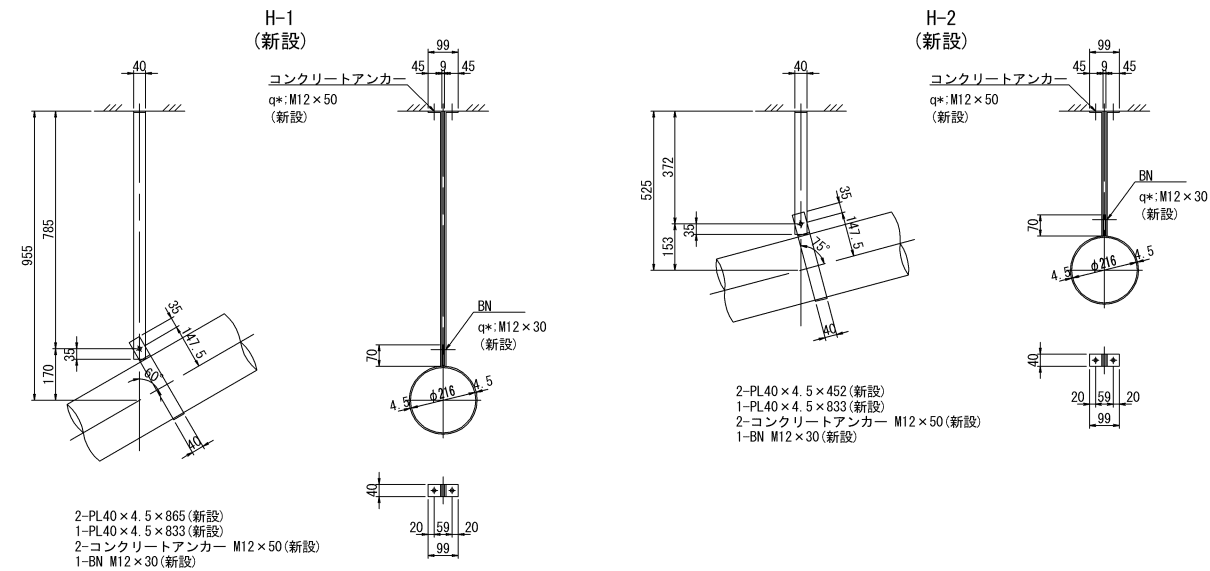
可撓接手 S=1:50



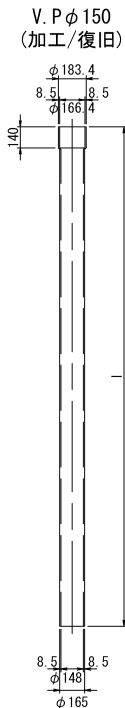
ベント管 S=1:50



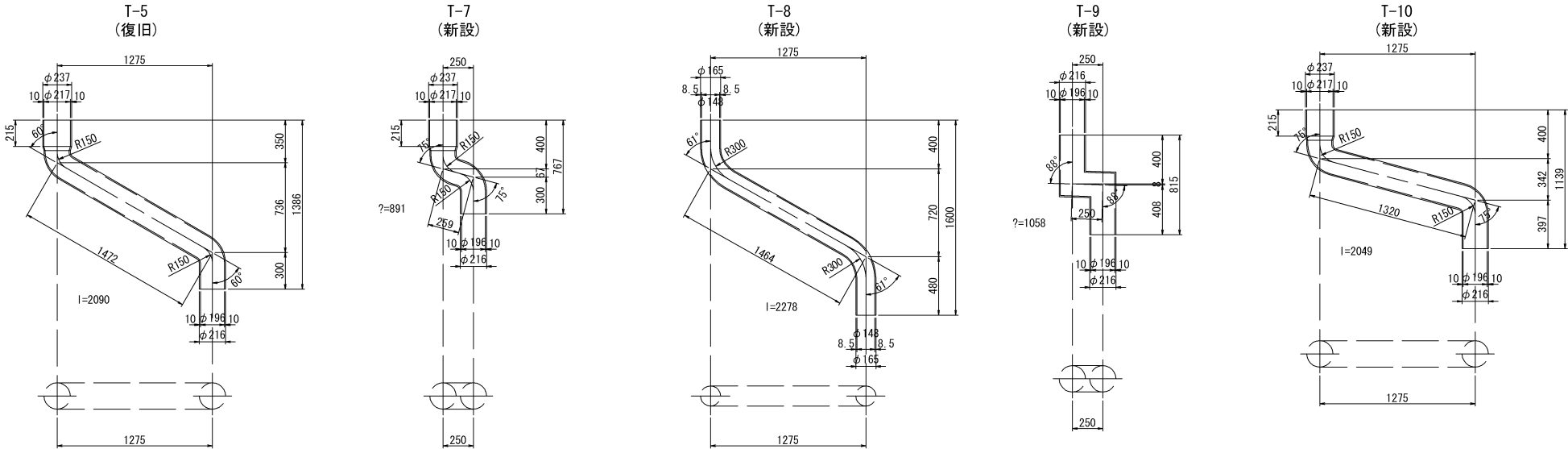
ハンガー S=1:25



スリーブ管 S=1:50



曲管 S=1:50



流心延長表

橋脚	L1 (mm)	n	L2 (mm)	スリーブ管長 l (m)		流心延長 (m)
				加工前	加工後	
P1	9240	4	990	9.604	(9.044)	12.181
P2	14740	7	490	15.104	(14.544)	17.681
P3	14550	7	1050	14.354	(14.354)	16.945
P4	16900	8	650	16.704	(16.704)	19.906
P5	15040	7	790	15.404	(14.844)	17.981
P6	14840	7	590	15.204	(14.644)	17.781
P7	14740	7	490	15.104	(14.544)	17.681
P8	15040	7	790	15.404	(14.844)	17.981
P9	15040	7	970	15.404	(14.844)	17.981
P10	12840	6	590	13.204	(12.644)	15.781
* P11	10400	5	150	10.204	(10.204)	12.657
* P12	3900	1	1650	3.704	(3.704)	6.157
* P13	2300	1	50	2.104	(2.104)	4.557
合計				161.502	(157.022)	195.270

※流心延長 (m)

- ・ (P1, P2, P5~P10) 0.891 - 0.180 + 2.090 - 0.227 + 0.400 + スリーブ管長 l + 0.243 - 0.080 (T-7長) (T-5内T-7長) (T-5) (受桝内T-5長) (受桝) (B. P長) (B. P内スリーブ管長)
- ・ (P3) 0.370 + 2.278 - 0.220 + 14.354 + 0.243 - 0.080 (可撓接手長) (T-8長) (可撓接手, スリーブ管内T-8長) (スリーブ管長 l) (B. P長) (B. P内スリーブ管長)
- ・ (P4) 1.058 - 0.215 + 2.049 - 0.253 + 0.400 + 16.704 + 0.243 - 0.080 (T-9長) (T-10内T-9長) (T-10長) (受桝内T-10長) (受桝) (スリーブ管長 l) (B. P長) (B. P内スリーブ管長)
- ・ (P11, P13) 2.090 - 0.200 + 0.400 + スリーブ管長 l + 0.243 - 0.080 (T-5長) (受桝内T-5長) (受桝) (B. P長) (B. P内スリーブ管長)
- ・ (P12) 2.090 - 0.200 + 0.400 + 3.704 + 0.243 - 0.080 (T-5長) (受桝内T-5長) (受桝) (スリーブ管長 l) (B. P長) (B. P内スリーブ管長)

*当該工事対象外

復旧数量

名称	形状	単位	数 量													合計	摘要
			P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P12	P13		
曲管	T-5	個	1	1	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	流心延長 2.090m
受桝	C. B	個	1	1	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
可撓接手	150A	個	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
スリーブ管	V. P φ150	個	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	5	
取付金具	S-1	個	5	8	8	8	8	8	8	8	8	7	6	2	2	86	
ベント管	B. P	個	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	

加工数量

名称	形状	単位	数 量													合計	摘要
			P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P12	P13		
スリーブ管	V. P φ150	個	1	1	-	-	1	1	1	1	1	1	-	-	-	8	

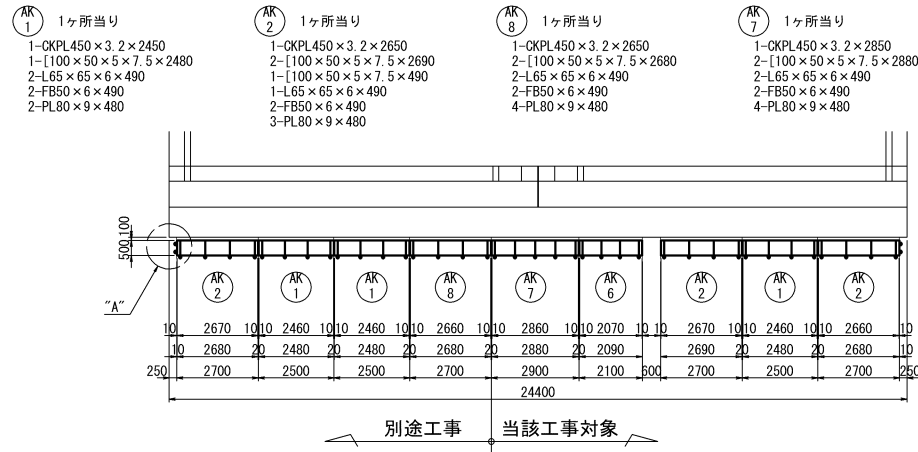
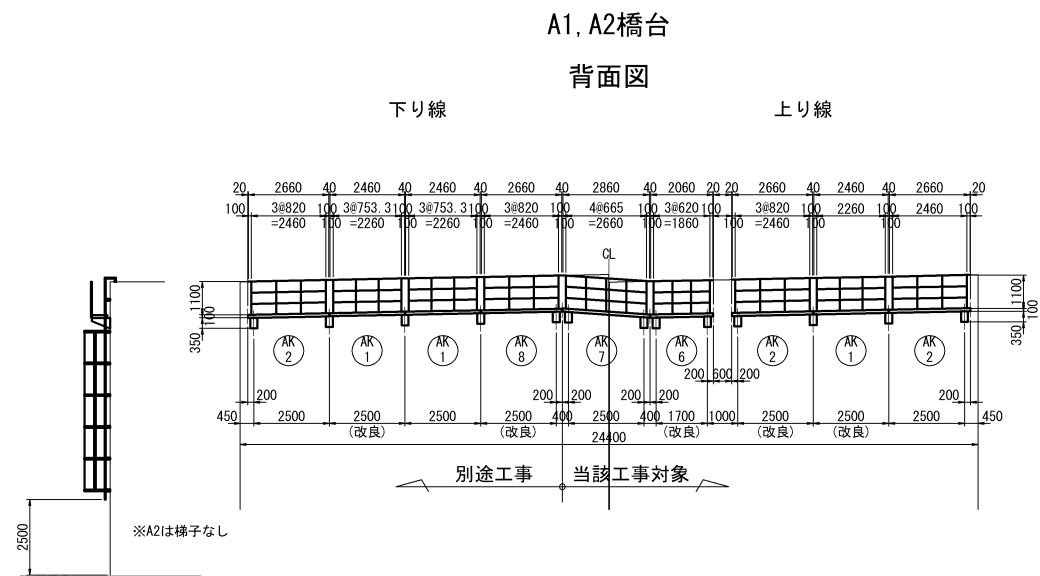
新設数量

名称	形状	単位	数 量													合計	摘要
			P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P12	P13		
曲管	T-7	個	1	1	-	-	1	1	1	1	1	1	-	-	-	8	流心延長 0.891m
	T-8	個	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	流心延長 2.278m
	T-9	個	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	流心延長 1.058m
	T-10	個	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	流心延長 2.049m
取付金具	S-2	個	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
ハンガー	H-1	個	1	1	-	-	1	1	1	1	1	1	-	-	-	8	
ハンガー	H-2	個	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
アンカー	M12 x 100	個	10	16	16	18	16	16	16	16	16	14	12	6	4	142	S-1, S-2 1個当り2個
コンクリートアンカー	M12 x 50	個	2	2	-	2	2	2	2	2	2	2	-	-	-	18	H-1, H-2 1個当り2個

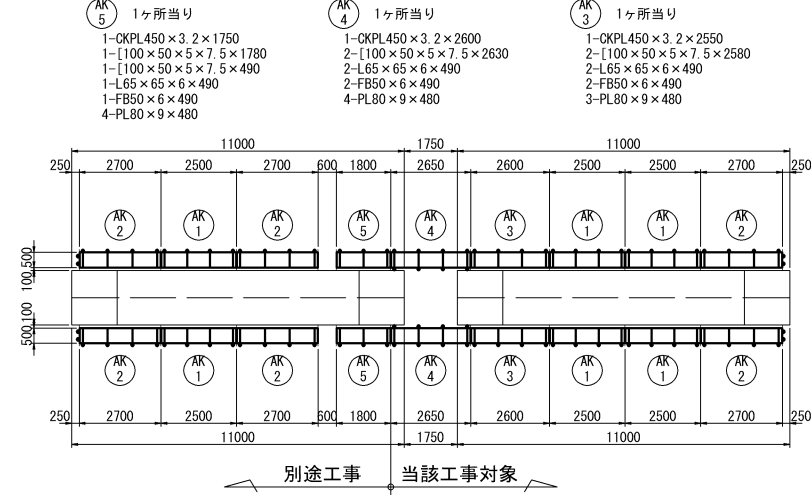
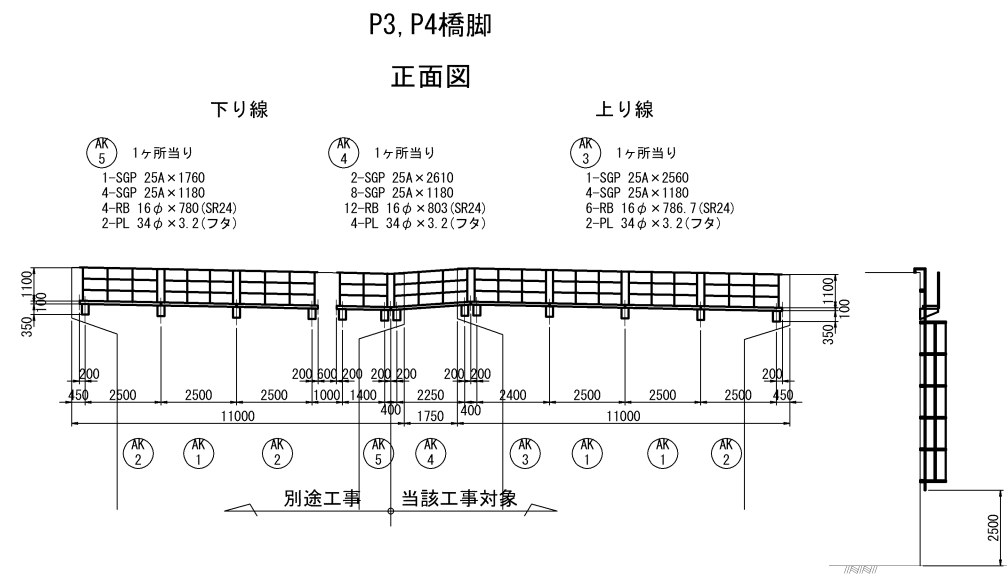
注記

- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 取付金具は全て溶融亜鉛メッキとし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 49
- ナットはすべてゆるみ止め機能付きとする。
- 新設及び加工は現場実測をして寸法を再度確認のうえ行う。
- スリーブ管における加工は、既設のスリーブ管を切断する。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 排水装置復旧図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



- AK1 1ヶ所当り
1-SGP 25A×2460
4-SGP 25A×1180
6-RB 16φ×753 (SR24)
2-PL 34φ×3.2 (フタ)
- AK2 1ヶ所当り
1-SGP 25A×2660
4-SGP 25A×1180
6-RB 16φ×820 (SR24)
2-PL 34φ×3.2 (フタ)
- AK6 1ヶ所当り
1-SGP 25A×2060
4-SGP 25A×1180
6-RB 16φ×620 (SR24)
2-PL 34φ×3.2 (フタ)
- AK7 1ヶ所当り
1-SGP 25A×2860
5-SGP 25A×1180
6-RB 16φ×820 (SR24)
2-PL 34φ×3.2 (フタ)
- AK8 1ヶ所当り
1-SGP 25A×2660
4-SGP 25A×1180
6-RB 16φ×820 (SR24)
2-PL 34φ×3.2 (フタ)



箇所数

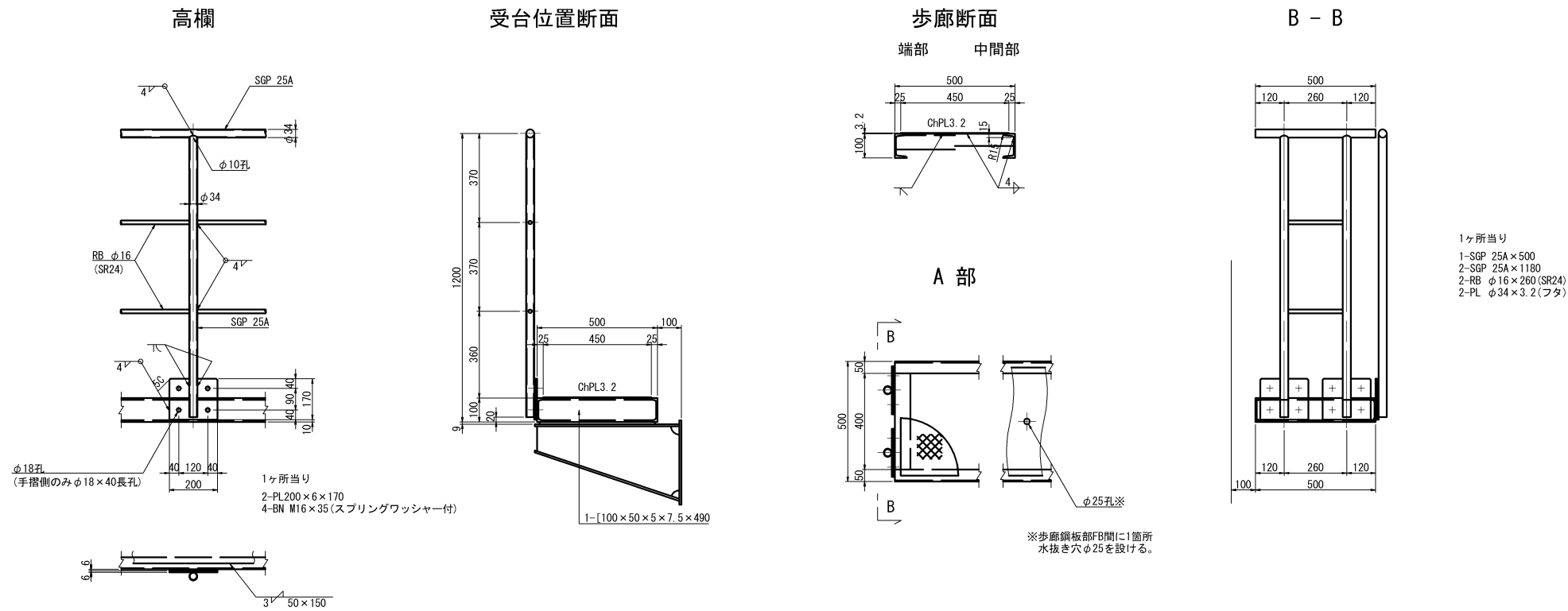
	(A1)	(P3)	(P4)	(A2)	合計
AK1	3 (2)	6 (6)	6 (6)	3 (2)	18 (16)
AK2	3 (1)	6 (6)	6 (6)	3 (1)	3 (1)
AK3	-	2 (2)	2 (2)	-	4 (4)
AK4	-	2 (1)	2 (1)	-	4 (2)
AK5	-	2 (2)	2 (2)	-	4 (4)
AK6	1 (1)	-	-	1 (1)	2 (2)
AK7	1 (0)	-	-	1 (0)	2 (0)
AK8	1 (1)	-	-	1 (1)	2 (2)
合計	9 (5)	18 (17)	18 (17)	9 (5)	54 (44)

※()内は撤去対象数を示す。

注記

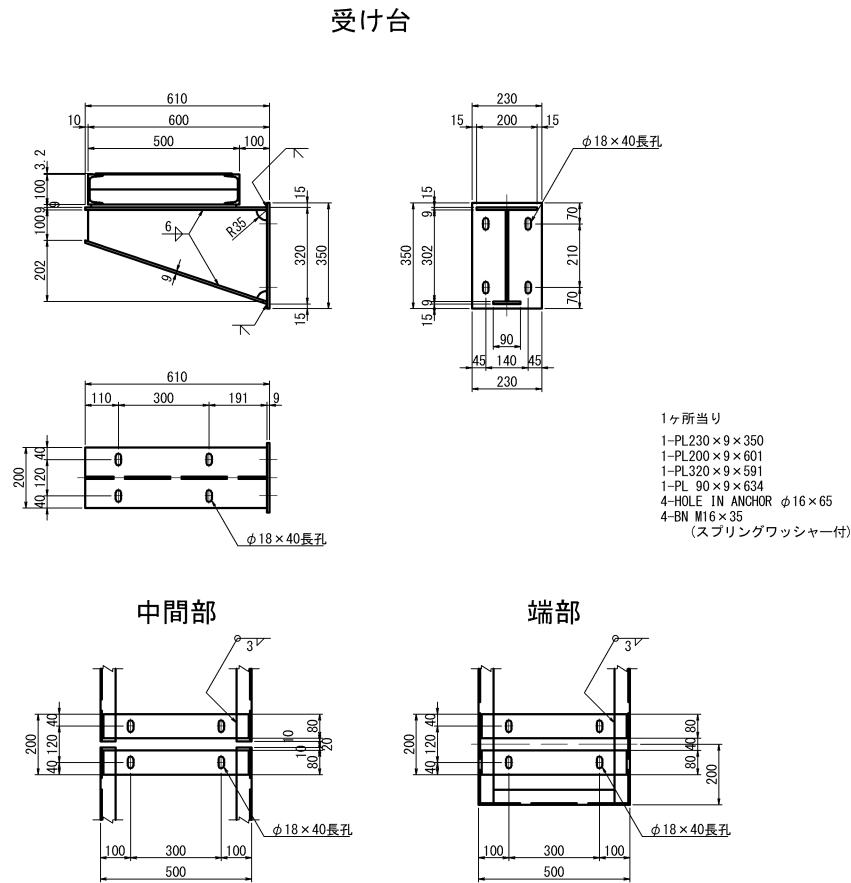
- 特記なき材質は全てSS41とする。
- 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。(JIS H8641)
付着量は、HDZ55、ボルト・ナットはHDZ35とする。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 下部工検査路撤去図(その1)		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		



箇所数

	(A1)	(P3)	(P4)	(A2)	合計
高欄	37	70	70	37	214
B部高欄	2	4	4	2	12
受け台	13	26	26	13	78



注記

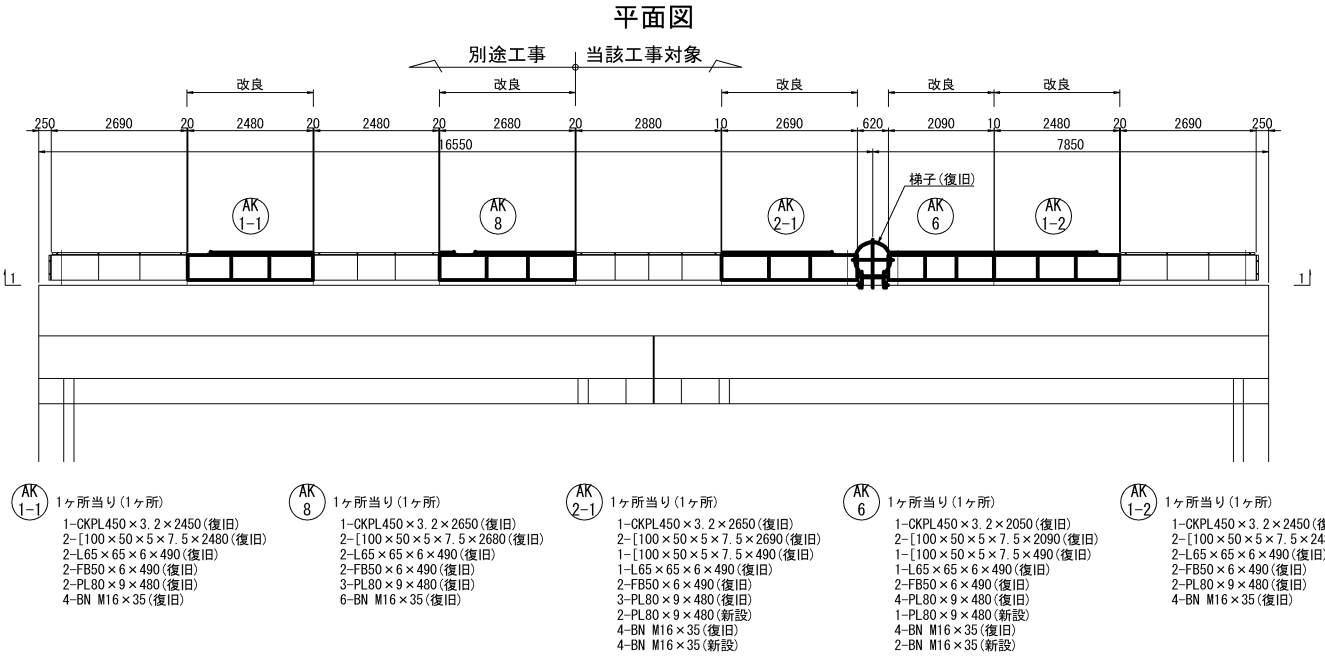
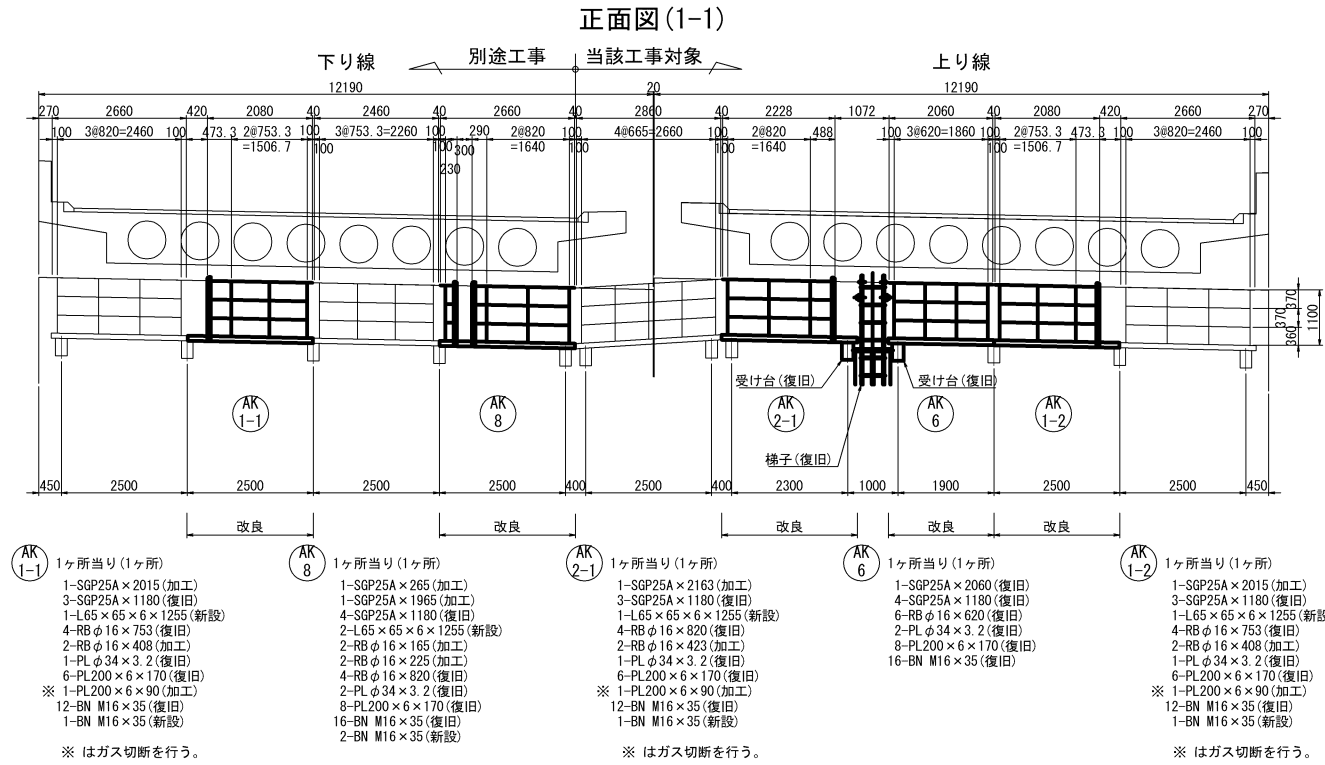
1. 特記なき材質は全てSS41とする。

2. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。(JIS H8641)

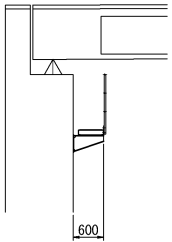
付着量は、HDZ55、ボルト・ナットはHDZ35とする。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 下部工検査路撤去図(その2)		
	縮 尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

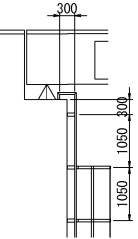
A1橋台



側面図



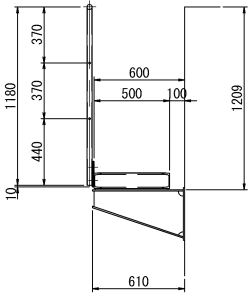
梯子取付図



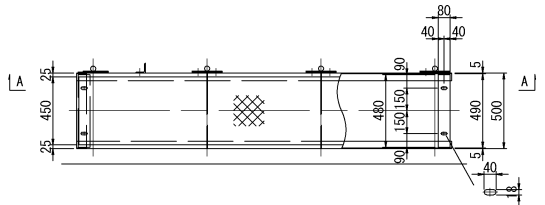
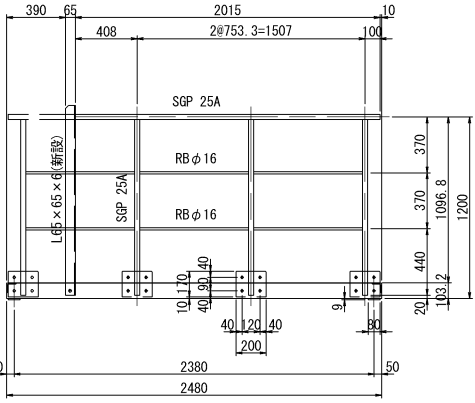
※寸法詳細は梯子復旧図を参照のこと。

AK 1-1 詳細図 S=1:50

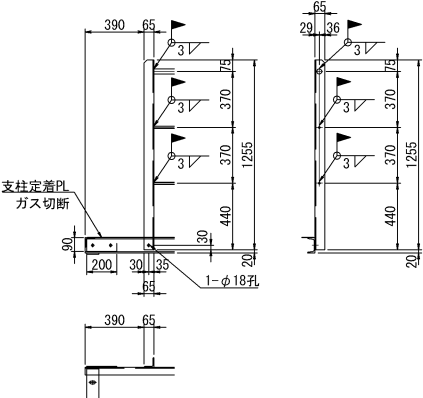
受け台位置断面



A-A断面



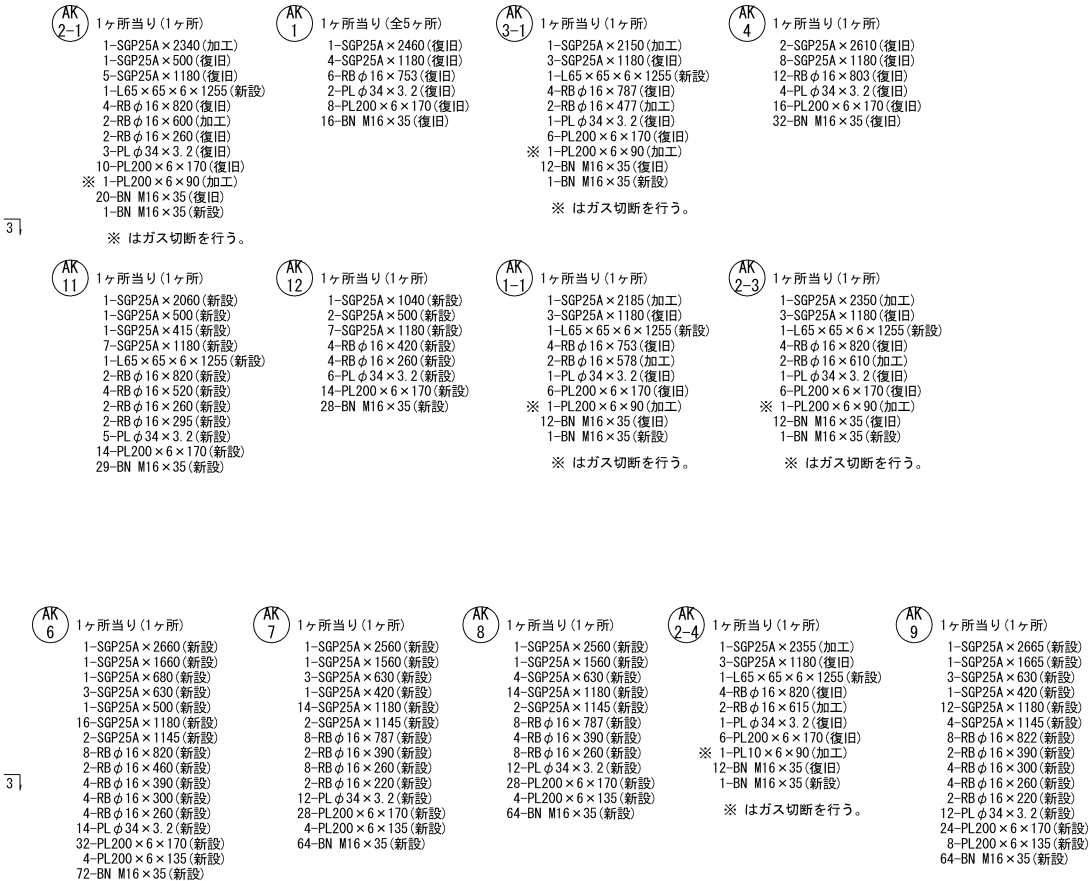
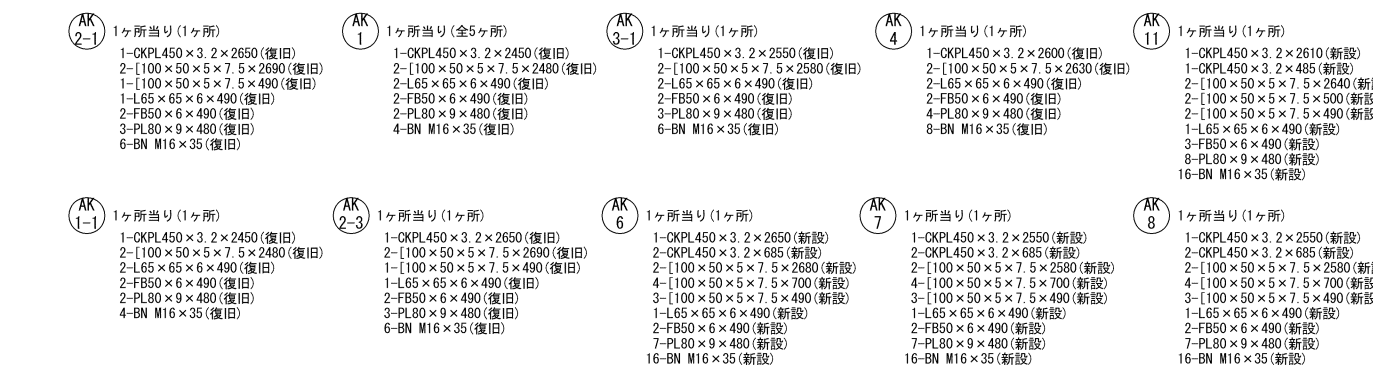
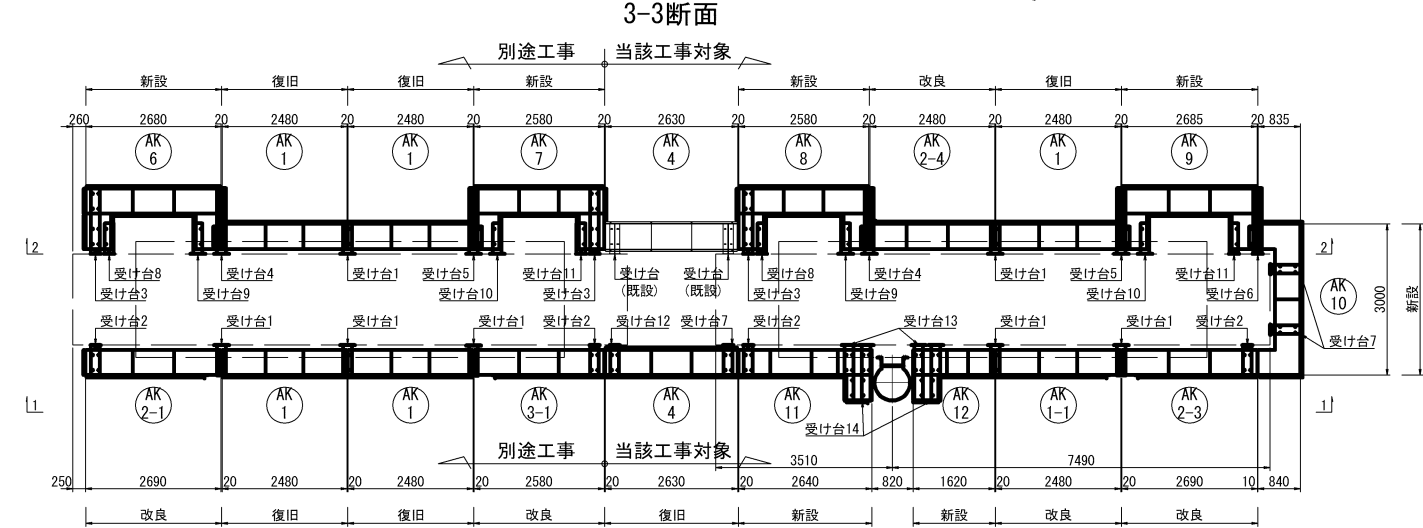
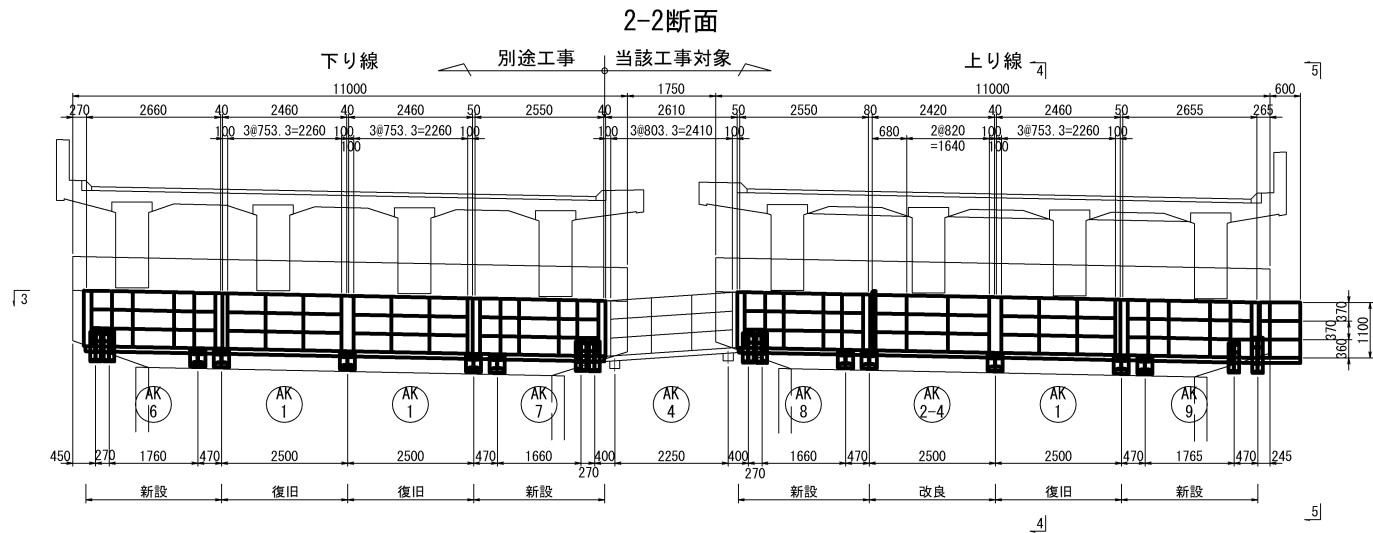
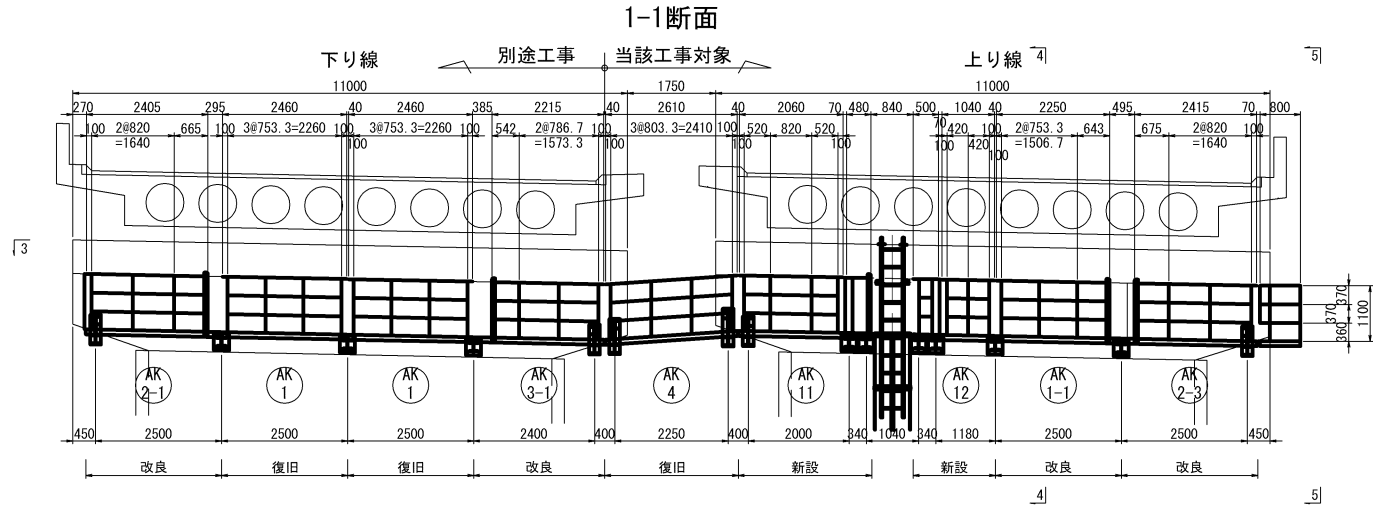
AK1-1加工詳細図 S=1:50



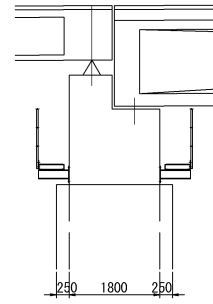
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融重鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼 板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

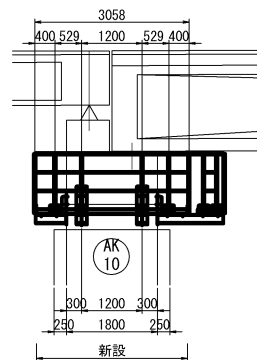
P3橋脚



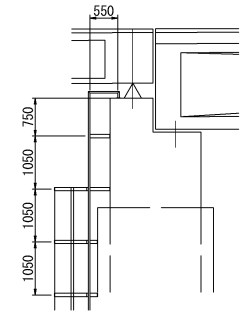
4-4断面



5-5断面



梯子取付図



※寸法詳細は梯子復旧図を参照のこと。

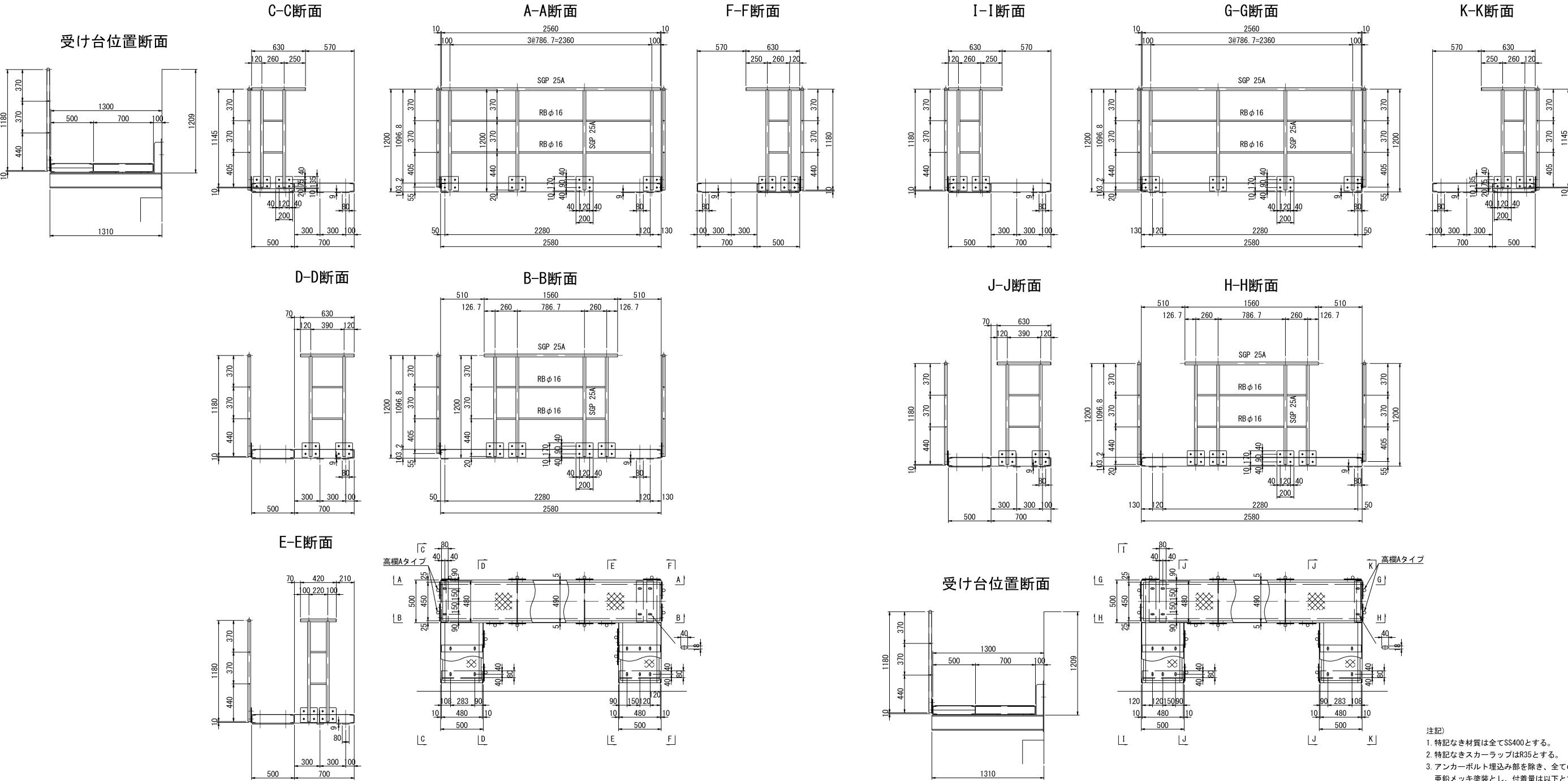
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探索を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 下部工検査路復旧図(その3)		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P3橋脚

AK7 詳細図

AK8 詳細図

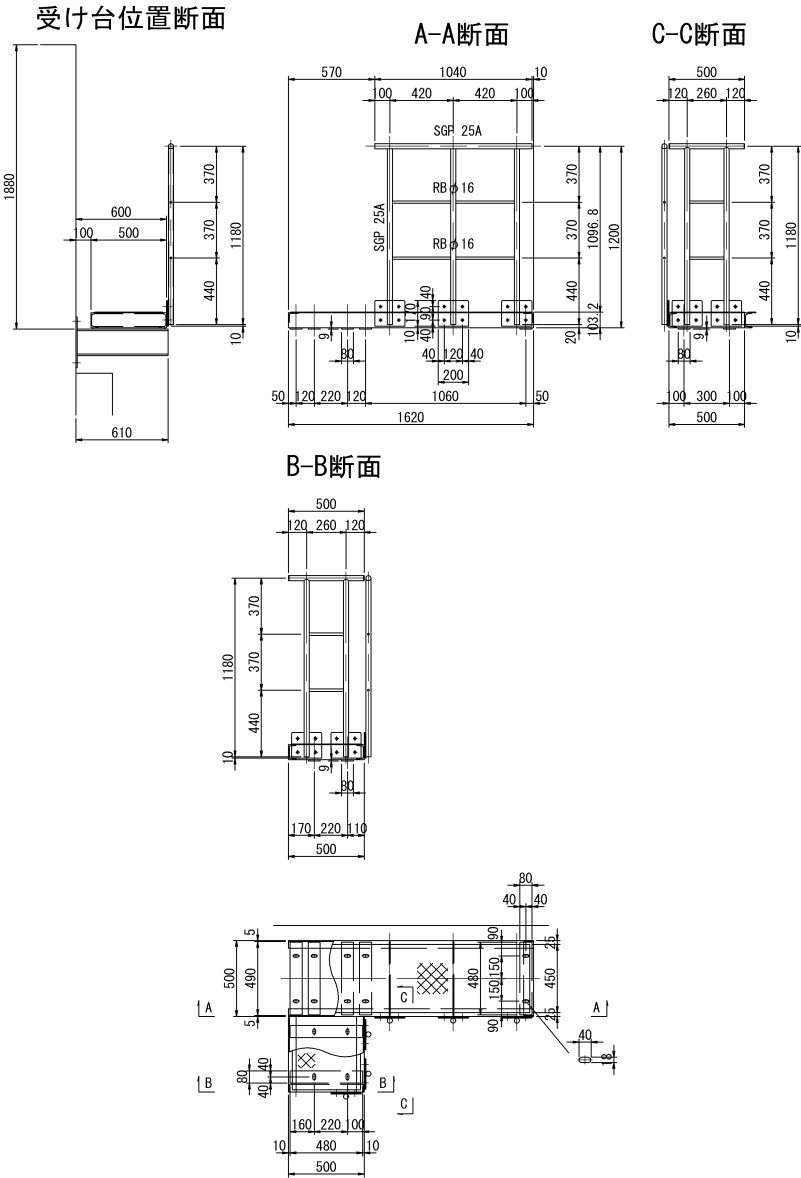


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼 板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

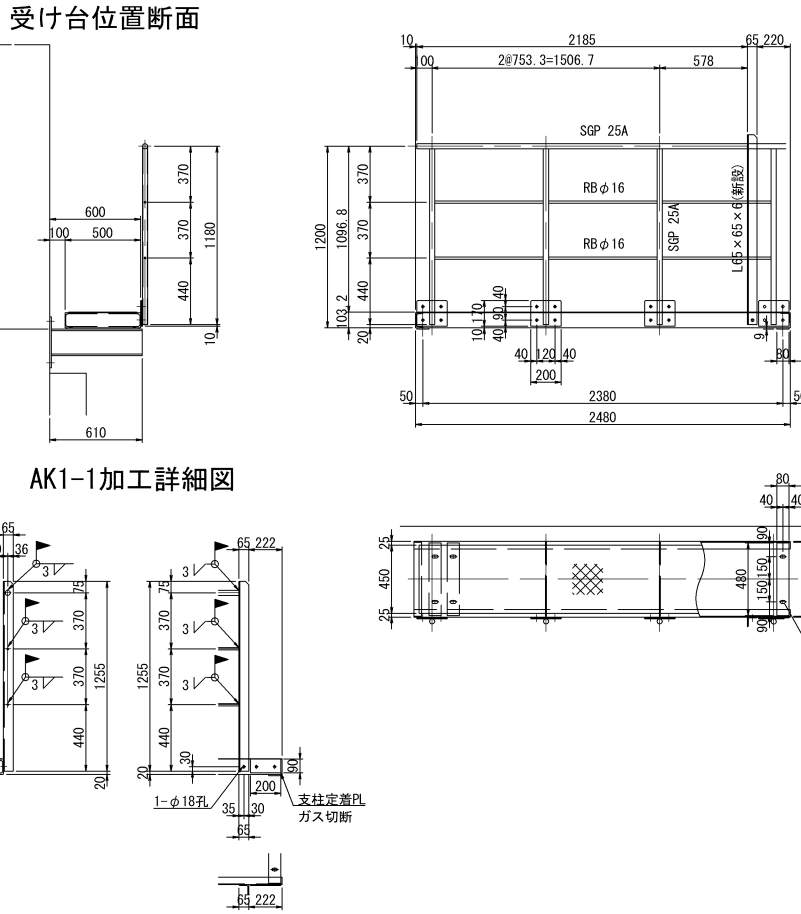
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P3橋脚

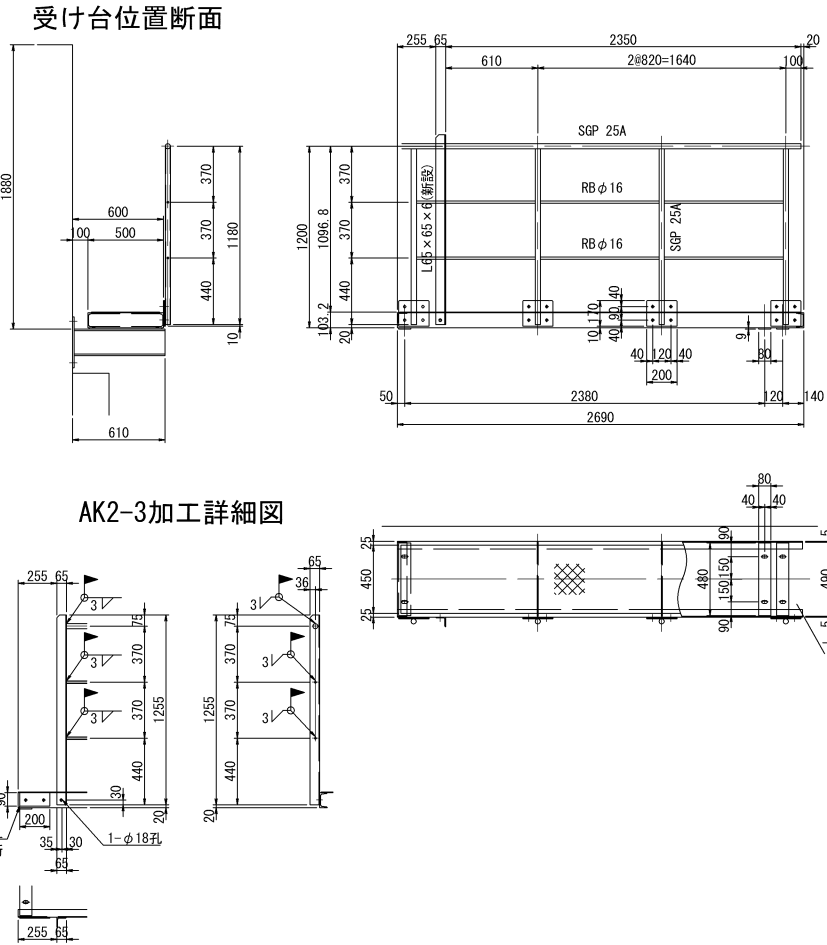
AK12 詳細図



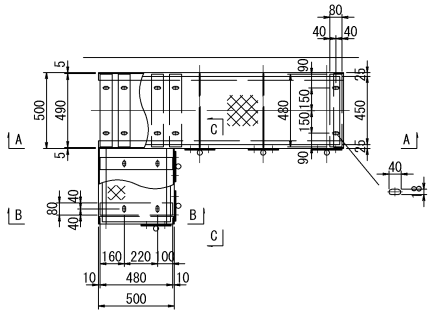
AK1-1 詳細図



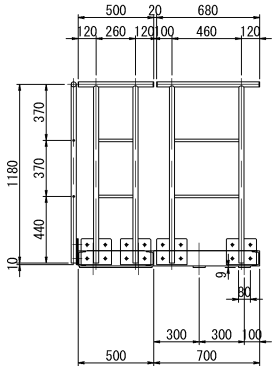
AK2-3 詳細図



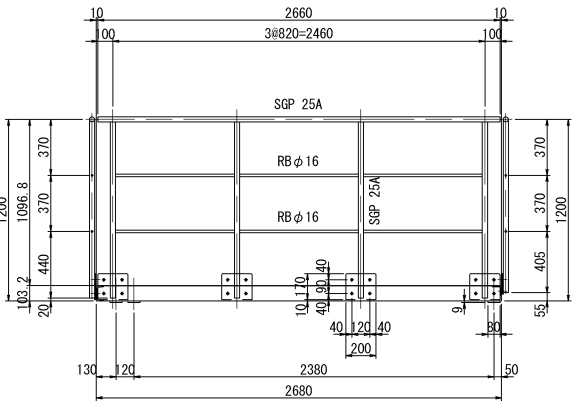
AK6 詳細図



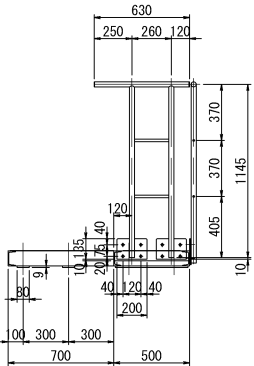
F-F断面



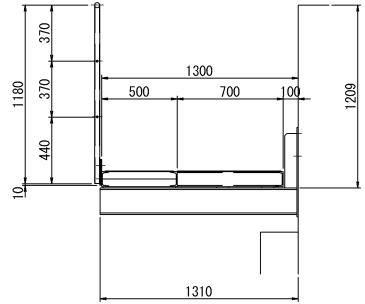
D-D断面



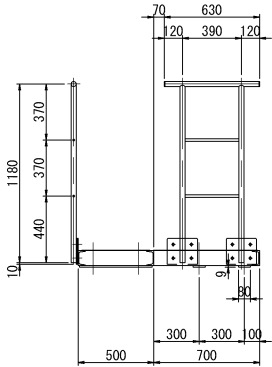
H-H断面



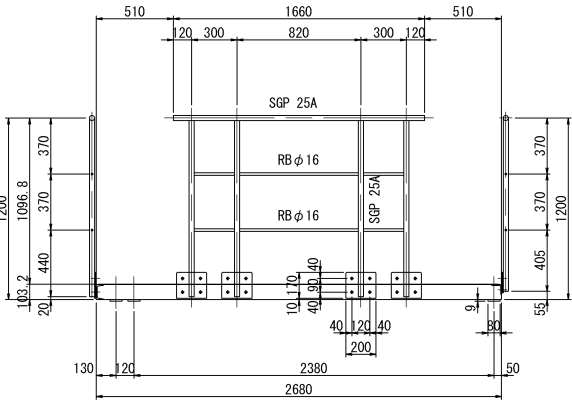
受け台位置断面



G-G断面



E-E断面



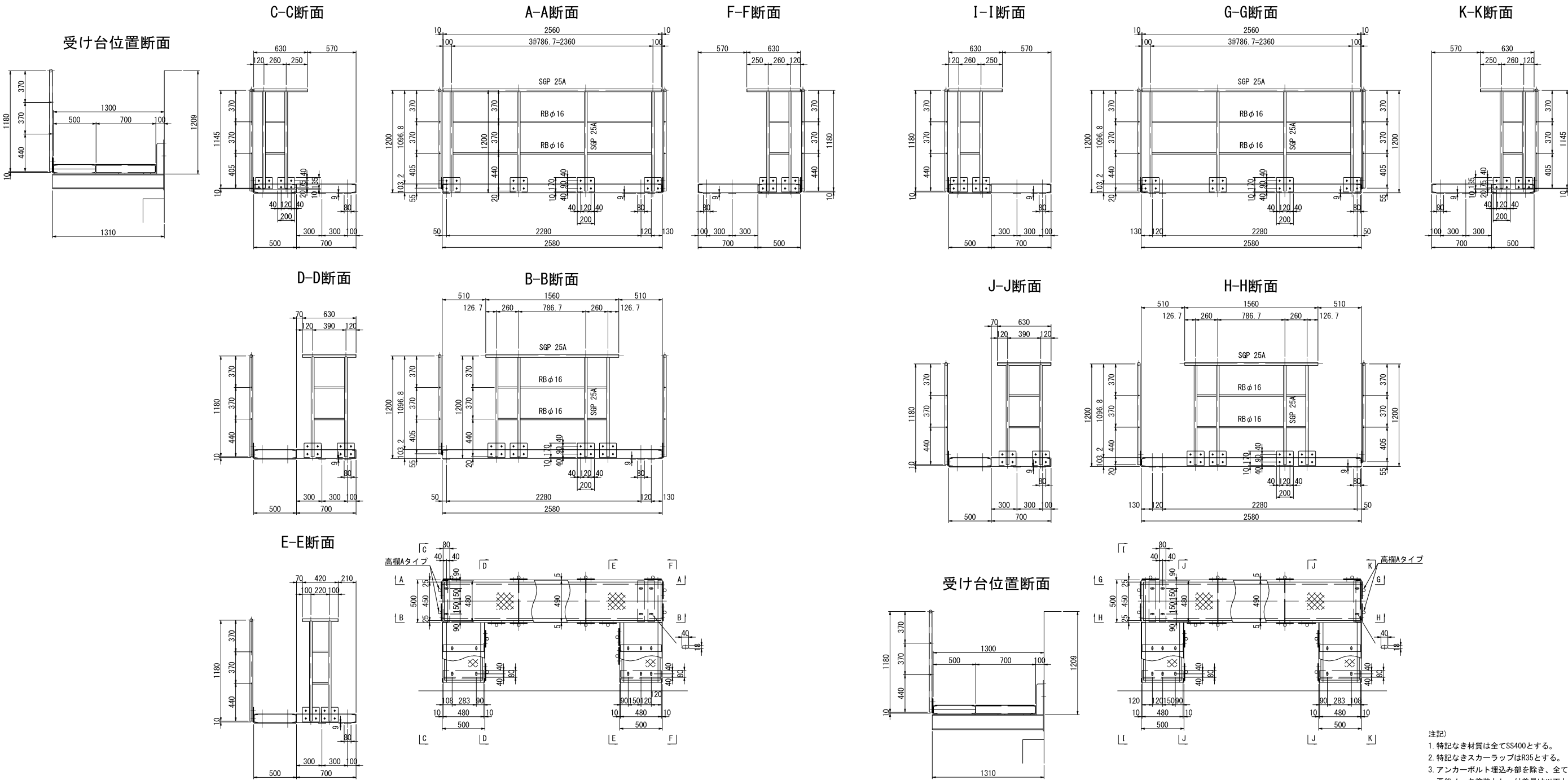
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探索を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その5)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P3橋脚

AK7 詳細図

AK8 詳細図



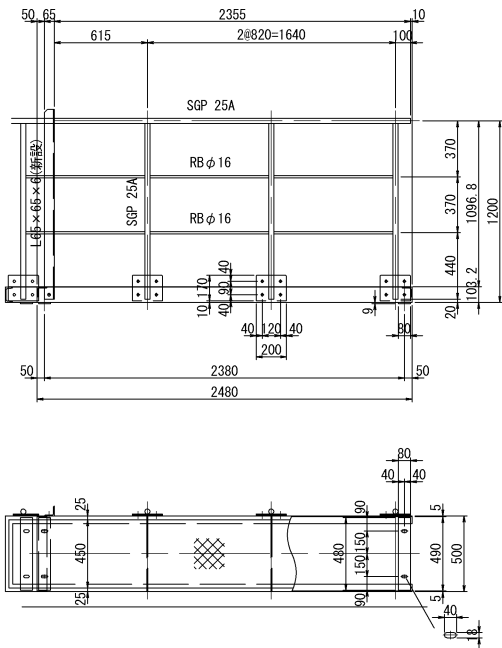
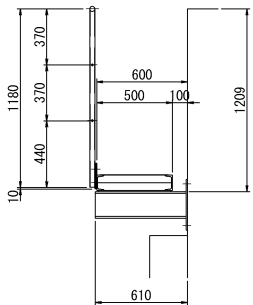
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼 板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探索を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その6)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

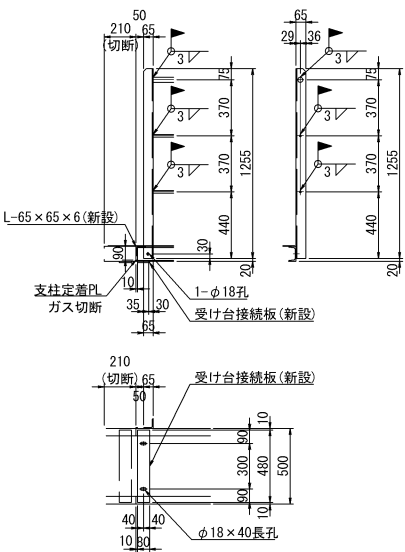
P3橋脚

AK
2-4 詳細図

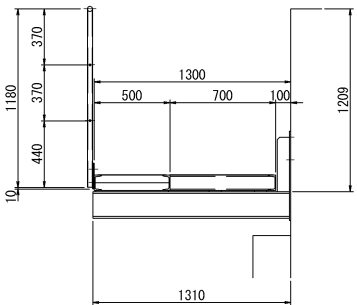
受け台位置断面



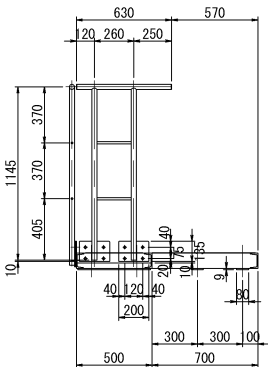
AK2-4加工詳細図



受け台位置断面

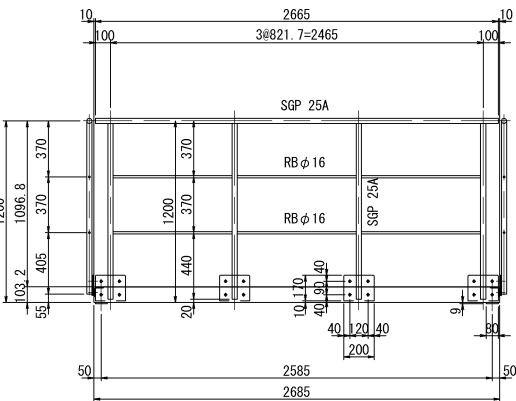


C-C断面

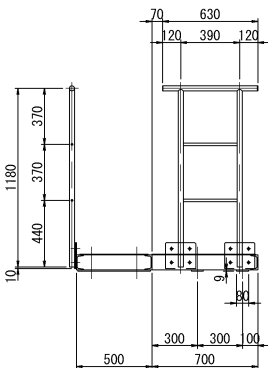


AK
9 詳細図

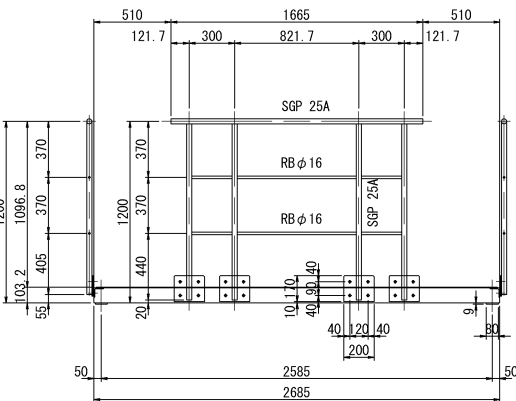
A-A断面



D-D断面

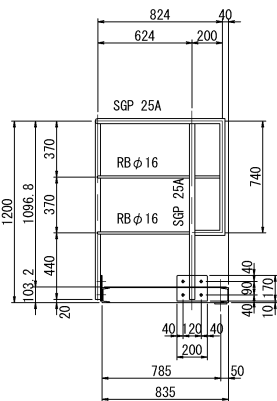
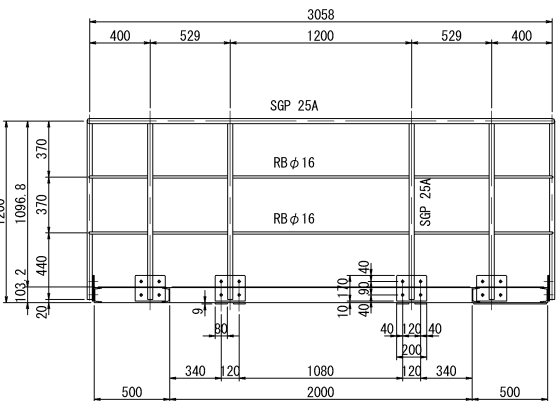
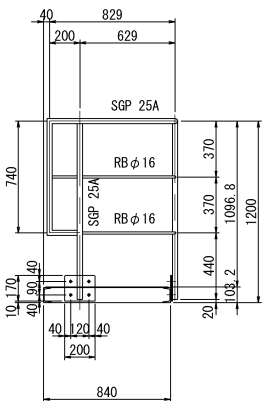
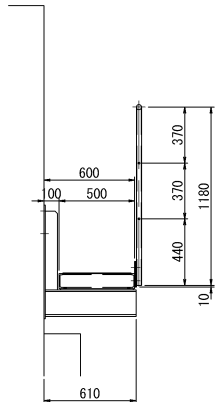


B-B断面

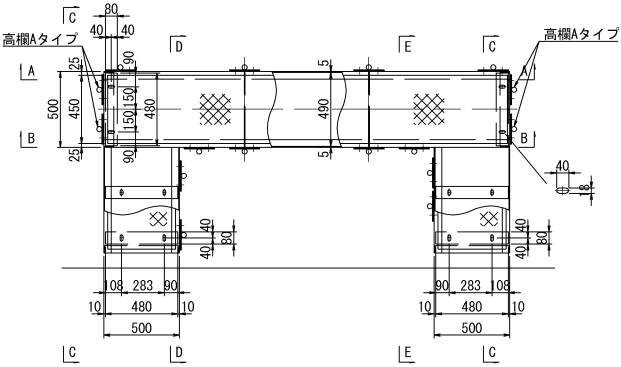
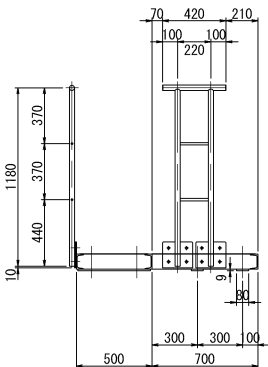


AK
10 詳細図

受け台位置断面



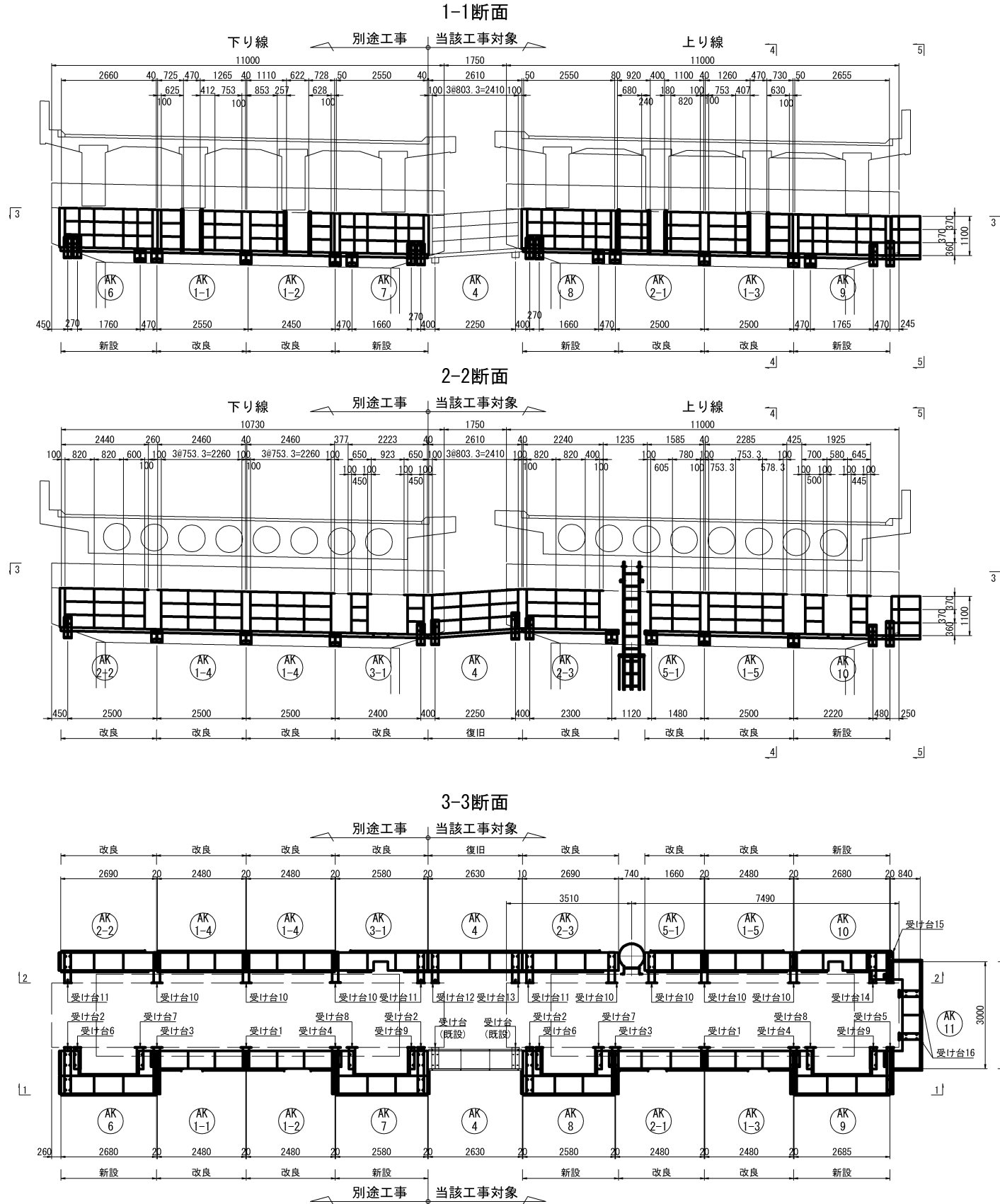
E-E断面



- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その7)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P4橋脚



- AK 6 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×2660(新設)
 - 1-SGP25A×1660(新設)
 - 1-SGP25A×680(新設)
 - 3-SGP25A×600(新設)
 - 1-SGP25A×500(新設)
 - 16-SGP25A×1180(新設)
 - 2-SGP25A×1145(新設)
 - 8-RBφ16×820(新設)
 - 2-RBφ16×460(新設)
 - 4-RBφ16×390(新設)
 - 4-RBφ16×300(新設)
 - 4-RBφ16×260(新設)
 - 14-PLφ34×3.2(新設)
 - 32-PL200×6×170(新設)
 - 2-PL200×6×135(新設)
 - 72-BN M16×35(新設)
- AK 1-1 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×1200(加工)
 - 1-SGP25A×660(加工)
 - 3-SGP25A×1180(復旧)
 - 2-L65×65×6×1215(新設)
 - 2-RBφ16×753(復旧)
 - 2-RBφ16×560(加工)
 - 2-RBφ16×347(加工)
 - 2-PLφ34×3.2(復旧)
 - 6-PL200×6×170(復旧)
 - ※ 1-PL200×6×90(加工)
 - 12-BN M16×35(復旧)
 - 2-BN M16×35(新設)
 - ※ はガス切断を行う。
- AK 1-2 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×1045(加工)
 - 1-SGP25A×663(加工)
 - 3-SGP25A×1180(復旧)
 - 2-L65×65×6×1215(新設)
 - 2-RBφ16×753(復旧)
 - 2-RBφ16×563(加工)
 - 2-RBφ16×192(加工)
 - 2-PLφ34×3.2(復旧)
 - 6-PL200×6×170(復旧)
 - ※ 1-PL200×6×90(加工)
 - 12-BN M16×35(復旧)
 - 2-BN M16×35(新設)
 - ※ はガス切断を行う。
- AK 7 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×2560(新設)
 - 1-SGP25A×1560(新設)
 - 3-SGP25A×630(新設)
 - 1-SGP25A×420(新設)
 - 14-SGP25A×1180(新設)
 - 2-SGP25A×1145(新設)
 - 8-RBφ16×787(新設)
 - 2-RBφ16×390(新設)
 - 8-RBφ16×220(新設)
 - 12-PLφ34×3.2(新設)
 - 28-PL200×6×170(新設)
 - 4-PL200×6×135(新設)
 - 64-BN M16×35(新設)
- AK 8 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×2560(新設)
 - 1-SGP25A×1660(新設)
 - 4-SGP25A×630(新設)
 - 14-SGP25A×1180(新設)
 - 2-SGP25A×1145(新設)
 - 8-RBφ16×787(新設)
 - 4-RBφ16×390(新設)
 - 8-RBφ16×260(新設)
 - 12-PLφ34×3.2(新設)
 - 28-PL200×6×170(新設)
 - 4-PL200×6×135(新設)
 - 64-BN M16×35(新設)
- AK 2-1 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×1035(加工)
 - 1-SGP25A×790(加工)
 - 3-SGP25A×1180(復旧)
 - 3-L65×65×6×1215(新設)
 - 2-RBφ16×820(復旧)
 - 2-RBφ16×615(加工)
 - 2-RBφ16×175(加工)
 - 2-RBφ16×115(加工)
 - 1-PLφ34×3.2(復旧)
 - 6-PL200×6×170(復旧)
 - ※ 1-PL10×6×90(加工)
 - 12-BN M16×35(復旧)
 - 3-BN M16×35(新設)
 - ※ はガス切断を行う。
- AK 1-3 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×1195(加工)
 - 1-SGP25A×665(加工)
 - 3-SGP25A×1180(復旧)
 - 2-L65×65×6×1215(新設)
 - 2-RBφ16×753(復旧)
 - 2-RBφ16×565(加工)
 - 2-RBφ16×342(加工)
 - 2-PLφ34×3.2(復旧)
 - 6-PL200×6×170(復旧)
 - ※ 1-PL200×6×90(加工)
 - 12-BN M16×35(復旧)
 - 2-BN M16×35(新設)
 - ※ はガス切断を行う。
- AK 9 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×2665(新設)
 - 1-SGP25A×1665(新設)
 - 3-SGP25A×630(新設)
 - 1-SGP25A×420(新設)
 - 12-SGP25A×1180(新設)
 - 4-SGP25A×1145(新設)
 - 8-RBφ16×822(新設)
 - 2-RBφ16×390(新設)
 - 4-RBφ16×300(新設)
 - 4-RBφ16×260(新設)
 - 2-RBφ16×220(新設)
 - 12-PLφ34×3.2(新設)
 - 24-PL200×6×170(新設)
 - 8-PL200×6×135(新設)
 - 64-BN M16×35(新設)
- AK 2-2 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×2440(新設)
 - 1-SGP25A×2340(加工)
 - 1-SGP25A×500(復旧)
 - 5-SGP25A×1180(復旧)
 - 4-SGP25A×1180(新設)
 - 1-L65×65×6×1255(新設)
 - 4-RBφ16×820(復旧)
 - 4-RBφ16×820(新設)
 - 2-RBφ16×600(加工)
 - 2-RBφ16×600(新設)
 - 2-RBφ16×260(復旧)
 - 3-PLφ34×3.2(復旧)
 - 2-PLφ34×3.2(新設)
 - 10-PL200×6×170(復旧)
 - 8-PL200×6×170(新設)
 - ※ 1-PL200×6×90(加工)
 - 20-BN M16×35(復旧)
 - 17-BN M16×35(新設)
 - ※ はガス切断を行う。
- AK 1-4 1ヶ所所当り(全2ヶ所)
- 1-SGP25A×2460(新設)
 - 1-SGP25A×2460(新設)
 - 4-SGP25A×1180(復旧)
 - 4-SGP25A×1180(新設)
 - 6-RBφ16×753(復旧)
 - 6-RBφ16×753(新設)
 - 2-PLφ34×3.2(復旧)
 - 2-PLφ34×3.2(新設)
 - 8-PL200×6×170(復旧)
 - 8-PL200×6×170(新設)
 - 16-BN M16×35(復旧)
 - 16-BN M16×35(新設)
 - ※ はガス切断を行う。
- AK 3-1 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×2150(加工)
 - 2-SGP25A×650(新設)
 - 3-SGP25A×1180(復旧)
 - 4-SGP25A×1180(新設)
 - 1-L65×65×6×1255(新設)
 - 4-RBφ16×787(復旧)
 - 2-RBφ16×477(加工)
 - 4-RBφ16×450(新設)
 - 1-PLφ34×3.2(復旧)
 - 4-PLφ34×3.2(新設)
 - 6-PL200×6×170(復旧)
 - 8-PL200×6×170(新設)
 - ※ 1-PL200×6×90(加工)
 - 12-BN M16×35(復旧)
 - 17-BN M16×35(新設)
 - ※ はガス切断を行う。
- AK 4 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 2-SGP25A×2610(復旧)
 - 8-SGP25A×1180(復旧)
 - 12-RBφ16×803(復旧)
 - 4-PLφ34×3.2(復旧)
 - 16-PL200×6×170(復旧)
 - 32-BN M16×35(復旧)
- AK 5-1 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×2240(新設)
 - 1-SGP25A×2140(加工)
 - 3-SGP25A×1180(復旧)
 - 4-SGP25A×1180(新設)
 - 1-L65×65×6×1255(新設)
 - 4-RBφ16×820(復旧)
 - 4-RBφ16×820(新設)
 - 2-RBφ16×400(加工)
 - 2-RBφ16×400(新設)
 - 1-PLφ34×3.2(復旧)
 - 2-PLφ34×3.2(新設)
 - 6-PL200×6×170(復旧)
 - 8-PL200×6×170(新設)
 - ※ 1-PL200×6×90(加工)
 - 12-BN M16×35(復旧)
 - 17-BN M16×35(新設)
 - ※ はガス切断を行う。
- AK 5-1 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×1585(新設)
 - 1-SGP25A×1485(加工)
 - 2-SGP25A×1180(復旧)
 - 3-SGP25A×1180(新設)
 - 1-L65×65×6×1255(新設)
 - 2-RBφ16×780(復旧)
 - 2-RBφ16×780(新設)
 - 2-RBφ16×605(加工)
 - 2-RBφ16×605(新設)
 - 2-PLφ34×3.2(復旧)
 - 2-PLφ34×3.2(新設)
 - 4-PL200×6×170(復旧)
 - 6-PL200×6×170(新設)
 - ※ 1-PL90×6×90(加工)
 - 8-BN M16×35(復旧)
 - 13-BN M16×35(新設)
 - ※ はガス切断を行う。
- AK 1-5 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×2285(新設)
 - 1-SGP25A×2185(加工)
 - 3-SGP25A×1180(復旧)
 - 4-SGP25A×1180(新設)
 - 1-L65×65×6×1255(新設)
 - 4-RBφ16×753(復旧)
 - 4-RBφ16×753(新設)
 - 2-RBφ16×578(加工)
 - 2-RBφ16×578(新設)
 - 1-PLφ34×3.2(復旧)
 - 2-PLφ34×3.2(新設)
 - 6-PL200×6×170(復旧)
 - 8-PL200×6×170(新設)
 - ※ 1-PL200×6×90(加工)
 - 12-BN M16×35(復旧)
 - 17-BN M16×35(新設)
 - ※ はガス切断を行う。
- AK 10 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×2630(新設)
 - 1-SGP25A×700(新設)
 - 1-SGP25A×645(新設)
 - 9-SGP25A×1180(新設)
 - 1-SGP25A×1145(新設)
 - 2-RBφ16×780(新設)
 - 2-RBφ16×525(新設)
 - 4-RBφ16×500(新設)
 - 4-RBφ16×445(新設)
 - 2-RBφ16×289(新設)
 - 5-PLφ34×3.2(新設)
 - 18-PL200×6×170(新設)
 - 2-PL200×6×135(新設)
 - 40-BN M16×35(新設)
- AK 2-3 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×2465(加工)
 - 2-[100×50×5×7.5×2480(加工)
 - 1-L65×65×6×490(復旧)
 - 1-L65×65×6×490(新設)
 - 2-FB50×6×490(復旧)
 - 2-FB50×6×490(新設)
 - 2-PL80×9×480(復旧)
 - 4-BN M16×35(復旧)
- AK 1-3 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×2450(復旧)
 - 2-[100×50×5×7.5×2480(復旧)
 - 1-L65×65×6×490(復旧)
 - 2-FB50×6×490(復旧)
 - 2-PL80×9×480(復旧)
 - 4-BN M16×35(復旧)
- AK 9 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-OKPL450×3.2×2655(新設)
 - 2-OKPL450×3.2×685(新設)
 - 2-[100×50×5×7.5×2685(新設)
 - 4-[100×50×5×7.5×700(新設)
 - 2-[100×50×5×7.5×490(新設)
 - 2-L65×65×6×490(新設)
 - 2-FB50×6×490(新設)
 - 2-PL80×9×480(新設)
 - 12-BN M16×35(新設)
- AK 2-2 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-OKPL450×3.2×2650(復旧)
 - 2-[100×50×5×7.5×2690(復旧)
 - 1-[100×50×5×7.5×490(復旧)
 - 1-L65×65×6×490(復旧)
 - 2-FB50×6×490(復旧)
 - 3-PL80×9×480(復旧)
 - 6-BN M16×35(復旧)
- AK 3-1 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-OKPL450×3.2×2550(加工)
 - 1-[100×50×5×7.5×2580(復旧)
 - 1-[100×50×5×7.5×1115(加工)
 - 2-FB50×6×490(復旧)
 - 1-[100×50×5×7.5×1000(新設)
 - 2-L65×65×6×490(復旧)
 - 2-FB50×6×490(復旧)
 - 3-PL80×9×480(復旧)
 - 6-BN M16×35(復旧)
- AK 1-4 1ヶ所所当り(全2ヶ所)
- 1-OKPL450×3.2×2450(復旧)
 - 2-[100×50×5×7.5×2480(復旧)
 - 1-L65×65×6×490(復旧)
 - 2-FB50×6×490(復旧)
 - 2-PL80×9×480(復旧)
 - 4-BN M16×35(復旧)
- AK 5-1 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-OKPL450×3.2×2450(加工)
 - 2-[100×50×5×7.5×2480(復旧)
 - 1-L65×65×6×490(復旧)
 - 2-FB50×6×490(復旧)
 - 2-PL80×9×480(復旧)
 - 6-BN M16×35(復旧)
- AK 1-5 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-OKPL450×3.2×2450(復旧)
 - 2-[100×50×5×7.5×2480(復旧)
 - 2-L65×65×6×490(復旧)
 - 2-FB50×6×490(復旧)
 - 4-BN M16×35(復旧)
- AK 10 1ヶ所所当り(1ヶ所)
- 1-OKPL450×3.2×2650(新設)
 - 1-OKPL450×3.2×235(新設)
 - 1-[100×50×5×7.5×3180(新設)
 - 1-[100×50×5×7.5×2680(新設)
 - 2-[100×50×5×7.5×250(新設)
 - 2-L65×65×6×490(新設)
 - 2-FB50×6×490(新設)
 - 5-PL80×9×480(新設)
 - 10-BN M16×35(新設)

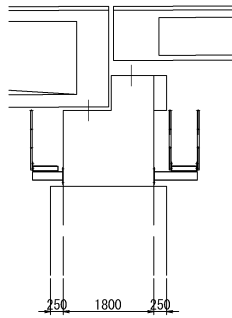
注記)

- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 特記なきスカーラップはR35とする。
- アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融重鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
- アンカー削孔前には鉄筋探索を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

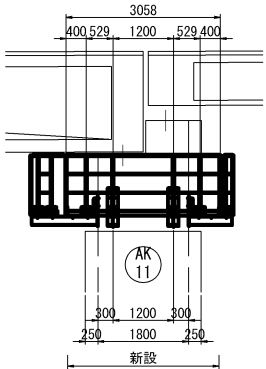
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
下部工検査路復旧図(その8)			
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P4橋脚

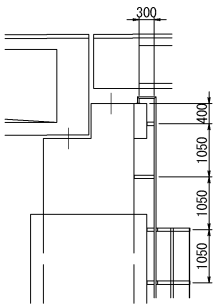
4-4断面



5-5断面



梯子取付図



※寸法詳細は梯子復旧図を参照のこと。

AK 11

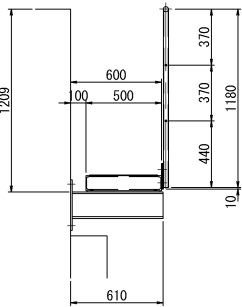
1ヶ所当り(1ヶ所)

- 1-SGP25A×6591(新設)
- 6-SGP25A×1180(新設)
- 2-RBφ16×1229(新設)
- 2-RBφ16×1224(新設)
- 4-RBφ16×529(新設)
- 2-RBφ16×200(新設)
- 12-PL200×6×170(新設)
- 24-BN M16×35(新設)
- 1-CKPL450×3.2×1970(新設)
- 1-CKPL450×3.2×810(新設)
- 1-CKPL450×3.2×805(新設)
- 2-[100×50×5×7.5×2000(新設)
- 2-[100×50×5×7.5×840(新設)
- 2-[100×50×5×7.5×835(新設)
- 2-[100×50×5×7.5×490(新設)
- 2-L65×65×6×490(新設)
- 1-FB50×6×490(新設)
- 6-PL90×9×480(新設)
- 12-BN M16×35(新設)

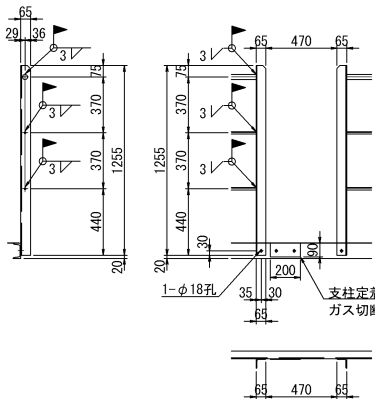
AK 1-1

詳細図 S=1:50

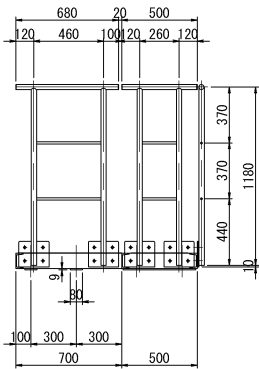
受け台位置断面



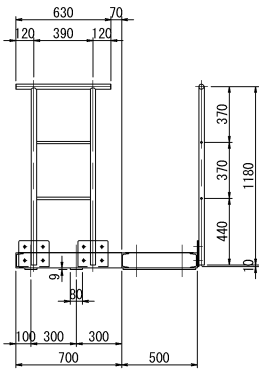
AK1-1加工詳細図



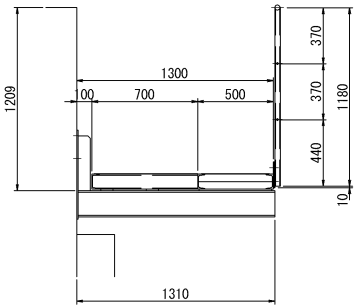
C-C断面



D-D断面



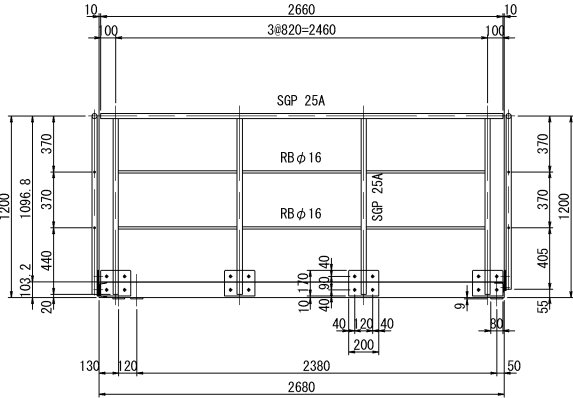
受け台位置断面



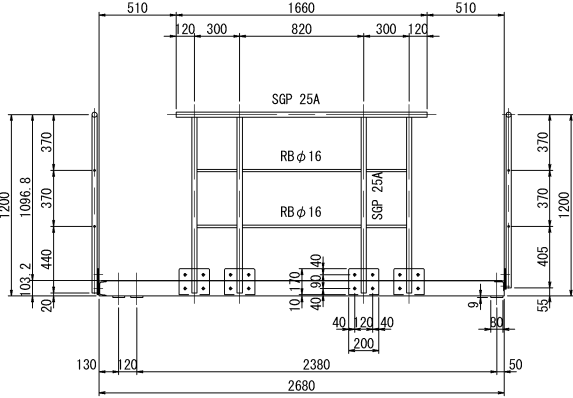
AK 6

詳細図 S=1:50

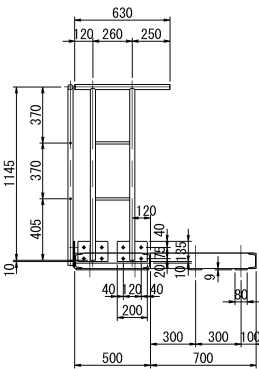
A-A断面



B-B断面



E-E断面

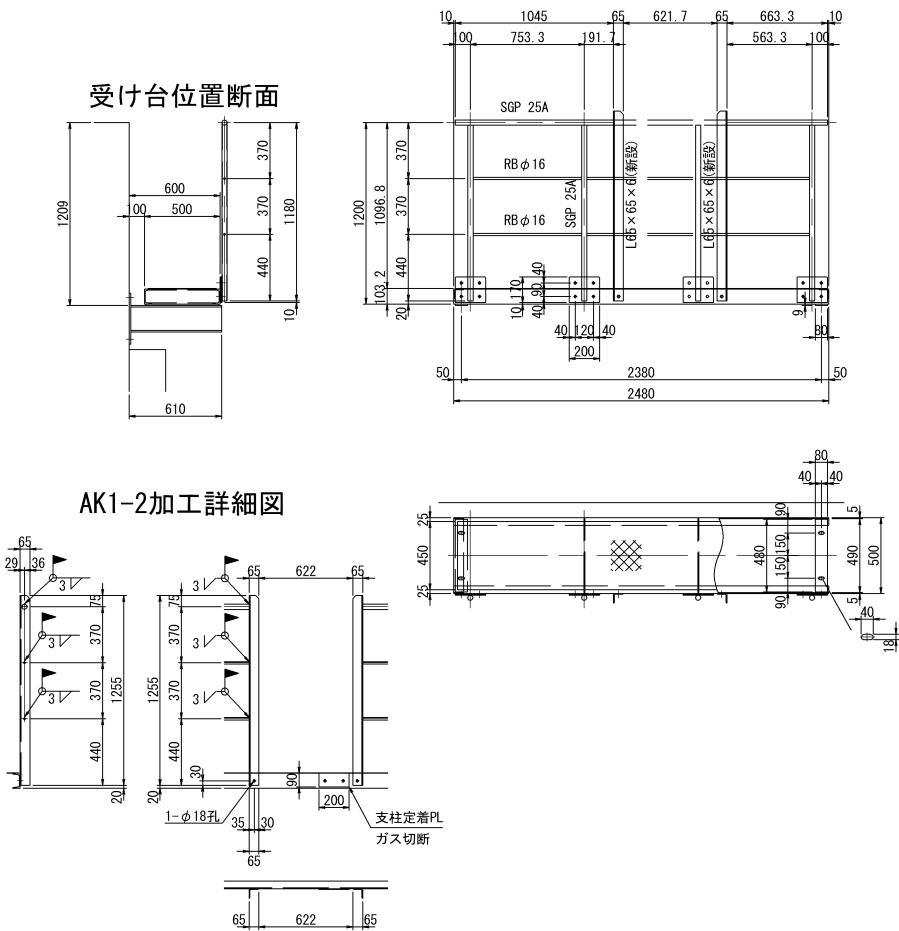


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼 板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー剛孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

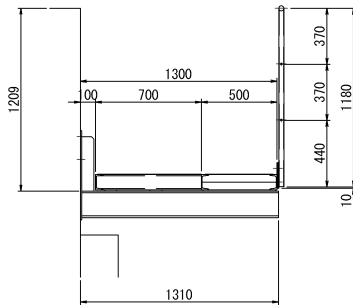
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その9)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P4橋脚

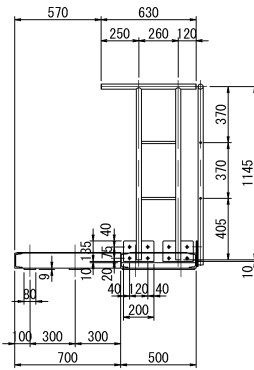
AK1-2 詳細図



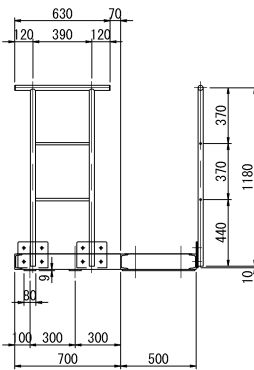
受台位置断面



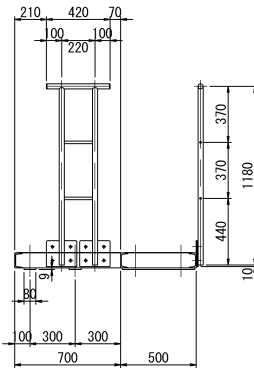
C-C断面



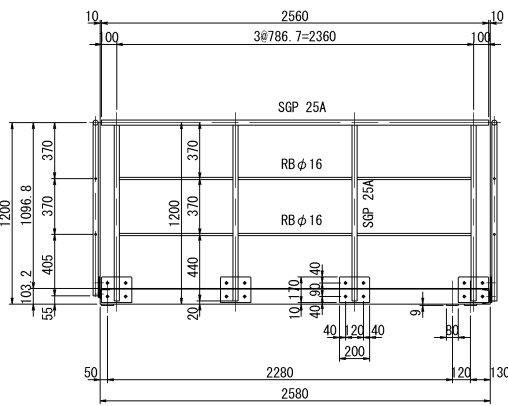
D-D断面



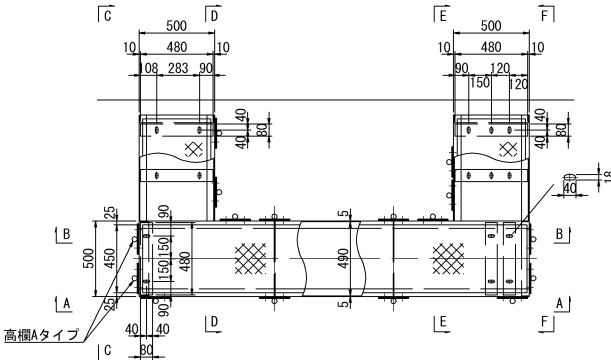
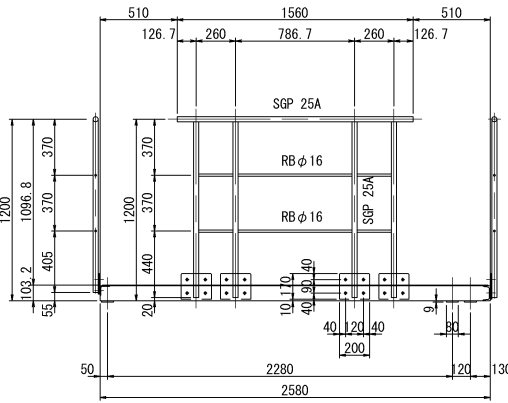
E-E断面



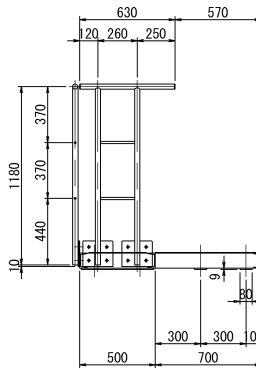
AK7 詳細図



B-B断面



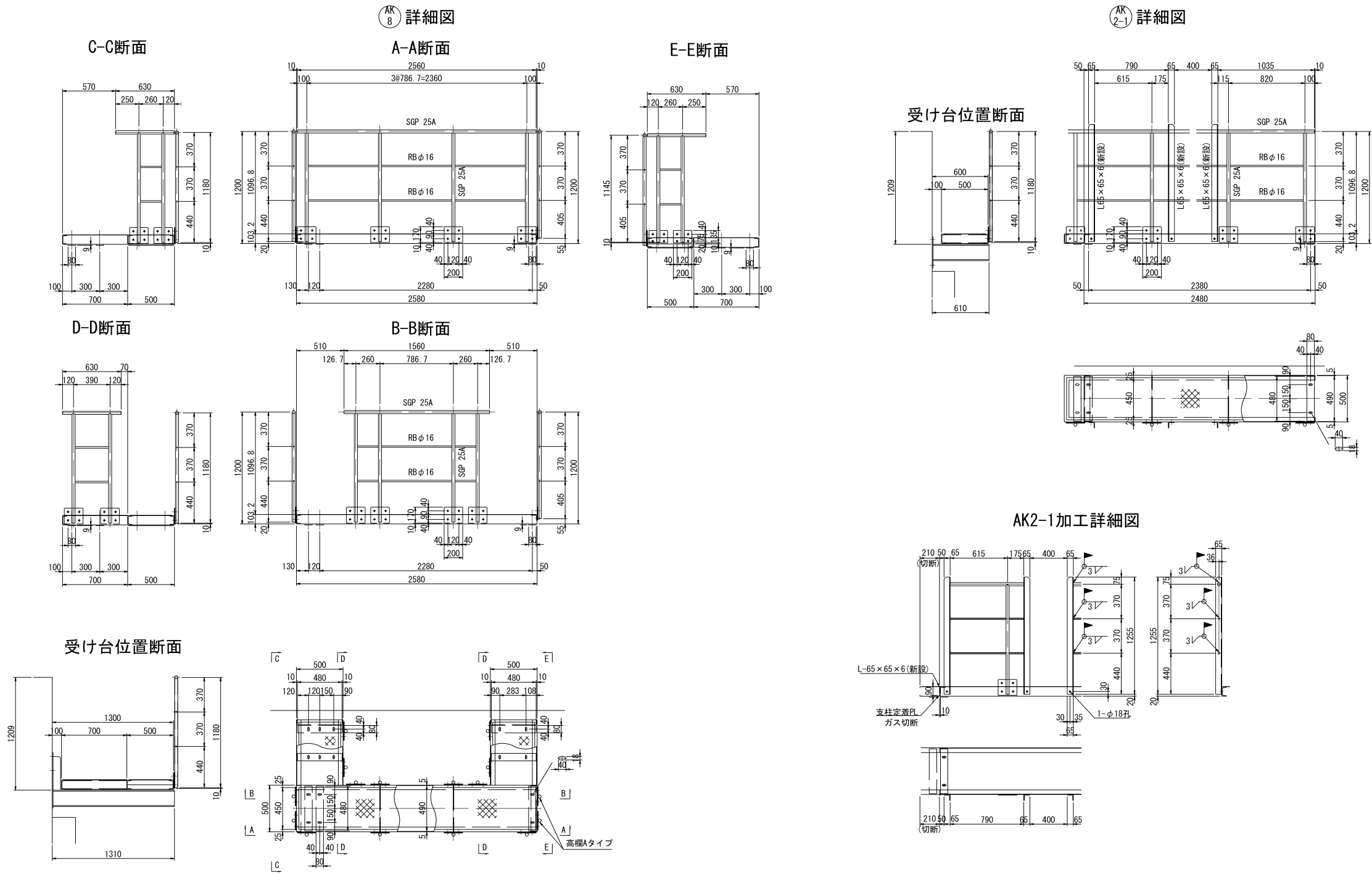
F-F断面



- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼 板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その10)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P4橋脚

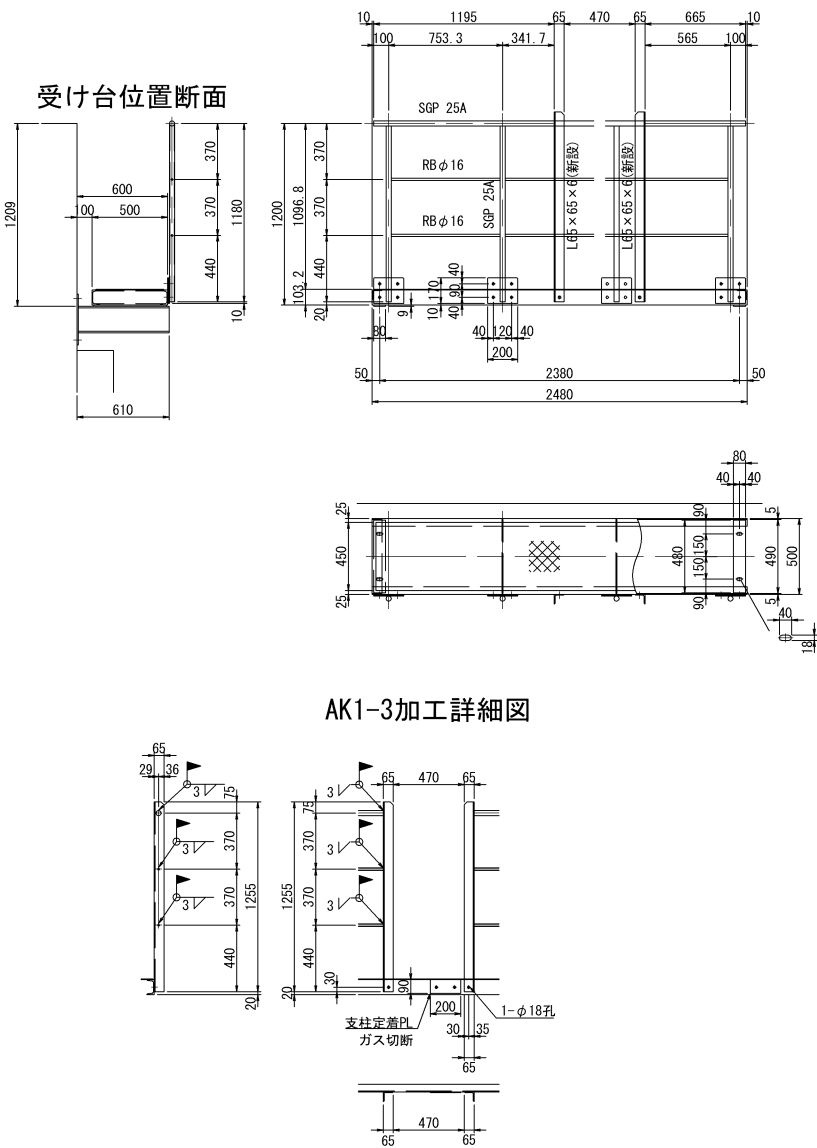


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

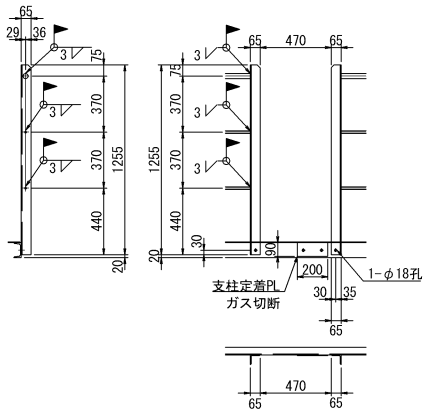
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その11)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P4橋脚

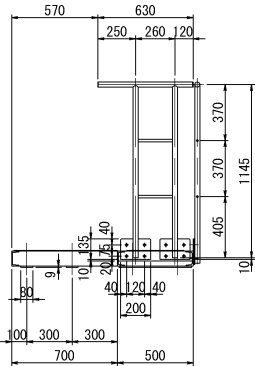
AK1-3 詳細図



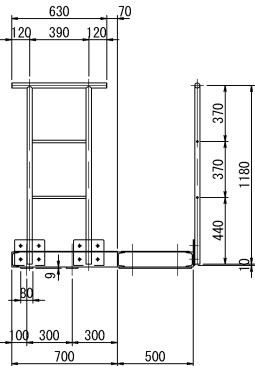
AK1-3加工詳細図



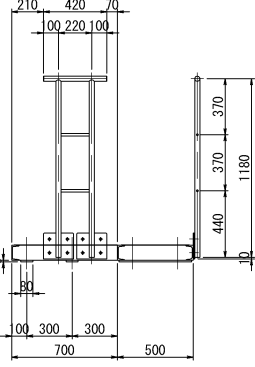
C-C断面



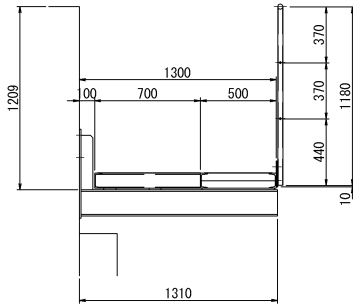
D-D断面



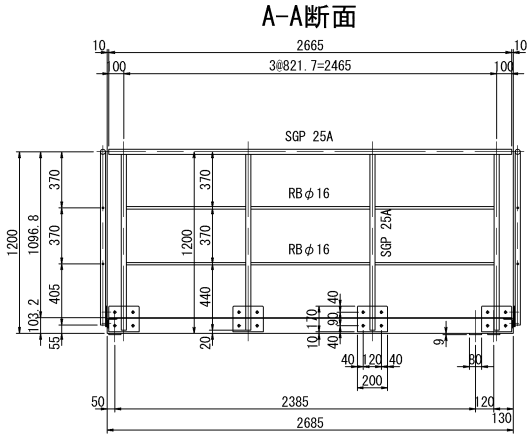
E-E断面



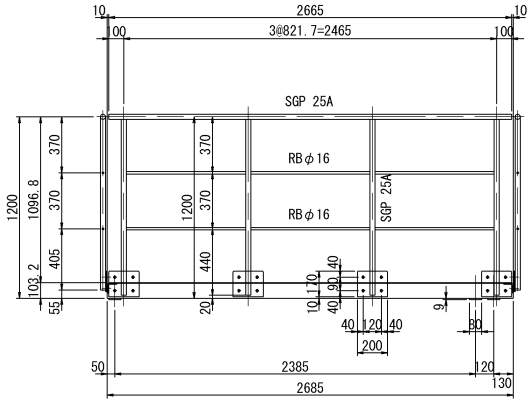
受台位置断面



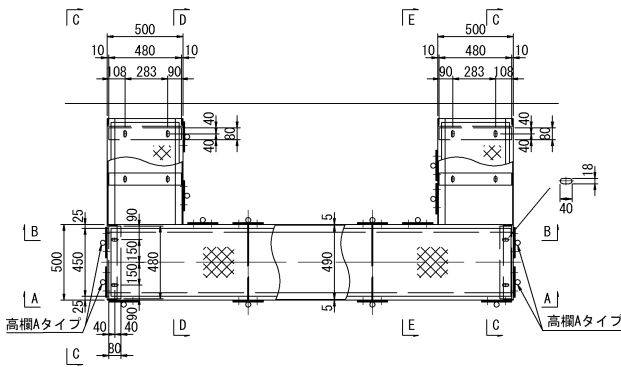
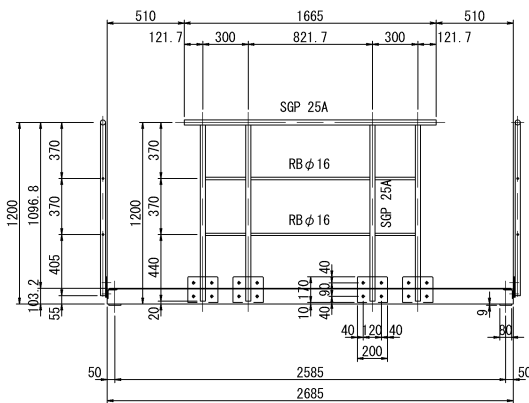
AK9 詳細図



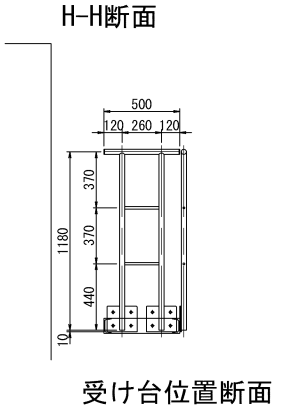
A-A断面



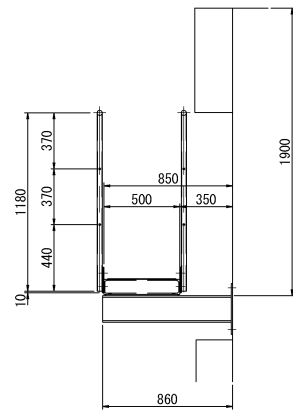
B-B断面



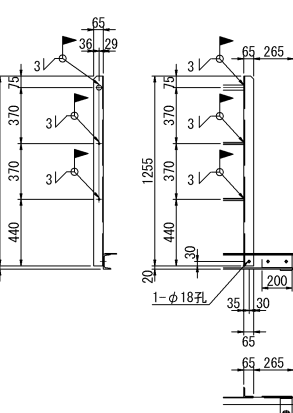
AK2-2 詳細図



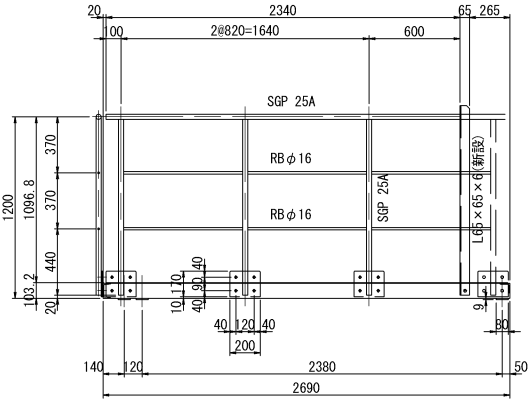
受台位置断面



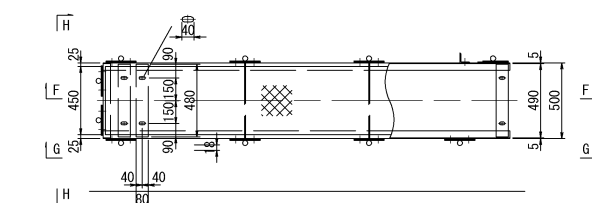
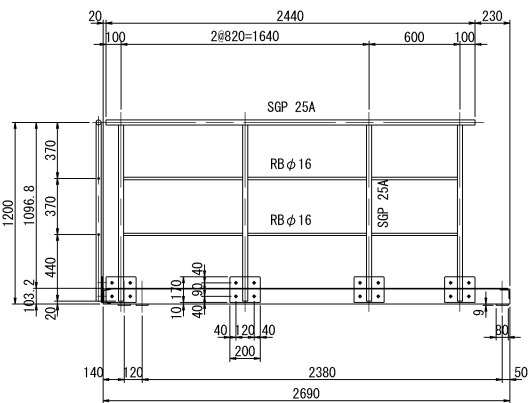
AK2-2加工詳細図



F-F断面



G-G断面

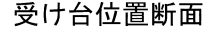
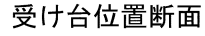


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

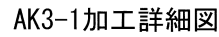
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その12)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P4橋脚

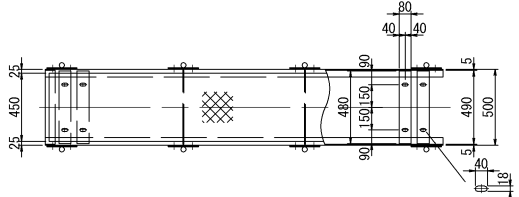
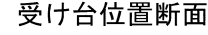
AK
1-4 詳細図



AK
3-1 詳細図



AK
4 詳細図



注記)

1. 特記なき材質は全てSC400とする。
2. 特記なきスカラーはR35とする。
3. アンカーボルトに埋込部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。

JIS H 8641 HDZT 77	鋼 板 (板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63	鋼 板 (板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49	アンカーボルト
4. アンカー削孔には鉄粉探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事		
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 下部工検査路復旧図(その13)	
縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所	

P4橋脚

AK2-3 詳細図

AK5-1 詳細図

AK1-5 詳細図

受け台位置断面

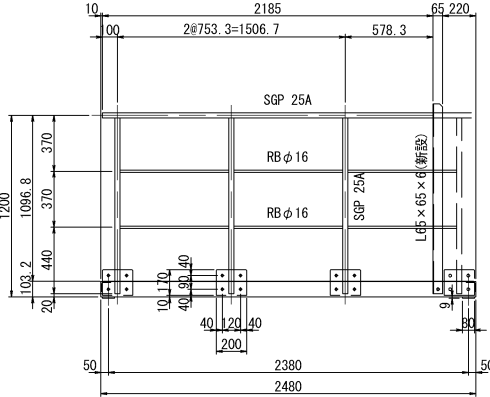
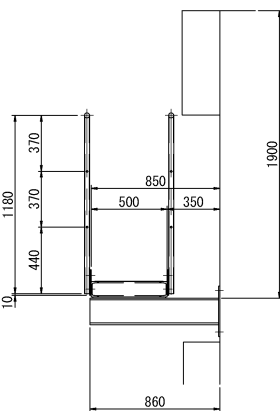
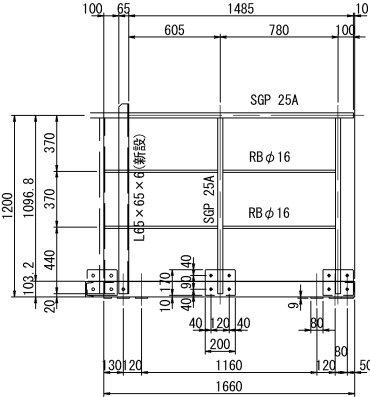
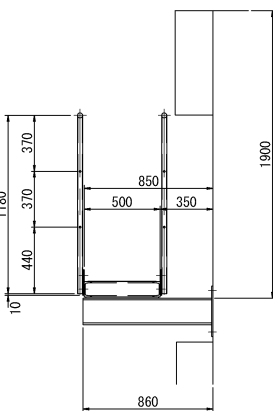
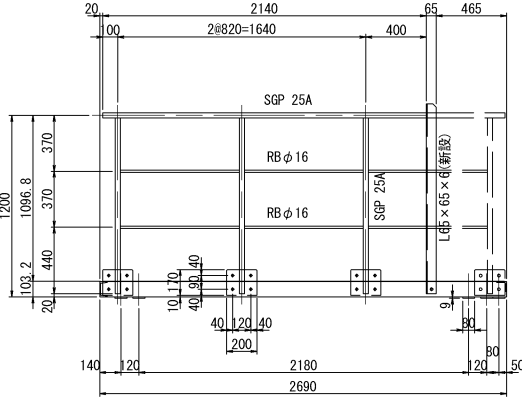
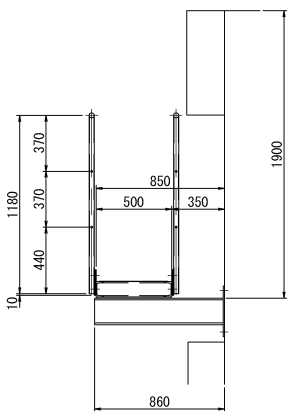
A-A断面

受け台位置断面

C-C断面

受け台位置断面

E-E断面

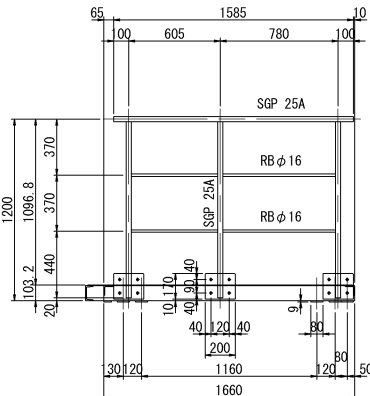
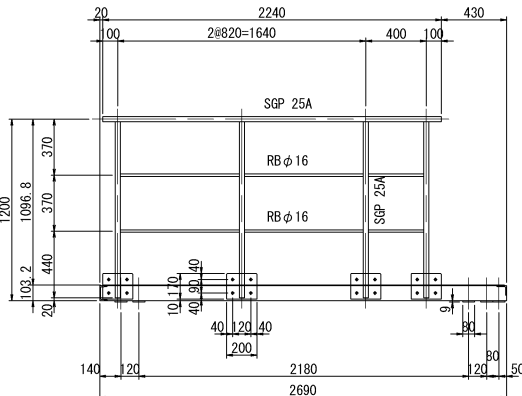
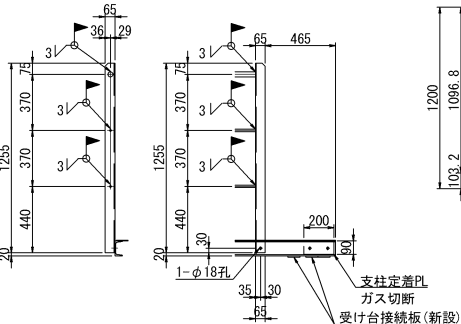


AK2-3加工詳細図

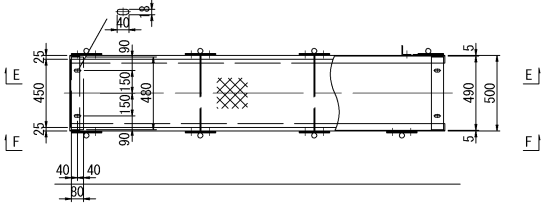
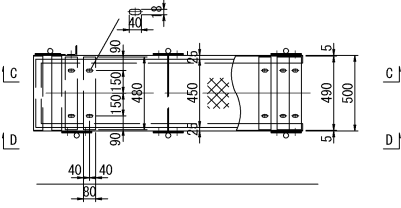
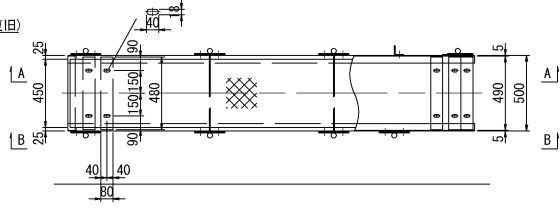
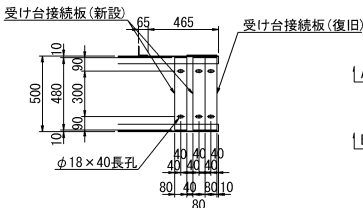
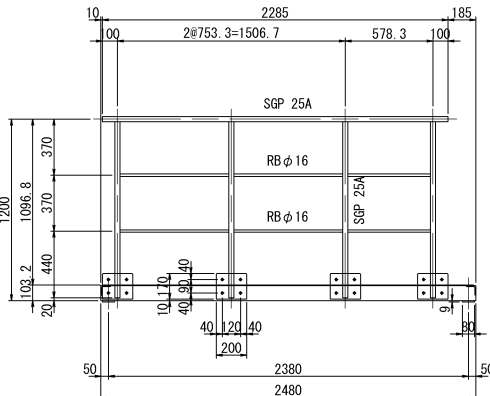
B-B断面

D-D断面

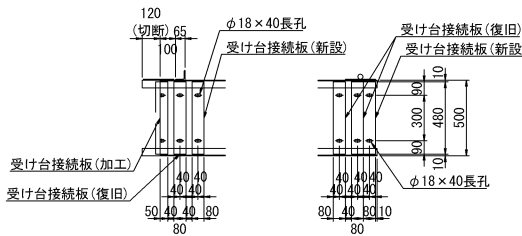
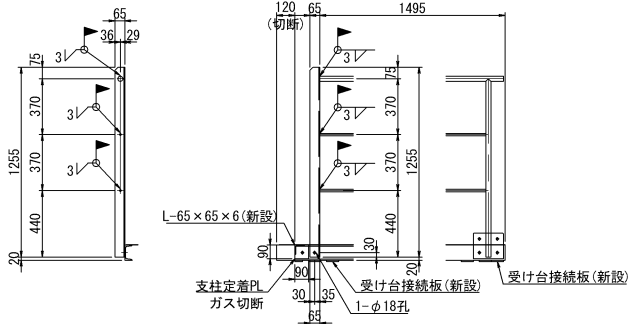
F-F断面



AK1-5加工詳細図



AK5-1加工詳細図

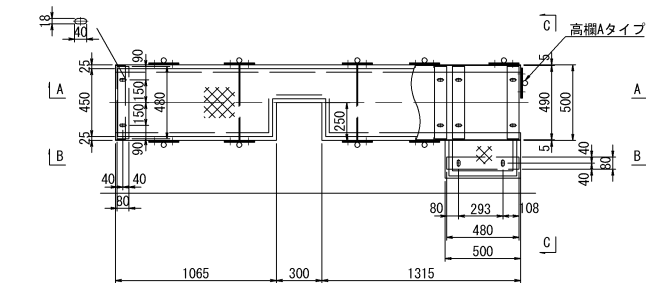
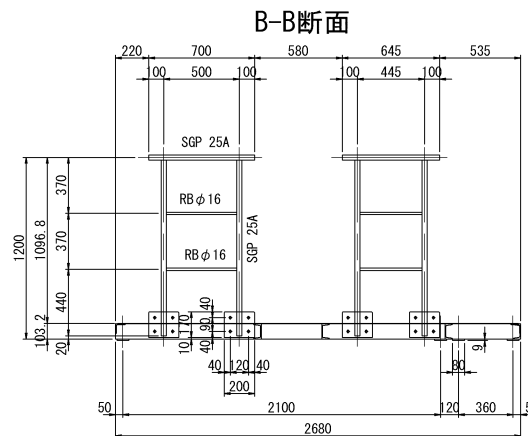
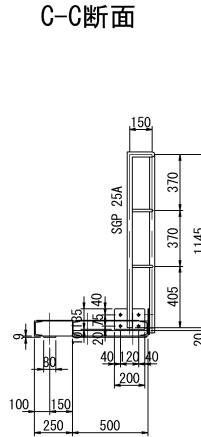
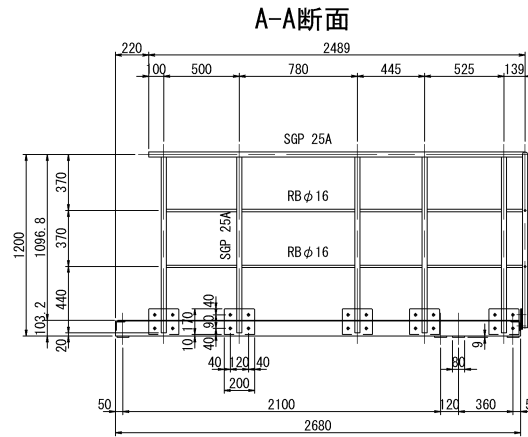
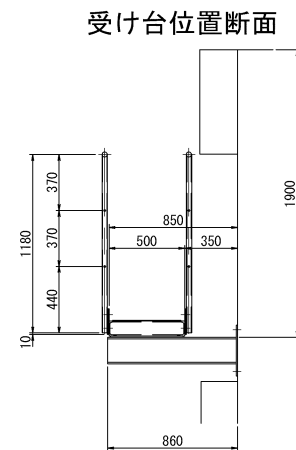


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

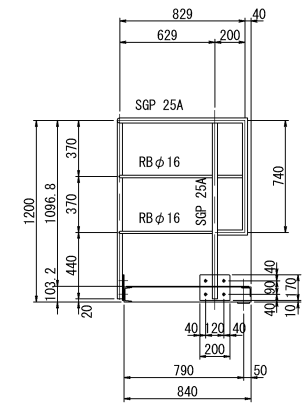
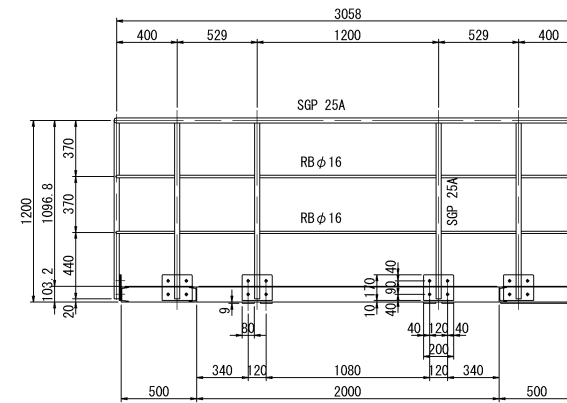
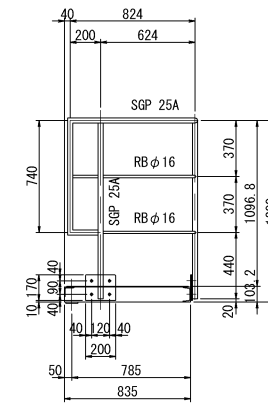
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その14)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P4橋脚

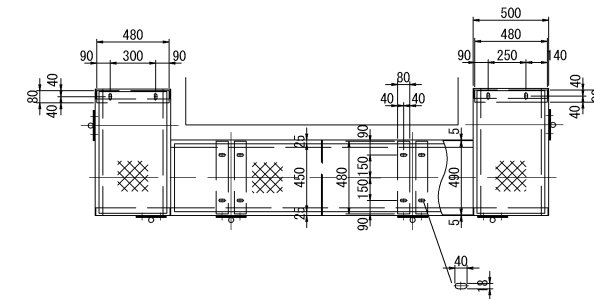
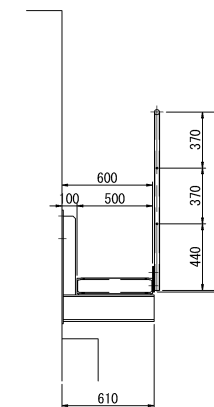
AK
10 詳細図



AK
11 詳細図



受け台位置断面

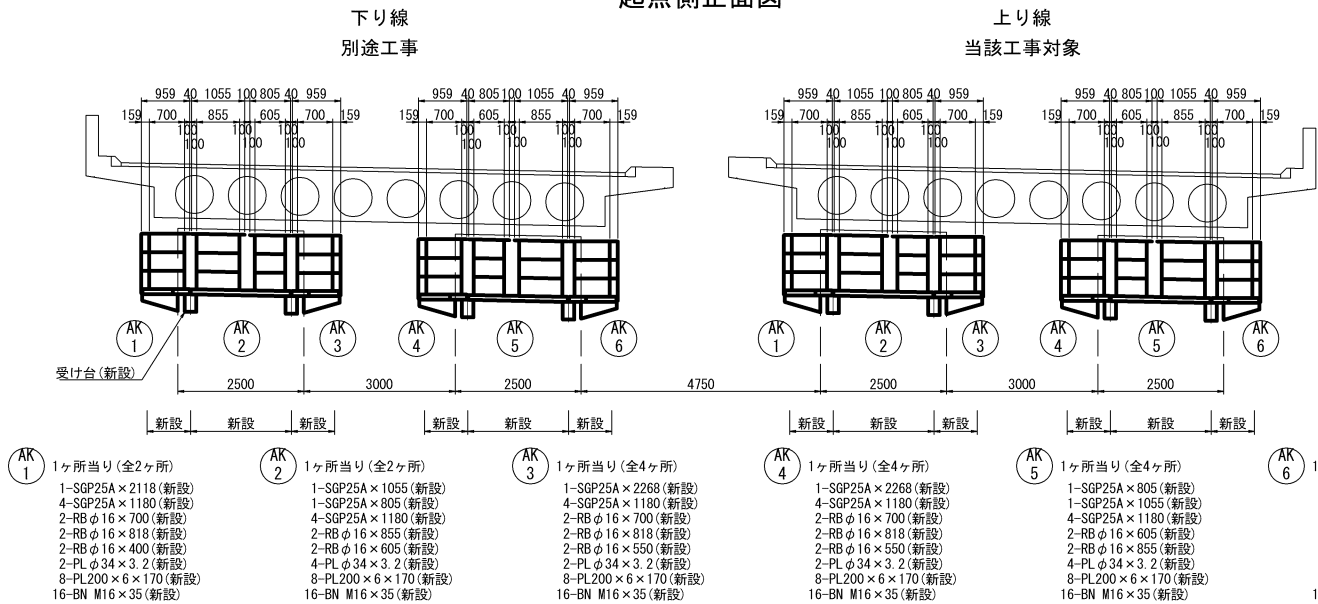


- 【注記】
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. 特記なきスカラーアップはR35とする。
 3. アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板 (板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼 板 (板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 4. アンカー割孔には鉄筋探査を行い、鉄筋股股位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

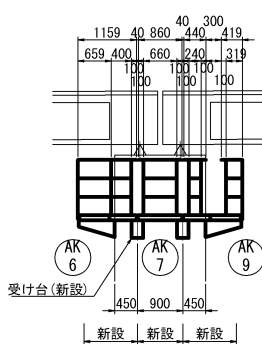
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 下部工検査路復旧図(その15)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P12橋脚

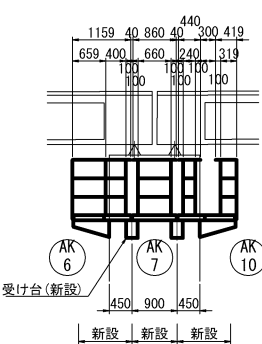
起点側正面図



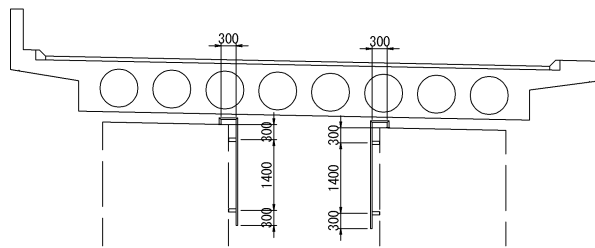
下り線側面図



上り線側面図

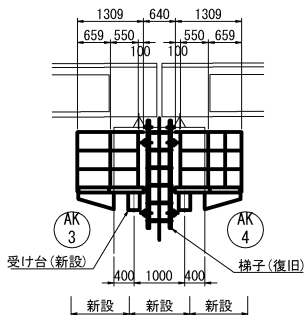


梯子取付図

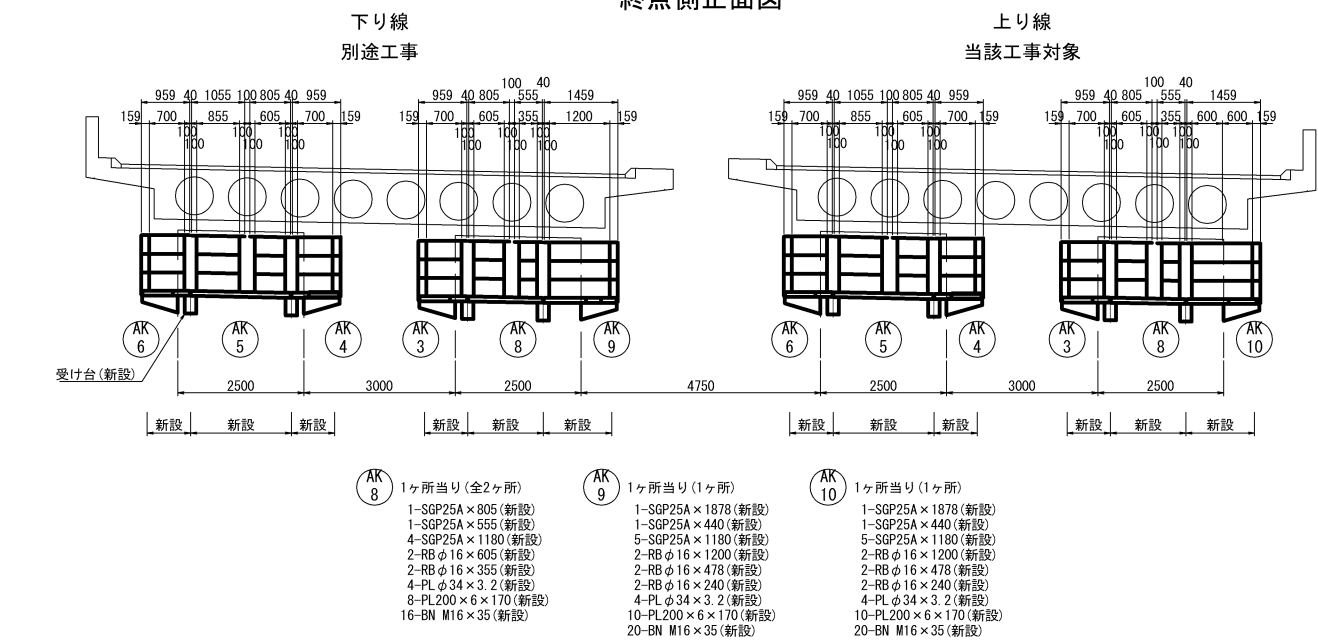


※寸法詳細は梯子復旧図を参照のこと。

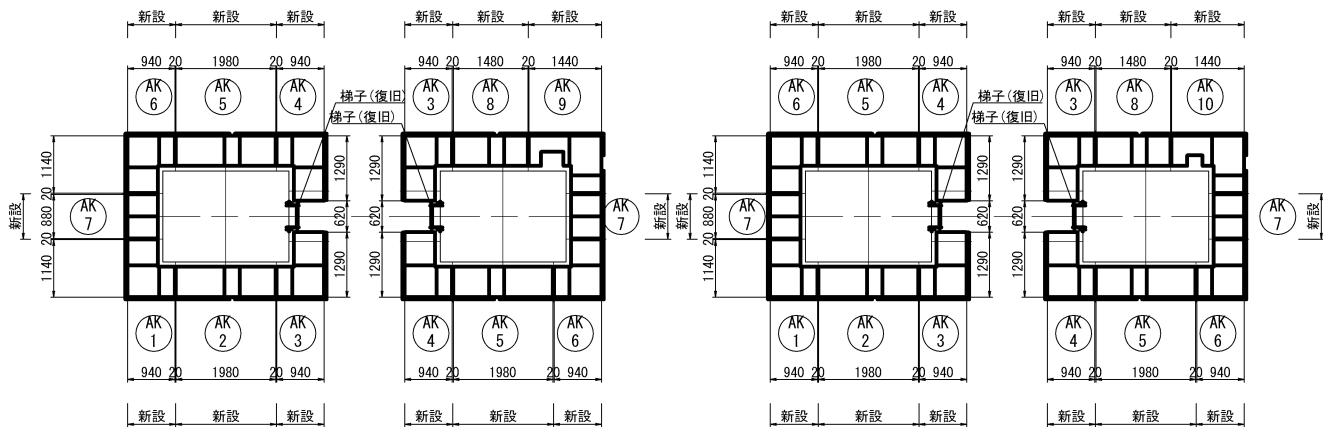
梯子取付部



終点側正面図



平面図



- AK 1 1ヶ所当り(全2ヶ所)
- 1-CKPL550×3.2×1450(新設)
 - 1-[100×50×5×7.5×2030(新設)
 - 1-[100×50×5×7.5×930(新設)
 - 2-L65×65×6×590(新設)
 - 2-FB50×6×590(新設)
 - 2-PL80×9×580(新設)
 - 4-BN M16×35(新設)

- AK 5 1ヶ所当り(全4ヶ所)
- 1-CKPL550×3.2×1950(新設)
 - 2-[100×50×5×7.5×2030(新設)
 - 2-L65×65×6×590(新設)
 - 2-FB50×6×590(新設)
 - 2-PL80×9×580(新設)
 - 4-BN M16×35(新設)

- AK 9 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-CKPL550×3.2×1950(新設)
 - 1-[100×50×5×7.5×2530(新設)
 - 1-[100×50×5×7.5×2000(新設)
 - 2-L65×65×6×590(新設)
 - 2-FB50×6×590(新設)
 - 2-PL80×9×580(新設)
 - 4-BN M16×35(新設)

- AK 2 1ヶ所当り(全2ヶ所)
- 1-CKPL550×3.2×1950(新設)
 - 1-[100×50×5×7.5×1980(新設)
 - 2-L65×65×6×590(新設)
 - 2-FB50×6×590(新設)
 - 2-PL80×9×580(新設)
 - 4-BN M16×35(新設)

- AK 6 1ヶ所当り(全4ヶ所)
- 1-CKPL550×3.2×1450(新設)
 - 1-[100×50×5×7.5×2030(新設)
 - 1-[100×50×5×7.5×930(新設)
 - 2-L65×65×6×590(新設)
 - 2-FB50×6×590(新設)
 - 2-PL80×9×580(新設)
 - 4-BN M16×35(新設)

- AK 10 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-CKPL550×3.2×1950(新設)
 - 1-[100×50×5×7.5×2530(新設)
 - 1-[100×50×5×7.5×1850(新設)
 - 2-L65×65×6×590(新設)
 - 2-FB50×6×590(新設)
 - 2-PL80×9×580(新設)
 - 4-BN M16×35(新設)

- AK 3 1ヶ所当り(全4ヶ所)
- 1-CKPL550×3.2×1600(新設)
 - 1-[100×50×5×7.5×2180(新設)
 - 1-[100×50×5×7.5×1080(新設)
 - 2-L65×65×6×590(新設)
 - 2-FB50×6×590(新設)
 - 3-PL80×9×580(新設)
 - 6-BN M16×35(新設)

- AK 7 1ヶ所当り(全4ヶ所)
- 1-CKPL550×3.2×850(新設)
 - 2-[100×50×5×7.5×880(新設)
 - 2-L65×65×6×590(新設)
 - 1-FB50×6×590(新設)
 - 2-PL80×9×580(新設)
 - 4-BN M16×35(新設)

- AK 4 1ヶ所当り(全4ヶ所)
- 1-CKPL550×3.2×1600(新設)
 - 1-[100×50×5×7.5×2180(新設)
 - 1-[100×50×5×7.5×1080(新設)
 - 2-L65×65×6×590(新設)
 - 2-FB50×6×590(新設)
 - 3-PL80×9×580(新設)
 - 6-BN M16×35(新設)

- AK 8 1ヶ所当り(全2ヶ所)
- 1-CKPL550×3.2×1450(新設)
 - 2-[100×50×5×7.5×1480(新設)
 - 2-L65×65×6×590(新設)
 - 1-FB50×6×590(新設)
 - 2-PL80×9×580(新設)
 - 4-BN M16×35(新設)

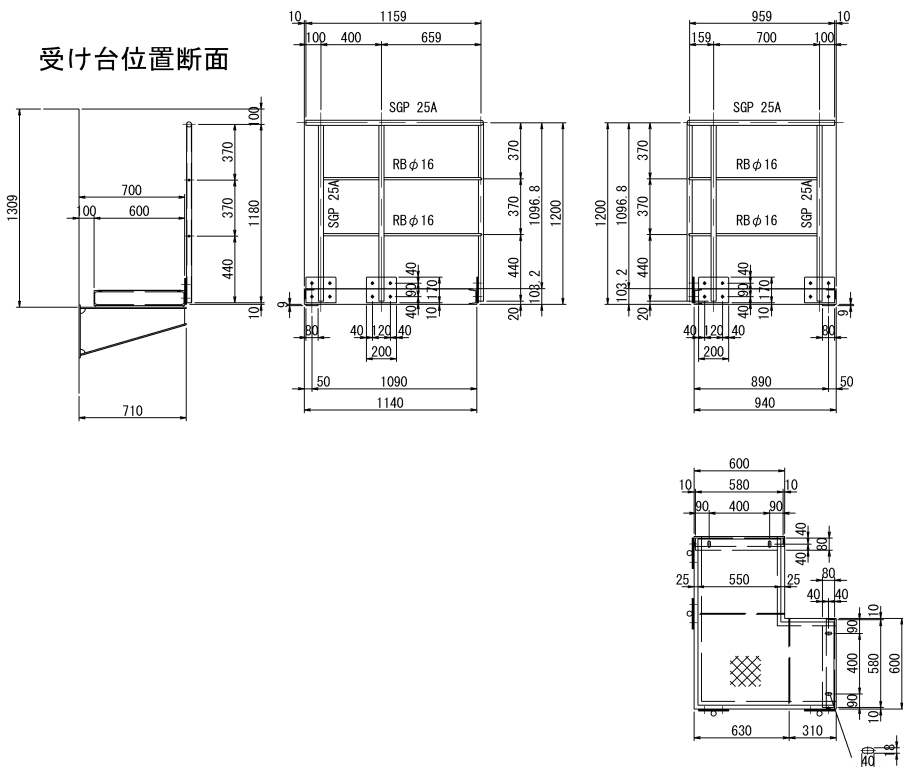
注記)

- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 特記なきスカーラップはR35とする。
- アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
- アンカー削孔前には鉄筋探索を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

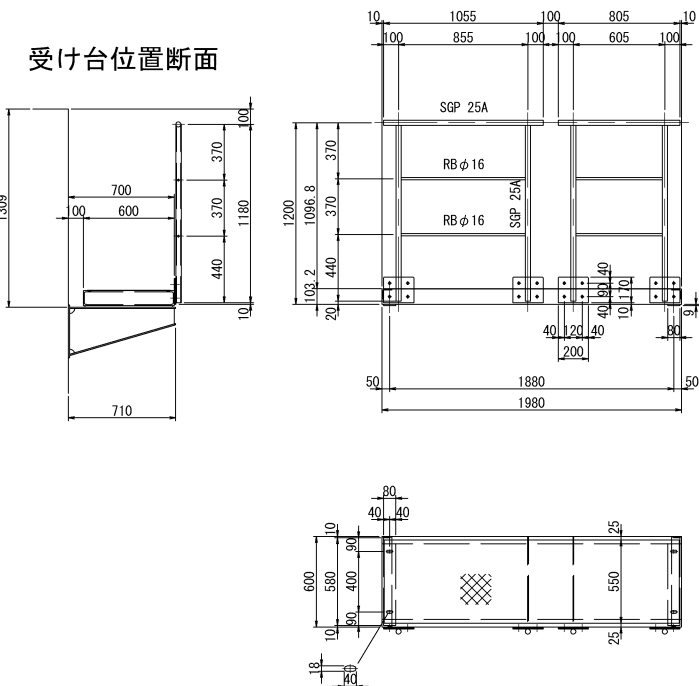
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 下部工検査路復旧図(その16)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P12橋脚

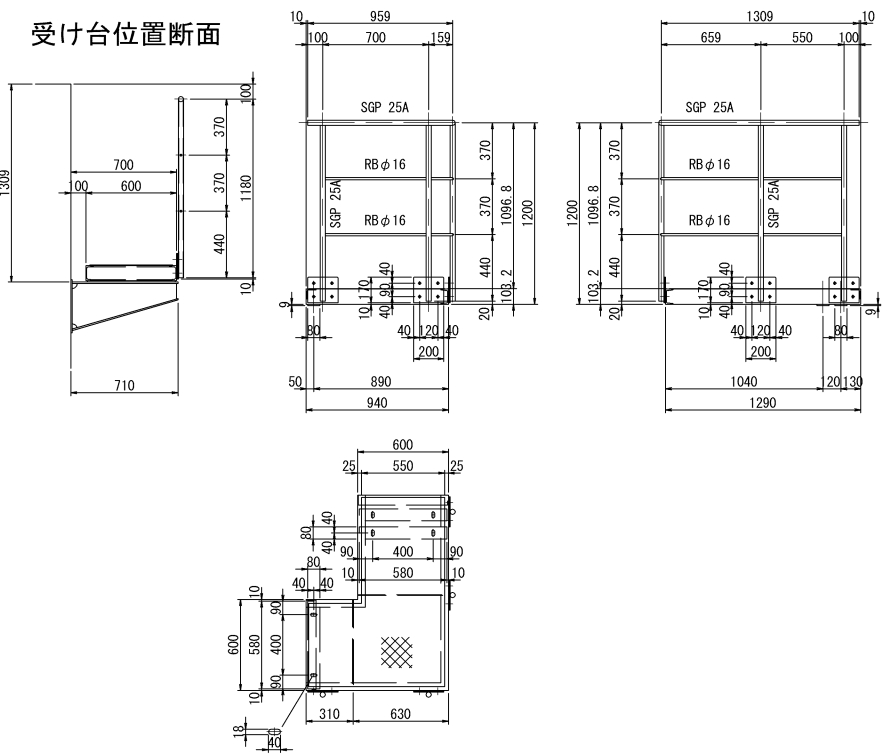
AK1 詳細図



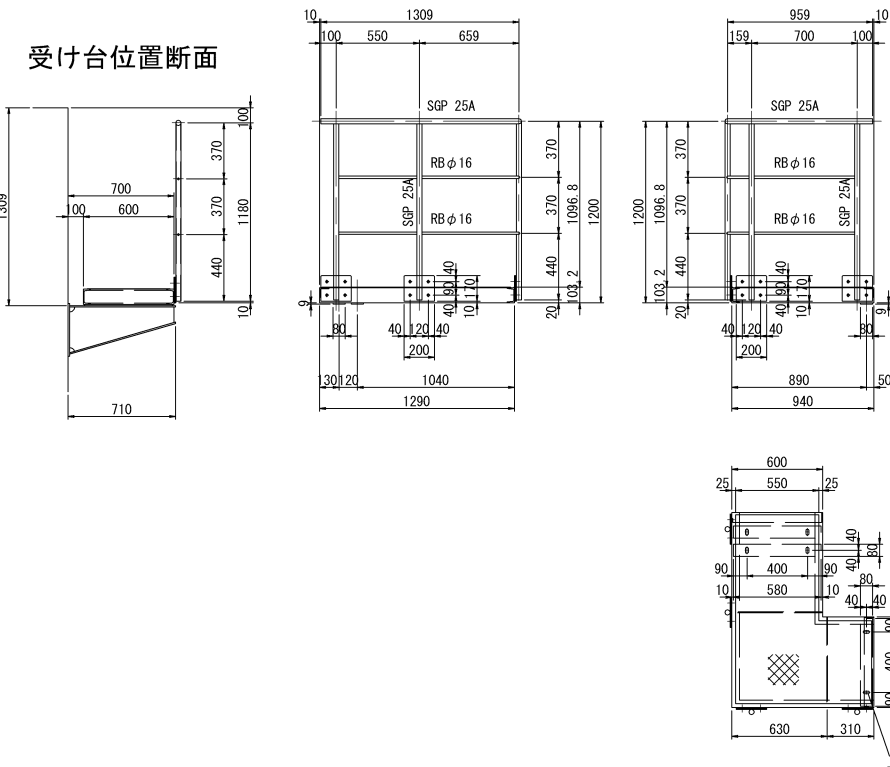
AK2 詳細図



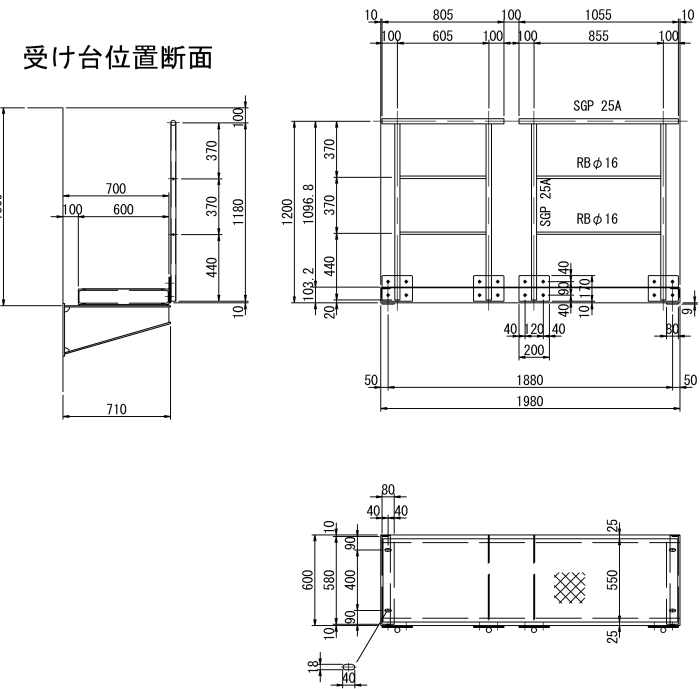
AK3 詳細図



AK4 詳細図



AK5 詳細図

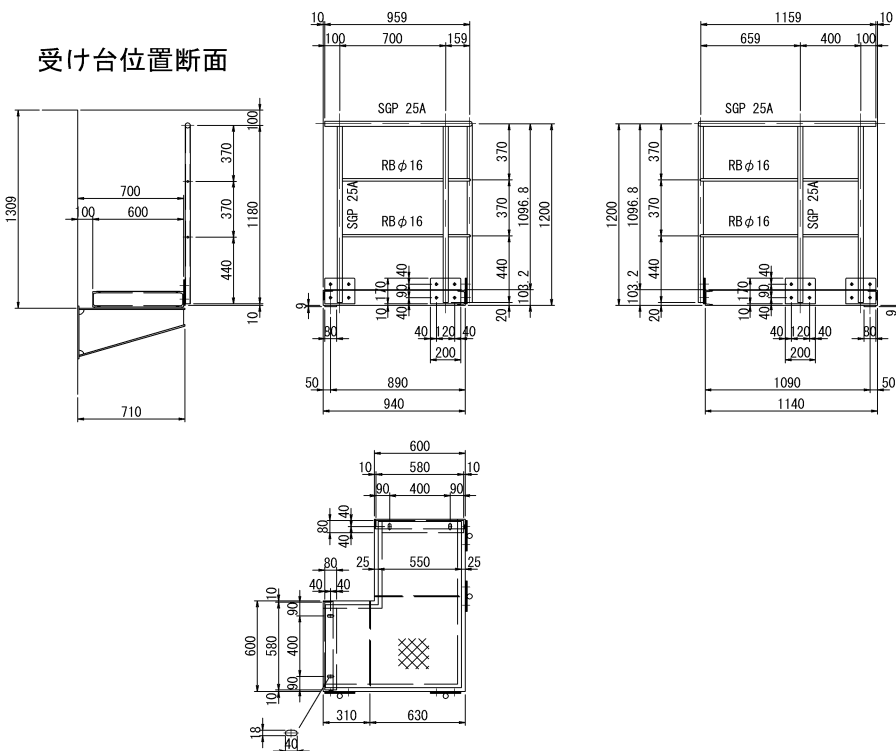


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼 板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

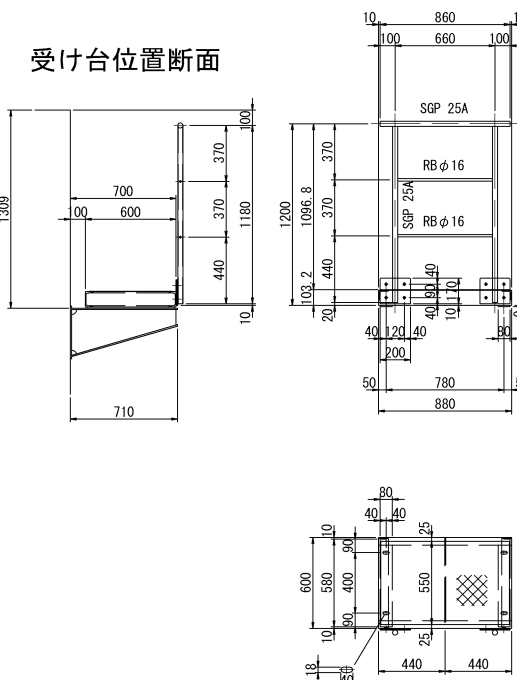
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その17)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P12橋脚

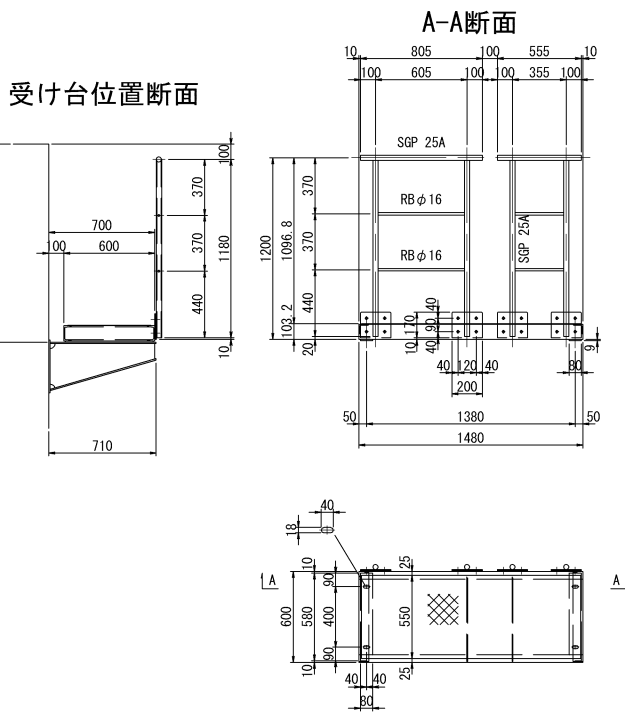
AK 6 詳細図



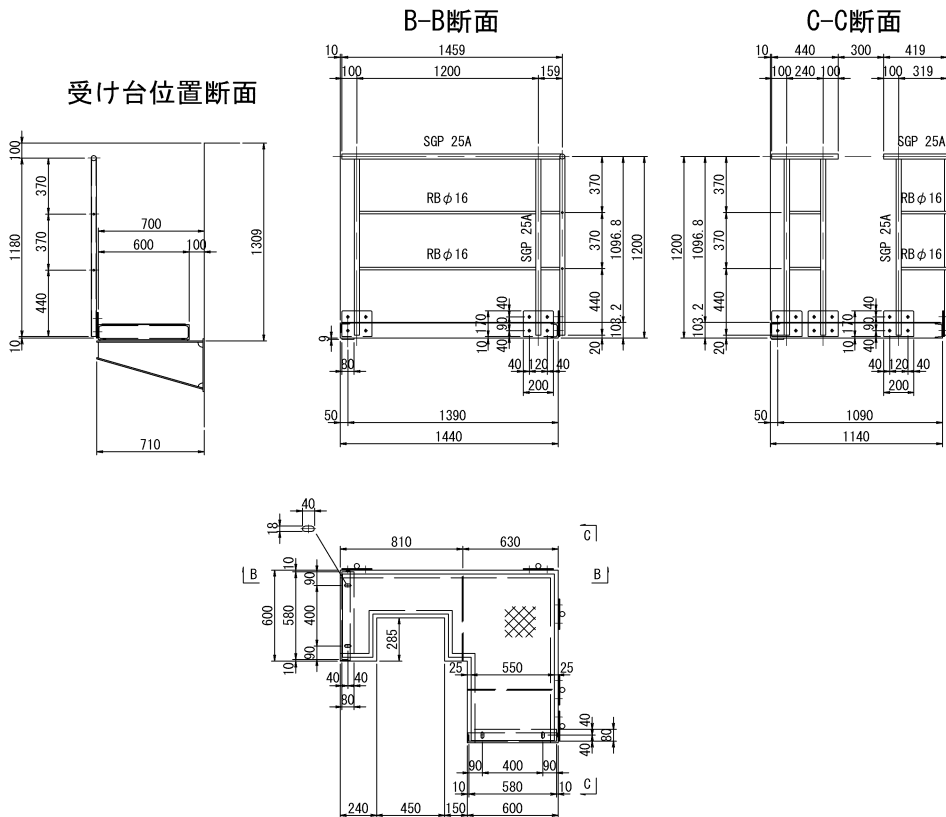
AK 7 詳細図



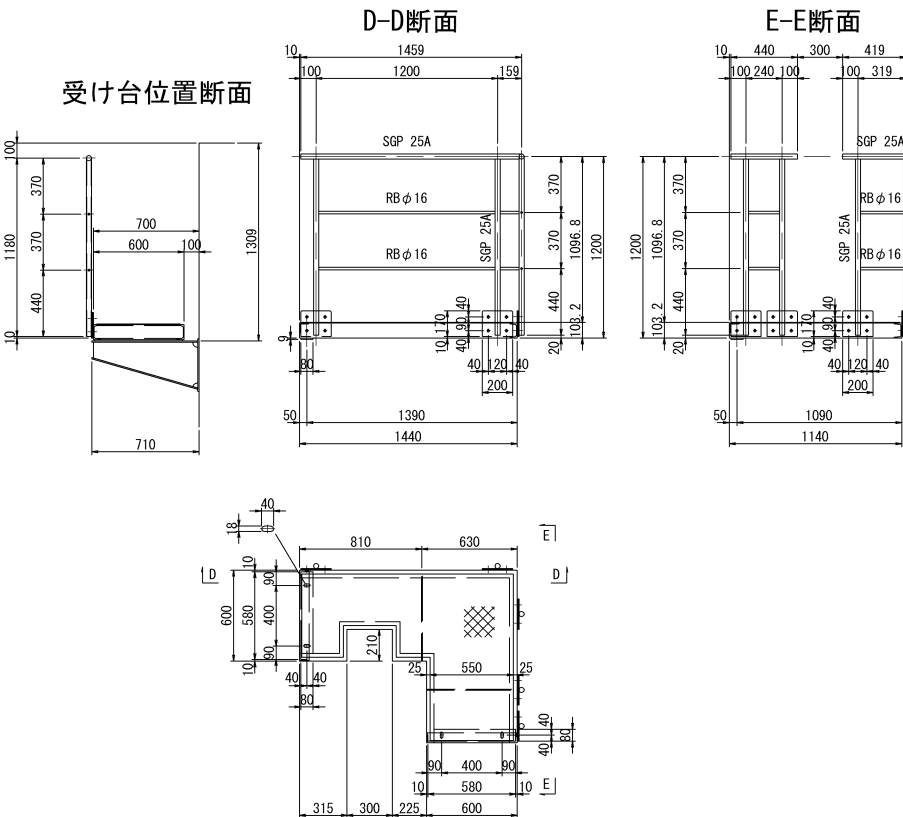
AK 8 詳細図



AK 9 詳細図



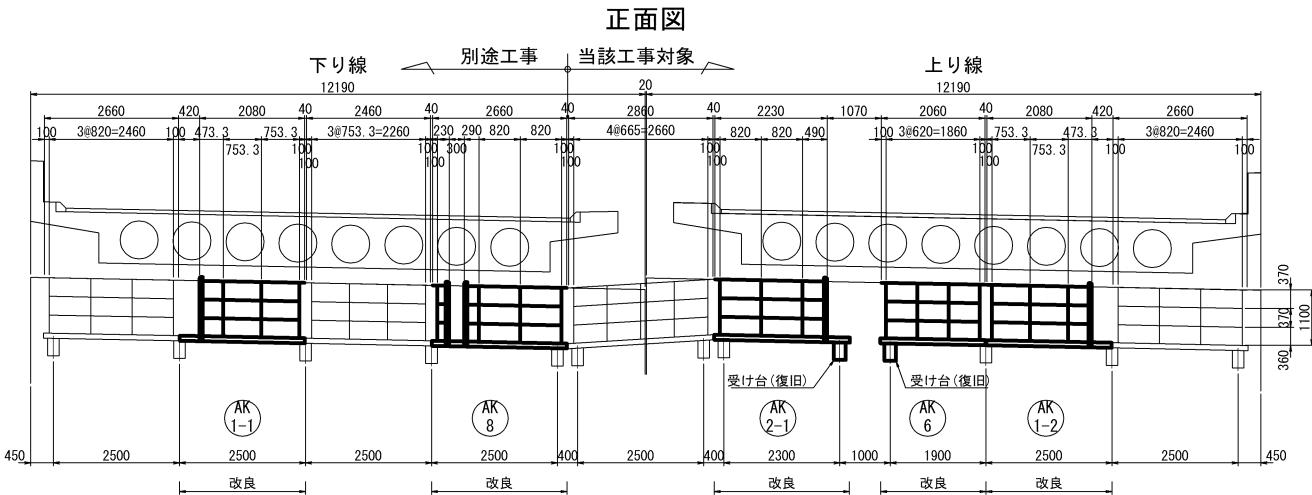
AK 10 詳細図



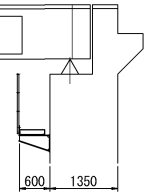
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼 板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その18)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

A2橋台

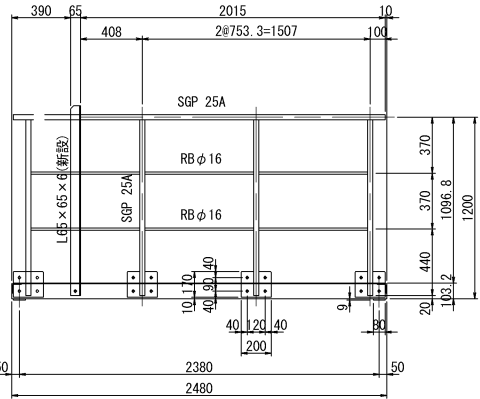


側面図

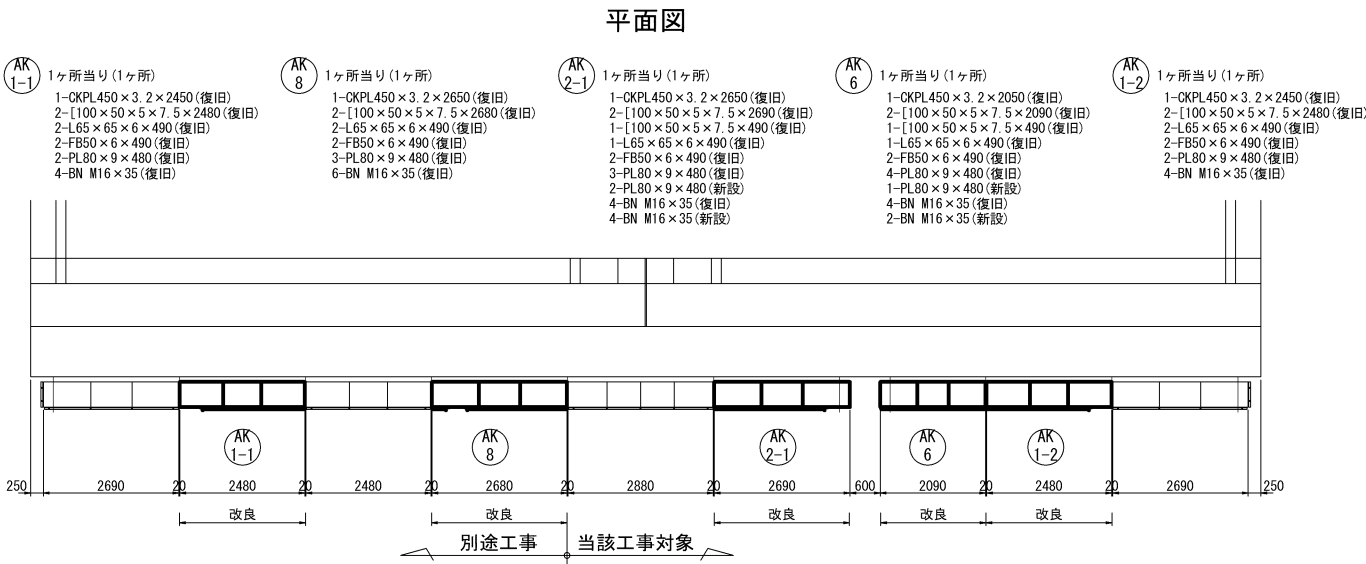
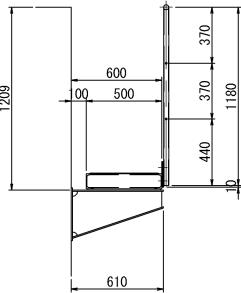


- AK 1-1 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×2015(加工)
 - 3-SGP25A×1180(復旧)
 - 1-L65×65×6×1255(新設)
 - 4-RBφ16×753(復旧)
 - 2-RBφ16×408(加工)
 - 1-PLφ34×3.2(復旧)
 - 6-PL200×6×170(復旧)
 - ※ 1-PL200×6×90(加工)
 - 12-BN M16×35(復旧)
 - 1-BN M16×35(新設)
 - ※ はガス切断を行う。
- AK 8 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×265(加工)
 - 1-SGP25A×1965(加工)
 - 4-SGP25A×1180(復旧)
 - 2-L65×65×6×1255(新設)
 - 2-RBφ16×165(加工)
 - 2-RBφ16×225(加工)
 - 4-RBφ16×820(復旧)
 - 2-PLφ34×3.2(復旧)
 - 8-PL200×6×170(復旧)
 - 16-BN M16×35(新設)
 - 2-BN M16×35(新設)
- AK 2-1 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×2165(加工)
 - 3-SGP25A×1180(復旧)
 - 1-L65×65×6×1255(新設)
 - 4-RBφ16×820(復旧)
 - 2-RBφ16×425(加工)
 - 1-PLφ34×3.2(復旧)
 - 6-PL200×6×170(復旧)
 - ※ 1-PL200×6×90(加工)
 - 12-BN M16×35(復旧)
 - 1-BN M16×35(新設)
 - ※ はガス切断を行う。
- AK 6 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×2060(復旧)
 - 4-SGP25A×1180(復旧)
 - 6-RBφ16×620(復旧)
 - 2-PLφ34×3.2(復旧)
 - 8-PL200×6×170(復旧)
 - 16-BN M16×35(復旧)
- AK 1-2 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×2015(加工)
 - 3-SGP25A×1180(復旧)
 - 1-L65×65×6×1255(新設)
 - 4-RBφ16×753(復旧)
 - 2-RBφ16×408(加工)
 - 1-PLφ34×3.2(復旧)
 - 6-PL200×6×170(復旧)
 - ※ 1-PL200×6×90(加工)
 - 12-BN M16×35(復旧)
 - 1-BN M16×35(新設)
 - ※ はガス切断を行う。

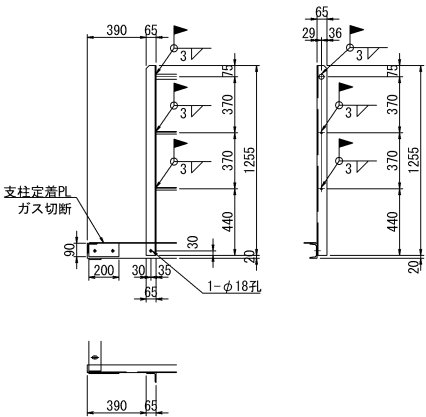
AK 1-1 詳細図 S=1:50



受け台位置断面



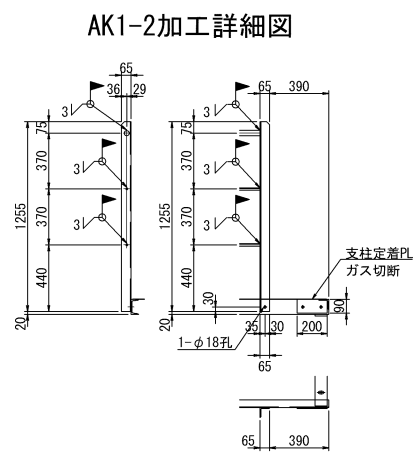
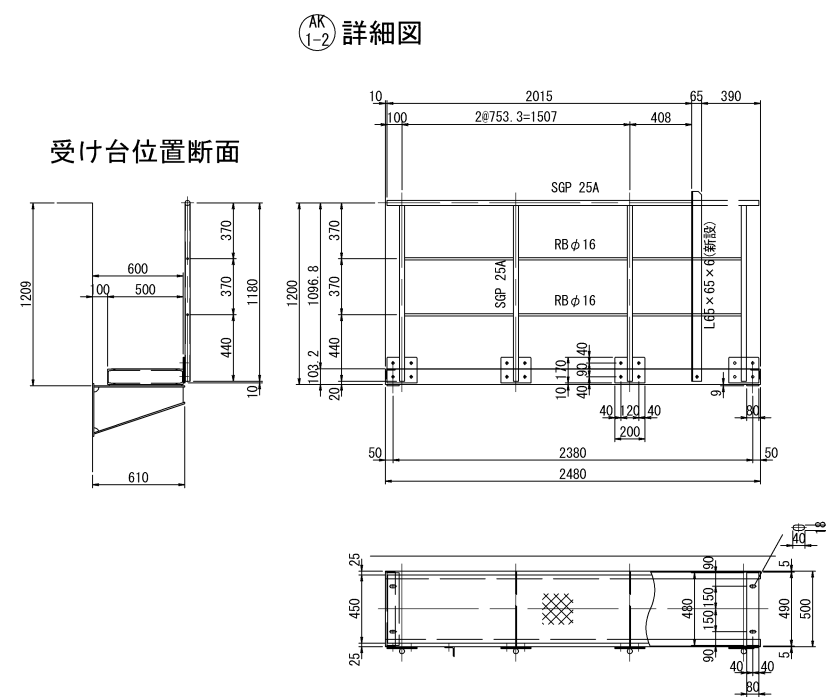
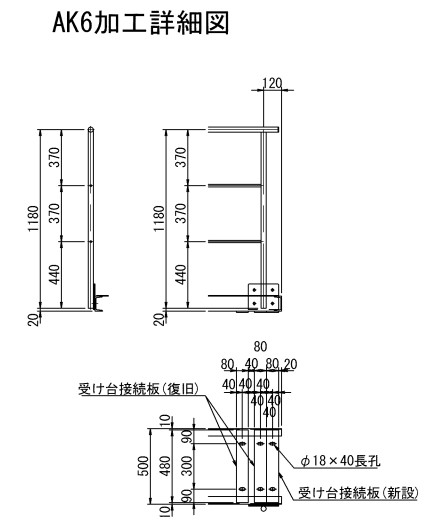
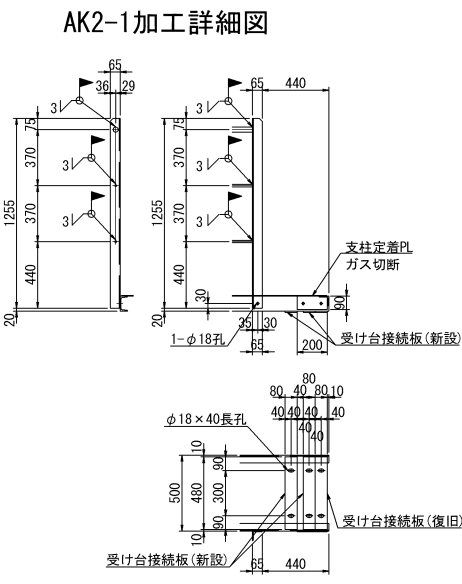
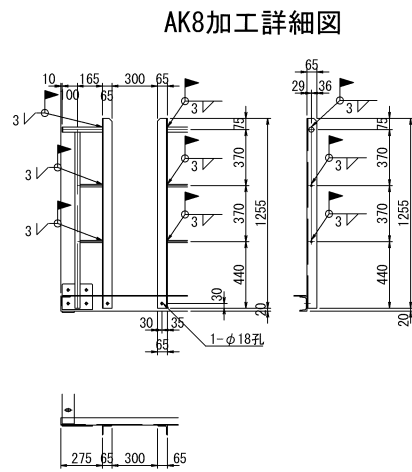
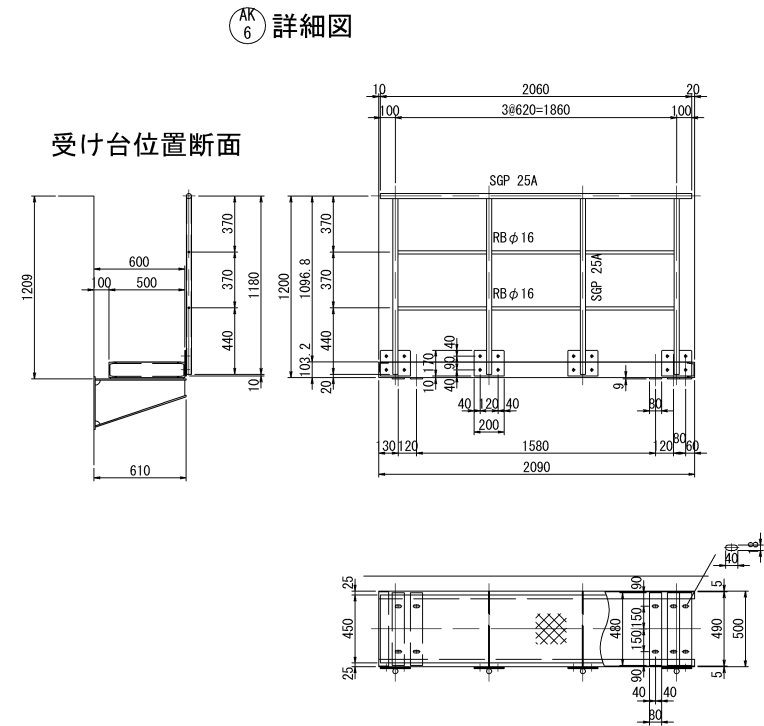
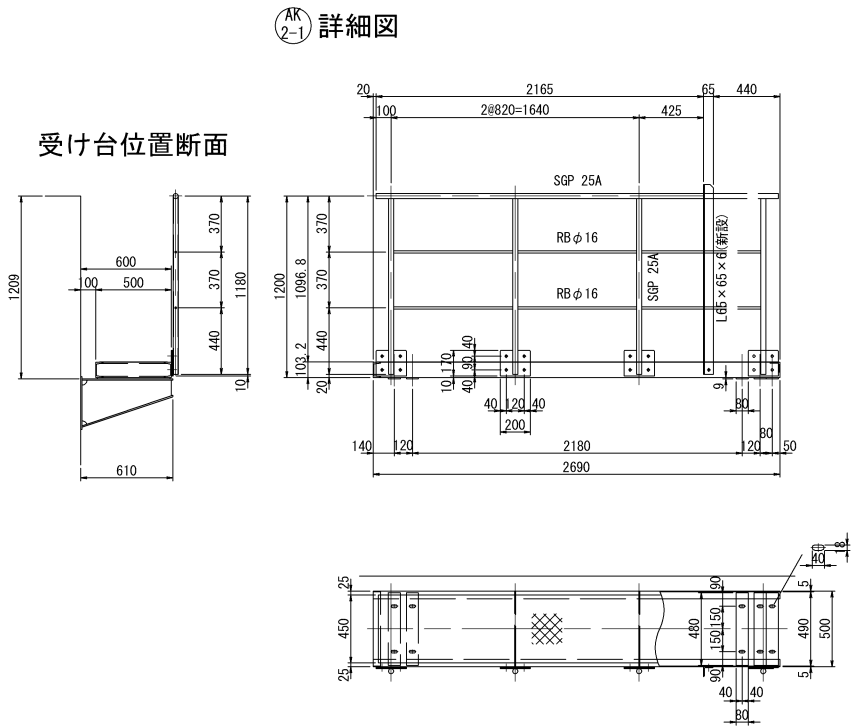
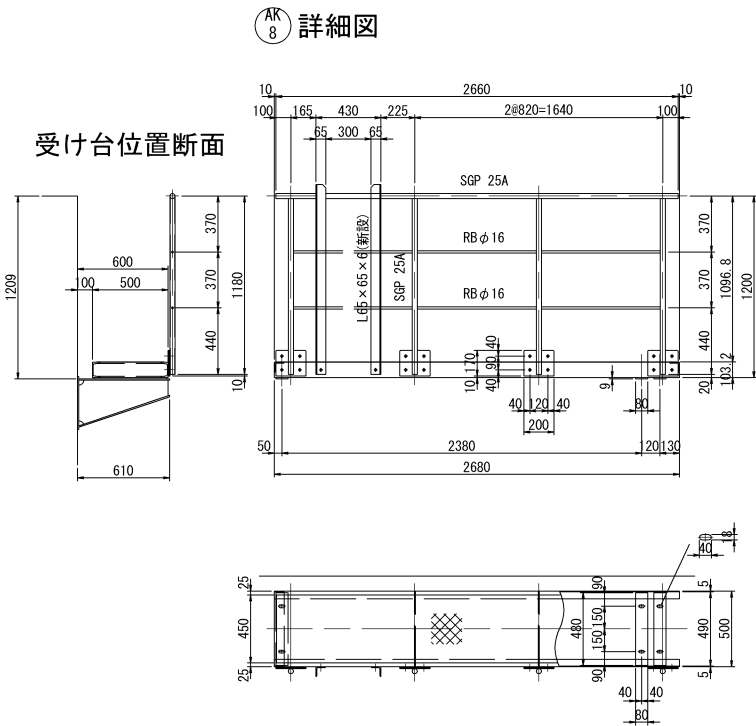
AK1-1加工詳細図 S=1:50



- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼 板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 下部工検査路復旧図(その19)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

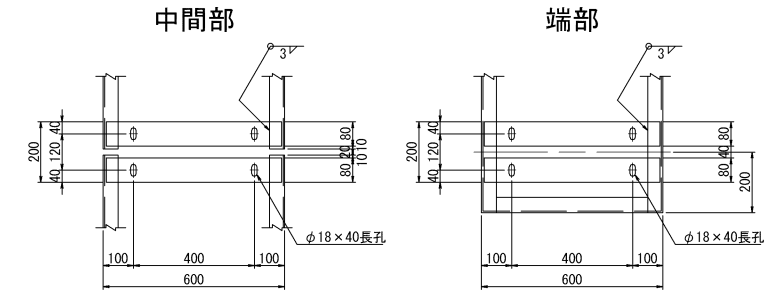
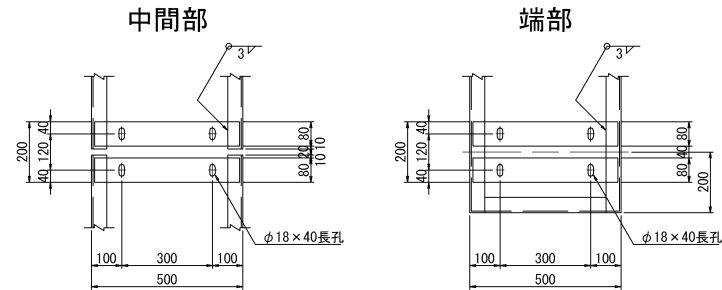
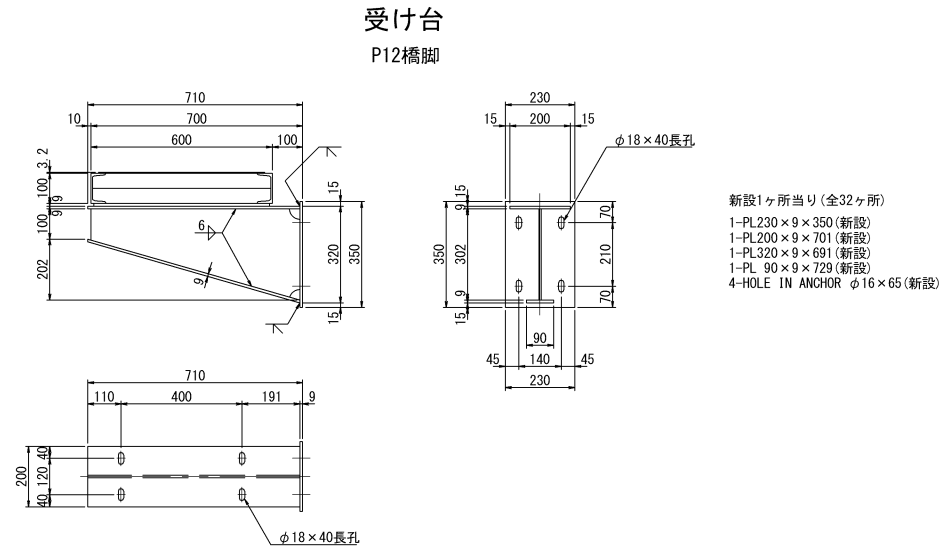
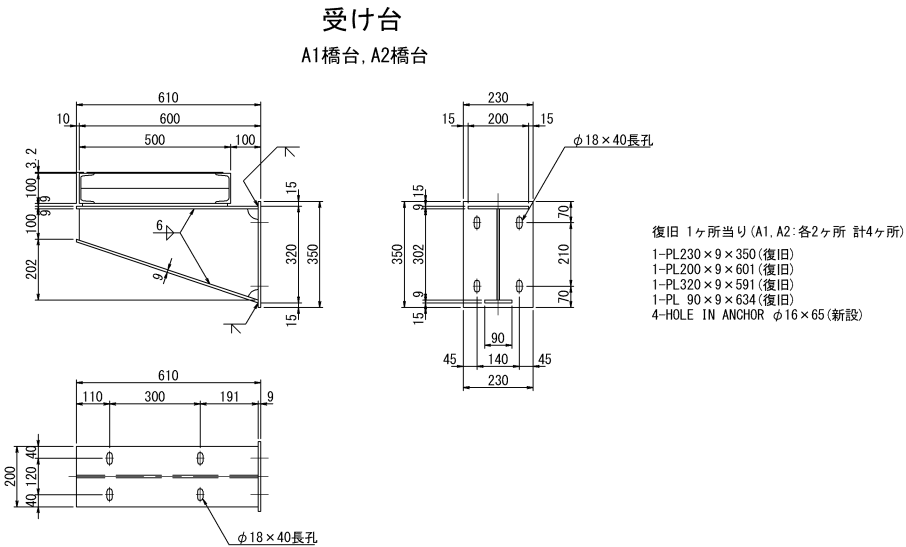
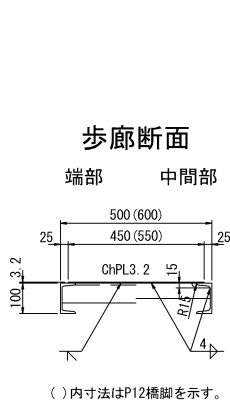
A2橋台



注記)

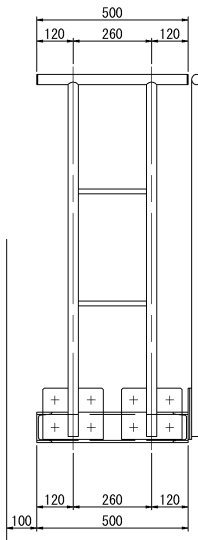
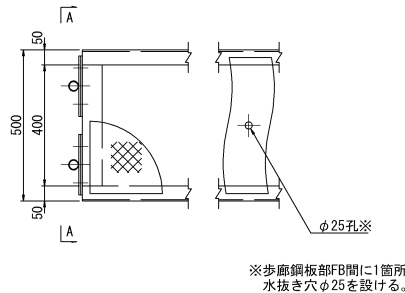
- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 特記なきスカーラップはR35とする。
- アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼 板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
- アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その20)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



A-A断面

端部手摺詳細図

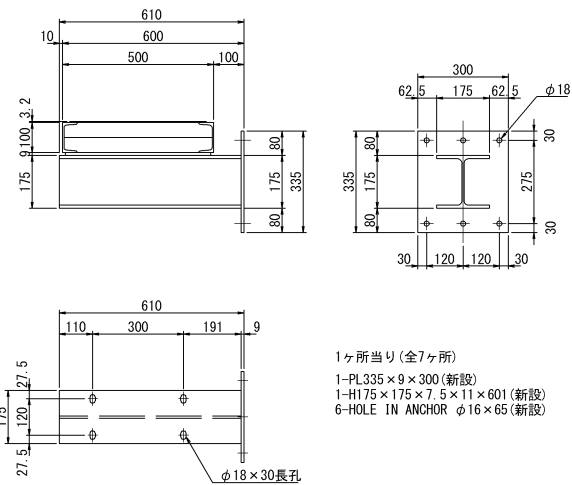


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融
亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼 板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を
確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

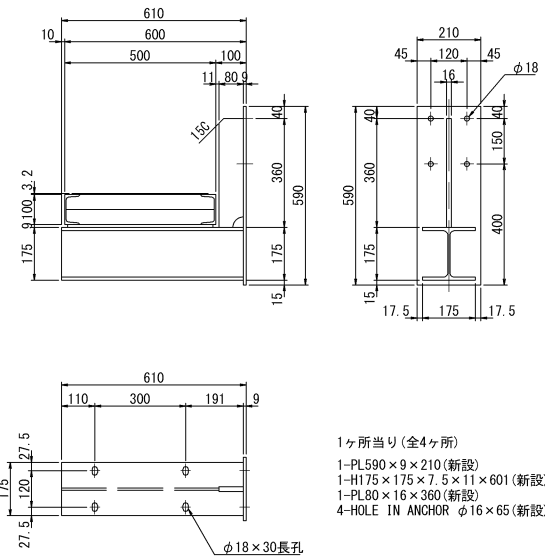
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その21)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P3橋脚

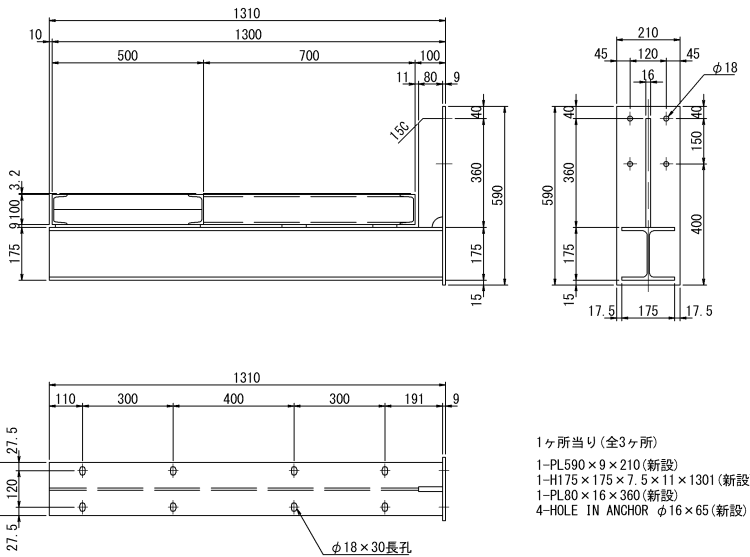
受け台1



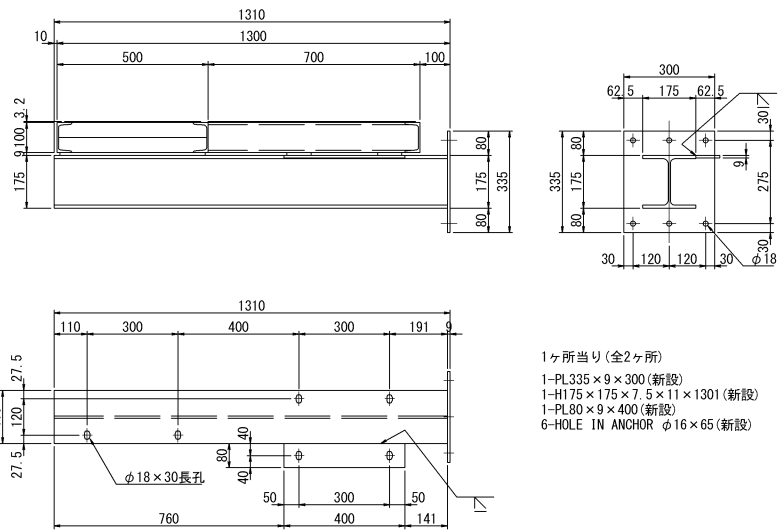
受け台2



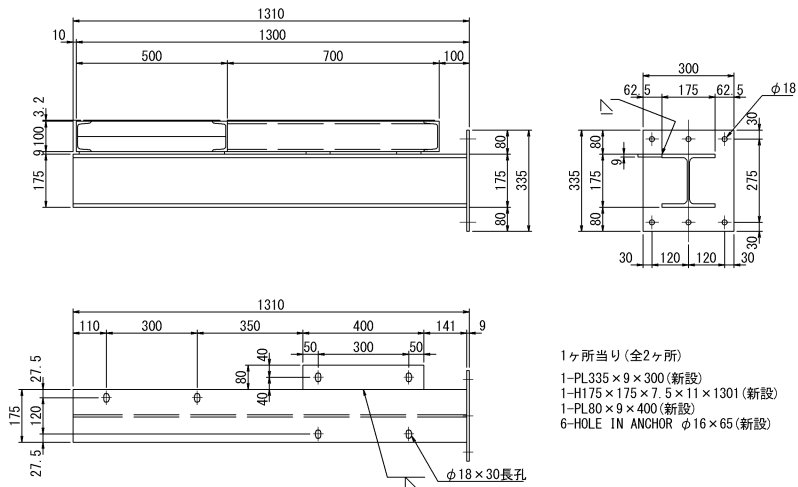
受け台3



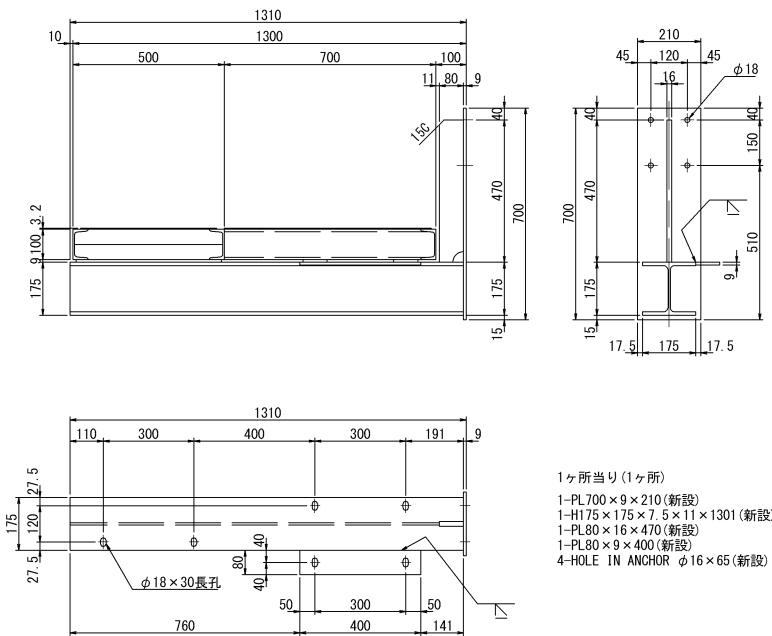
受け台4



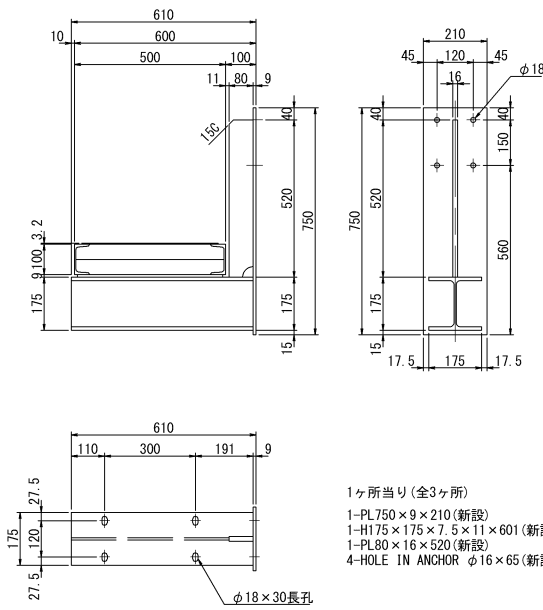
受け台5



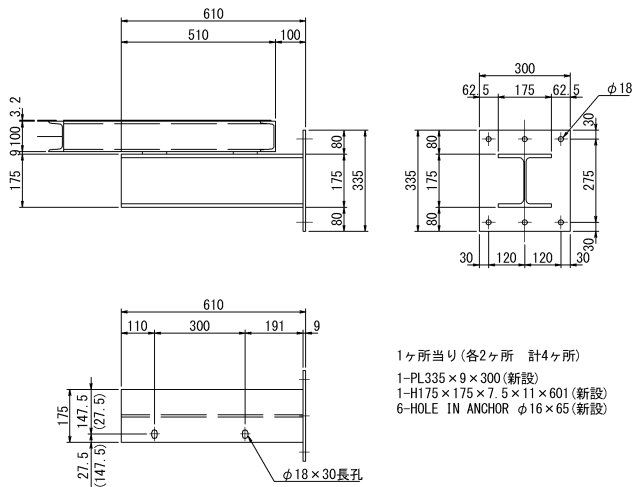
受け台6



受け台7



受け台8(受け台11)



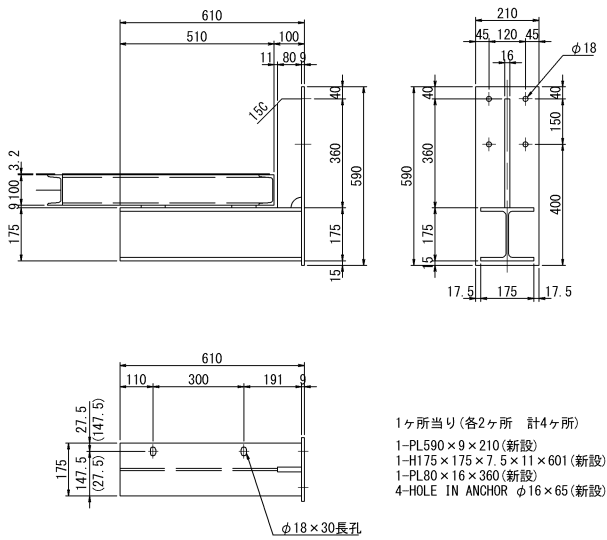
※()内寸法は、受け台11の寸法を示す。

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その22)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

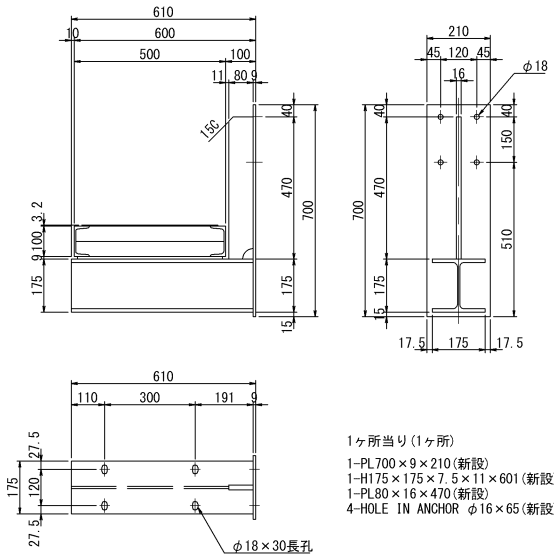
P3橋脚

受け台9 (受け台10)

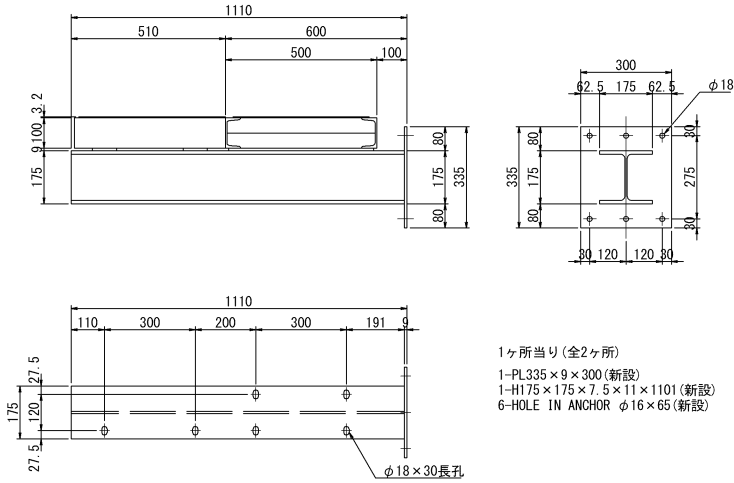


※()内寸法は、受け台10の寸法を示す。

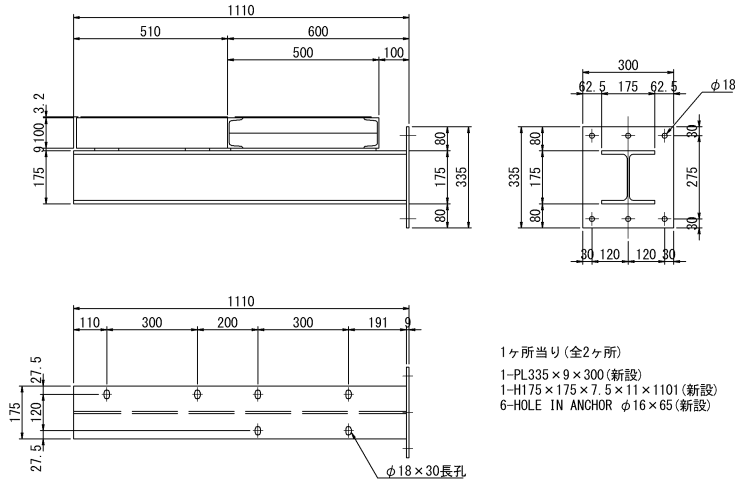
受け台12



受け台13



受け台14

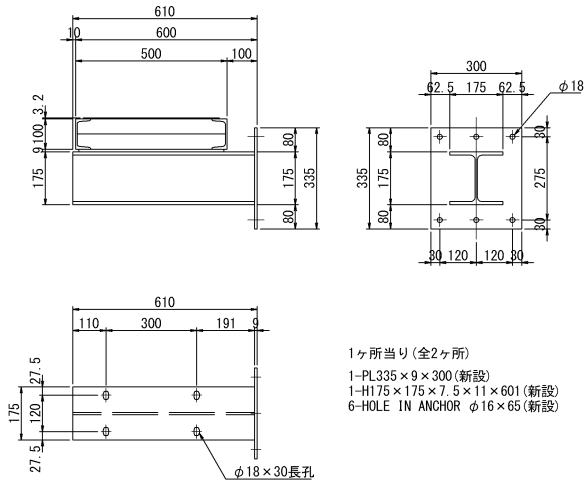


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

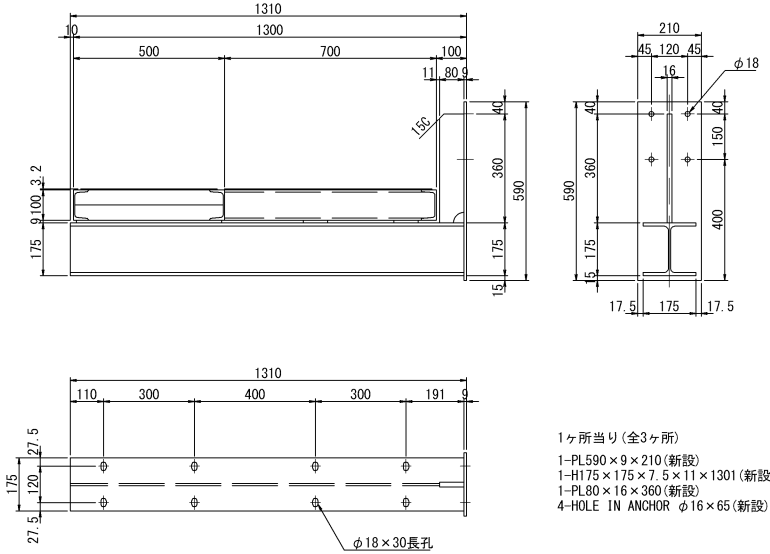
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その23)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P4橋脚

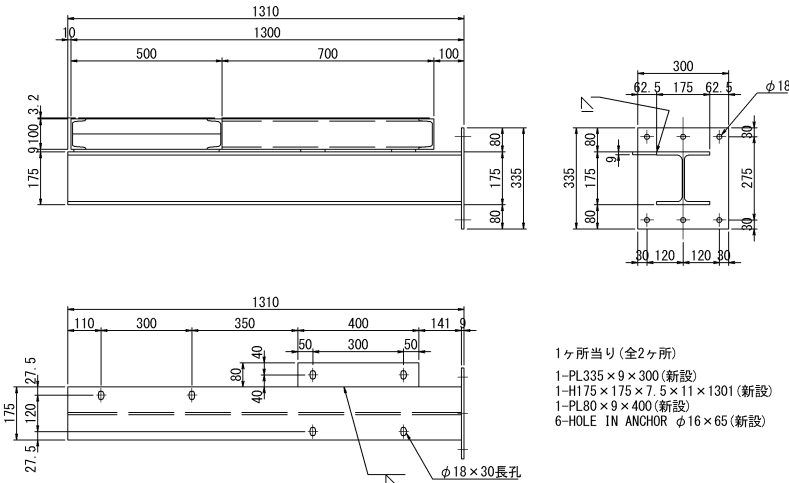
受け台1



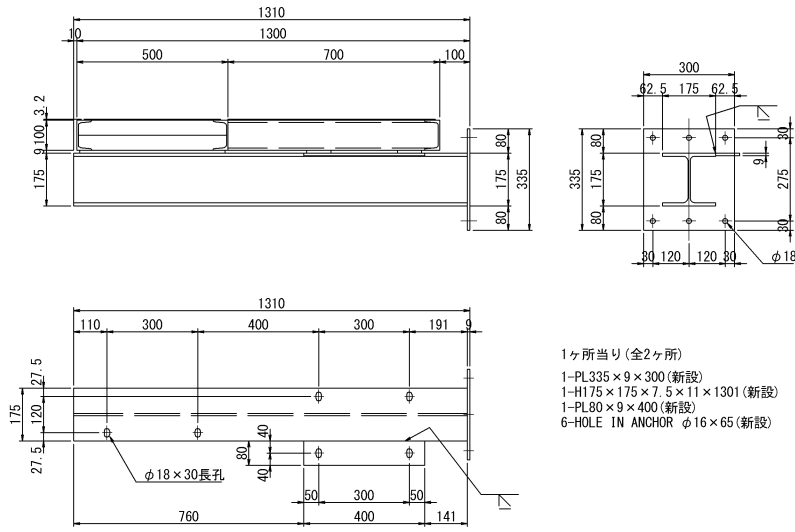
受け台2



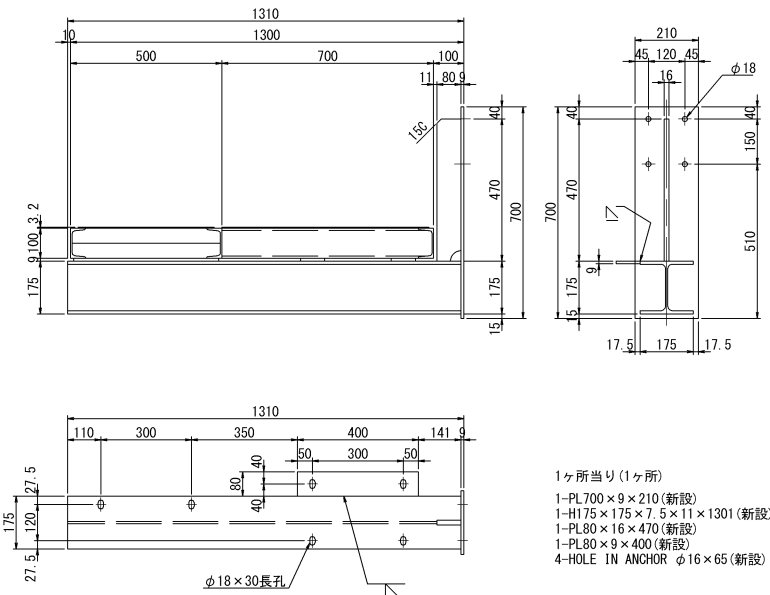
受け台3



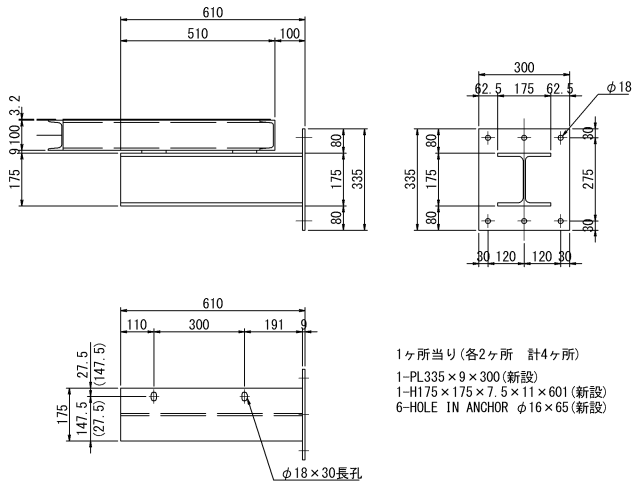
受け台4



受け台5



受け台6(受け台9)



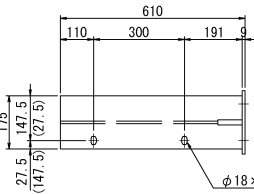
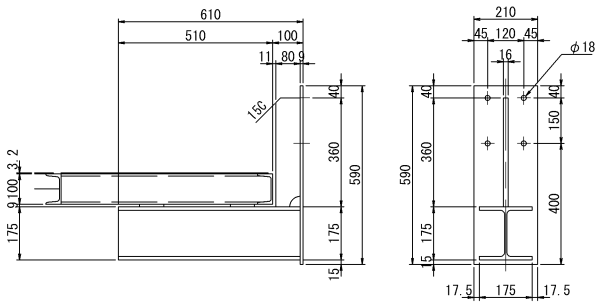
※()内寸法は、受け台9の寸法を示す。

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼 板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その24)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P4橋脚

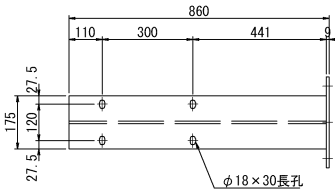
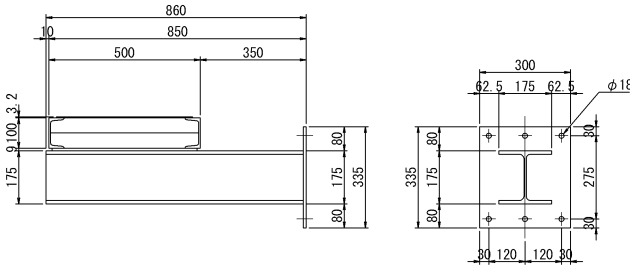
受け台7 (受け台8)



1ヶ所当り (各2ヶ所 計4ヶ所)
1-PL590×9×210 (新設)
1-H175×175×7.5×11×601 (新設)
1-PL80×16×360 (新設)
4-HOLE IN ANCHOR φ16×65 (新設)

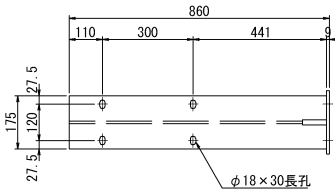
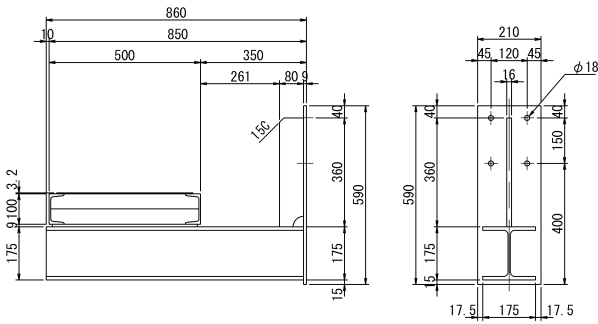
※()内寸法は、受け台8の寸法を示す。

受け台10



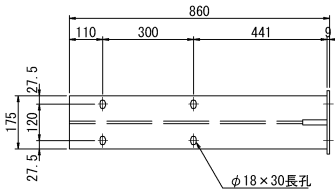
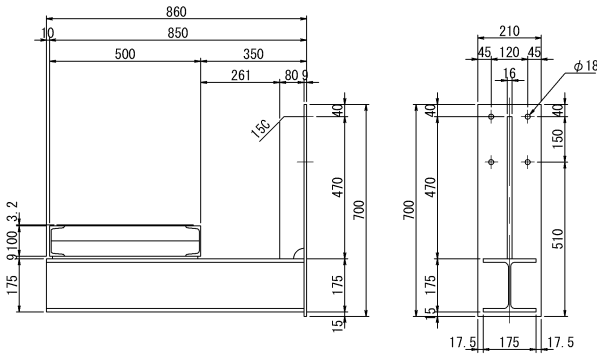
1ヶ所当り (全7ヶ所)
1-PL335×9×300 (新設)
1-H175×175×7.5×11×851 (新設)
6-HOLE IN ANCHOR φ16×65 (新設)

受け台11



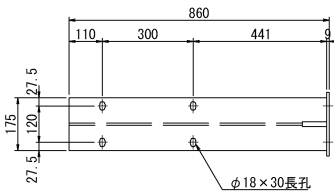
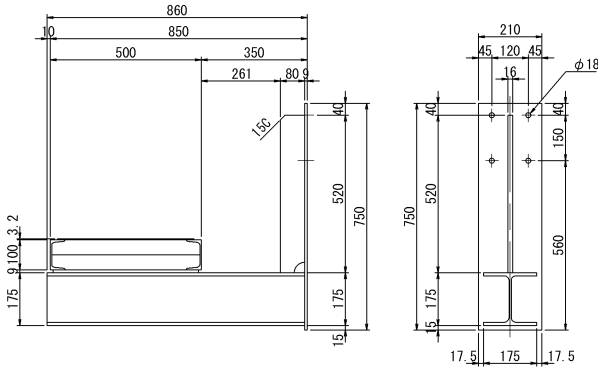
1ヶ所当り (全3ヶ所)
1-PL590×9×210 (新設)
1-H175×175×7.5×11×851 (新設)
1-PL80×16×360 (新設)
4-HOLE IN ANCHOR φ16×65 (新設)

受け台12



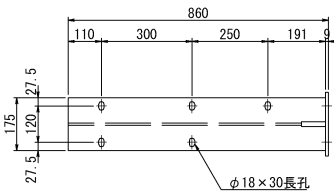
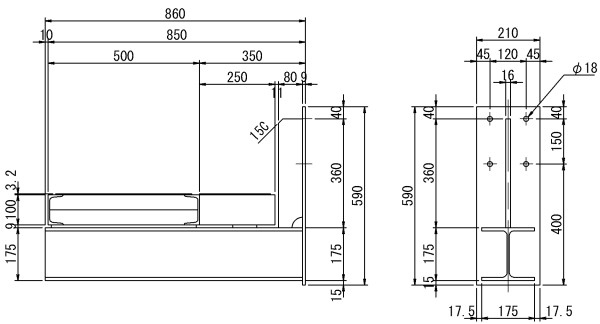
1ヶ所当り (1ヶ所)
1-PL700×9×210 (新設)
1-H175×175×7.5×11×851 (新設)
1-PL80×16×470 (新設)
4-HOLE IN ANCHOR φ16×65 (新設)

受け台13



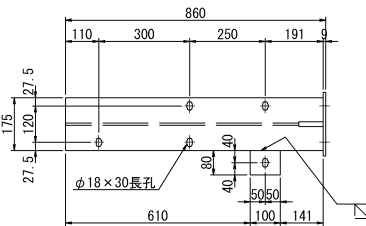
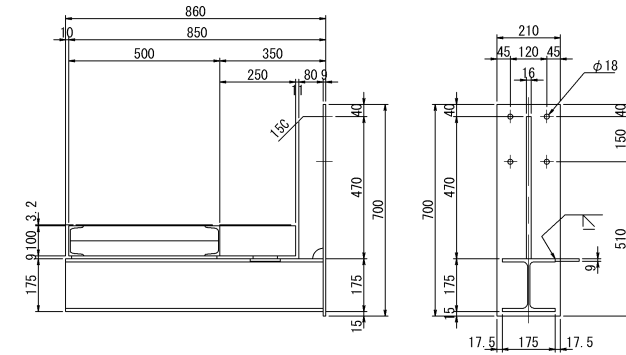
1ヶ所当り (1ヶ所)
1-PL750×9×210 (新設)
1-H175×175×7.5×11×851 (新設)
1-PL80×16×520 (新設)
4-HOLE IN ANCHOR φ16×65 (新設)

受け台14



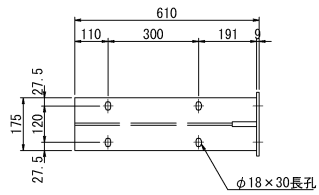
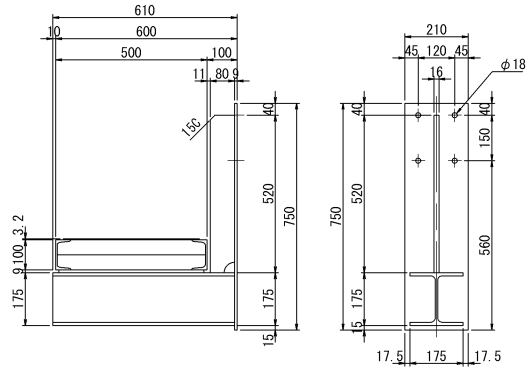
1ヶ所当り (全1ヶ所)
1-PL590×9×210 (新設)
1-H175×175×7.5×11×851 (新設)
1-PL80×16×360 (新設)
4-HOLE IN ANCHOR φ16×65 (新設)

受け台15



1ヶ所当り (1ヶ所)
1-PL700×9×210 (新設)
1-H175×175×7.5×11×851 (新設)
1-PL80×16×470 (新設)
1-PL80×9×100 (新設)
4-HOLE IN ANCHOR φ16×65 (新設)

受け台16

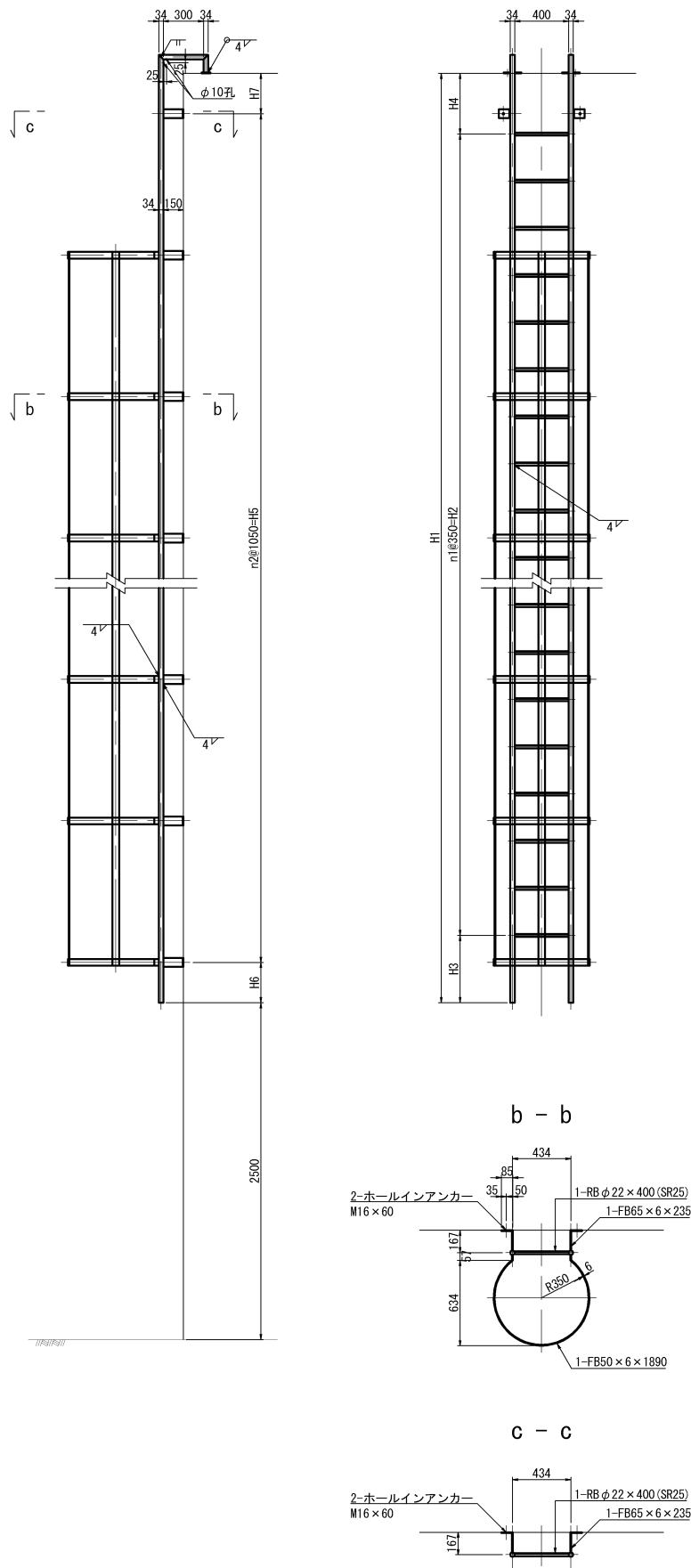


1ヶ所当り (全2ヶ所)
1-PL750×9×210 (新設)
1-H175×175×7.5×11×851 (新設)
1-PL80×16×360 (新設)
4-HOLE IN ANCHOR φ16×65 (新設)

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカラーップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼 板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その25)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

梯子

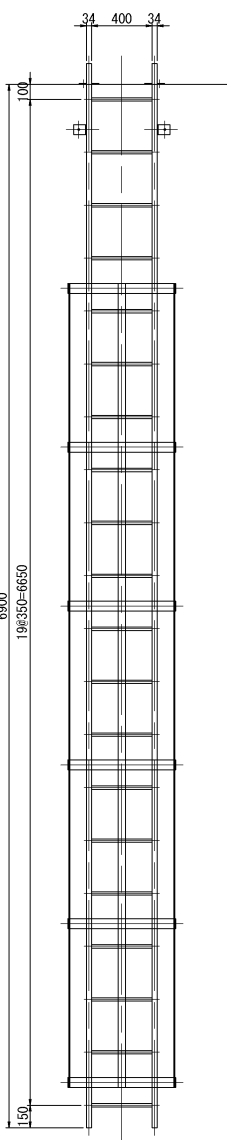
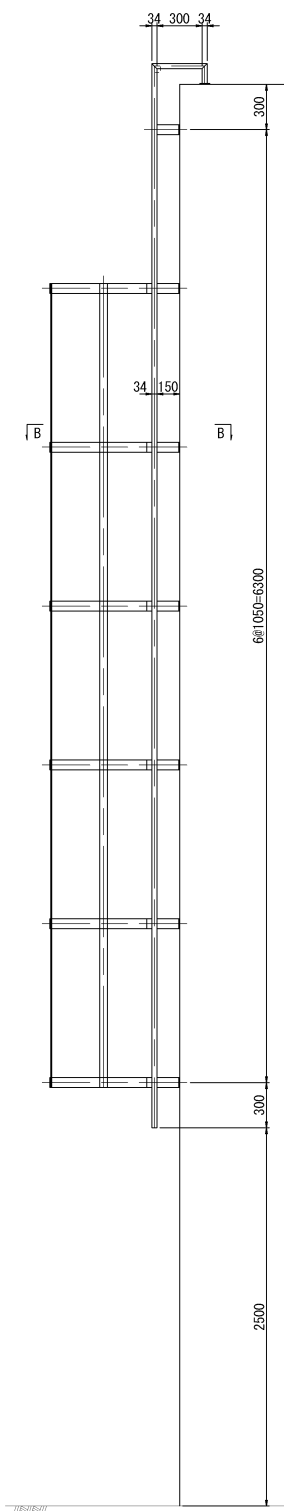


寸法表

	(A1)	(P3)	(P4)	(P12)	
	上	上	上	上	下
H1	6900	13900	15500	2000	2000
H2	6650	13650	15050	1750	1750
H3	150	150	250	150	150
H4	100	100	200	100	100
H5	6300	12600	14700	-	-
H6	300	550	400	-	-
H7	300	750	400	-	-
n1	19	39	43	5	5
n2	6	12	14	-	-
L1	7468	14468	16068	2568	2568
L2	5315	11615	13715	-	-
N1	20	40	44	6	6
N2	6	12	14	-	-
N3	14	26	30	4	4
N4	16	28	32	6	6

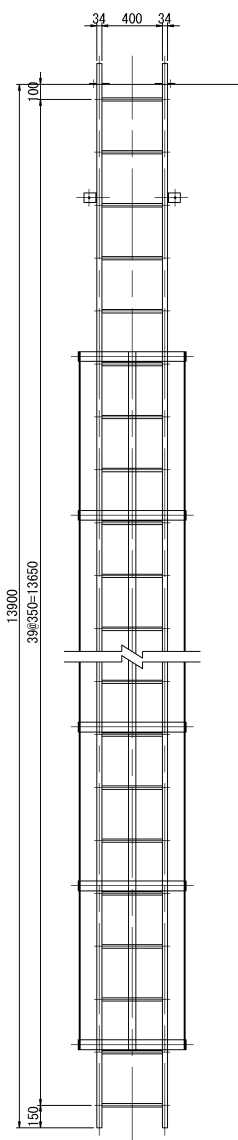
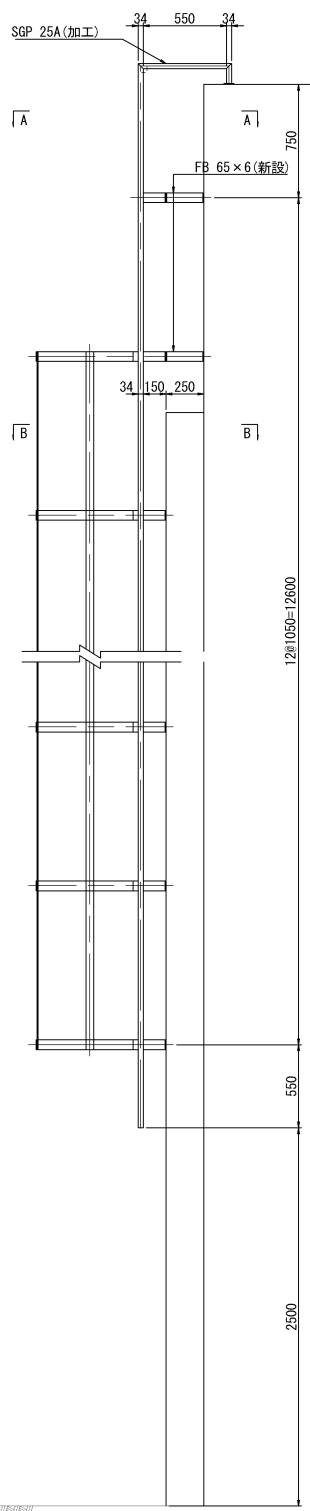
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 昇降梯子撤去図		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

A1橋台



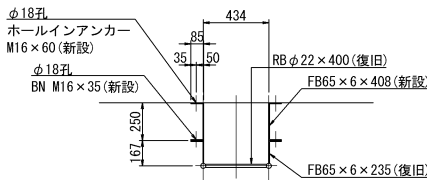
- 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 2-SGP 25A×7468 (復旧)
 - 20-RB 22φ×400 (復旧)
 - 6-FB 65×6×1890 (復旧)
 - 14-FB 65×6×235 (復旧)
 - 3-FB 65×6×5315 (復旧)
 - 2-FB 65×6×130 (復旧)
 - 16-ホールインアンカー M16×60 (新設)

P3橋脚

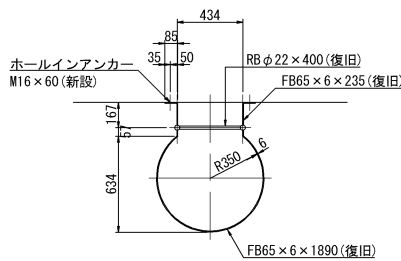


- 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 2-SGP 25A×14718 (加工)
 - 40-RB 22φ×400 (復旧)
 - 12-FB 65×6×1890 (復旧)
 - 26-FB 65×6×235 (復旧)
 - 4-FB 65×6×408 (新設)
 - 3-FB 65×6×11615 (復旧)
 - 2-FB 65×6×130 (復旧)
 - 4-BN M16×35 (新設)
 - 28-ホールインアンカー M16×60 (新設)

A-A断面



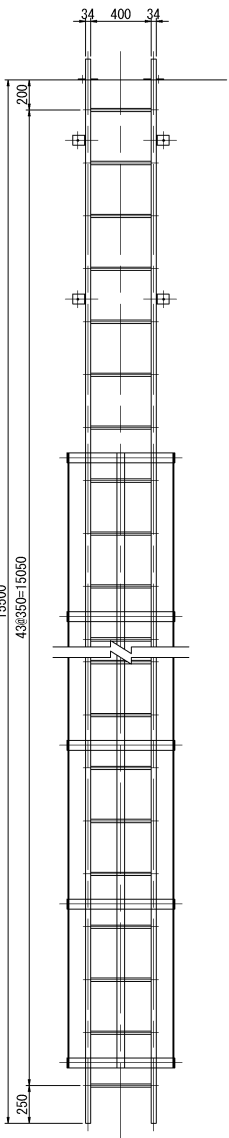
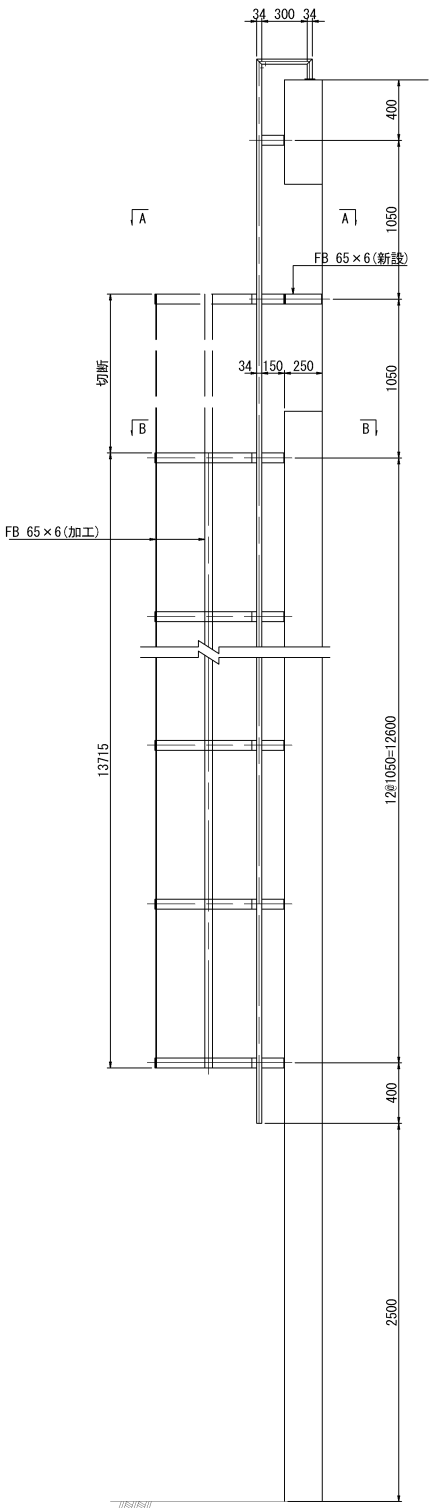
B-B断面



- 注記
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

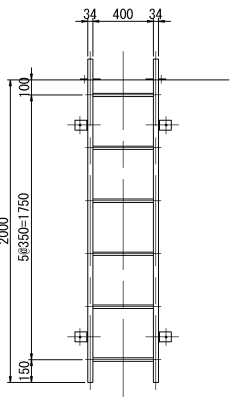
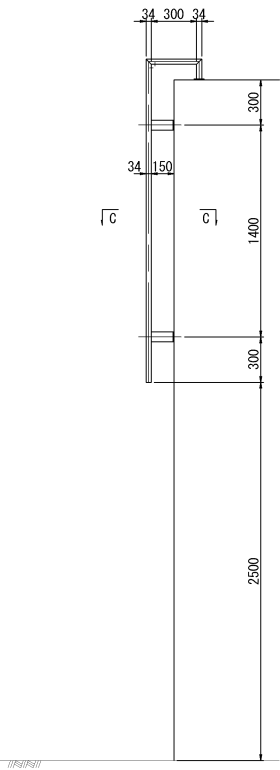
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 昇降梯子復旧図(その1)		
	縮 尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P4橋脚



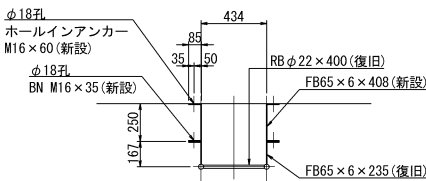
1ヶ所当り (1ヶ所)
2-SGP 25A x 16068 (復旧)
44-RB 22 φ × 400 (復旧)
13-FB 65 × 6 × 1890 (復旧)
30-FB 65 × 6 × 235 (復旧)
2-FB 65 × 6 × 408 (新設)
3-FB 65 × 6 × 12665 (加工)
2-FB 65 × 6 × 130 (復旧)
2-BN M16 × 35 (新設)
32-ホールインアンカー M16 × 60 (新設)

P12橋脚

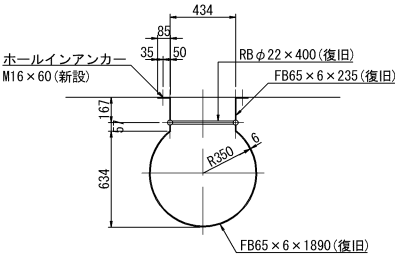


1ヶ所当り (金4ヶ所)
2-SGP 25A × 2568 (復旧)
6-RB 22 φ × 400 (復旧)
4-FB 65 × 6 × 235 (復旧)
2-FB 65 × 6 × 130 (復旧)
6-ホールインアンカー M16 × 60 (新設)

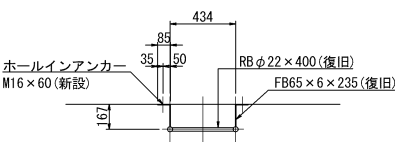
A-A断面



B-B断面

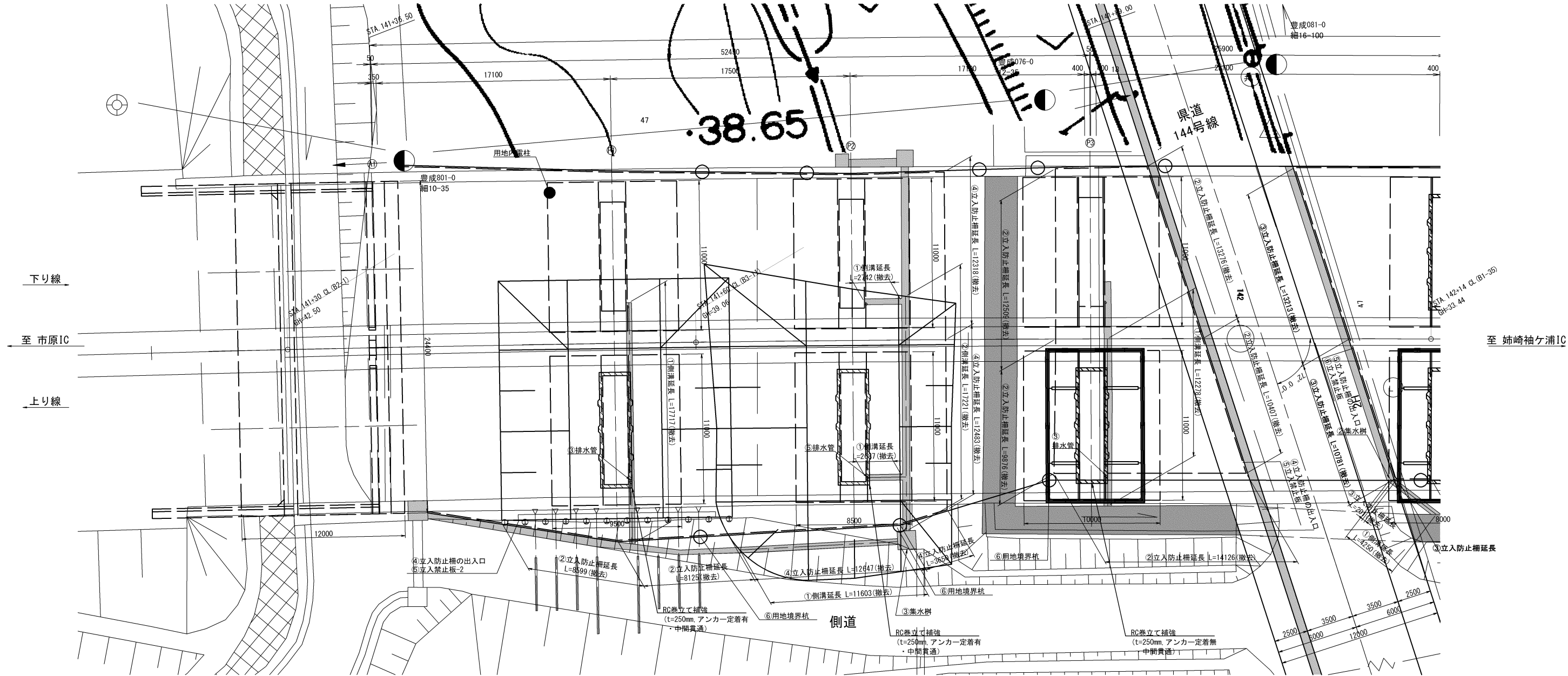


C-C断面



- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 昇降梯子復旧図(その2)		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



P1橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	17.3	撤去
②	立入防止柵		m	16.7	撤去
③	排水管		m	12.1	撤去
④	立入防止柵の出入口		箇所	1	撤去
⑤	立入禁止板		枚	2	撤去
⑥	用地境界杭		本	1	撤去

P3橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	12.3	撤去
②	立入防止柵		m	60.2	撤去
③	排水管		m	17.1	撤去
④	立入防止柵の出入口		箇所	1	撤去
⑤	立入禁止板		枚	1	撤去
⑥	用地境界杭		本	1	撤去

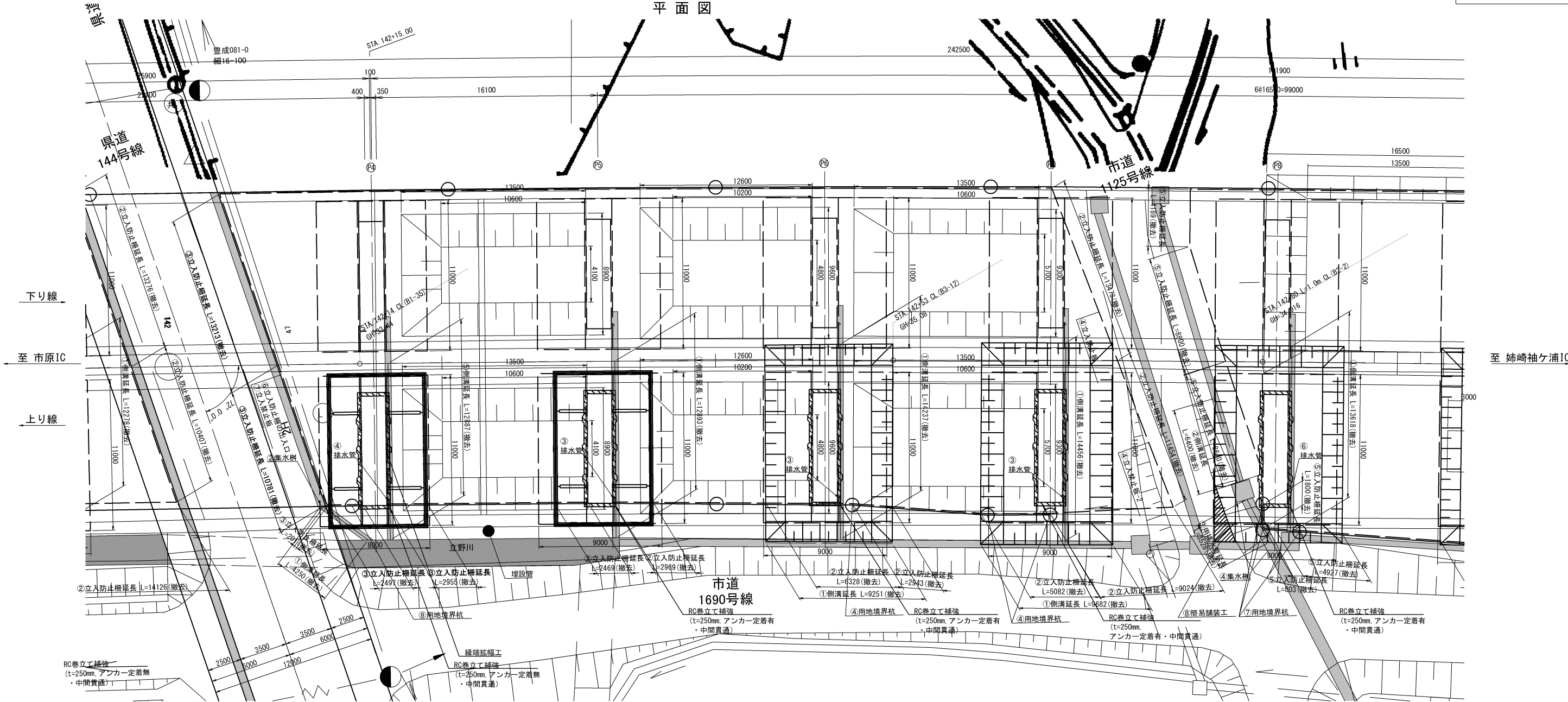
P2橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	17.0	撤去
②	側溝	Ds-PuL・0.60・0.60	m	17.2	撤去
③	集水樹	Dc~0.80・0.80・0.80	基	1	撤去
④	立入防止柵		m	41.1	撤去
⑤	排水管		m	17.6	撤去
⑥	用地境界杭		本	1	撤去

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 付帯工 撤去図 (その1)		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面図



P4橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL (CH1) ・ 0.40 ・ 0.40	m	4.3	撤去
②	集水樹	Dc〃(G) - 0.50 ・ 0.80 ・ 0.80	基	1	撤去
③	立入防止柵		m	29.6	撤去
④	排水管		m	19.2	撤去
⑤	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	12.9	撤去
⑥	立入防止柵の出入口		箇所	1	撤去
⑦	立入禁止板		枚	1	撤去
⑧	用地境界杭		本	1	撤去

P5橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	12.9	撤去
②	立入防止柵		m	5.4	撤去
③	排水管		m	17.9	撤去

P6橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	23.5	撤去
②	立入防止柵		m	9.3	撤去
③	排水管		m	17.7	撤去
④	用地境界杭		本	1	撤去

P7橋脚側
撤去数量表

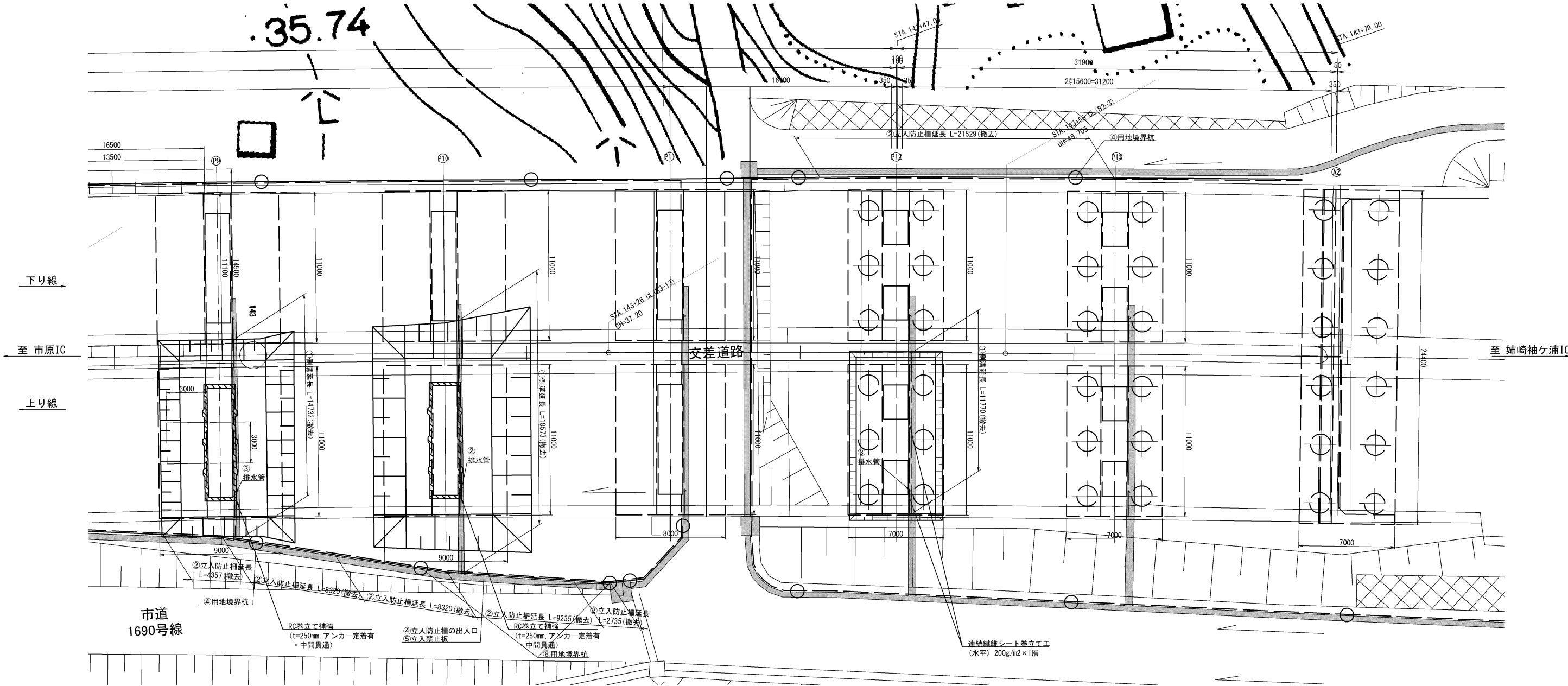
No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	24.4	撤去
②	立入防止柵		m	39.0	撤去
③	排水管		m	17.6	撤去
④	立入禁止板		枚	3	撤去
⑤	用地境界杭		本	2	撤去

P8橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	13.6	撤去
②	側溝	Ds-PuL ・ 0.45 ・ 0.45	m	6.4	撤去
③	用排水管	P (H) ・ 2 ・ φ 0.40 (Sd-B)	m	3.5	撤去
④	集水樹	Dc〃-0.80 ・ 0.80 ・ 1.20	基	1	撤去
⑤	立入防止柵		m	29.2	撤去
⑥	排水管		m	17.9	撤去
⑦	用地境界杭		本	3	撤去
⑧	簡易舗装工		m ²	3.3	撤去

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 付帯工 撤去図 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面図



P9橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	14.7	撤去
②	立入防止柵		m	12.7	撤去
③	排水管		m	17.9	撤去
④	用地境界杭		本	1	撤去

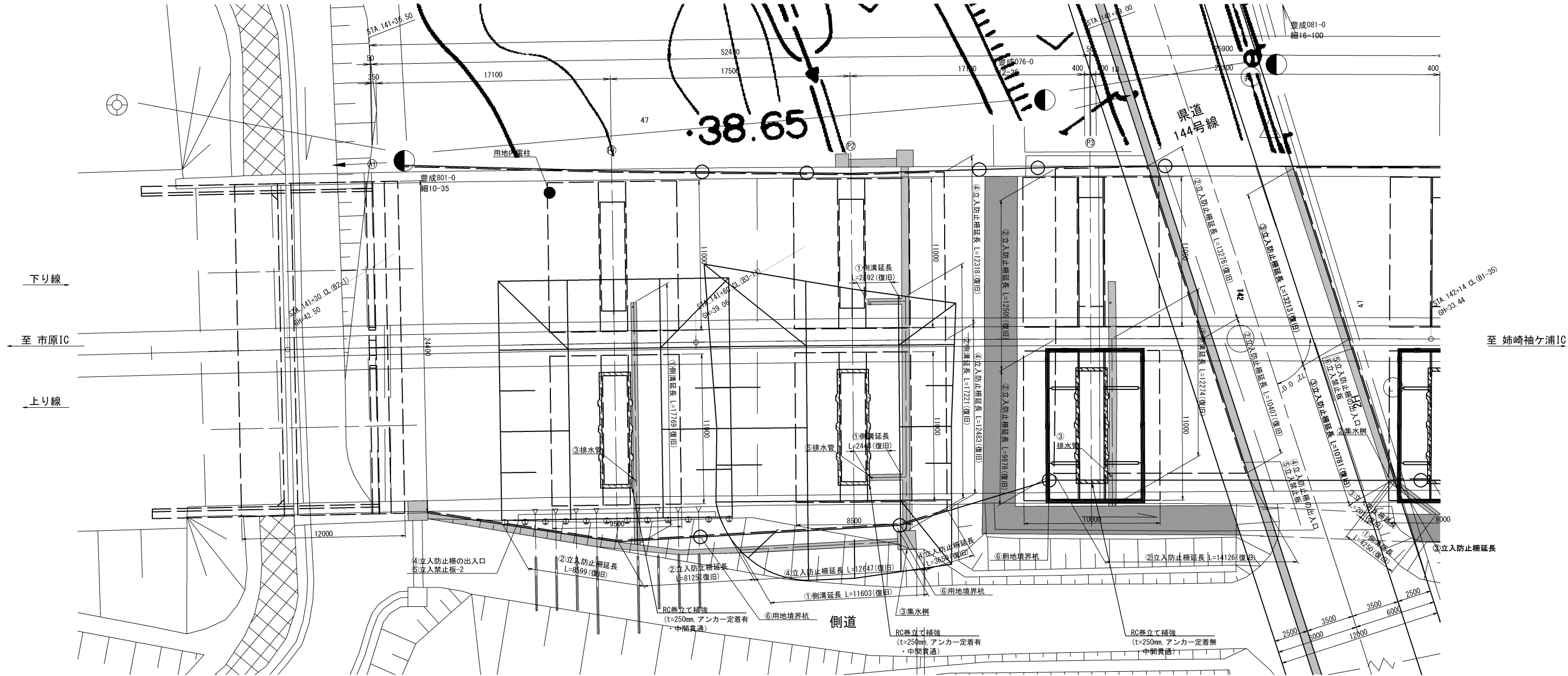
P12橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	11.8	撤去
②	立入防止柵		m	21.5	撤去
③	排水管		m	6.2	撤去
④	用地境界杭		本	1	撤去

P10橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	18.6	撤去
②	立入防止柵		m	20.3	撤去
③	排水管		m	15.7	撤去
④	立入防止柵の出入口		箇所	1	撤去
⑤	立入禁止板		枚	1	撤去
⑥	用地境界杭		本	2	撤去

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	付帯工 撤去図 (その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



P1橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	17.3	復旧
②	立入防止柵		m	16.7	復旧
③	排水管		m	12.2	復旧
④	立入防止柵の出入口		箇所	1	復旧
⑤	立入禁止板		枚	2	復旧
⑥	用地境界杭		本	1	復旧

P3橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	12.3	復旧
②	立入防止柵		m	60.2	復旧
③	排水管		m	16.9	復旧
④	立入防止柵の出入口		箇所	1	復旧
⑤	立入禁止板		枚	1	復旧
⑥	用地境界杭		本	1	復旧

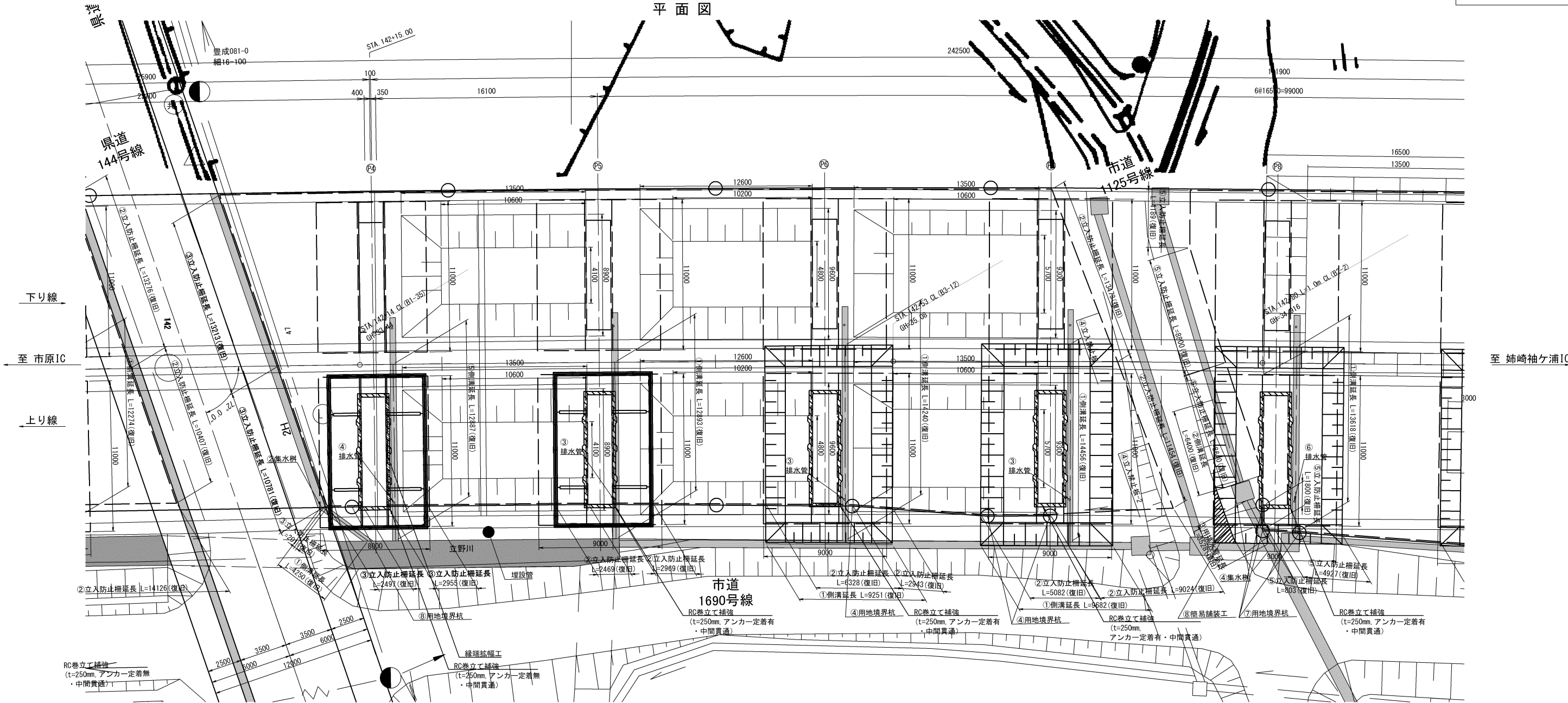
P2橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	17.0	復旧
②	側溝	Ds-PuL・0.60・0.60	m	17.2	復旧
③	集水樹	Dc~0.80・0.80・0.80	基	1	復旧
④	立入防止柵		m	41.1	復旧
⑤	排水管		m	17.7	復旧
⑥	用地境界杭		本	1	復旧

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その1)		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面図



P4橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL (CH1) ・ 0.40 ・ 0.40	m	4.3	復旧
②	集水樹	Dc [〃] (G) - 0.50 ・ 0.80 ・ 0.80	基	1	復旧
③	立入防止柵		m	29.6	復旧
④	排水管		m	19.9	復旧
⑤	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	12.9	復旧
⑥	立入防止柵の出入口		箇所	1	復旧
⑦	立入禁止板		枚	1	復旧
⑧	用地境界杭		本	1	復旧

P5橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	12.9	復旧
②	立入防止柵		m	5.4	復旧
③	排水管		m	18.0	復旧

P6橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	23.5	復旧
②	立入防止柵		m	9.3	復旧
③	排水管		m	17.8	復旧
④	用地境界杭		本	1	復旧

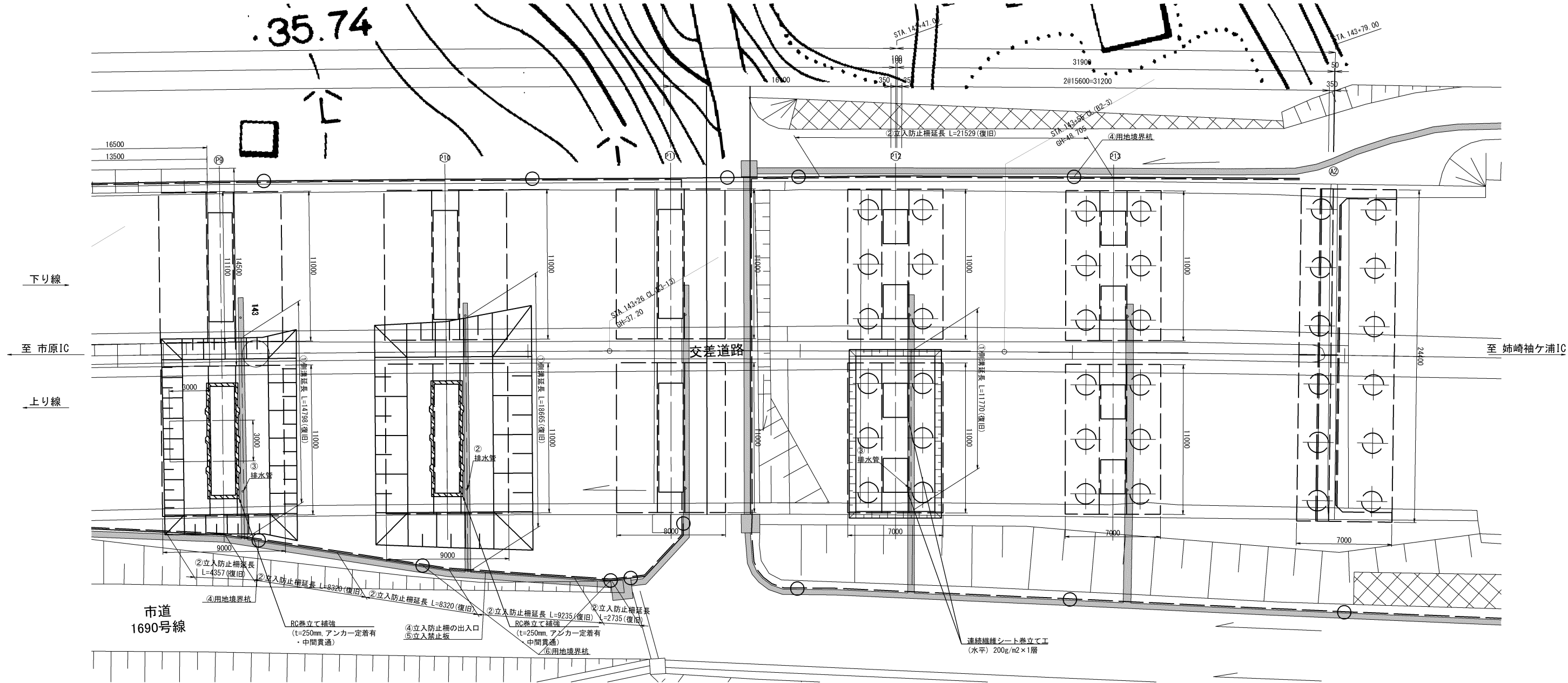
P7橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	24.4	復旧
②	立入防止柵		m	39.0	復旧
③	排水管		m	17.7	復旧
④	立入禁止板		枚	3	復旧
⑤	用地境界杭		本	2	復旧

P8橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	13.6	復旧
②	側溝	Ds-PuL ・ 0.45 ・ 0.45	m	6.4	復旧
③	用排水管	P (H) ・ 2 ・ φ0.40 (Sd-B)	m	3.5	復旧
④	集水樹	Dc [〃] - 0.80 ・ 0.80 ・ 1.20	基	1	復旧
⑤	立入防止柵		m	29.2	復旧
⑥	排水管		m	18.0	復旧
⑦	用地境界杭		本	3	復旧
⑧	簡易舗装工		m ²	3.3	復旧

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



P9橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	14.7	復旧
②	立入防止柵		m	12.7	復旧
③	排水管		m	18.0	復旧
④	用地境界杭		本	1	復旧

P12橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	11.8	復旧
②	立入防止柵		m	21.5	復旧
③	排水管		m	6.2	復旧
④	用地境界杭		本	1	復旧

P10橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	18.6	復旧
②	立入防止柵		m	20.3	復旧
③	排水管		m	15.8	復旧
④	立入防止柵の出入口		箇所	1	復旧
⑤	立入禁止板		枚	1	復旧
⑥	用地境界杭		本	2	復旧

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

2



4 - 4



L1 (m)	L2 (m)	Σ L (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
11.0	3.5	14.5	2	1

L1 (m)	L2 (m)	Σ L (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
11.0	3.5	14.5	2	1

Technical drawing of a ring. The side view shows a ring with length L , inner diameter ϕA , and outer diameter ϕB . The end view shows the circular cross-section of the ring.

規 格	ϕA	ϕB	L
$\phi 200$	165	182	183

(mm)

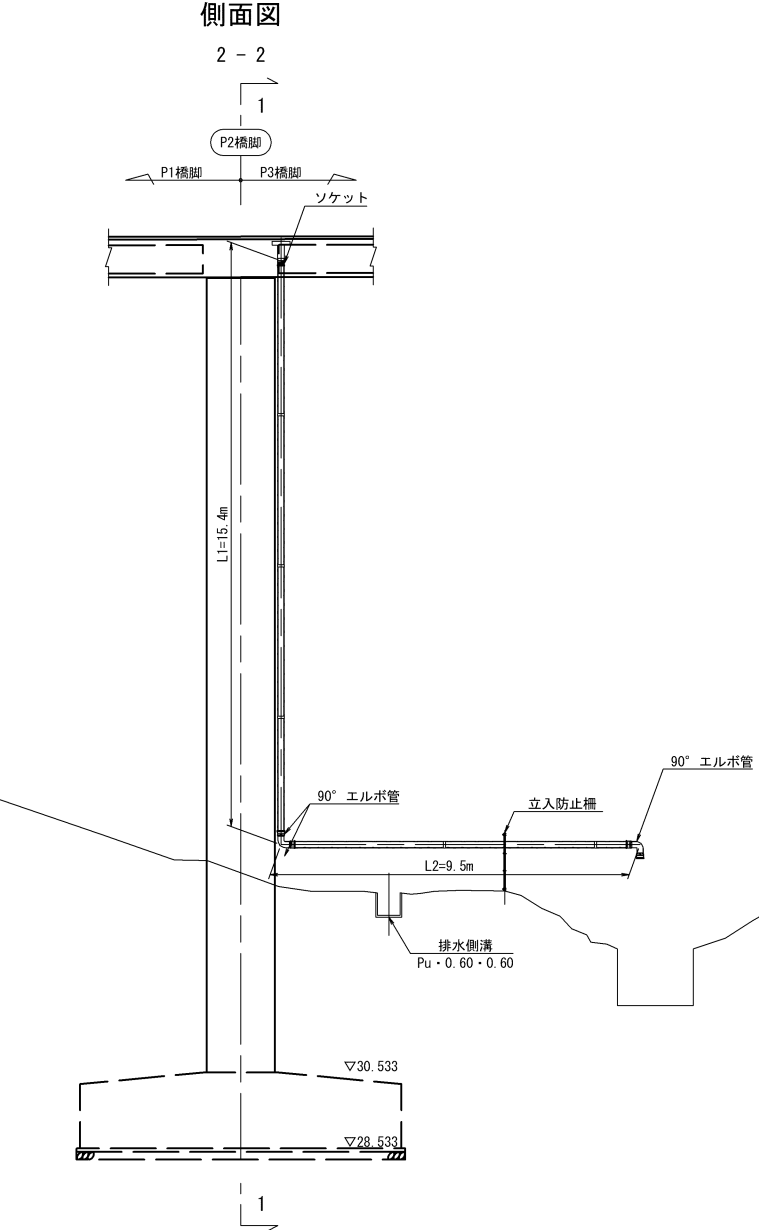
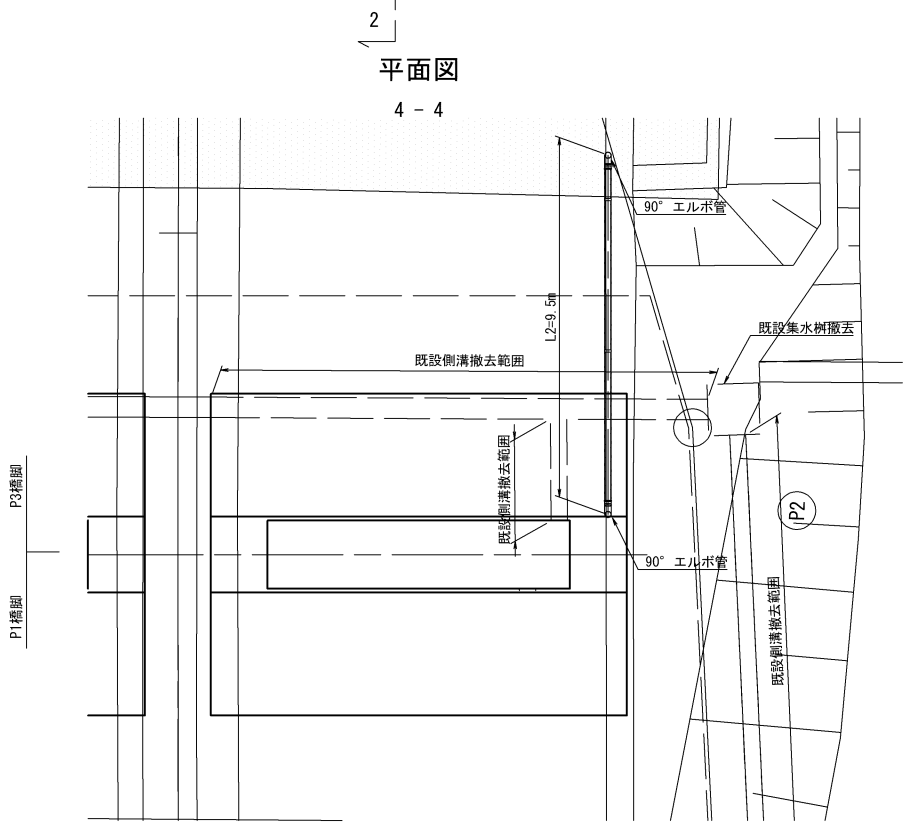
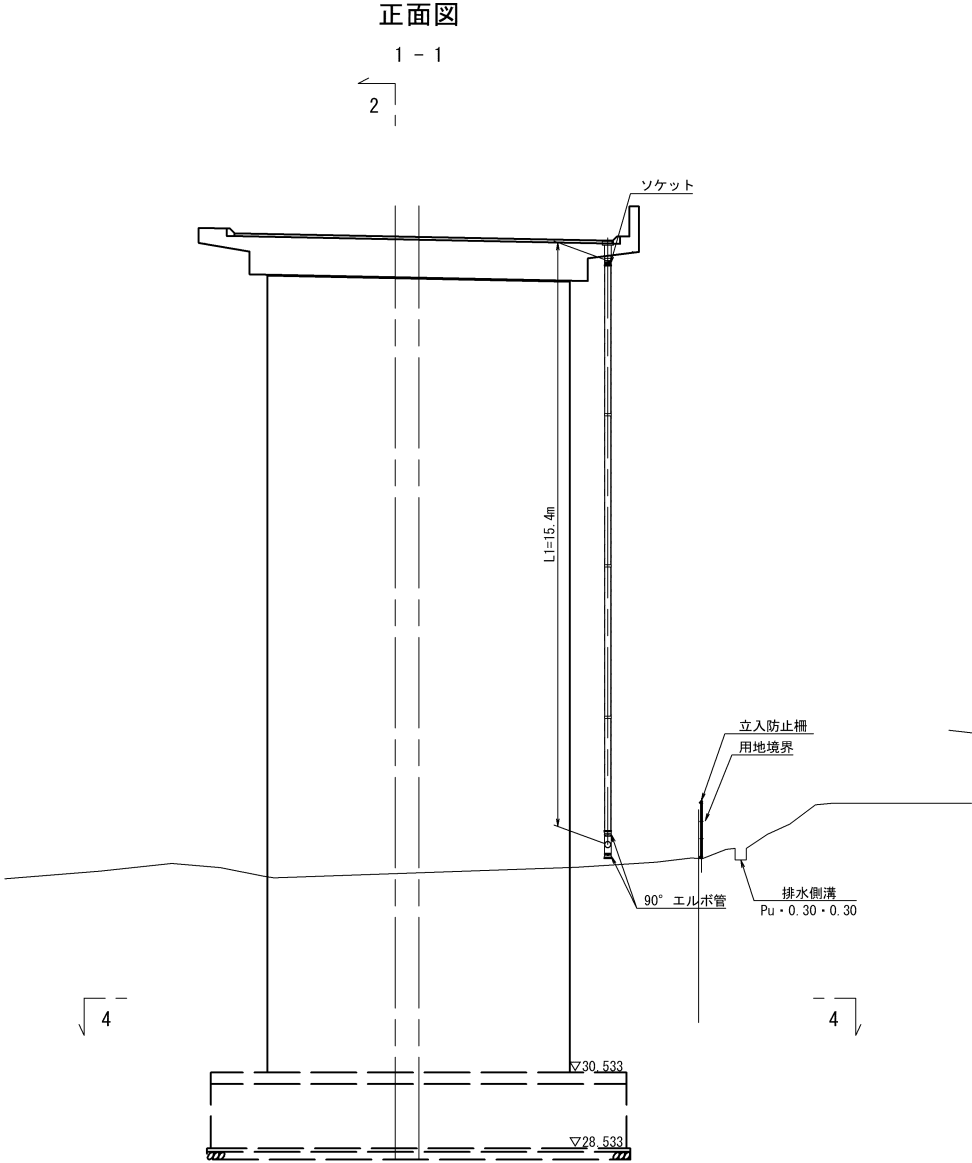
Technical drawing of a spiral spring. The left view is a cross-section showing two concentric circles. The right view is a side elevation showing the helical coils. Labels include: **ピッチ** (Pitch) for the distance between adjacent coils, **外径** (Outer Diameter) for the maximum diameter of the coils, and **長さ** (Length) for the total length of the spring.

規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ 150	175	150	25	4

規 格	ϕA	L
$\phi 150$	181	373

(mm)

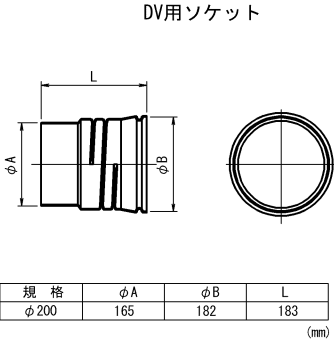
<p align="center">館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事</p>			
図面の種類		<p align="center">豊成高架橋(上り線) P1橋脚 仮排水設置図(参考図)</p>	
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	<p align="center">東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所</p>		



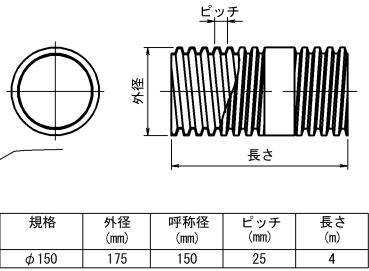
仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
15.4	9.5	24.9	2	1

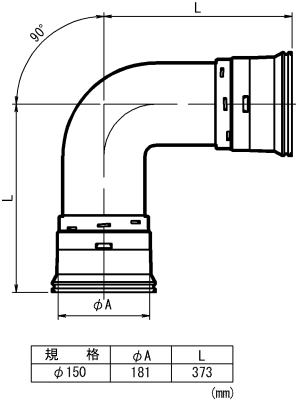
仮設排水管詳細図



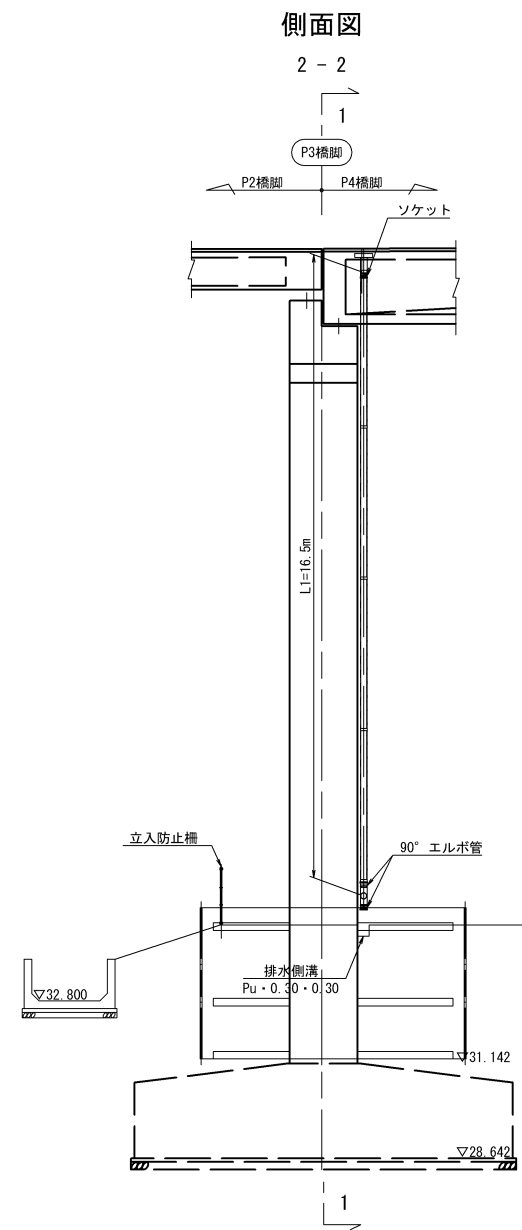
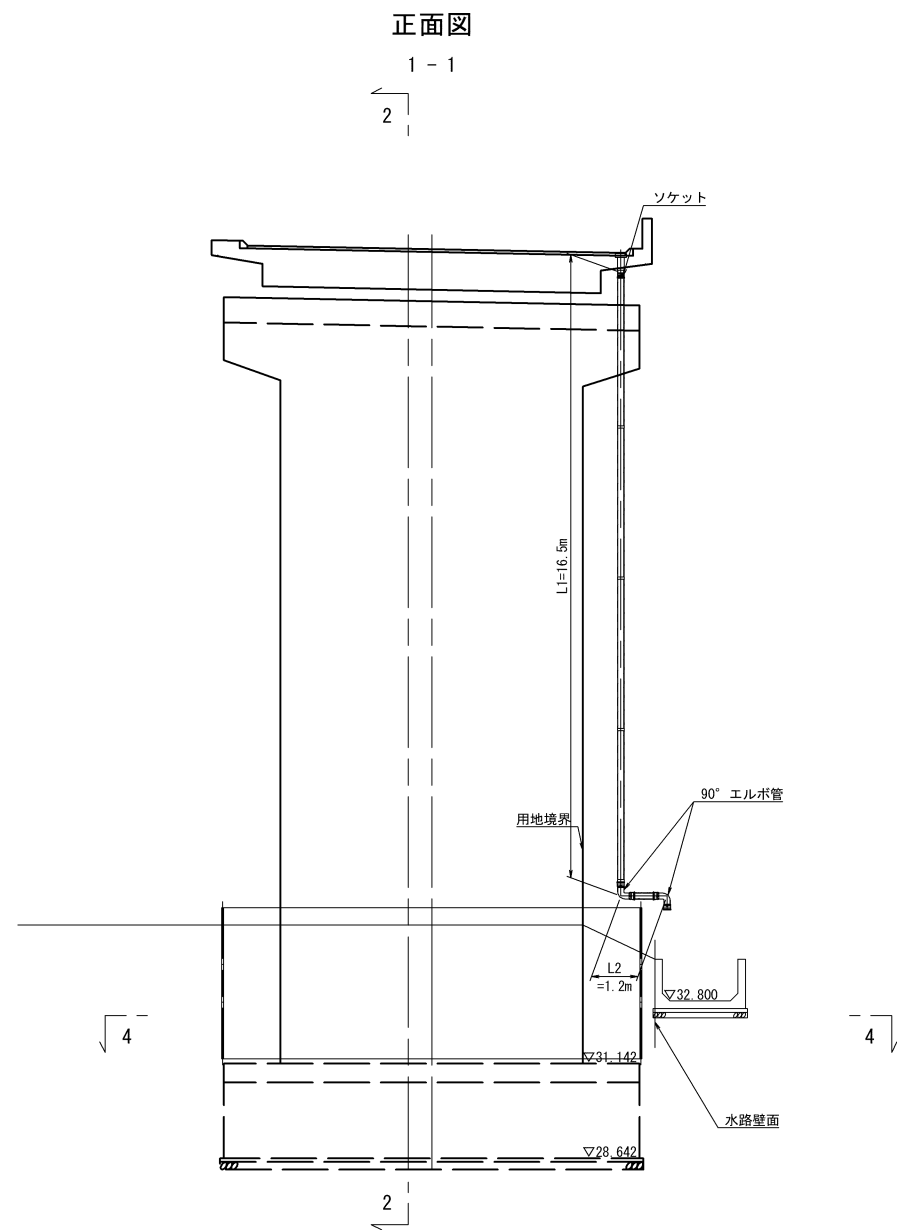
高密度ポリエチレン管



90° エルボ管

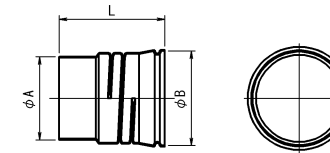


館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	P2橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



仮設排水管詳細図

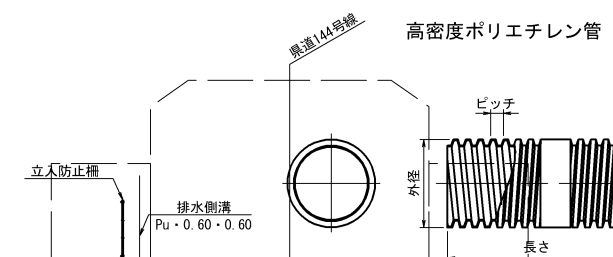
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

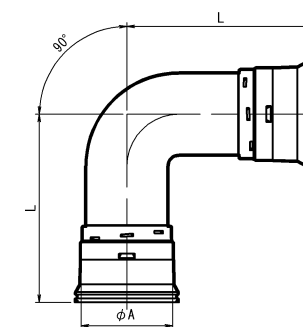
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管

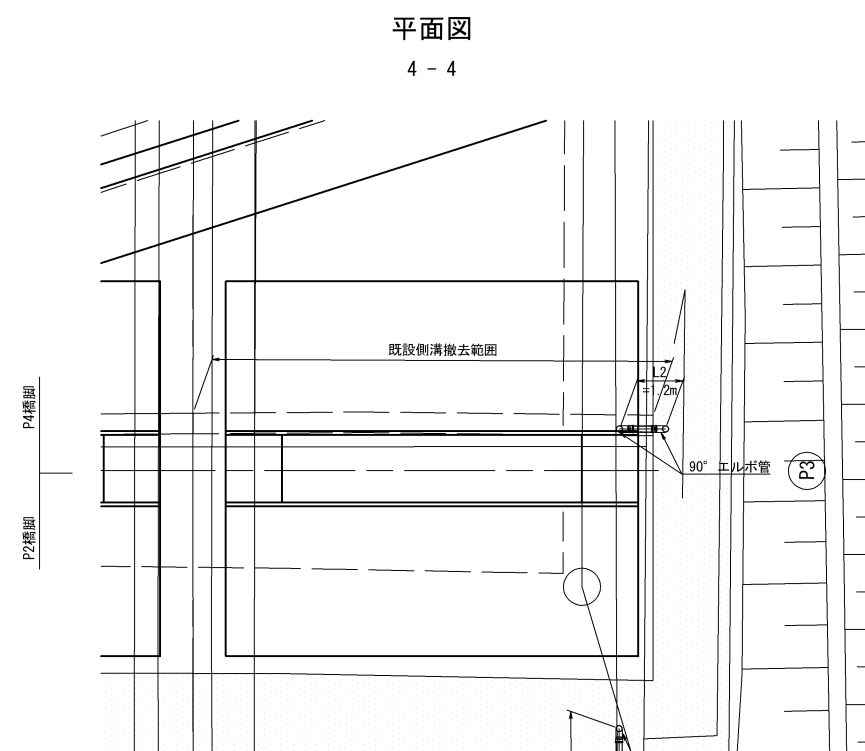


規格	φA	L
φ150	181	373

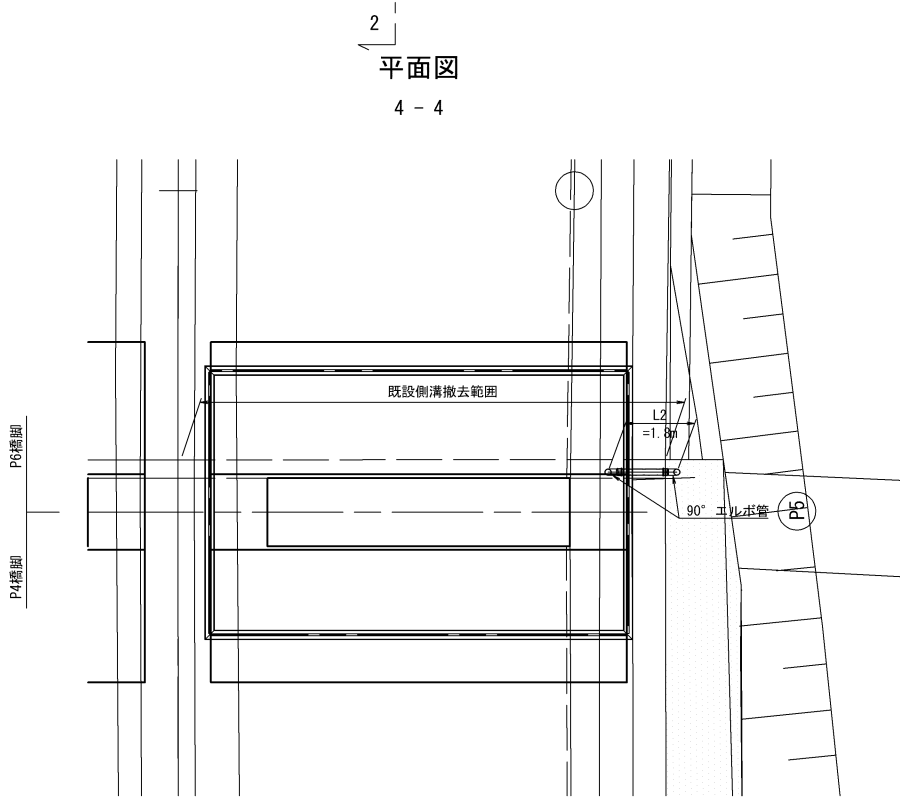
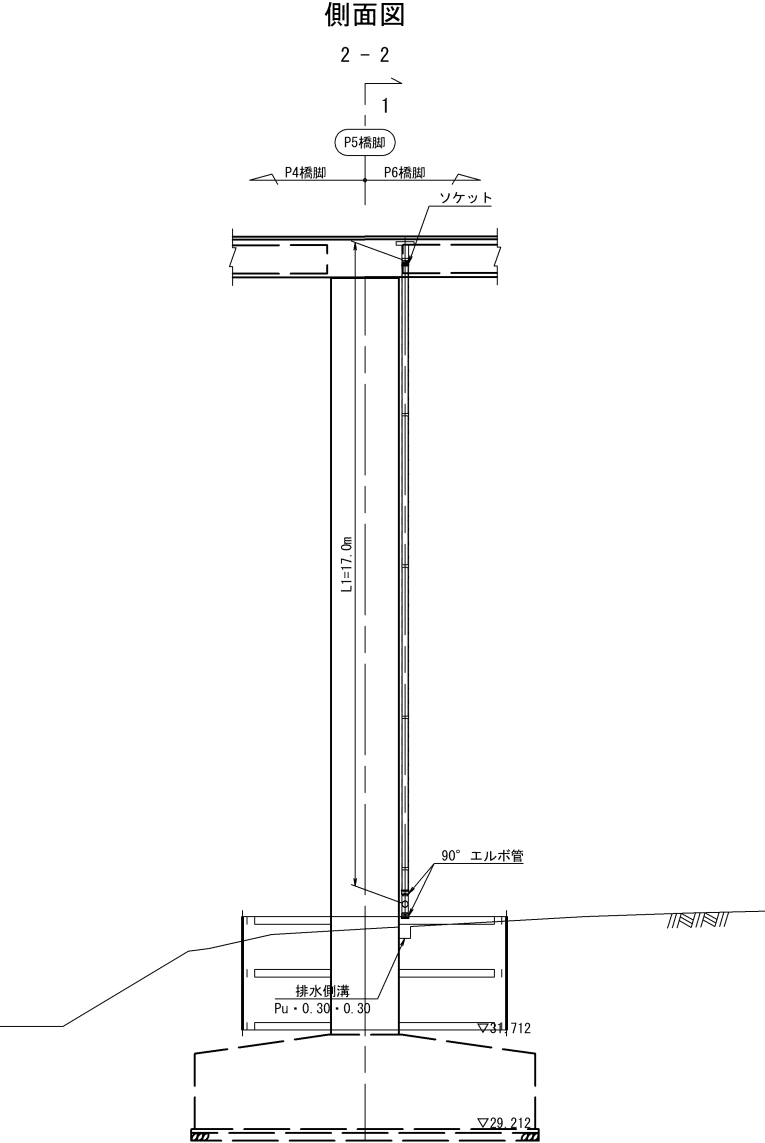
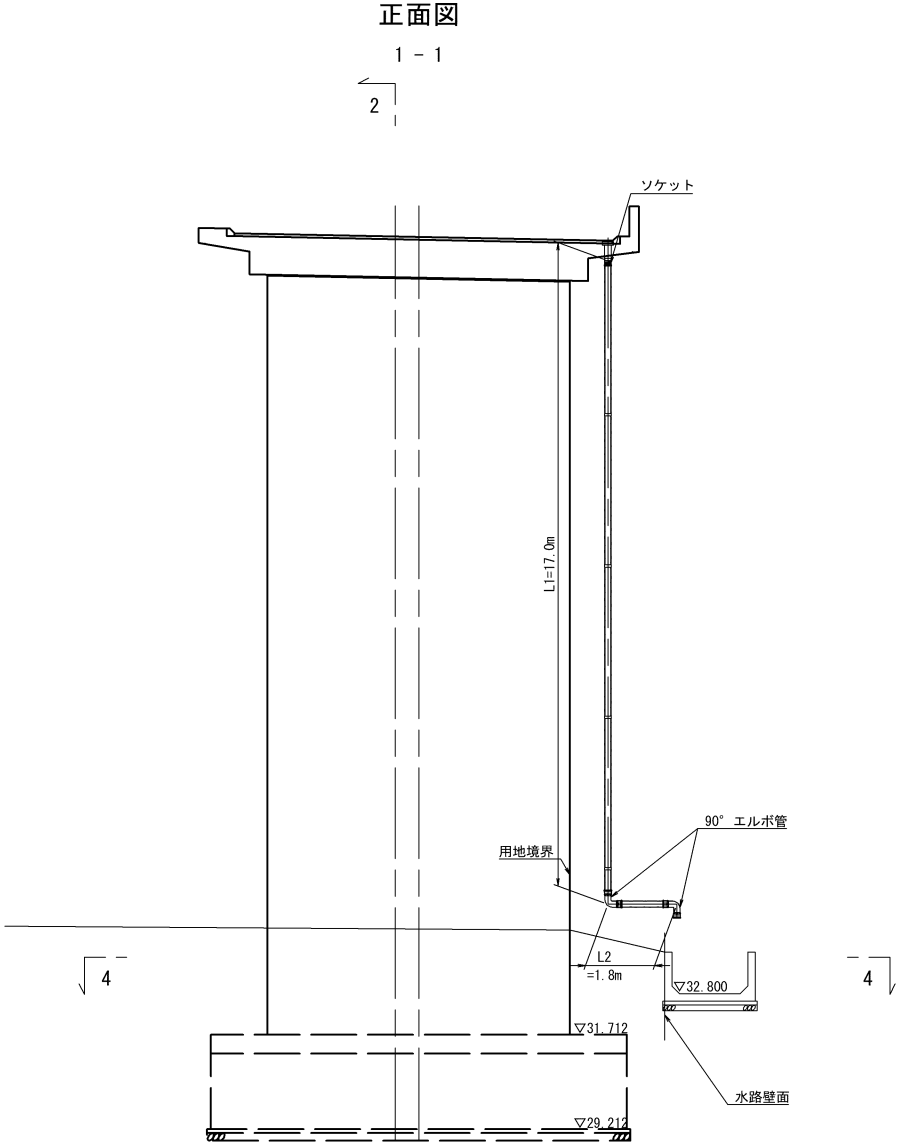
(mm)

仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
16.5	1.2	17.7	2	1



館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	P3橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

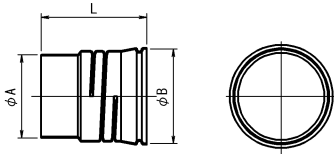


仮設排水管数量表

L1	L2	ΣL	90° エルボ管	ソケット
(m)	(m)	(m)	(個)	(個)
17.0	1.8	18.8	2	1

仮設排水管詳細図

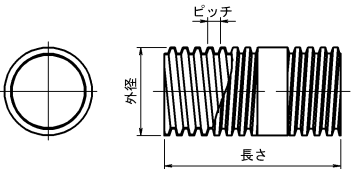
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

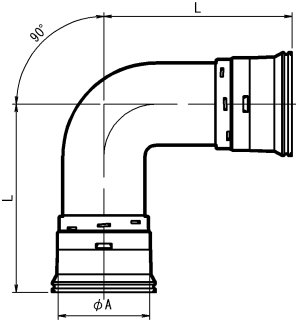
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

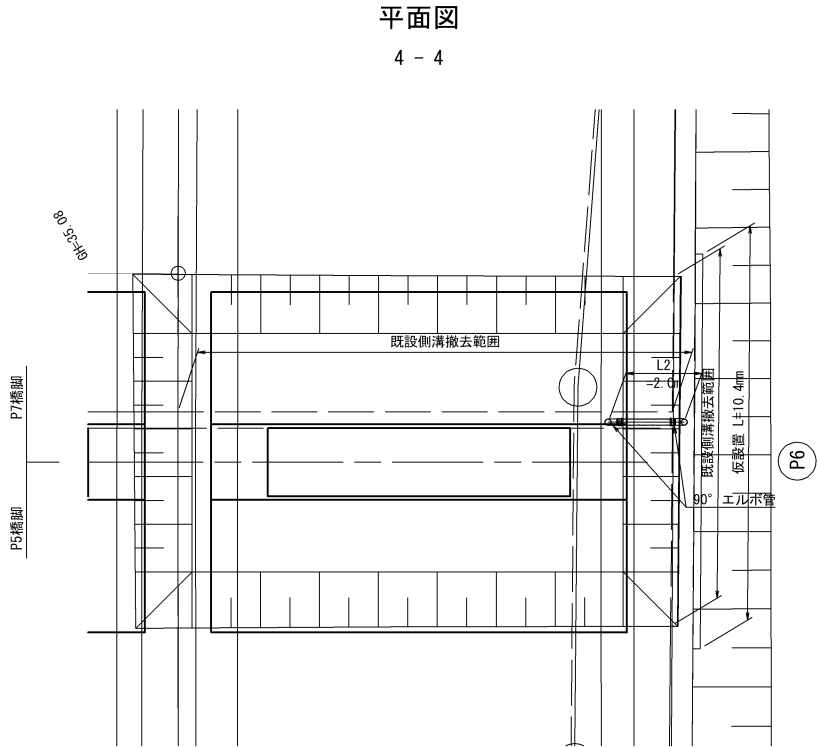
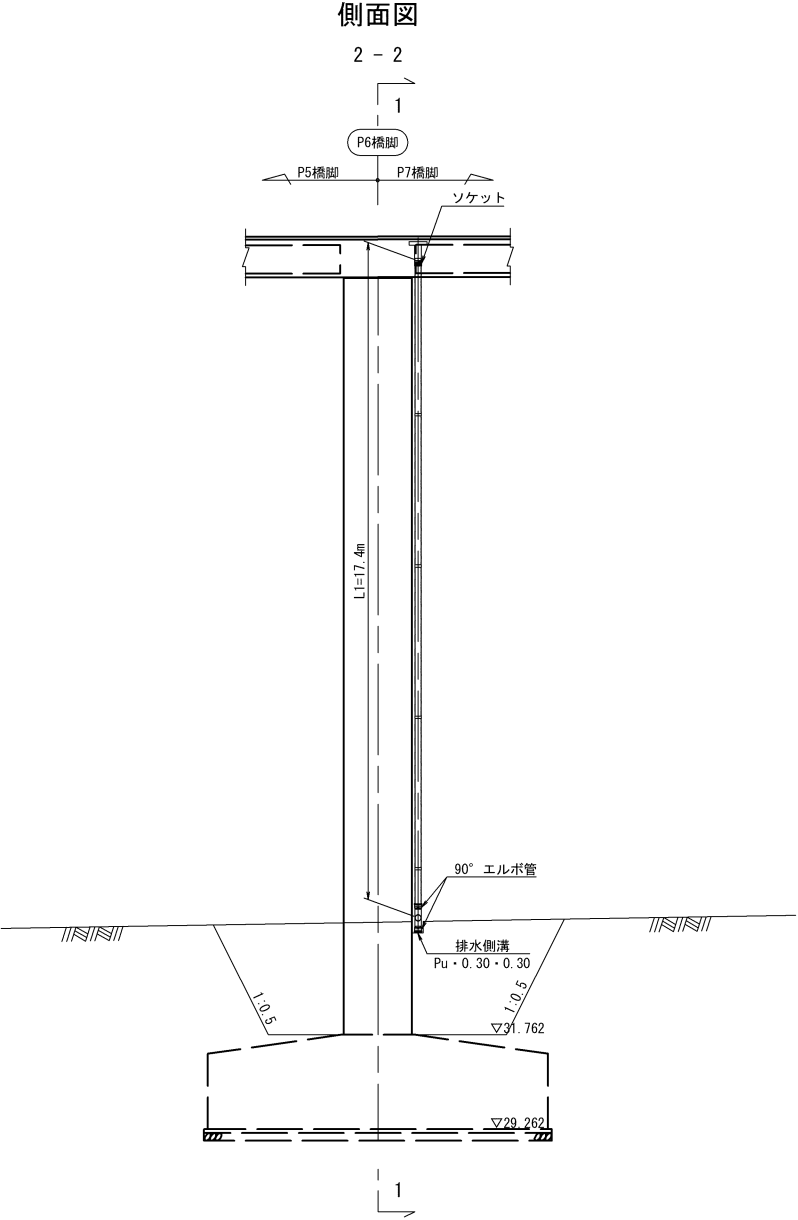
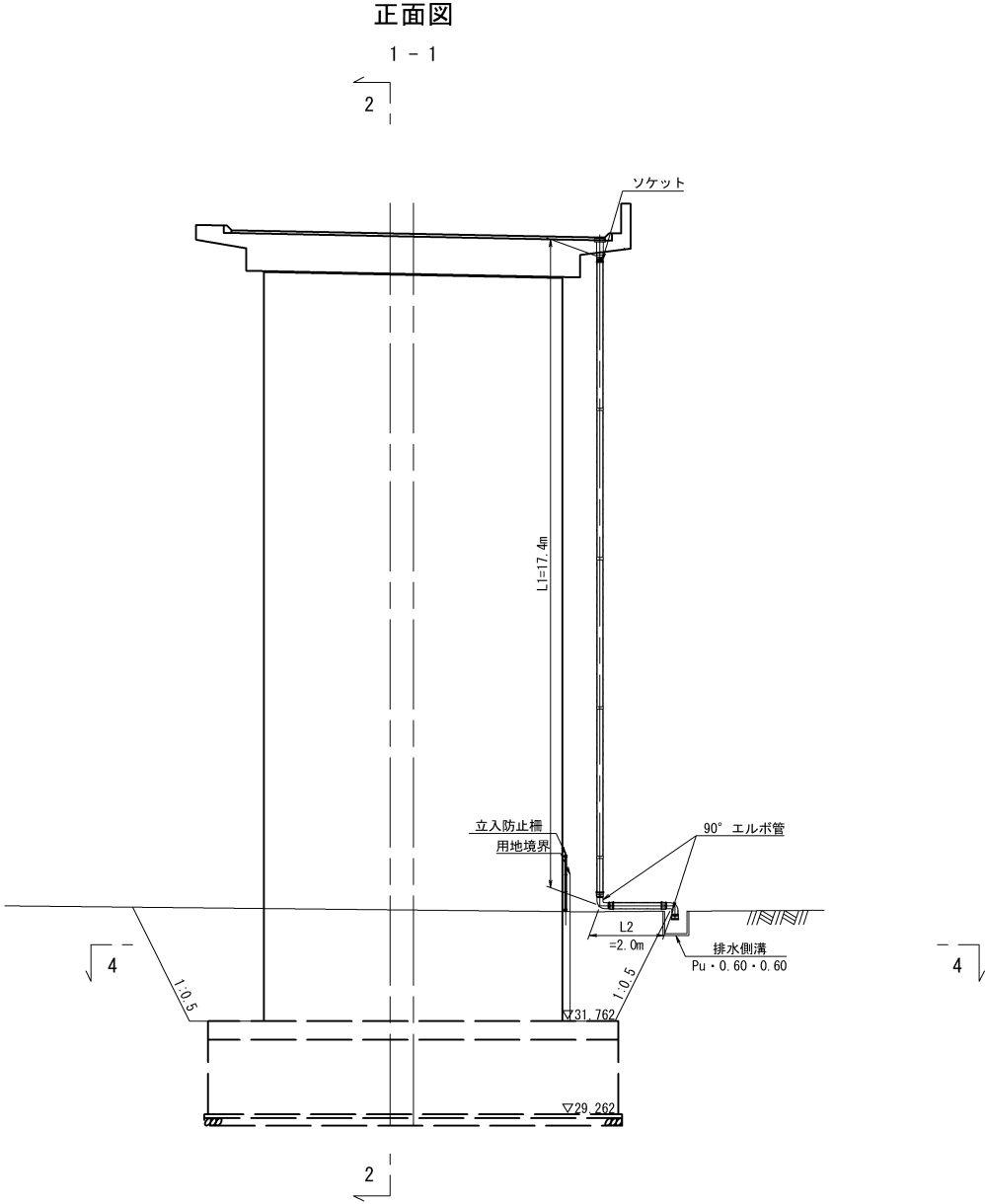
90° エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) P5橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

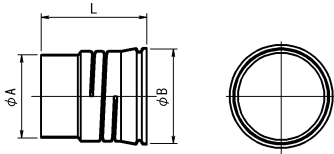


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
17.4	2.0	19.4	2	1

仮設排水管詳細図

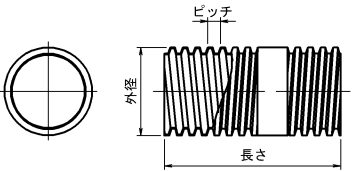
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

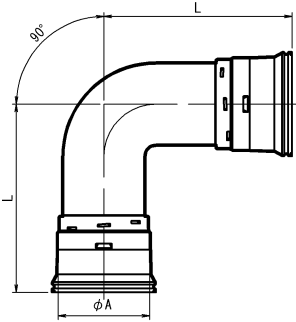
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

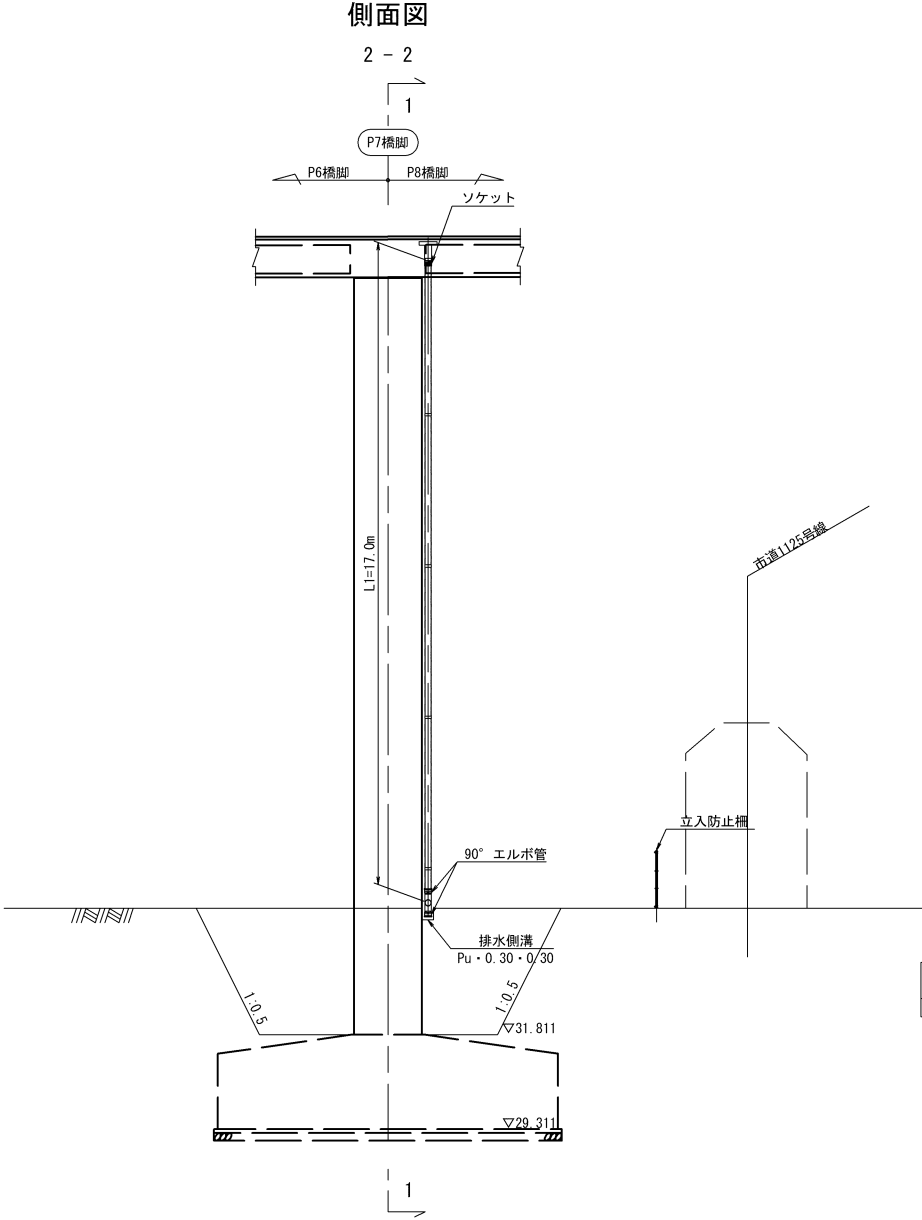
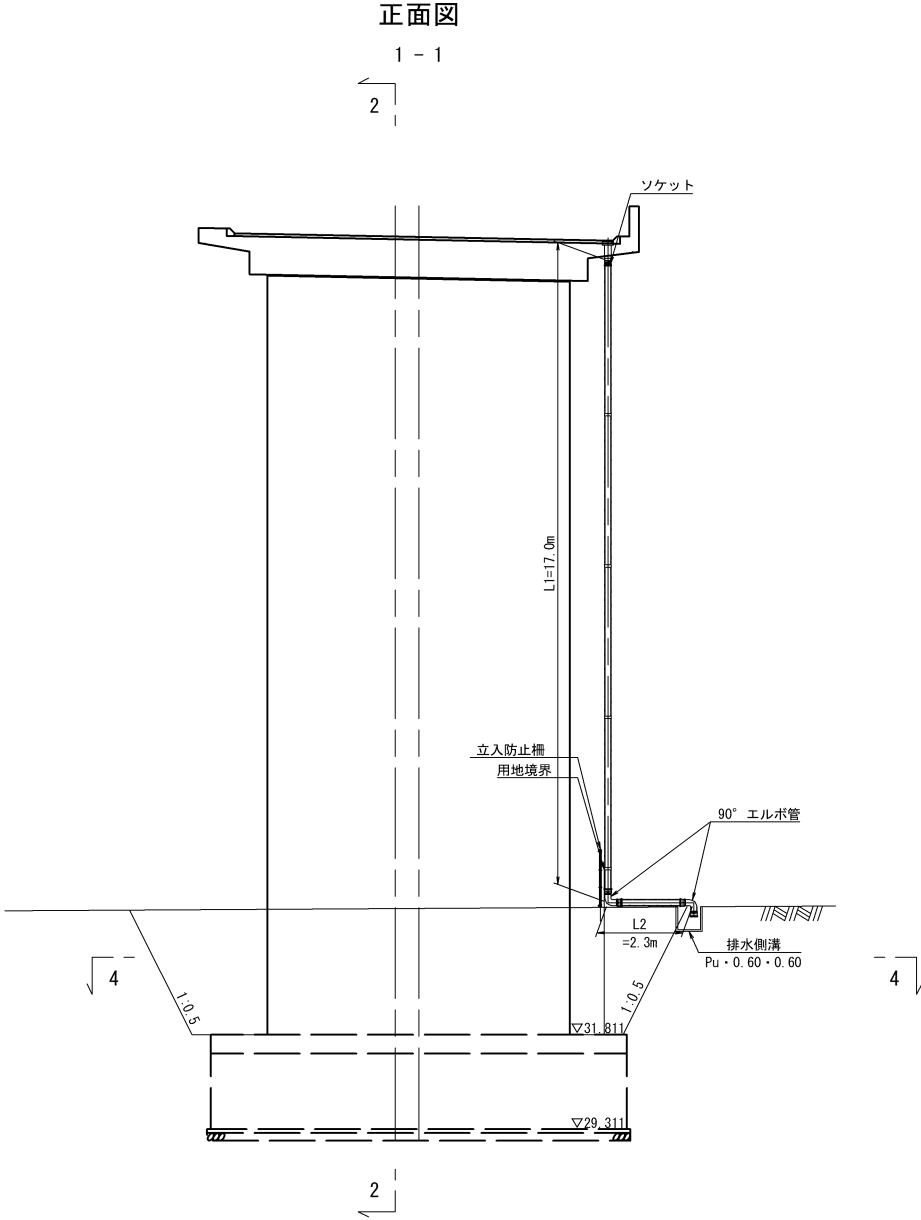
90° エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

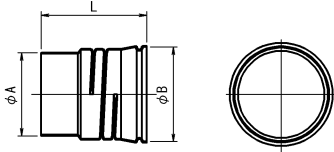
(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	P6橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



仮設排水管詳細図

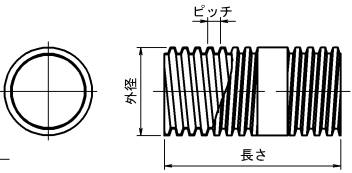
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

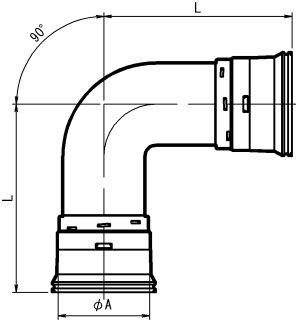
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管

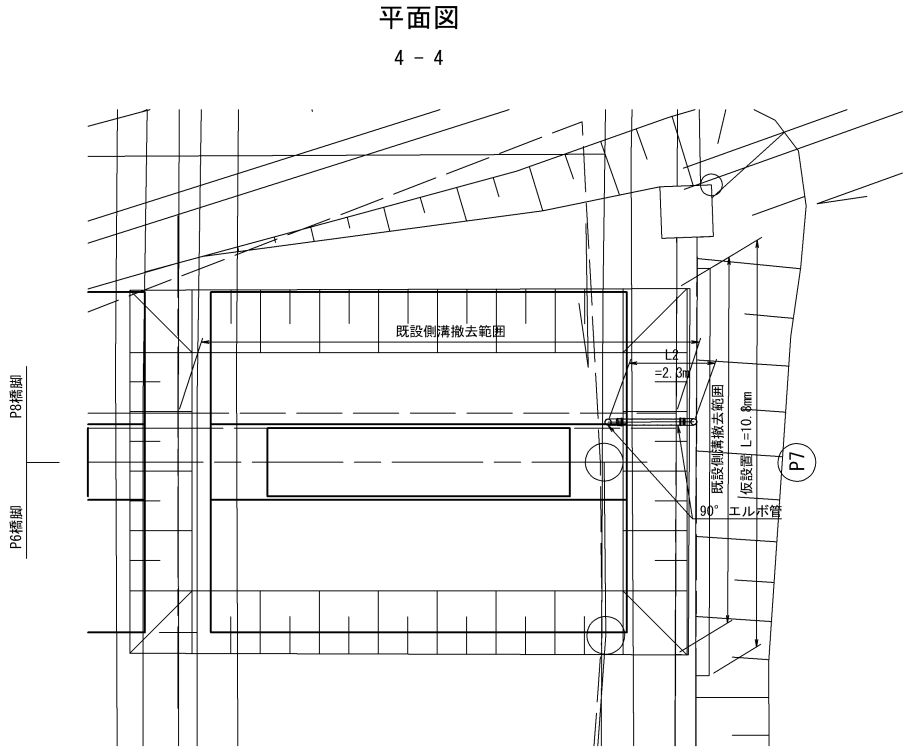


規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

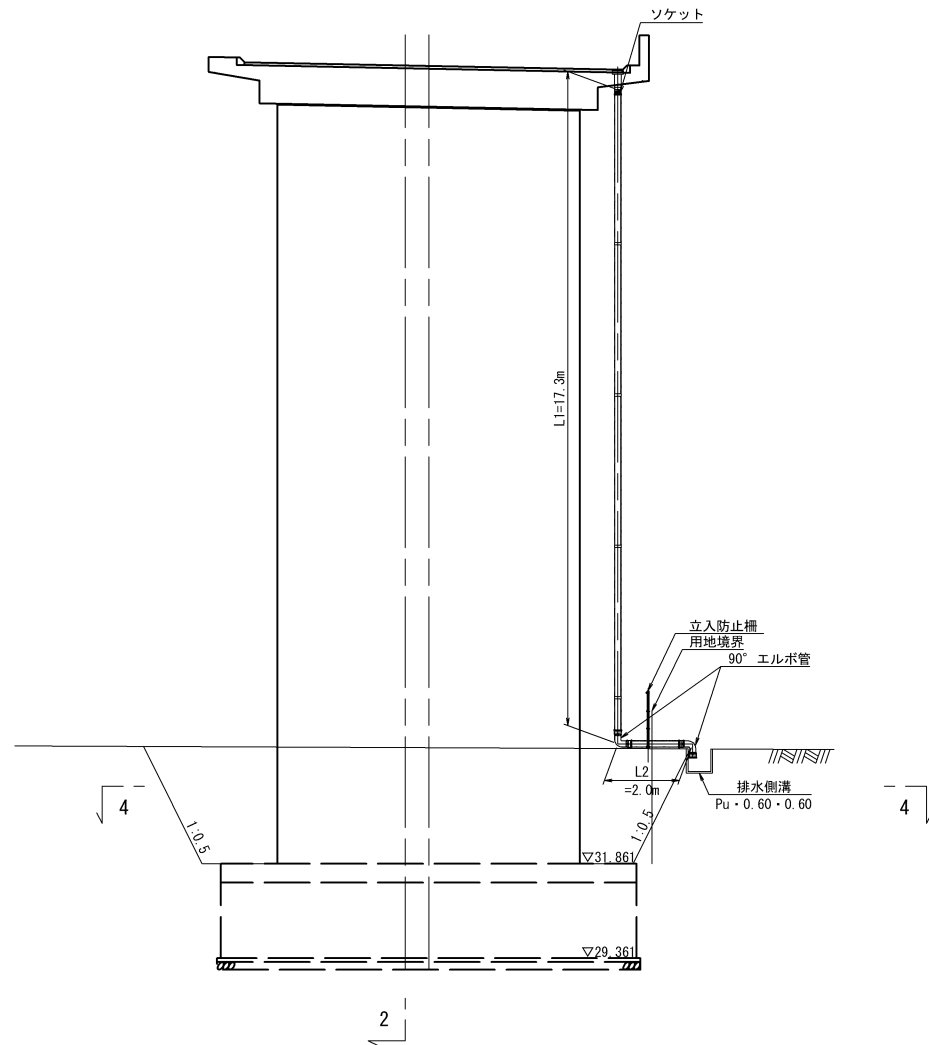
仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
17.0	2.3	19.3	2	1



館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	P7橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

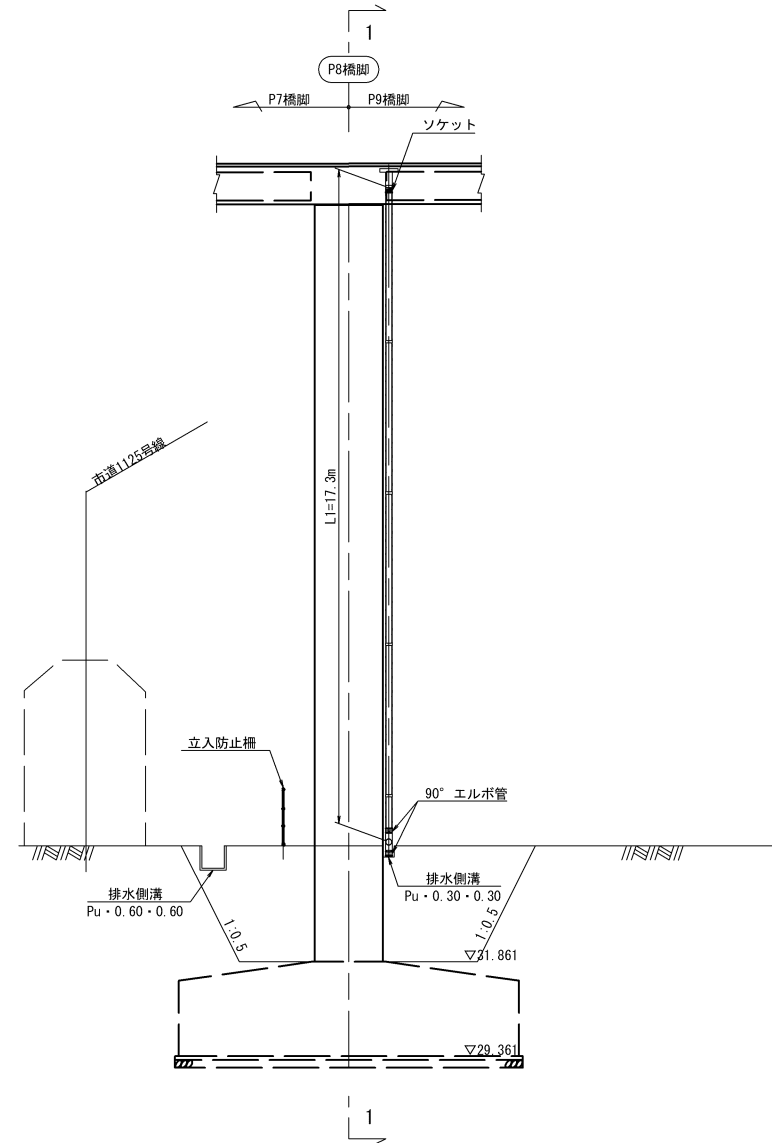
1 - 1



4 - 4



2 - 2



L1	L2	ΣL	90° エルボ管	ソケット
(m)	(m)	(m)	(個)	(個)
17.3	2.0	19.3	2	1

Technical drawing of a ring. The side view shows a ring with length L , outer diameter ϕA , and inner diameter ϕB . The cross-section view shows a ring with a central hole.

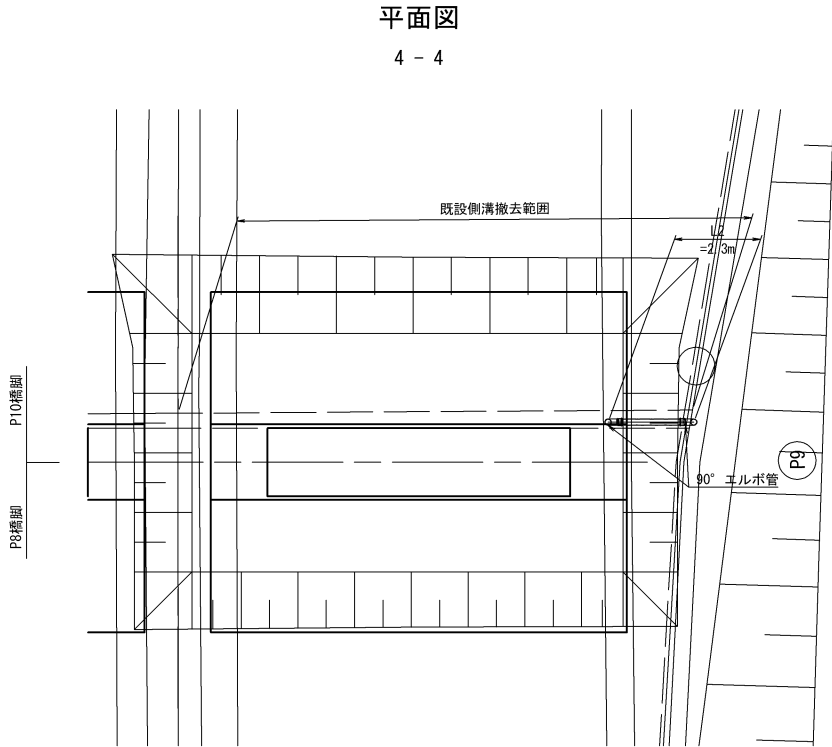
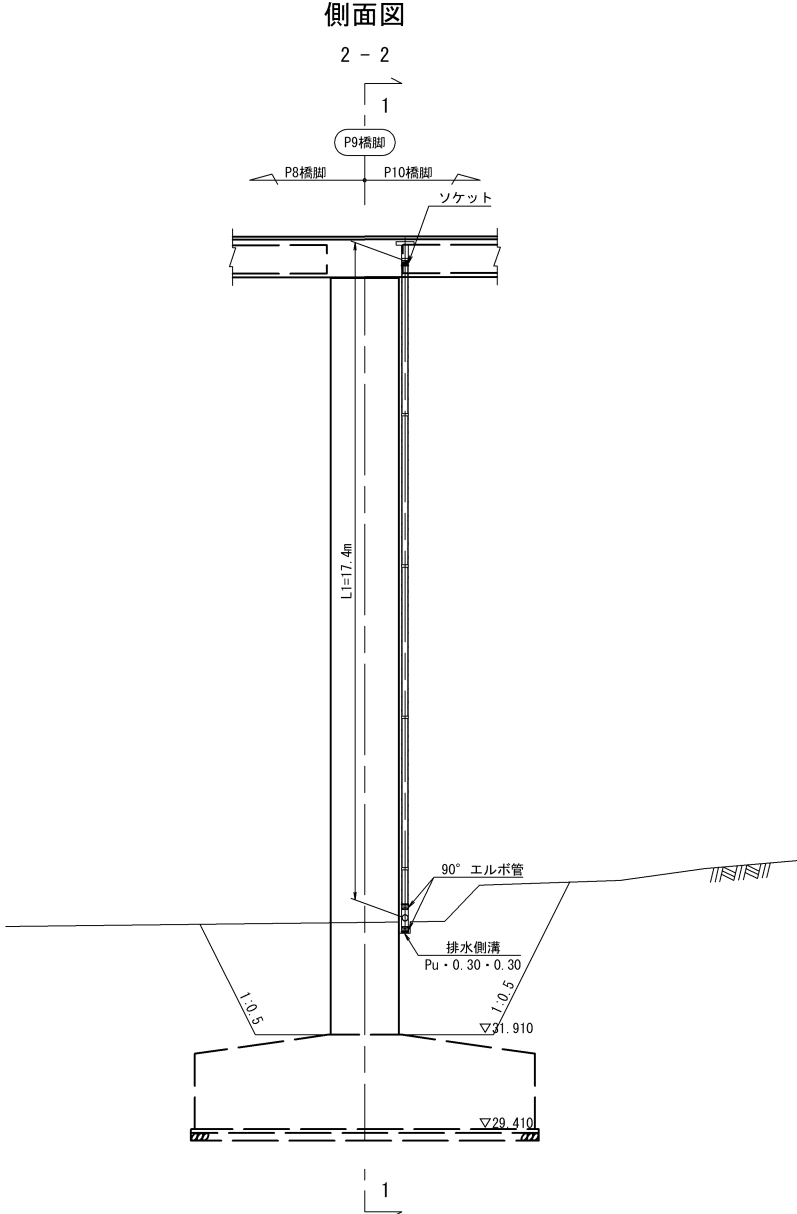
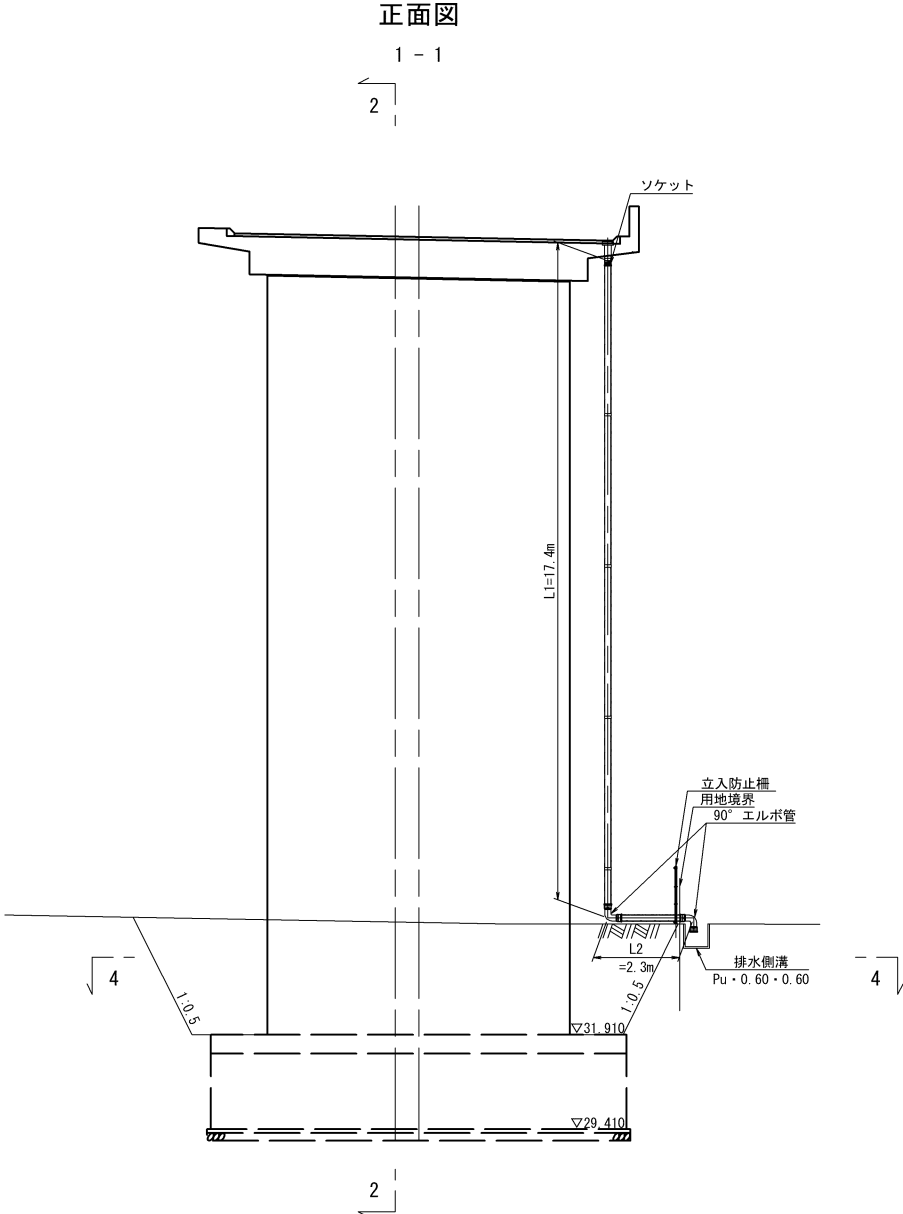
(mm)

Technical drawing of a helical spring. The left view is a cross-section showing two concentric circles. The right view is a side elevation showing the helical coils. Labels include: 'ピッチ' (Pitch) for the distance between adjacent coils, '外径' (Outer Diameter) for the maximum diameter of the coils, and '長さ' (Length) for the total length of the spring.

	(mm)	(mm)	(mm)	(m)
--	------	------	------	-----

(mm)

事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所
------	-----------------------------

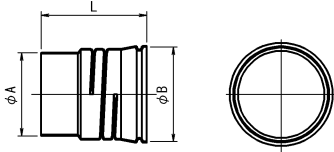


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
17.4	2.3	19.7	2	1

仮設排水管詳細図

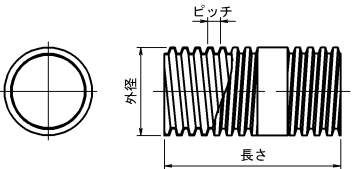
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

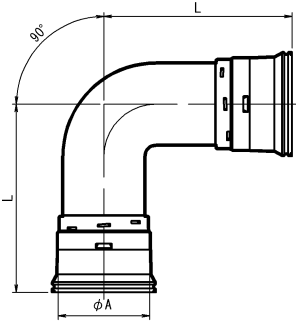
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

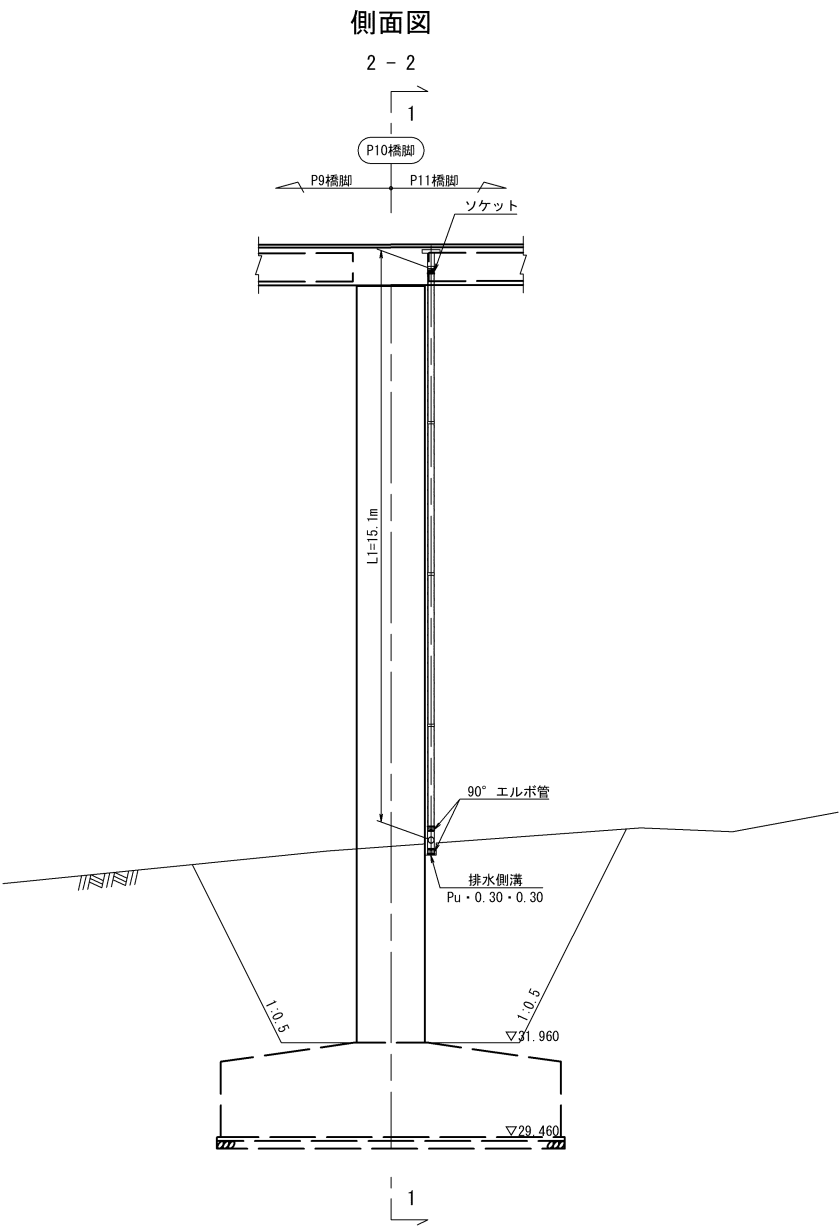
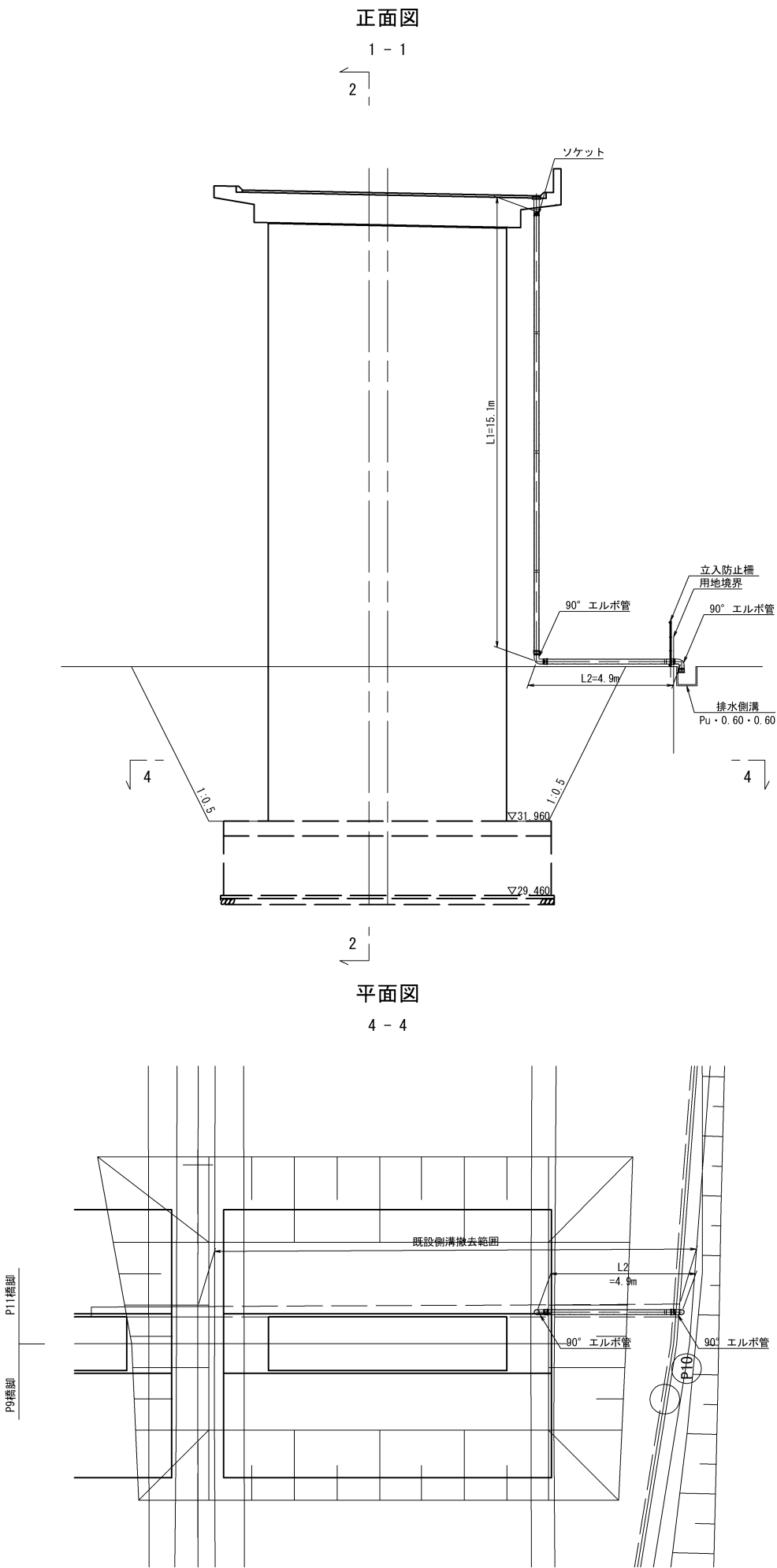
90° エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	P9橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

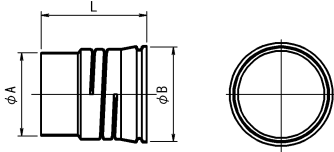


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
15.1	4.9	20.0	2	1

仮設排水管詳細図

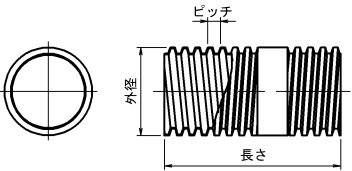
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

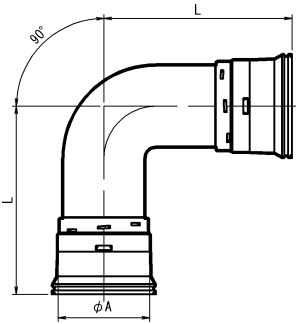
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

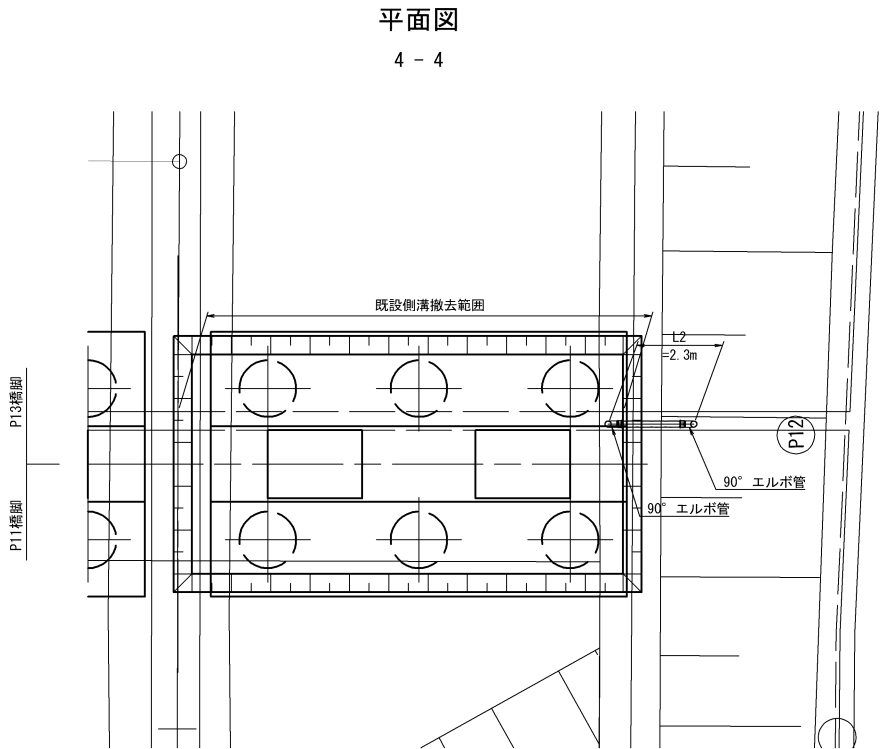
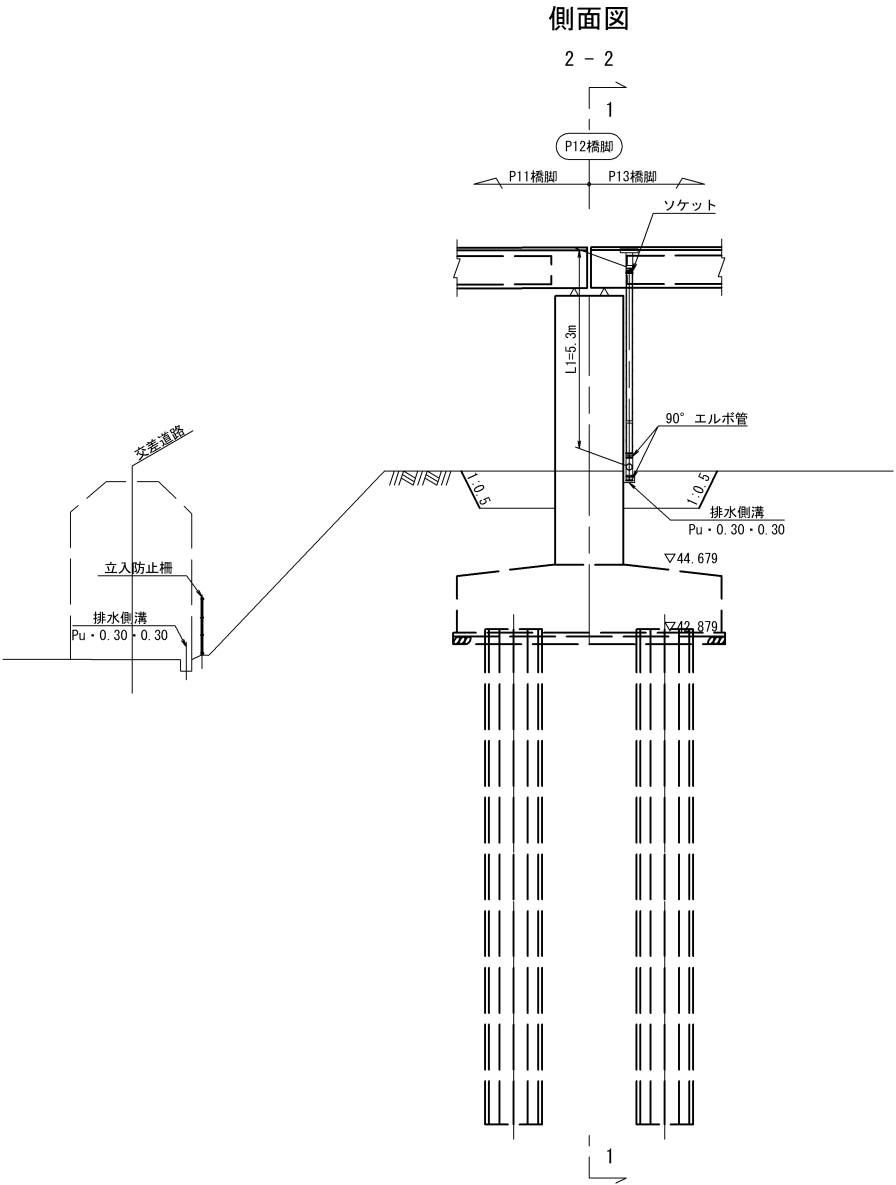
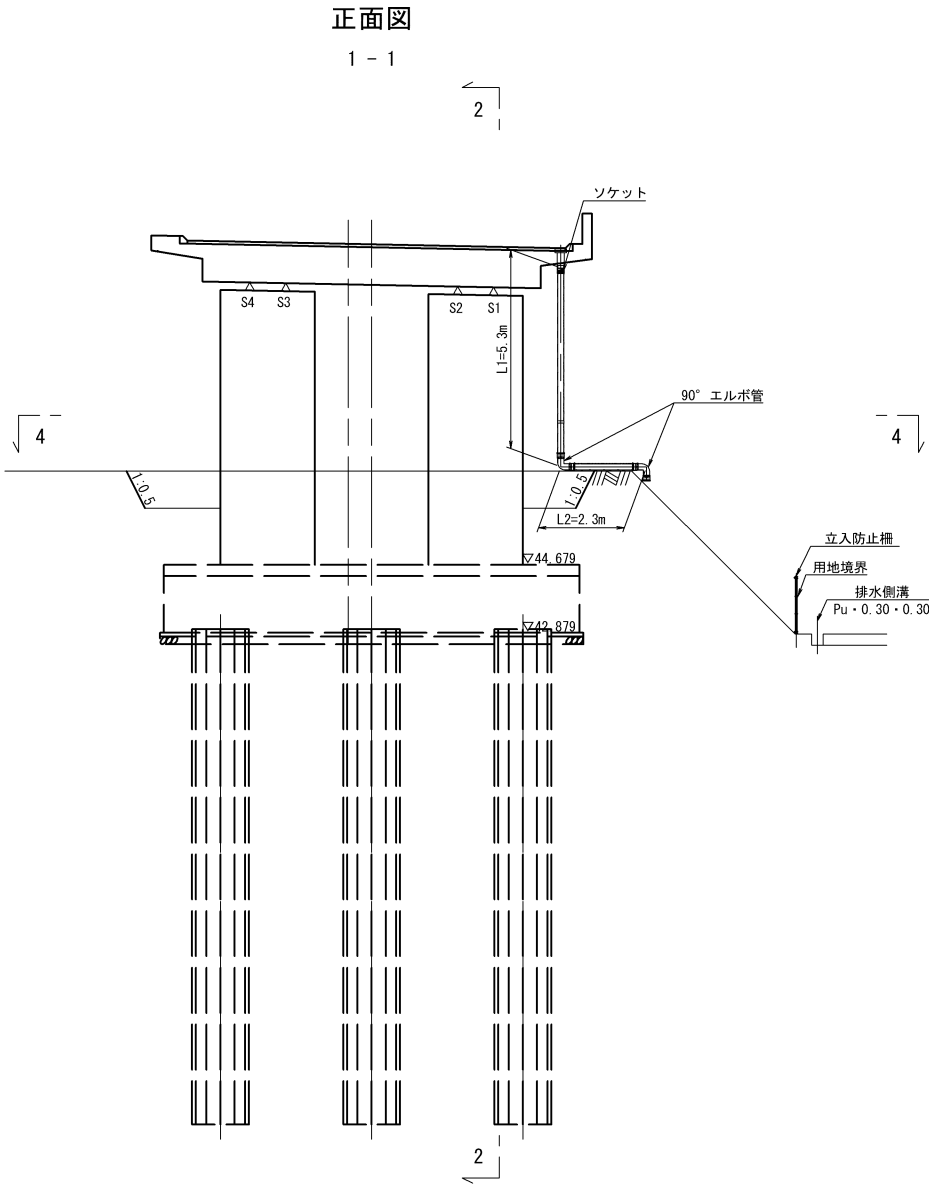
90° エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) P10橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

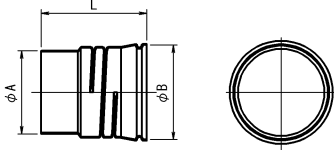


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
5.3	2.3	7.6	2	1

仮設排水管詳細図

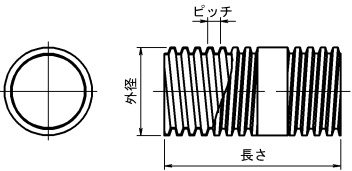
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

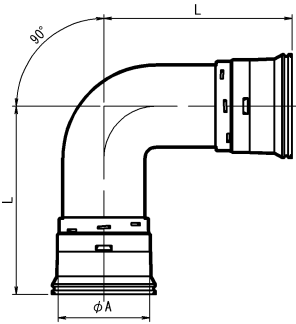
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管

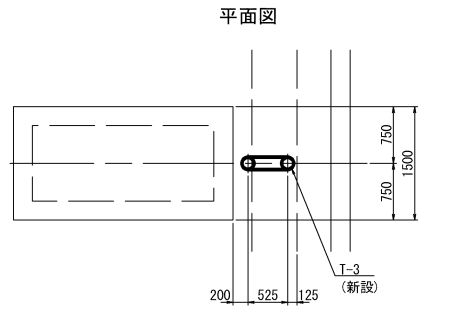
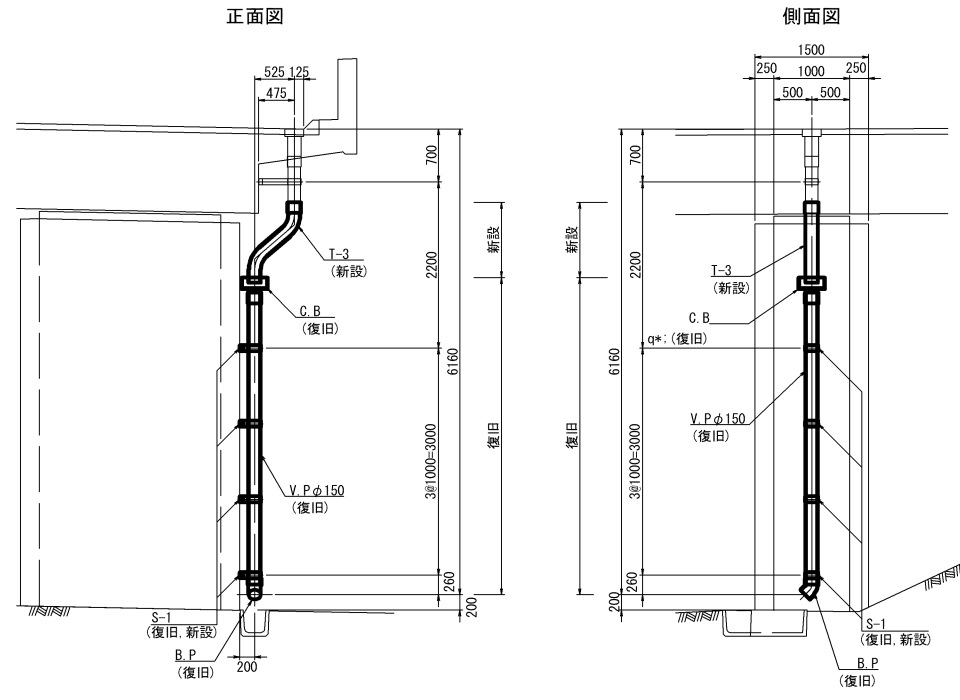


規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	P12橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P2橋脚



スリーブ管 S=1:100



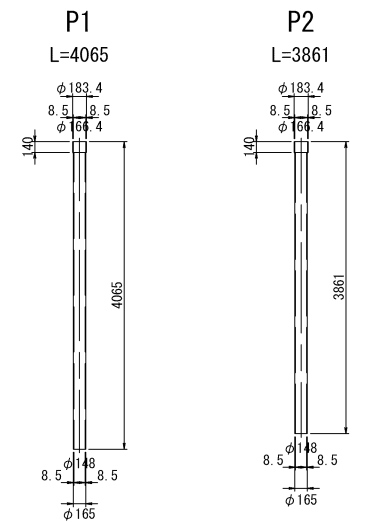
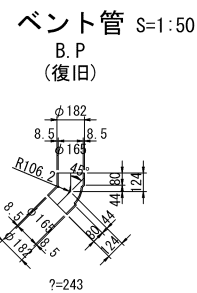
S-1
(復旧, 新設)

80
200
140
14
30
6
47
147
87
60
BN
5
5

1-PL 80×6×200 (復旧)
1-FB 80×6×116 (復旧)
2-BN M12×40 (復旧)
2-コンクリートアンカー M12×50 (新設)

コンクリートアンカー
φ*: M12×50
(新設)

φ*: M12×40
(復旧)



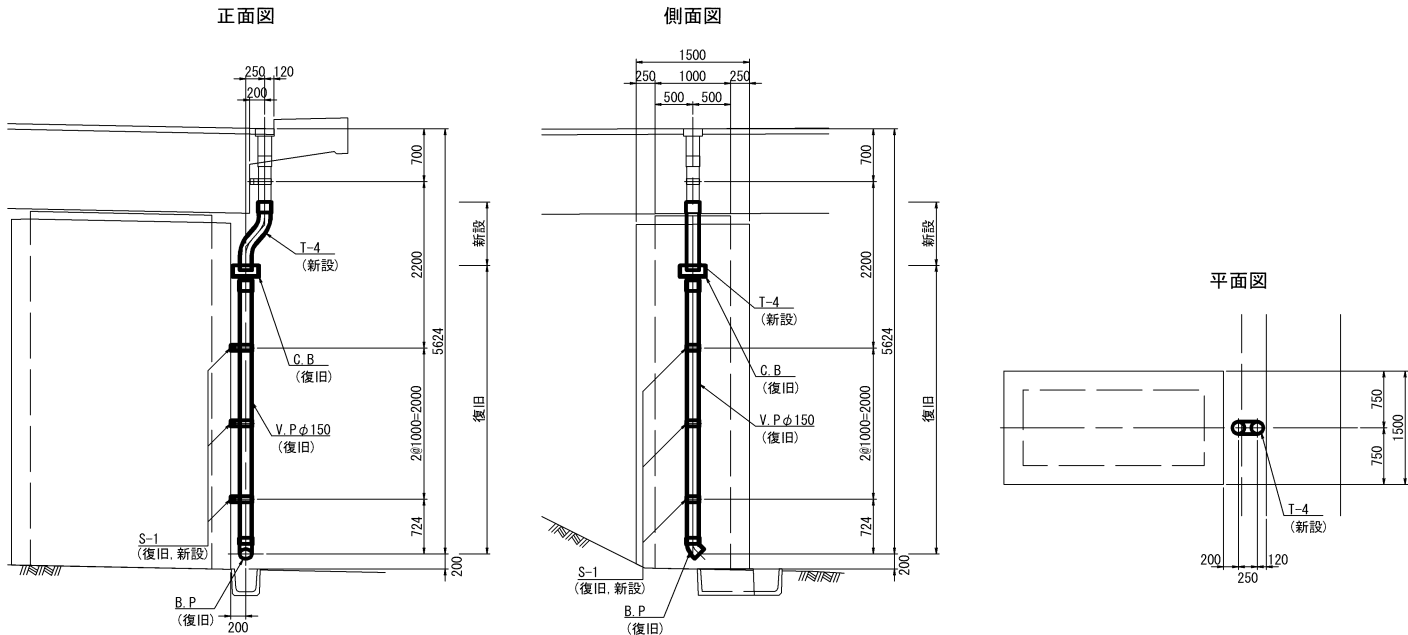
新設数量						
名称	形状	単位	数 量		合計	摘要
			P1	P2		
曲管	T-3	個	1	1	2	流延延長 1.270m
コンクリートアンカー	M12×50	〃	8	8	16	S-1 1個当たり2個

注記

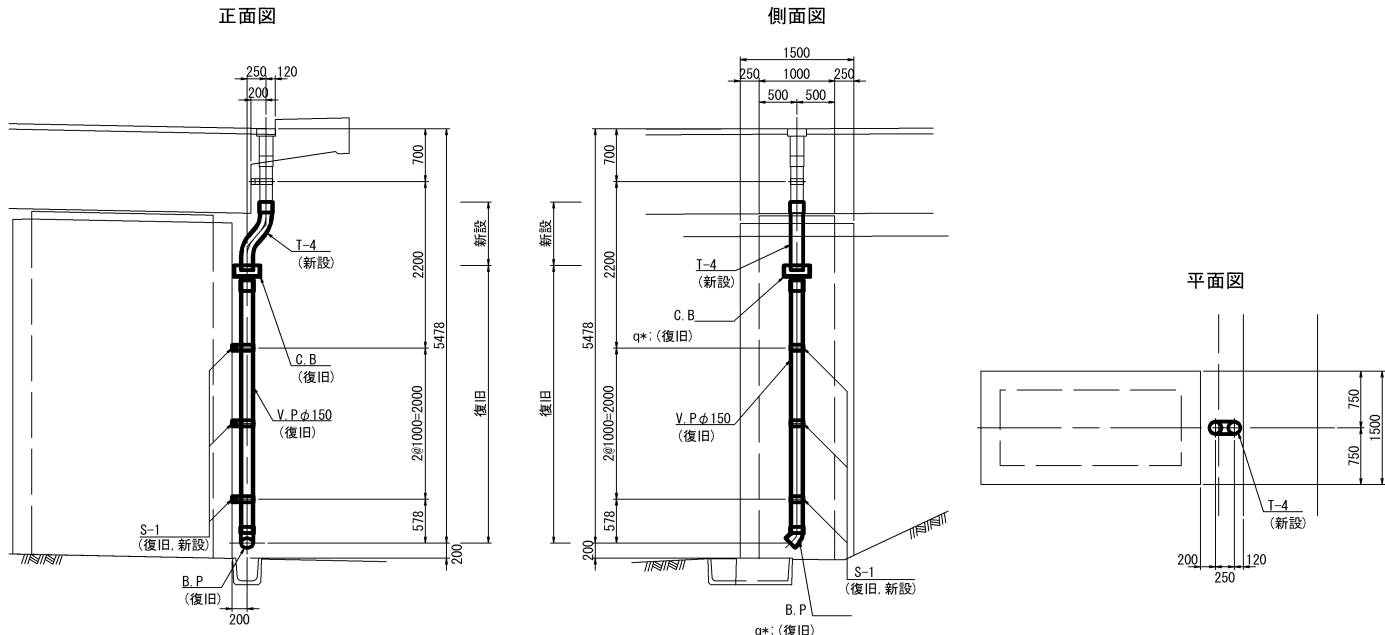
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 取付金具は全て溶融亜鉛メッキとし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 49
3. ナットはすべてゆるみ止め機能付きとする。
4. 新設及び加工は現場実測をして寸法を再度確認のうえ行う。

館山自動車道		
豊成高架橋耐震補強工事		
図面の種類	姉崎第二橋（上り線） 排水装置復旧図	
縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所	

P1橋脚

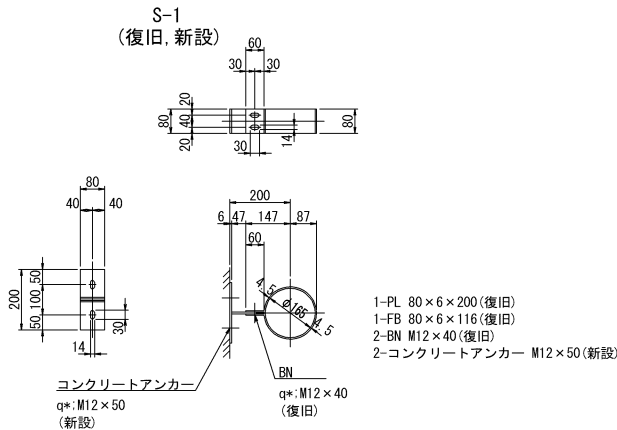


P2橋脚

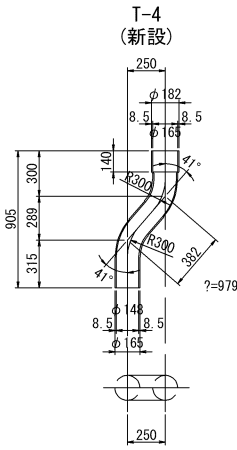


排水管詳細図

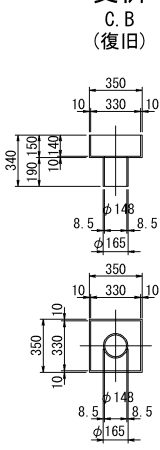
取付金具 S=1:25



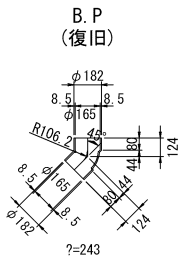
曲管 S=1:50



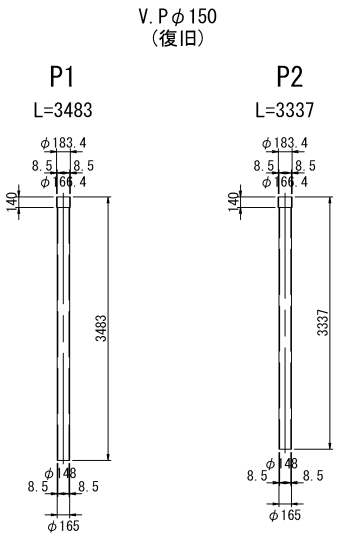
受樹 S=1:50



ベント管 S=1:50



スリーブ管 S=1:100



流心延長表

橋脚	スリーブ管長 l (m)		流心延長 (m)
	加工前	加工後	
P1	3.483	(3.483)	4.760
P2	3.337	(3.337)	4.614
合計	6.820	(6.820)	9.374

※流心延長 (m)
・ 0.979 - 0.065 + 0.200 + スリーブ管長 l + 0.243 - 0.080
(T-4長) (受樹内T-4長) (受樹) (B.P長) (B.P内スリーブ管長)

復旧数量

名称	形状	単位	数量		合計	摘要
			P1	P2		
受樹	C.B	個	1	1	2	
スリーブ管	V.P.φ150	個	1	-	1	流心延長 3.483m
"	"	"	-	1	1	流心延長 3.337m
取付金具	S-1	"	3	3	6	
ベント管	B.P	"	1	1	2	

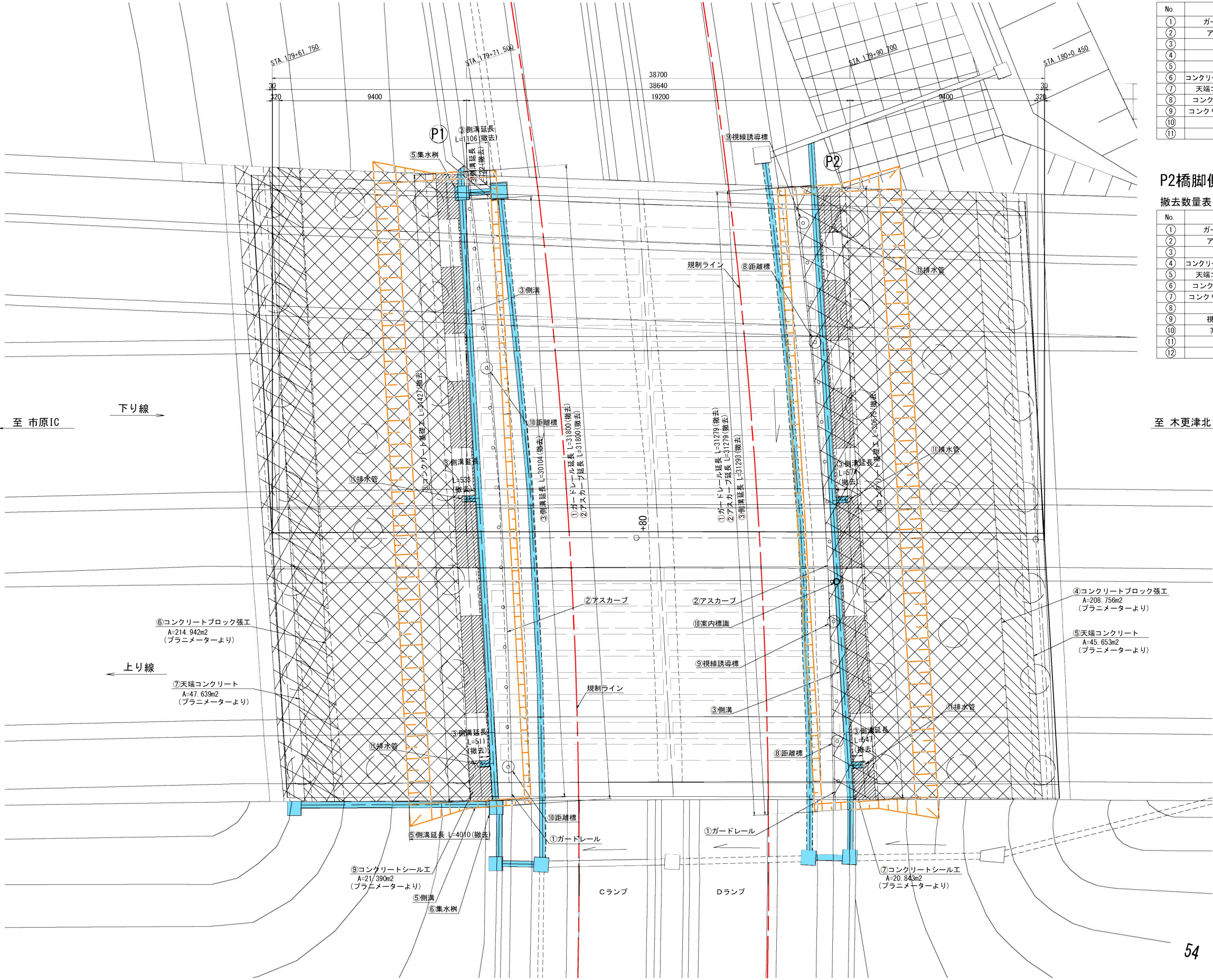
新設数量

名称	形状	単位	数量		合計	摘要
			P1	P2		
曲管	T-4	個	1	1	2	流心延長 0.979m
コンクリートアンカー	M12×50	"	6	6	12	S-1 1個当り2個

- 注記
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 取付金具は全て溶融亜鉛メッキとし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 49
 - ナットはすべてゆるみ止め機能付きとする。
 - 新設及び加工は現場実測をして寸法を再度確認のうえ行う。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	姉崎第二橋 (下り線)		
	排水装置復旧図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面図



P1橋脚側

撤去数量表

No.	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
①	ガードレール	Gr-A-2E	m	31.8	撤去
②	アスカープ	As-C	m	31.8	撤去
③	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	33.0	撤去
④	側溝	Dv-PuL・0.30・0.30(5)	m	4.0	撤去
⑤	集水樹	Dc(D)-0.50・0.50・0.50	基	2	撤去
⑥	コンクリートブロック張工	(空)控12cm	m2	214.9	撤去
⑦	天端コンクリート		m2	47.6	撤去
⑧	コンクリート基礎工		m	31.4	撤去
⑨	コンクリートシール工	t=10cm	m2	21.4	撤去
⑩	距離標	D2	枚	2	撤去
⑪	排水管	VPφ150	m	10.8	撤去

P2橋脚側

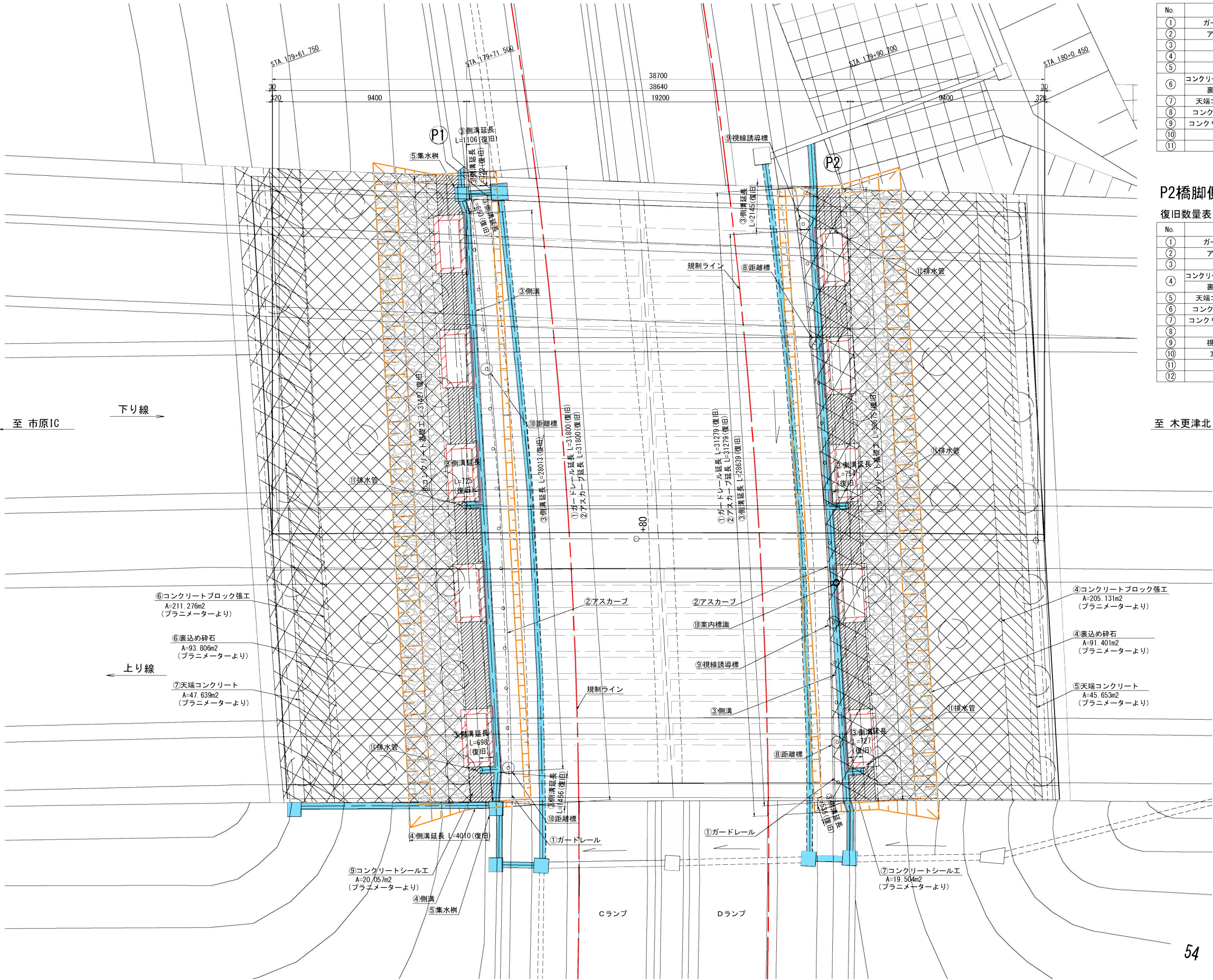
撤去数量表

No.	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
①	ガードレール	Gr-A-2E	m	31.3	撤去
②	アスカープ	As-C	m	31.3	撤去
③	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	32.4	撤去
④	コンクリートブロック張工	(空)控12cm	m2	208.8	撤去
⑤	天端コンクリート		m2	45.7	撤去
⑥	コンクリート基礎工		m	30.7	撤去
⑦	コンクリートシール工	t=10cm	m2	20.8	撤去
⑧	距離標	D2	枚	2	撤去
⑨	視線誘導標	A2-1	基	2	撤去
⑩	案内標識	600×1500	基	1	撤去
⑪	排水管	VPφ150	m	10.4	撤去
⑫	排水管	VPφ60	m	6.0	撤去

注記) 1. 工事に際しては施工範囲に埋設物等がある可能性があるため、事前に調査を行ったうえで施工を行うこと。
2. 排水管については、付属物撤去図も参照のこと。
3. 設備物の規格については、既往資料がないため、現地に確認を行うこと。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
図面の種類	姉崎第二橋(上下線) 付帯工撤去図(参考図)			
	縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所			

平面図



P1橋脚側

復旧数量表

No.	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
①	ガードレール	Gr-A-2E	m	31.8	復旧
②	アスカープ	As-C	m	31.8	復旧
③	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	33.0	復旧
④	側溝	Dv-PuL・0.30・0.30(5)	m	4.0	復旧
⑤	集水樹	Dc*(D)-0.50・0.50・0.50	基	2	復旧
⑥	コンクリートブロック張工	(空)控12cm	m2	211.3	復旧
⑦	裏込め砕石	C-40~0	m2	93.8	復旧
⑧	天端コンクリート	D1-I	m2	47.6	復旧
⑨	コンクリート基礎工	TypeA	m	31.4	復旧
⑩	コンクリートシール工	t=10cm	m2	20.1	復旧
⑪	距離標	D2	枚	2	復旧
⑫	排水管	VPφ150	m	10.4	復旧

P2橋脚側

復旧数量表

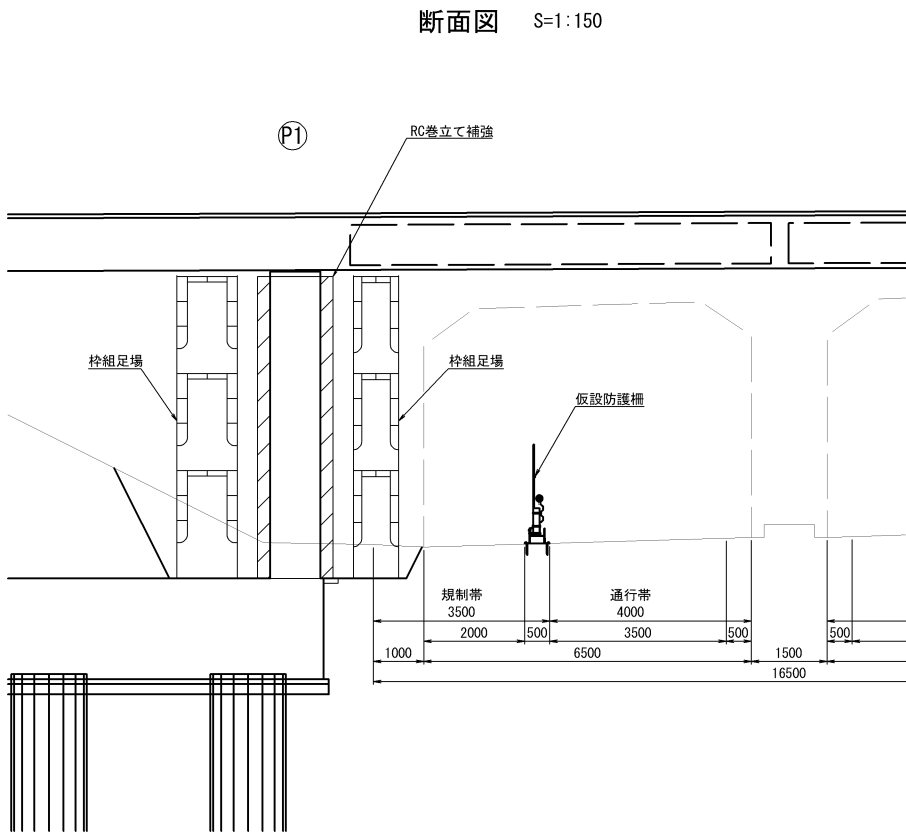
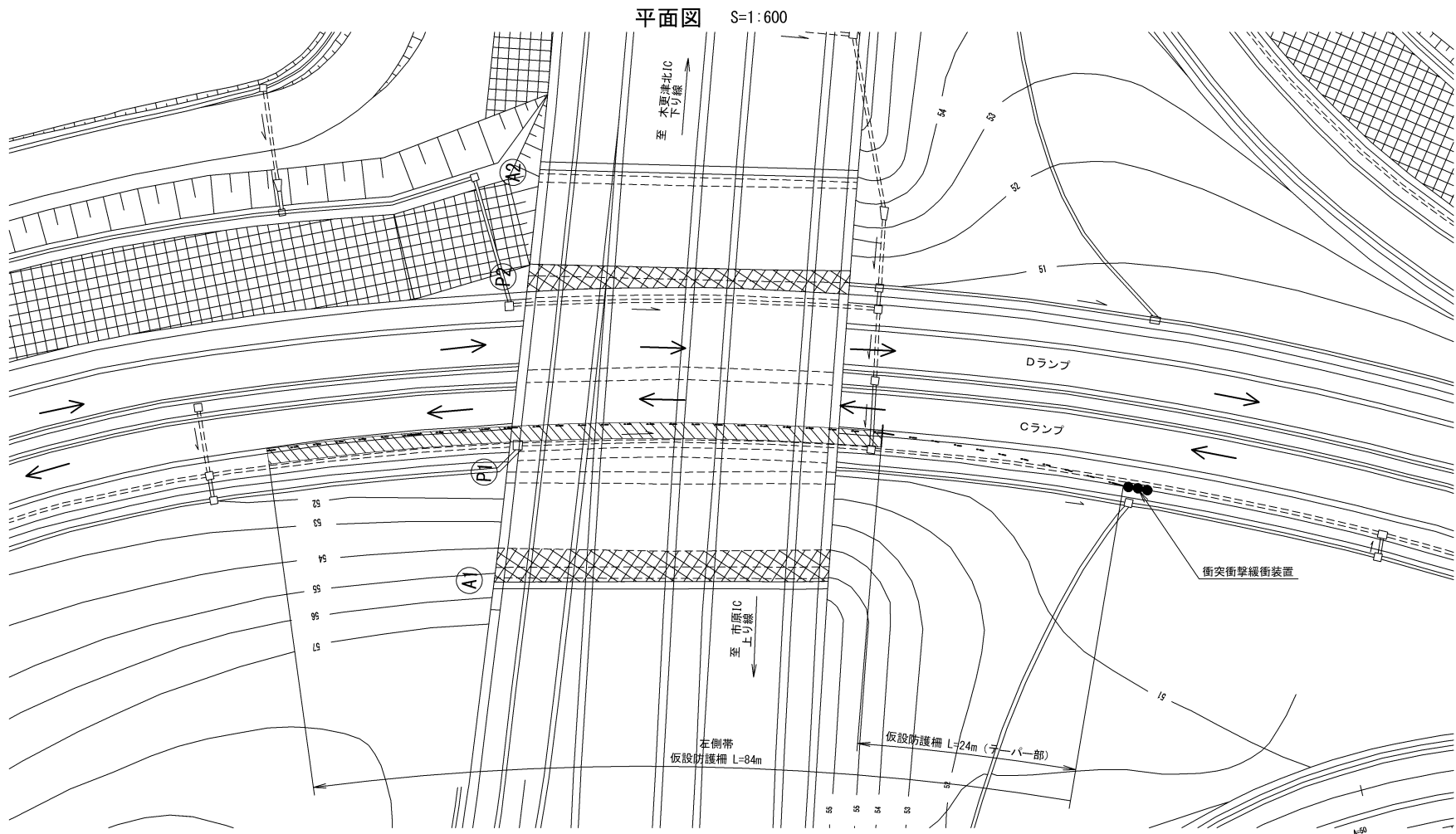
No.	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
①	ガードレール	Gr-A-2E	m	31.3	復旧
②	アスカープ	As-C	m	31.3	復旧
③	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	32.4	復旧
④	コンクリートブロック張工	(空)控12cm	m2	205.1	復旧
⑤	裏込め砕石	C-40~0	m2	91.4	復旧
⑥	天端コンクリート	D1-I	m2	45.7	復旧
⑦	コンクリート基礎工	TypeA	m	30.7	復旧
⑧	コンクリートシール工	t=10cm	m2	19.5	復旧
⑨	距離標	D2	枚	2	復旧
⑩	視線誘導標	A2-1	基	2	復旧
⑪	案内標識	600×1500	基	1	再設置
⑫	排水管	VPφ150	m	10.0	復旧
⑬	排水管	VPφ60	m	6.0	復旧

注記) 1. 工事に際しては施工範囲に埋設物等がある可能性があるため、事前に調査を行ったうえで施工を行うこと。
2. 排水管については、付属物復旧図も参照のこと。
3. 設備管の規格については、既往資料がないため、現地にて確認を行うこと。

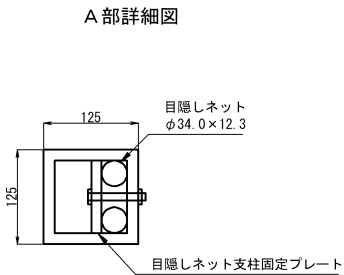
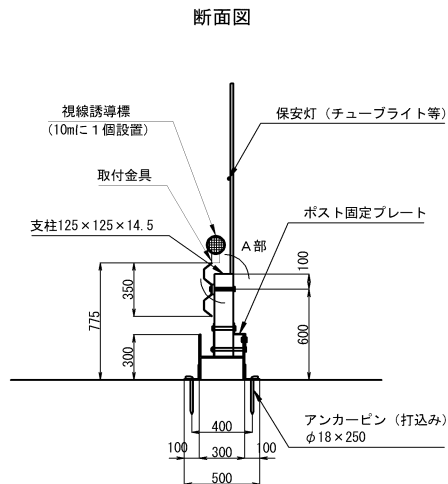
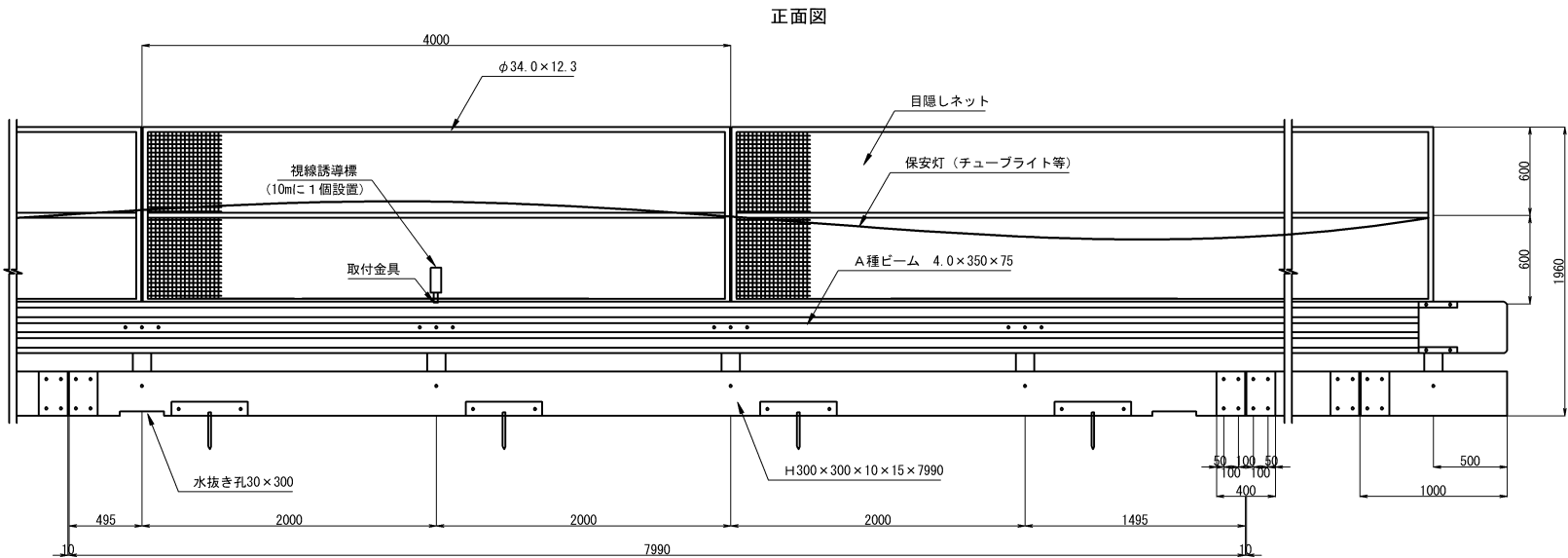
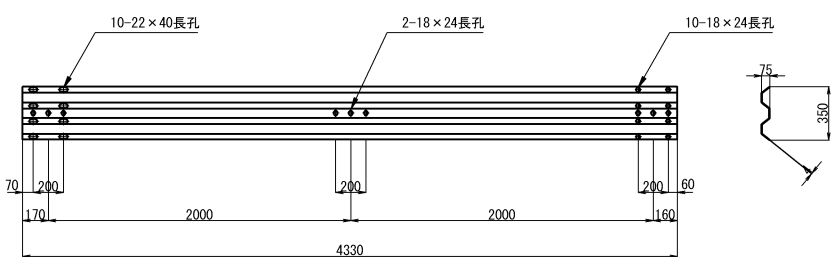
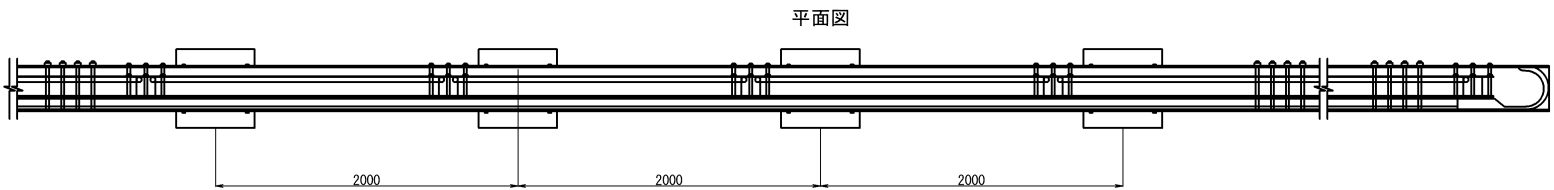
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
図面の種類	姉崎第二橋(上下線) 付帯工復旧図(参考図)			
	縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所			

姉崎第二橋(上下線) 仮設防護柵図(参考図)(その1)

P1橋脚施工時 Cランプ路肩規制(固定規制)



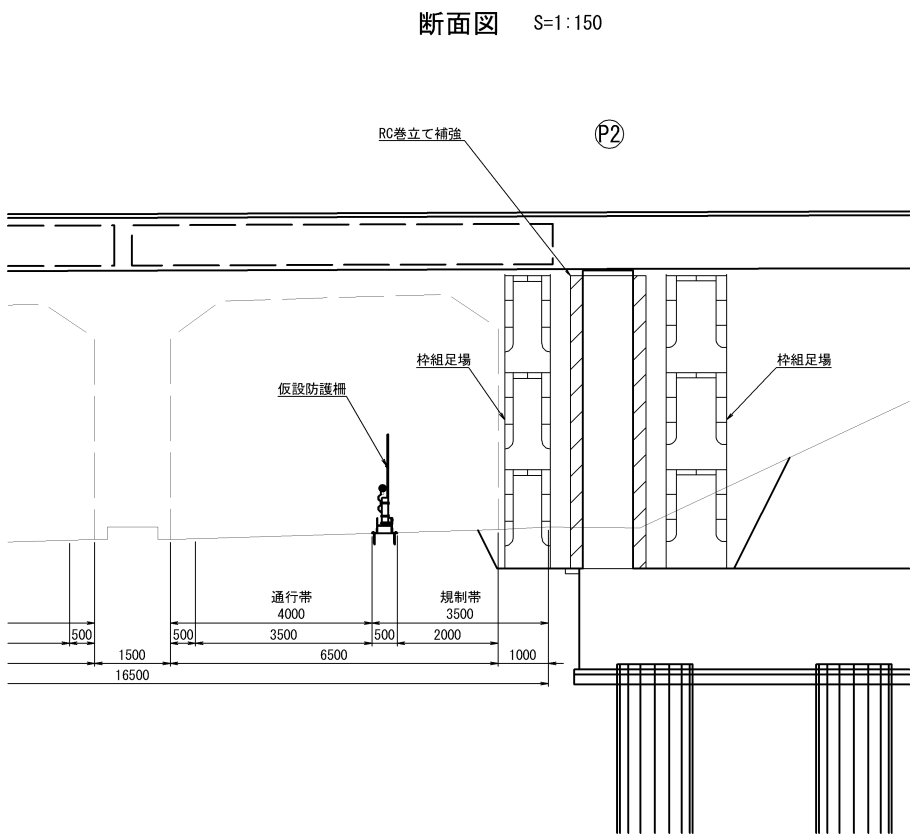
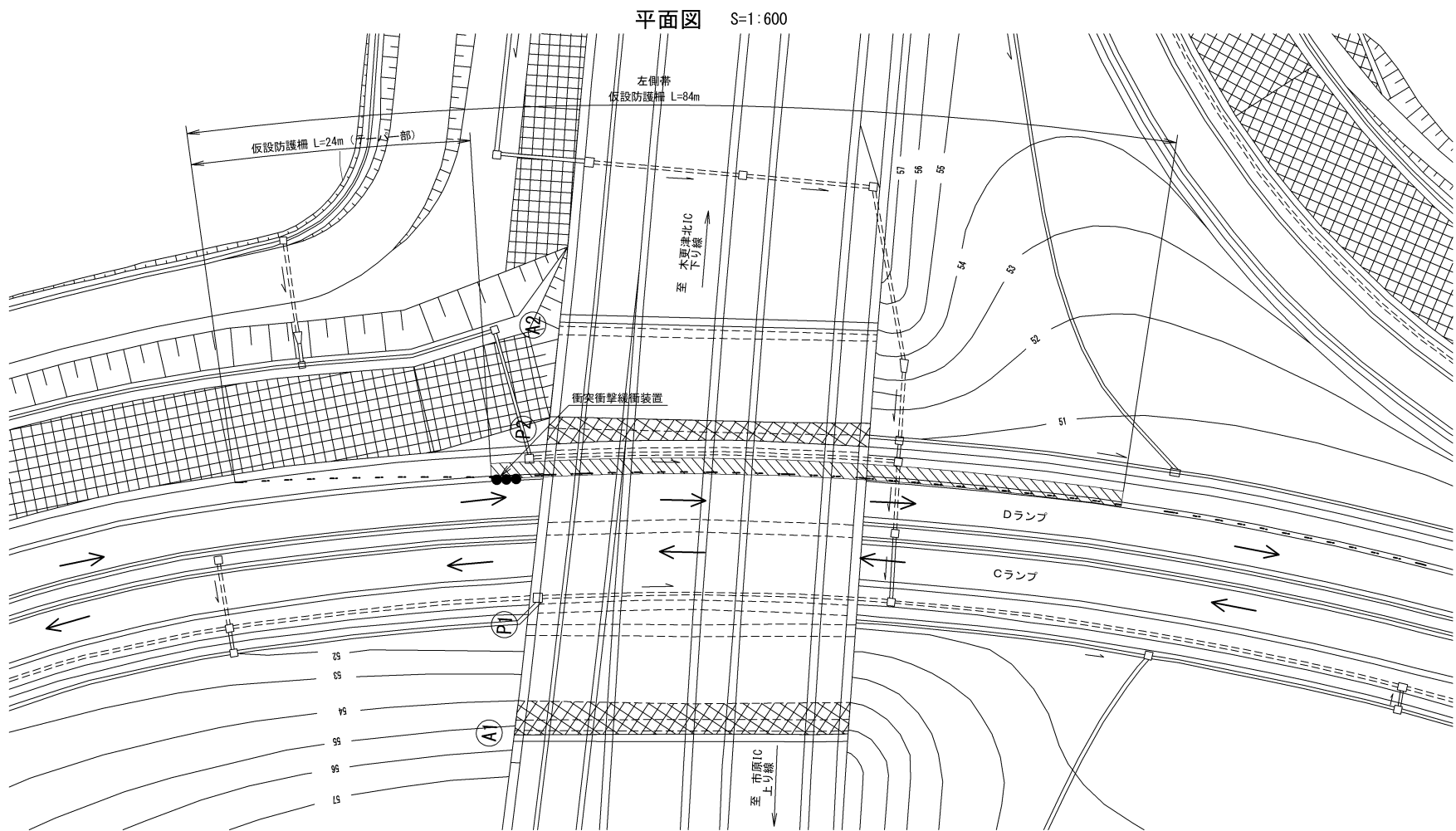
仮設防護柵姿図 S=1:50



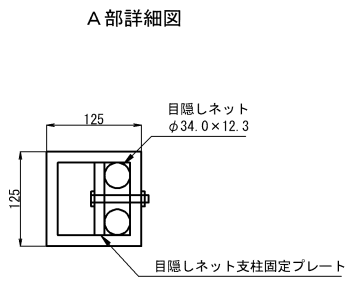
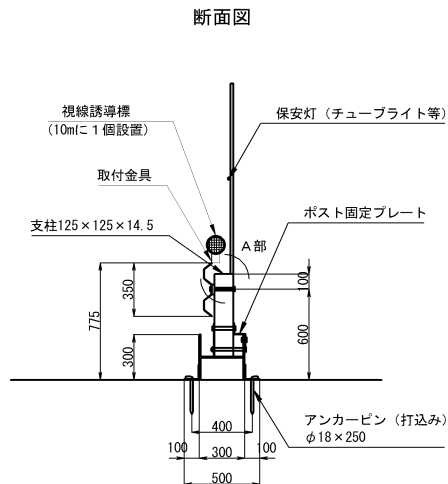
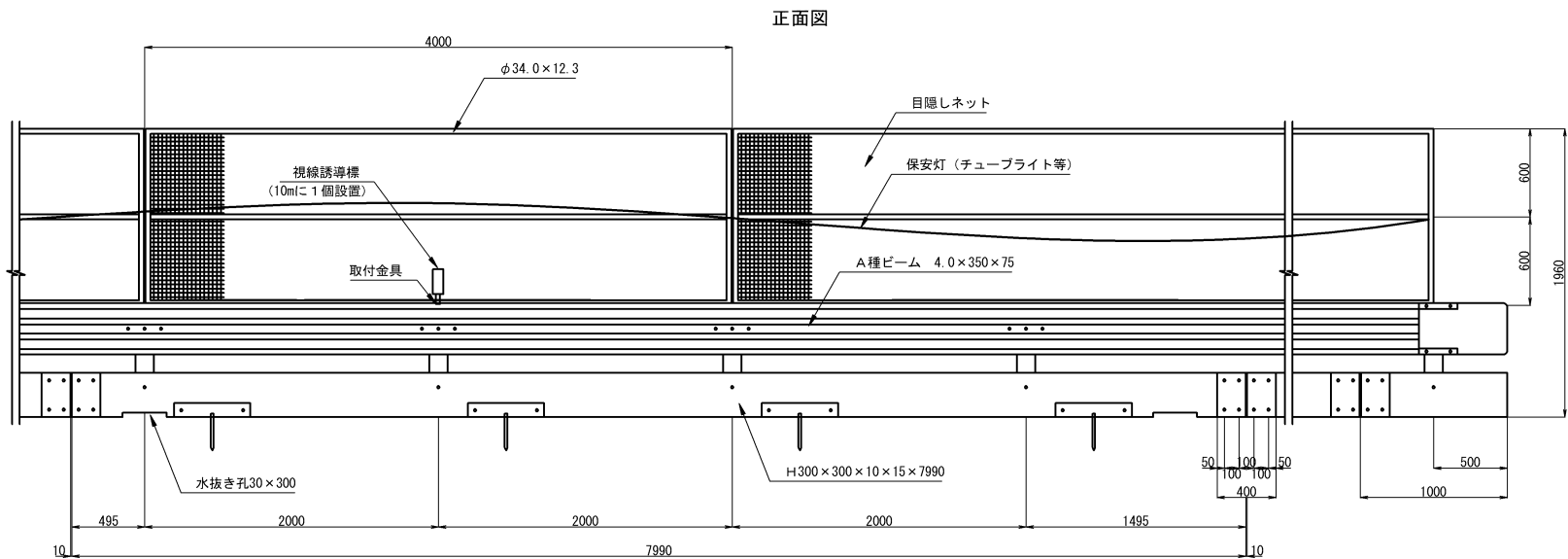
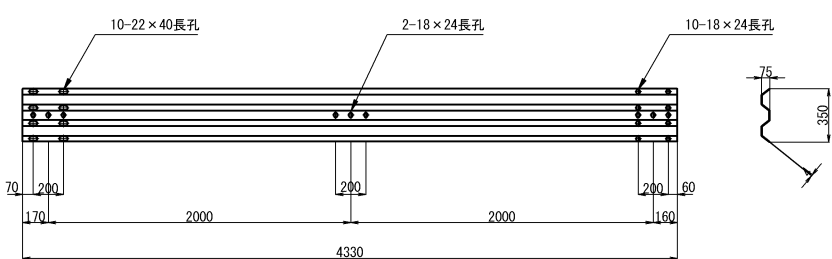
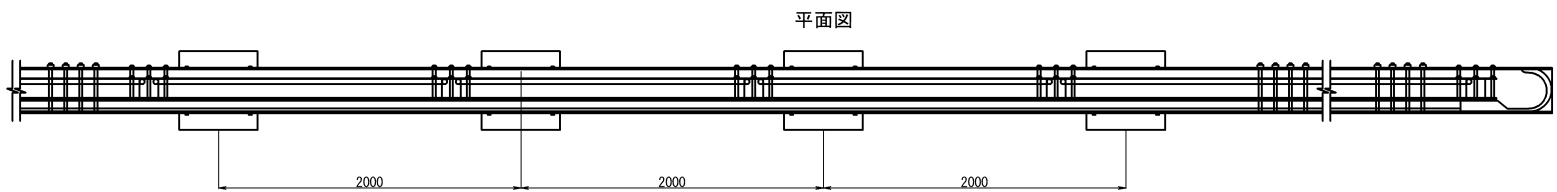
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	姉崎第二橋(上下線) 仮設防護柵図(参考図)(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

姉崎第二橋(上下線) 仮設防護柵図(参考図)(その2)

P2橋脚施工時 Dランプ路肩規制(固定規制)

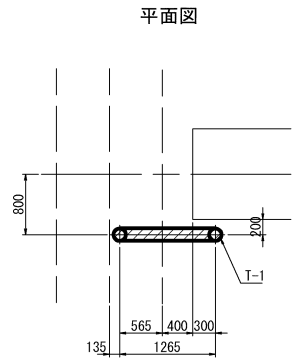
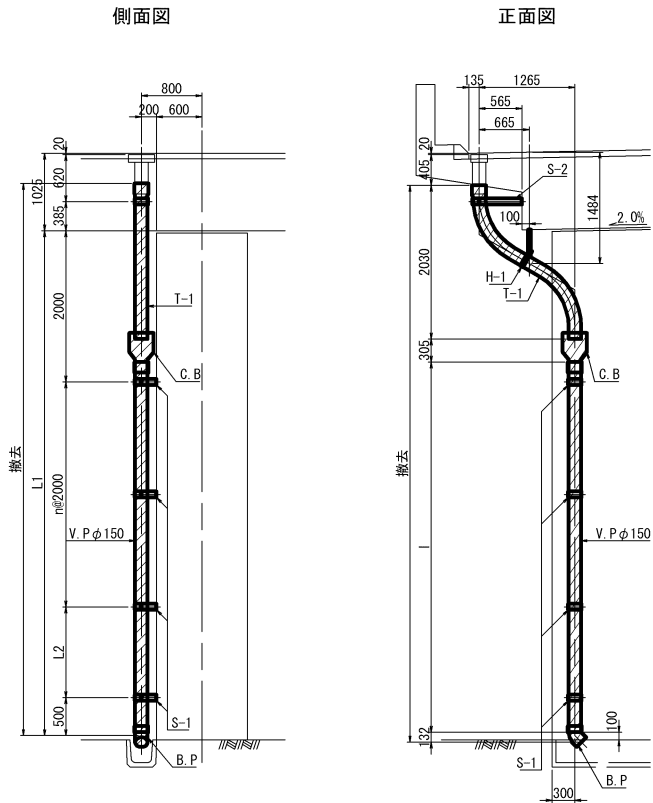


仮設防護柵姿図 S=1:50

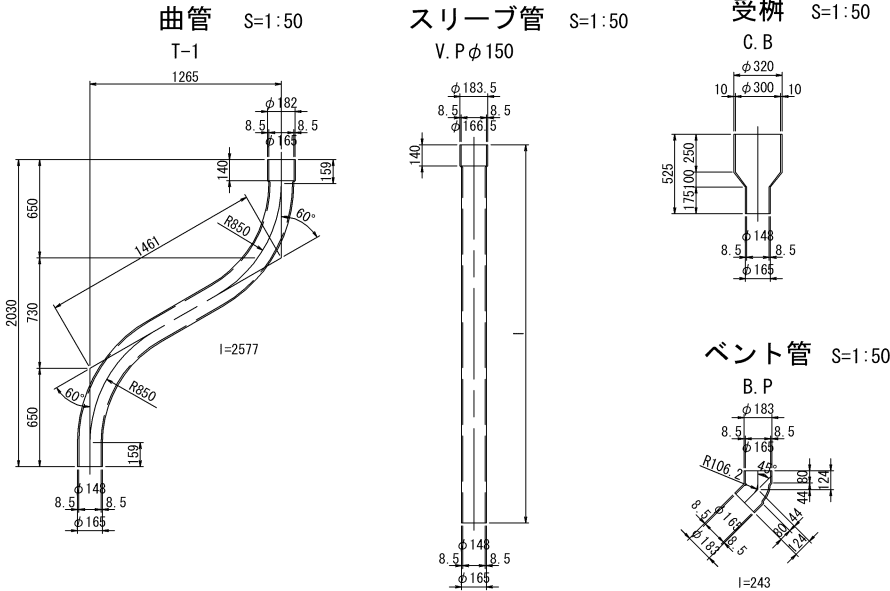


館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	姉崎第二橋(上下線) 仮設防護柵図(参考図)(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	市 原 管 理 事 務 所		

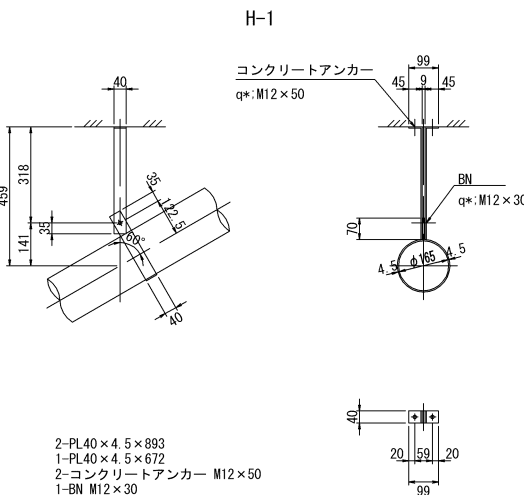
P2～P11, P13～P18橋脚



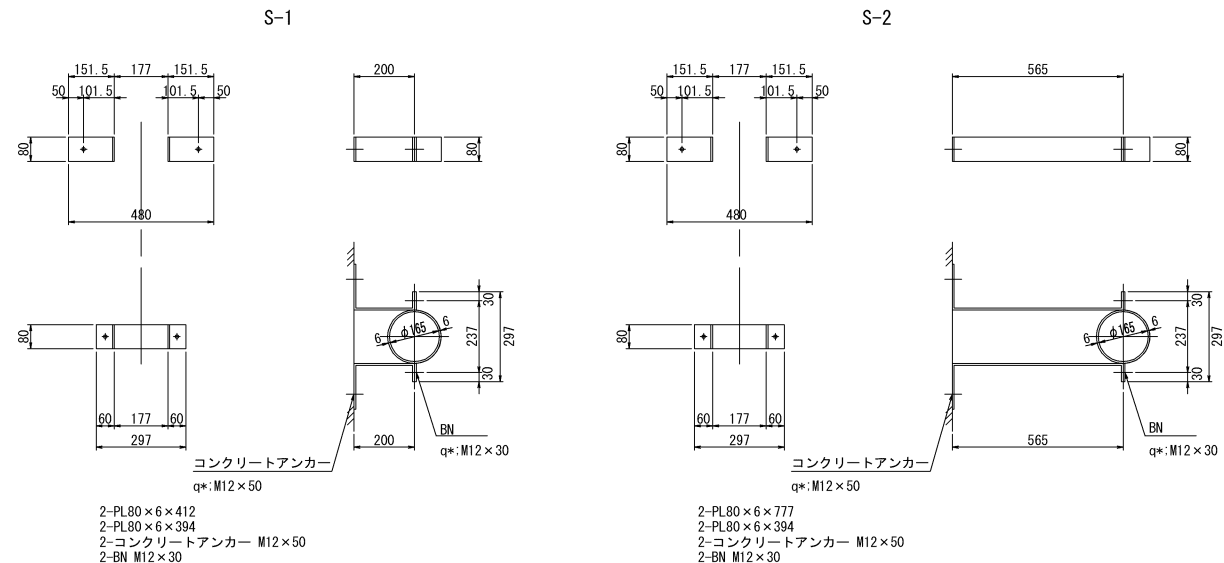
排水管詳細図



ハンガー S=1:25



取付金具 S=1:25



寸法表

橋脚	L1 (mm)	n	L2 (mm)	スリーブ管長 l (m)	流心延長 (m)
P2	5700	1	1200	3.921	6.966
P3	6300	1	1800	4.521	7.566
P4	6500	1	2000	4.721	7.766
P5	8500	2	2000	6.721	9.766
P6	8500	2	2000	6.721	9.766
P7	8300	2	1800	6.521	9.566
P8	8500	2	2000	6.721	9.766
P9	8000	2	1500	6.221	9.266
P10	8000	2	1500	6.221	9.266
P11	8200	2	1700	6.421	9.466
P13	8000	2	1500	6.221	9.266
P14	7800	2	1300	6.021	9.066
P15	7100	2	600	5.321	8.366
P16	7200	2	700	5.421	8.466
P17	7200	2	700	5.421	8.466
P18	7100	2	600	5.321	8.366
合計				92.436	141.156

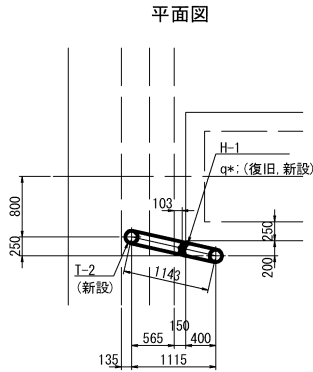
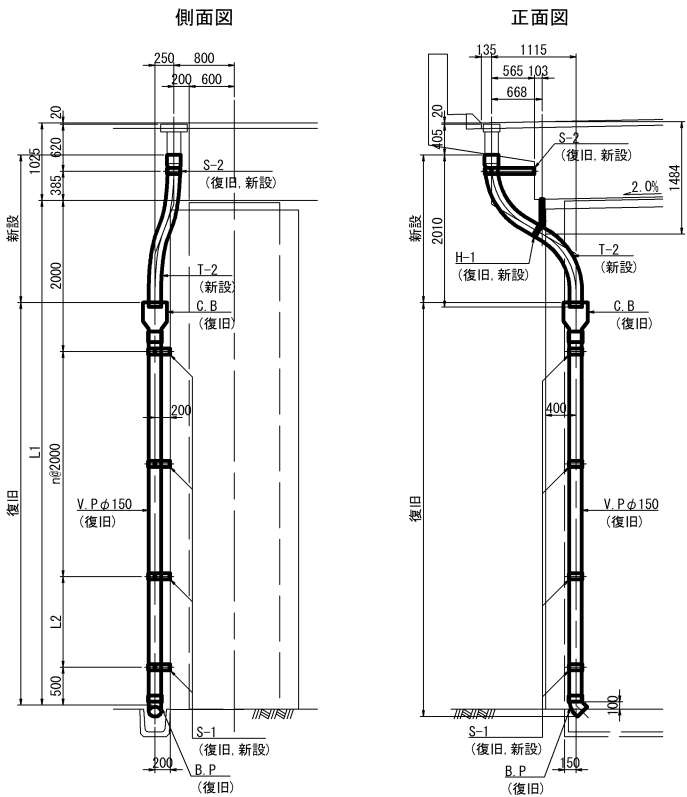
※流心延長 (m)
・ 2.577 - 0.080 + 0.385 + スリーブ管長 l + 0.243 - 0.080
(T-1長) (受桧内T-1長) (受桧) (B.P長) (B.P内スリーブ管長)

撤去数量

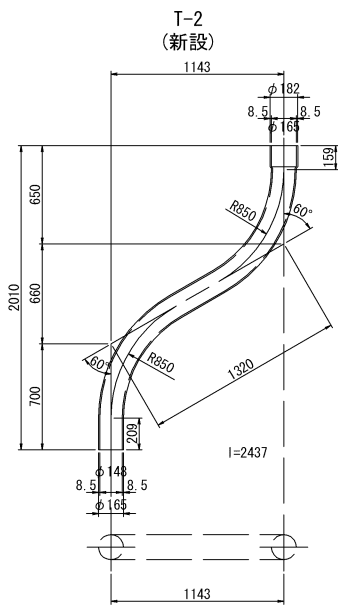
名称	形状	単位	数 量																摘要
曲管	T-1	個	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	
ハンガー	H-1	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	
受桧	C.B	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	
スリーブ管	V.P.φ150	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	
取付金具	S-1	〃	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	61	
	S-2	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	
ベント管	B.P	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋 (上り線) 排水装置撤去図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

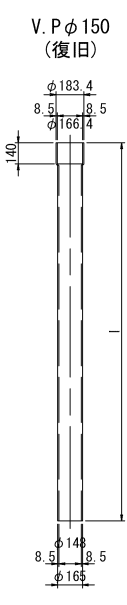
P2～P11, P13～P18橋脚



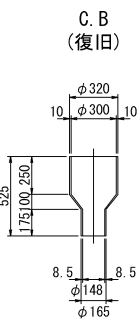
曲管 S=1:50



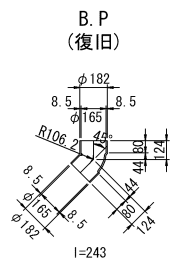
スリーブ管 S=1:50



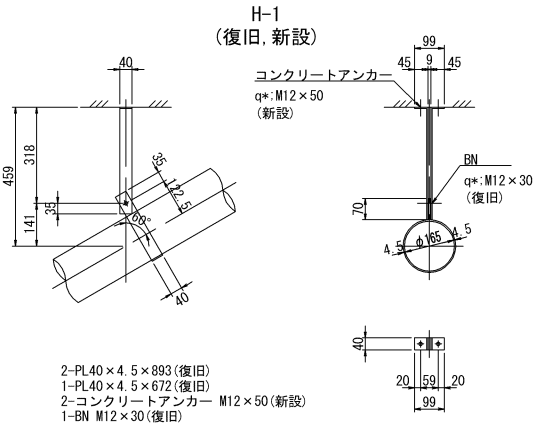
受樹 S=1:50



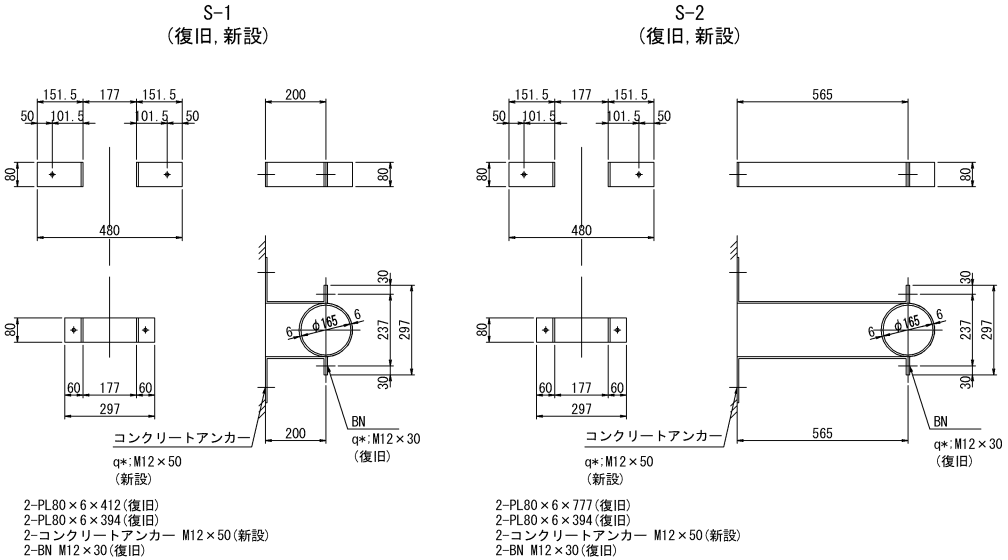
ベント管 S=1:50



ハンガー S=1:25



取付金具 S=1:25



流心延長表

橋脚	L1 (mm)	n	L2 (mm)	スリーブ管長 l (m)		流心延長 (m)
				加工前	加工後	
P2	5700	1	1200	3.921	(3.921)	6.846
P3	6300	1	1800	4.521	(4.521)	7.446
P4	6500	1	2000	4.721	(4.721)	7.646
P5	8500	2	2000	6.721	(6.721)	9.646
P6	8500	2	2000	6.721	(6.721)	9.646
P7	8300	2	1800	6.521	(6.521)	9.446
P8	8500	2	2000	6.721	(6.721)	9.646
P9	8000	2	1500	6.221	(6.221)	9.146
P10	8000	2	1500	6.221	(6.221)	9.146
P11	8200	2	1700	6.421	(6.421)	9.346
P13	8000	2	1500	6.221	(6.221)	9.146
P14	7800	2	1300	6.021	(6.021)	8.946
P15	7100	2	600	5.321	(5.321)	8.246
P16	7200	2	700	5.421	(5.421)	8.346
P17	7200	2	700	5.421	(5.421)	8.346
P18	7100	2	600	5.321	(5.321)	8.246
合計				92.436	(92.436)	139.236

※流心延長 (m)
・ 2.437 - 0.060 + 0.385 + スリーブ管長 l + 0.243 - 0.080
(T-2長) (受樹内T-2長) (受樹) (B.P.長) (B.P.内スリーブ管長)
※ () は、復旧管長を示す。

復旧数量

名称	形状	単位	数 量																摘要
			P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P13	P14	P15	P16	P17	P18	
ハンガー	H-1	個	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
受樹	C.B.	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
スリーブ管	V.P.φ150	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
取付金具	S-1	〃	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	61
	S-2	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
ベント管	B.P.	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16

新設数量

名称	形状	単位	数 量																摘要
			P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P13	P14	P15	P16	P17	P18	
曲管	T-2	個	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16 流心延長 2.437m
コクリートアンカ	M12×50	〃	10	10	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	186 S-1, S-2, H-1 1個当り2個

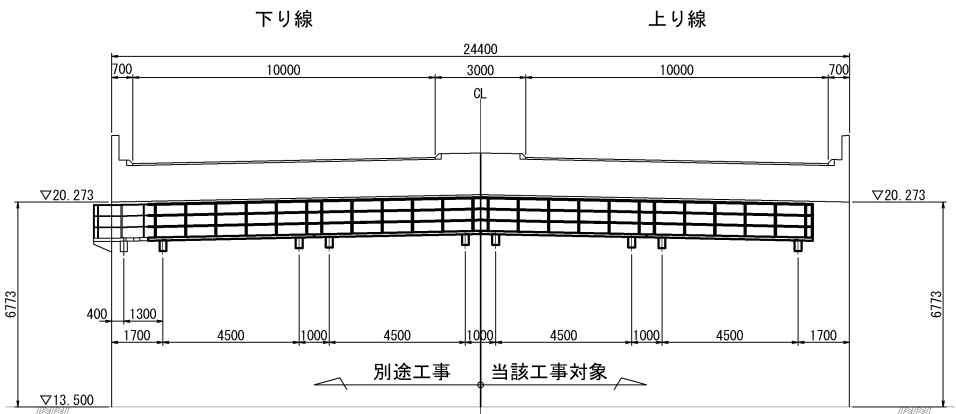
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 取付金具は全て溶融亜鉛メッキとし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 49
3. ナットはすべてゆるみ止め機能付きとする。
4. 新設及び加工は現場実測をして寸法を再度確認のうえ行う。

※S-2は既設完成図に記載がないため、形状は想定とする。

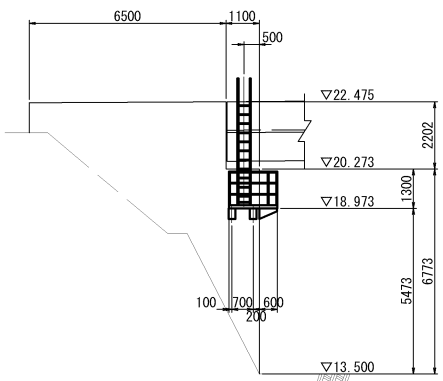
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋 (上り線) 排水装置復旧図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

A2橋台

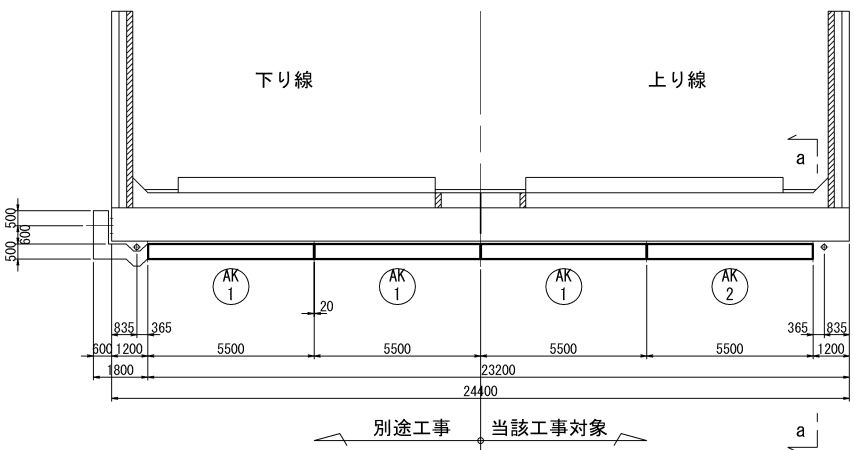
正面図 S=1:250



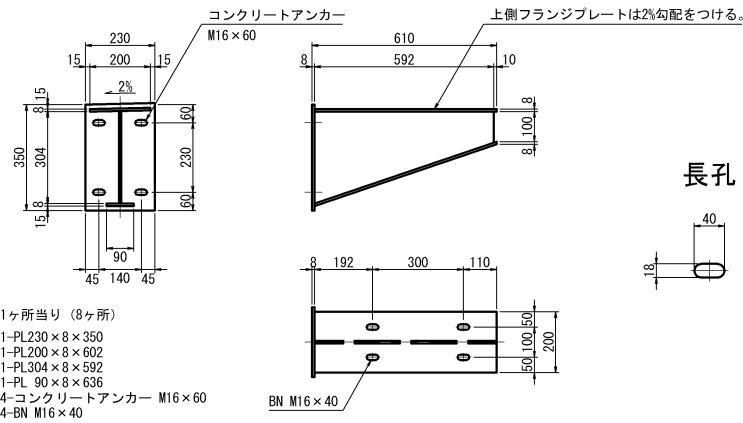
側面図 S=1:250



平面図 S=1:250



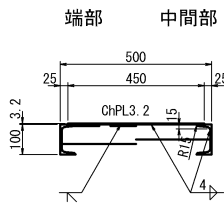
受台 S=1:25



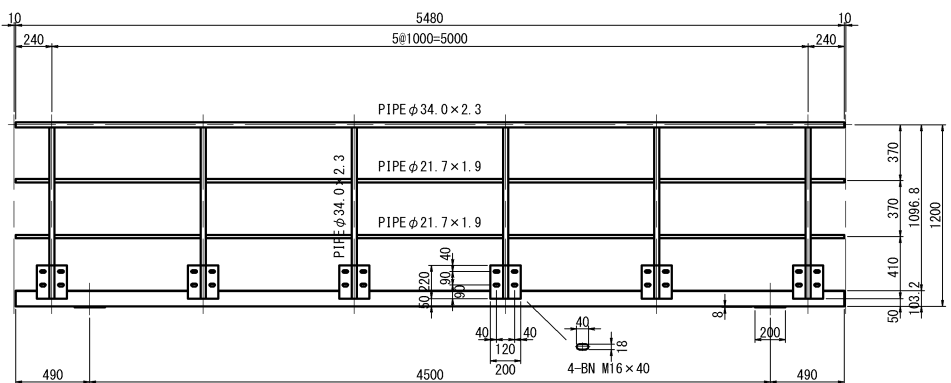
長孔 S=1:10



歩廊断面 S=1:25



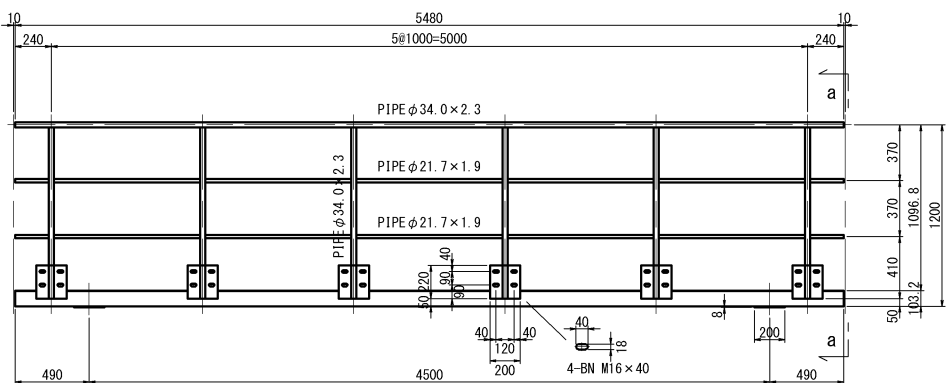
AK1 詳細図



AK1

- 1ヶ所当り (3ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×5480
 - 6-PIPE φ34.0×2.3×1150
 - 10-PIPE φ21.7×1.9×974
 - 4-PIPE φ21.7×1.9×227
 - 12-PL220×6×200
 - 24-BN M16×40

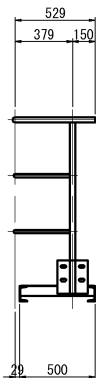
AK2 詳細図



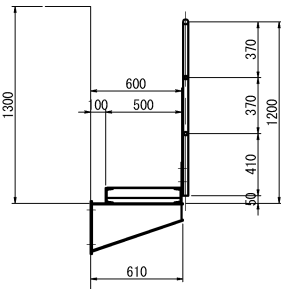
AK2

- 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×5480
 - 7-PIPE φ34.0×2.3×1150
 - 10-PIPE φ21.7×1.9×974
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×227
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×643
 - 14-PL220×6×200
 - 28-BN M16×40

a - a



受台位置断面



AK1

- 1ヶ所当り (3ヶ所)
- 2-[100×50×5×7.5×5480
 - 2-L65×65×6×490
 - 6-FB50×6×490
 - 1-CKPL480×3.2×5480
 - 50-BN M16×40
 - 2-PL200×8×520

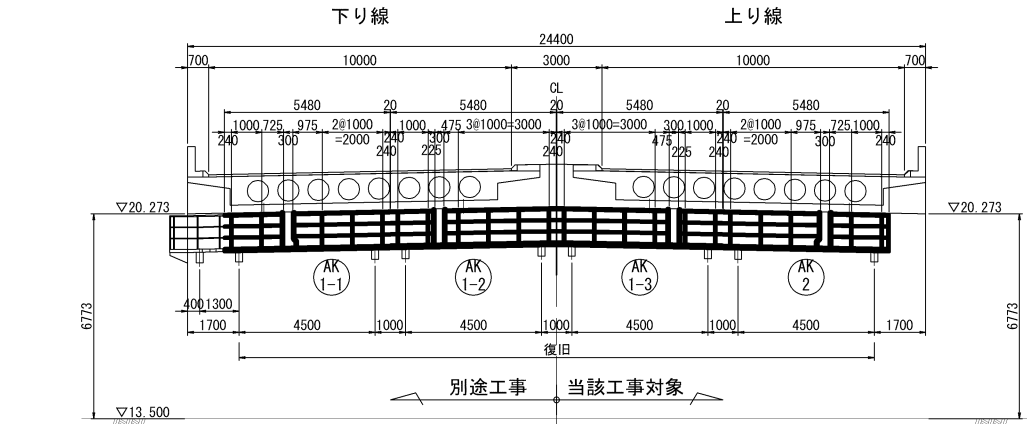
AK2

- 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 2-[100×50×5×7.5×5480
 - 2-L65×65×6×490
 - 6-FB50×6×490
 - 1-CKPL480×3.2×5480
 - 50-BN M16×40
 - 2-PL200×8×520

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線)		
	下部工検査路撤去図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

A2橋台

正面図



AK 1-1

- 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×1900(加工)
 - 1-PIPE φ34.0×2.3×3150(加工)
 - 5-PIPE φ34.0×2.3×1150(復旧)
 - 1-L65×65×6×1255(新設)
 - 1-L65×65×6×914(新設)
 - 1-L65×65×6×127(新設)
 - 1-L65×65×6×251(新設)
 - 6-PIPE φ21.7×1.9×974(復旧)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×647(加工)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×897(加工)
 - 4-PIPE φ21.7×1.9×227(復旧)
 - 10-PL220×6×200(復旧)
 - ※ 1-PL50×6×200(加工)
 - 20-BN M16×40(復旧)
 - 2-BN M16×40(新設)
- ※ はガス切断を行う。

AK 1-2

- 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×1400(加工)
 - 1-PIPE φ34.0×2.3×3650(加工)
 - 6-PIPE φ34.0×2.3×1150(復旧)
 - 2-L65×65×6×1255(新設)
 - 8-PIPE φ21.7×1.9×974(復旧)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×147(加工)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×397(加工)
 - 4-PIPE φ21.7×1.9×227(復旧)
 - 12-PL220×6×200(復旧)
 - 24-BN M16×40(復旧)
 - 2-BN M16×40(新設)
- ※ はガス切断を行う。

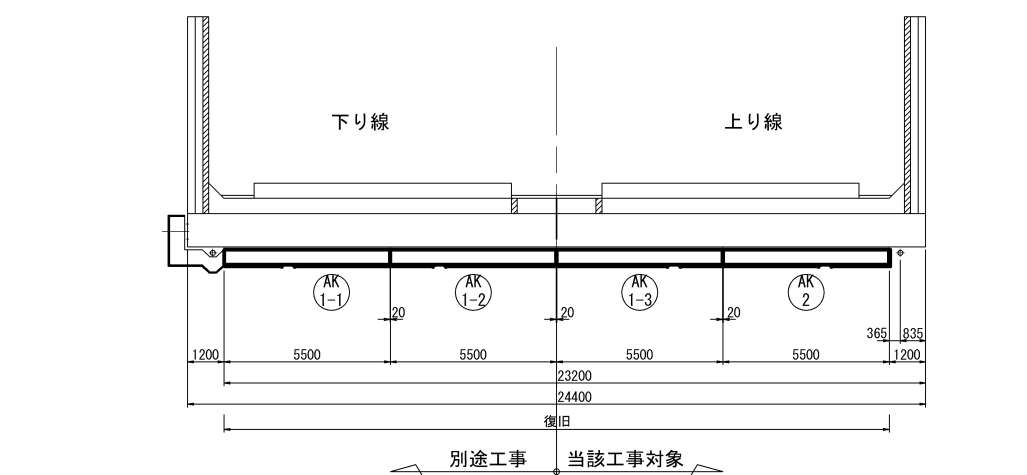
AK 1-3

- 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×3650(加工)
 - 1-PIPE φ34.0×2.3×1400(加工)
 - 6-PIPE φ34.0×2.3×1150(復旧)
 - 2-L65×65×6×1255(新設)
 - 8-PIPE φ21.7×1.9×974(復旧)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×397(加工)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×147(加工)
 - 4-PIPE φ21.7×1.9×227(復旧)
 - 12-PL220×6×200(復旧)
 - 24-BN M16×40(復旧)
 - 2-BN M16×40(新設)
- ※ はガス切断を行う。

AK 2

- 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 1-PIPE φ34.0×2.3×3150(加工)
 - 1-PIPE φ34.0×2.3×2412(加工)
 - 6-PIPE φ34.0×2.3×1150(復旧)
 - 1-L65×65×6×1255(新設)
 - 1-L65×65×6×914(新設)
 - 1-L65×65×6×127(新設)
 - 1-L65×65×6×251(新設)
 - 6-PIPE φ21.7×1.9×974(復旧)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×897(加工)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×647(加工)
 - 2-PIPE φ21.7×1.9×227(復旧)
 - 12-PL220×6×200(復旧)
 - ※ 1-PL50×6×200(加工)
 - 24-BN M16×40(復旧)
 - 2-BN M16×40(新設)
- ※ はガス切断を行う。

平面図



AK 1-1

- 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 2-[100×50×5×7.5×5480(復旧)
 - 2-L65×65×6×490(復旧)
 - 6-FB50×6×490(復旧)
 - 1-CKPL480×3.2×5480(復旧)
 - 2-PL200×8×520(復旧)

AK 1-2

- 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 2-[100×50×5×7.5×5480(復旧)
 - 2-L65×65×6×490(復旧)
 - 6-FB50×6×490(復旧)
 - 1-CKPL480×3.2×5480(復旧)
 - 2-PL200×8×520(復旧)

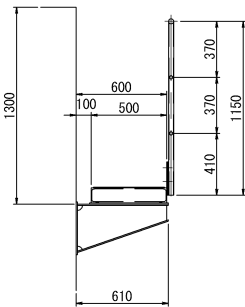
AK 1-3

- 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 2-[100×50×5×7.5×5480(復旧)
 - 2-L65×65×6×490(復旧)
 - 6-FB50×6×490(復旧)
 - 1-CKPL480×3.2×5480(復旧)
 - 2-PL200×8×520(復旧)

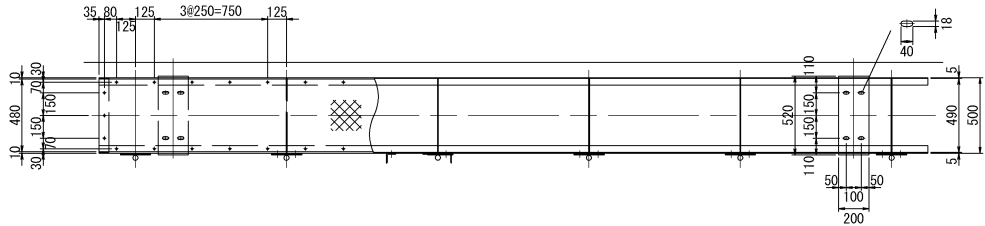
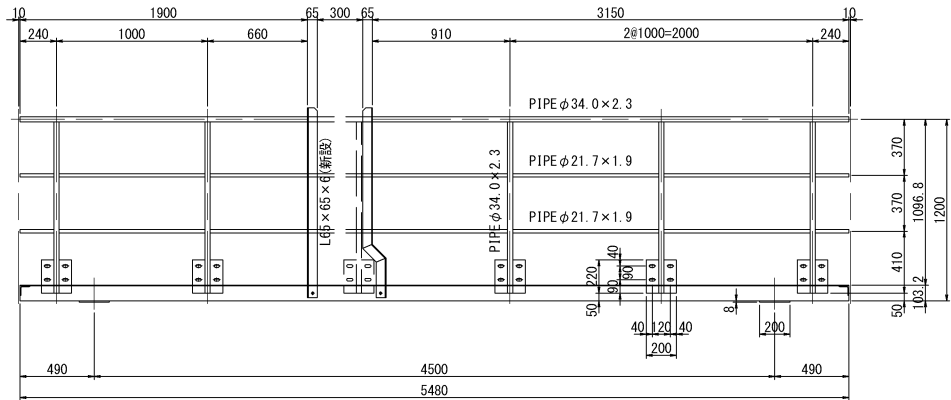
AK 2

- 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 2-[100×50×5×7.5×5480(復旧)
 - 2-L65×65×6×490(復旧)
 - 6-FB50×6×490(復旧)
 - 1-CKPL480×3.2×5480(復旧)
 - 2-PL200×8×520(復旧)

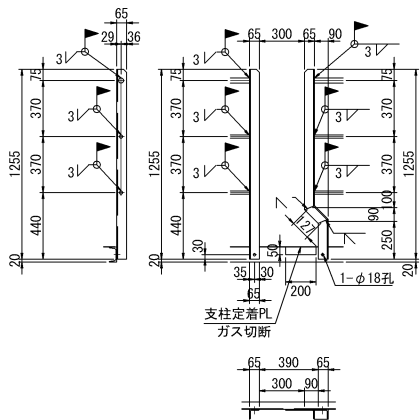
受け台位置断面



AK 1-1 詳細図 S=1:50



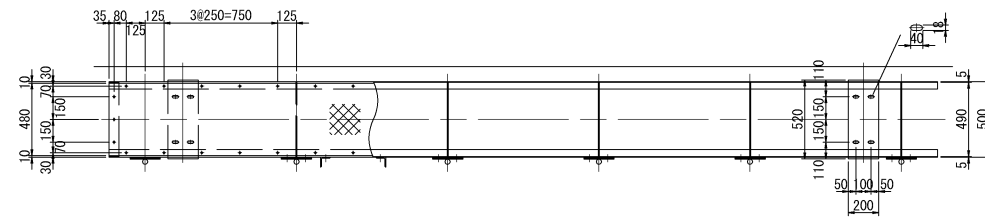
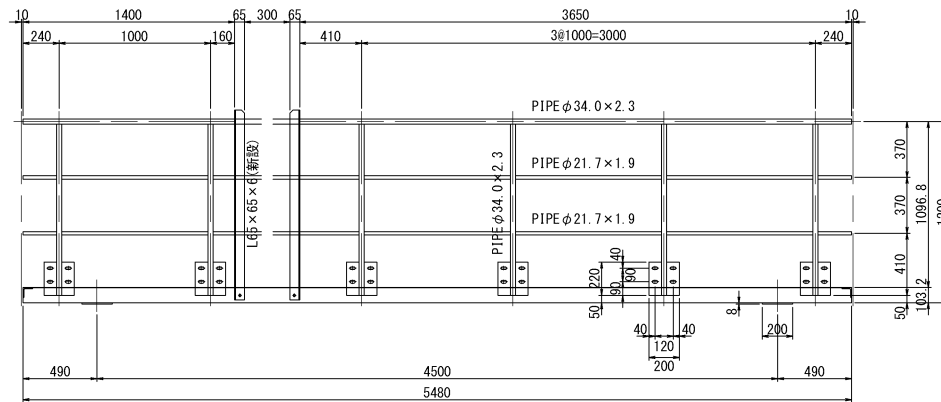
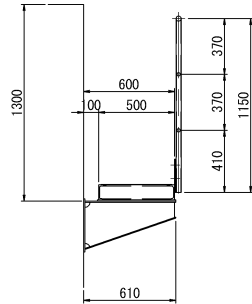
AK1-1加工詳細図



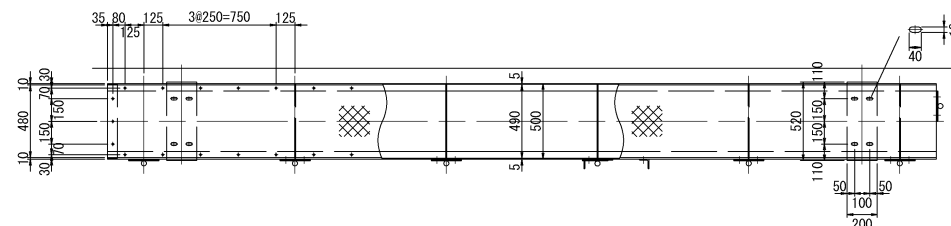
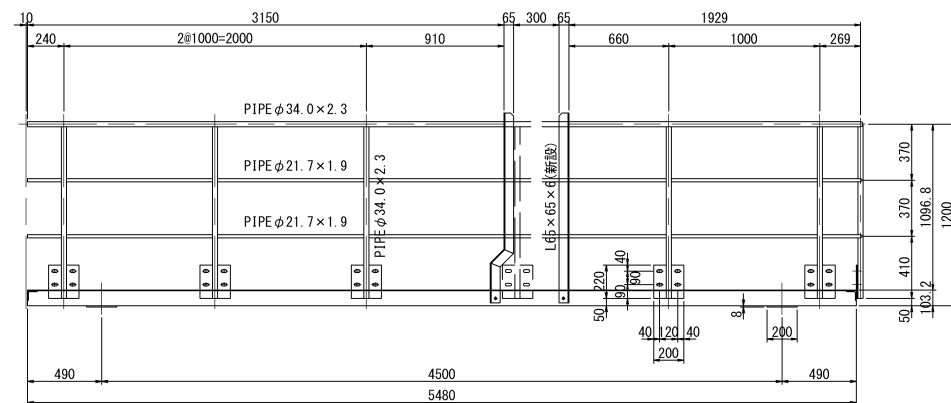
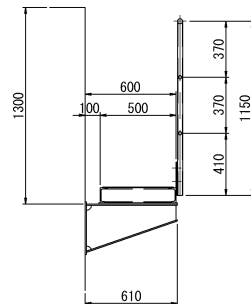
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 56 鋼板(板厚2mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

AK
1-2 詳細図

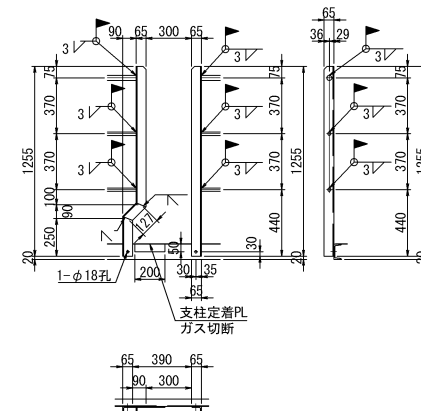


② AK 詳細図

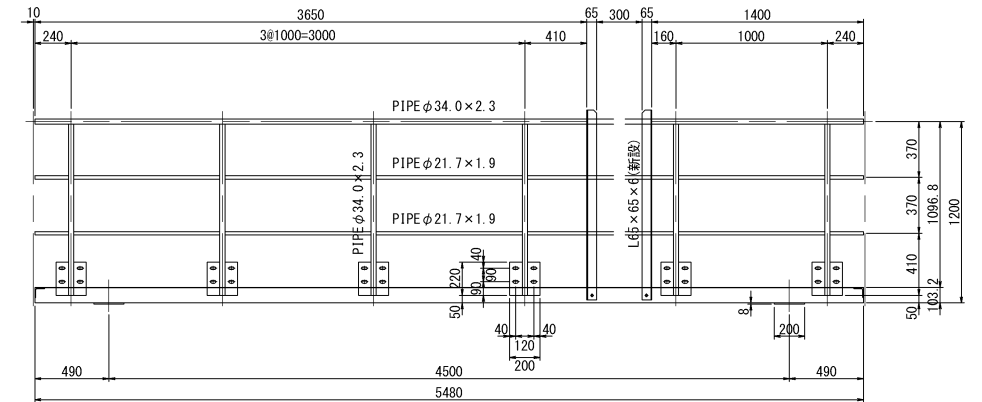
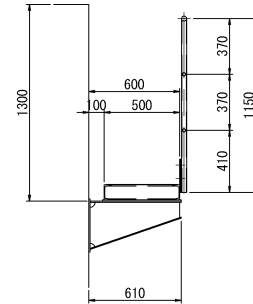


Technical drawing of a three-story building facade with dimensions in millimeters. The drawing shows a side elevation with a flat roof, a series of windows, and a base with a small entrance. Dimensions are provided for overall height, floor heights, window heights, and widths.

Dimension Type	Value (mm)
Overall Height	1200
Height to Second Floor	1096.8
Height to Third Floor	370
Height of Third Floor	370
Height of Second Floor	410
Height of First Floor	103.2
Height of Base	30
Overall Width	529
Width of Main Section	379
Width of Side Section	150
Width of Base Section	150



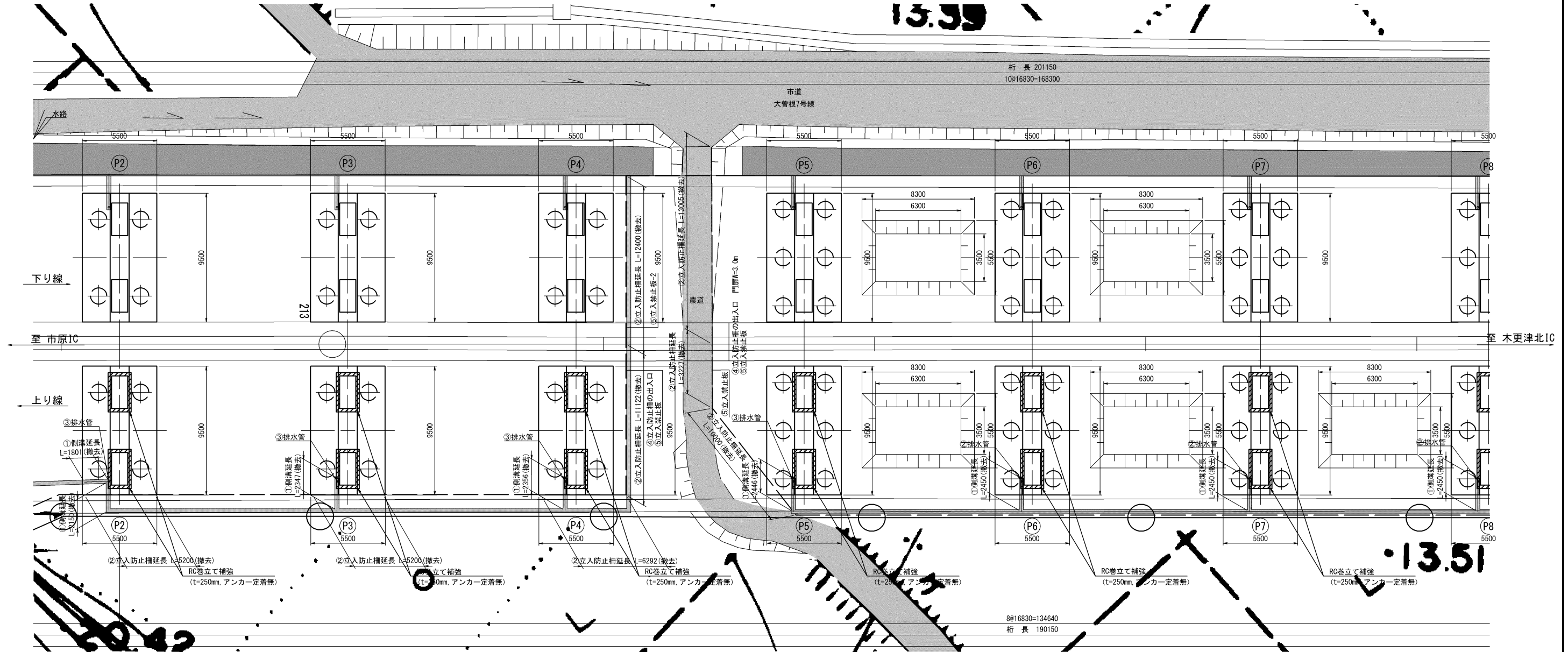
AK
1-3 詳細図



1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップはR35とする。
3. アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。

JIS H 8641 HDZT 77	鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63	鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 56	鋼板(板厚2mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49	アンカーボルト
4. アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

<p align="center">館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事</p>			
図面の種類		大曾根高架橋(上り線) 下部工検査路復旧図(その2)	
縮	尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



P2橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	4.0	撤去
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	5.2	撤去
③	排水管	VPφ150	m	7.0	撤去

P3橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.3	撤去
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	5.2	撤去
③	排水管	VPφ150	m	7.6	撤去

P4橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	撤去
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	29.8	撤去
③	排水管	VPφ150	m	7.8	撤去
④	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	撤去
⑤	立入禁止板		枚	3	撤去

P5橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	撤去
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	26.2	撤去
③	排水管	VPφ150	m	9.8	撤去
④	立入防止柵の出入口	門扉W=3.0m	箇所	1	撤去
⑤	立入禁止板		枚	1	撤去

P6橋脚側

撤去数量表

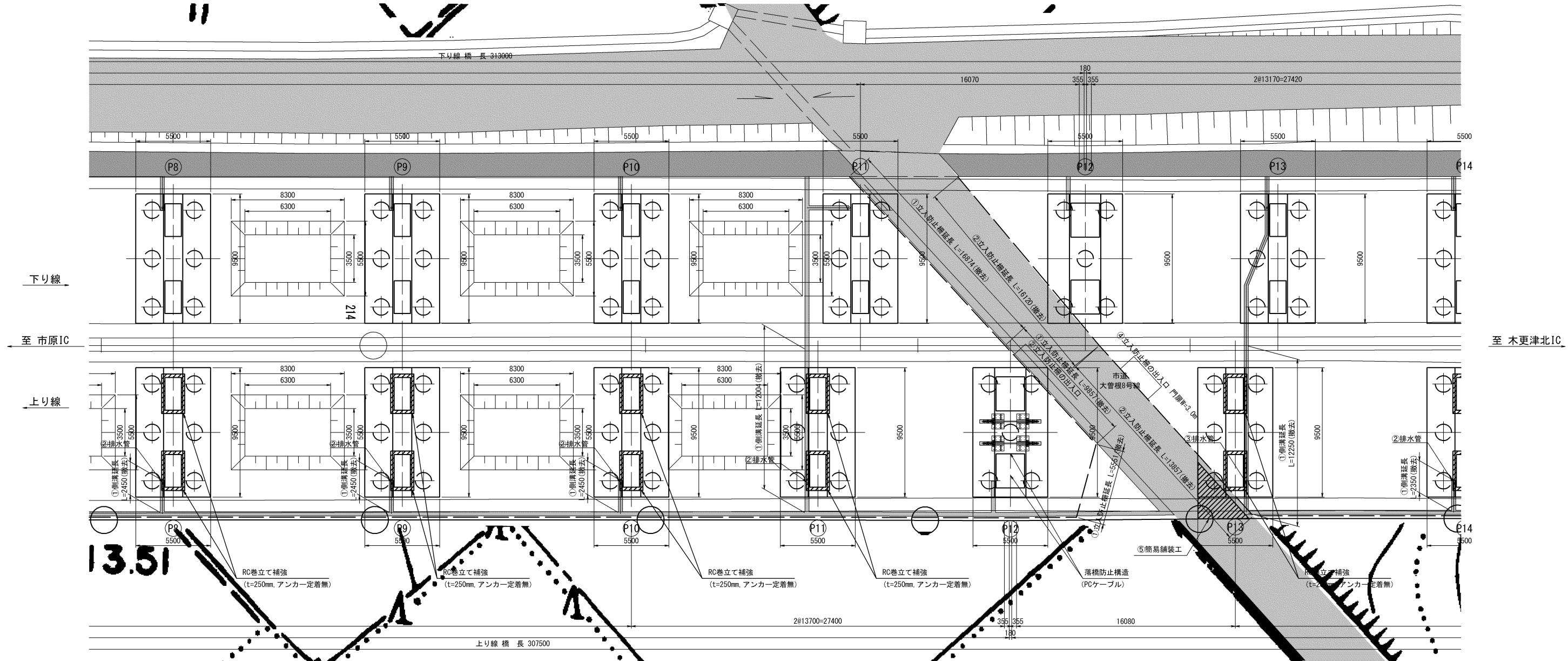
No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	撤去
②	排水管	VPφ150	m	9.8	撤去

P7橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	撤去
②	排水管	VPφ150	m	9.6	撤去

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) 付帯工 撤去図 (その1)		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		



P8橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	撤去
②	排水管	VPφ150	m	9.8	撤去

P10橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	撤去
②	排水管	VPφ150	m	9.3	撤去

P12橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	32.3	撤去
②	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	撤去

P9橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	撤去
②	排水管	VPφ150	m	9.3	撤去

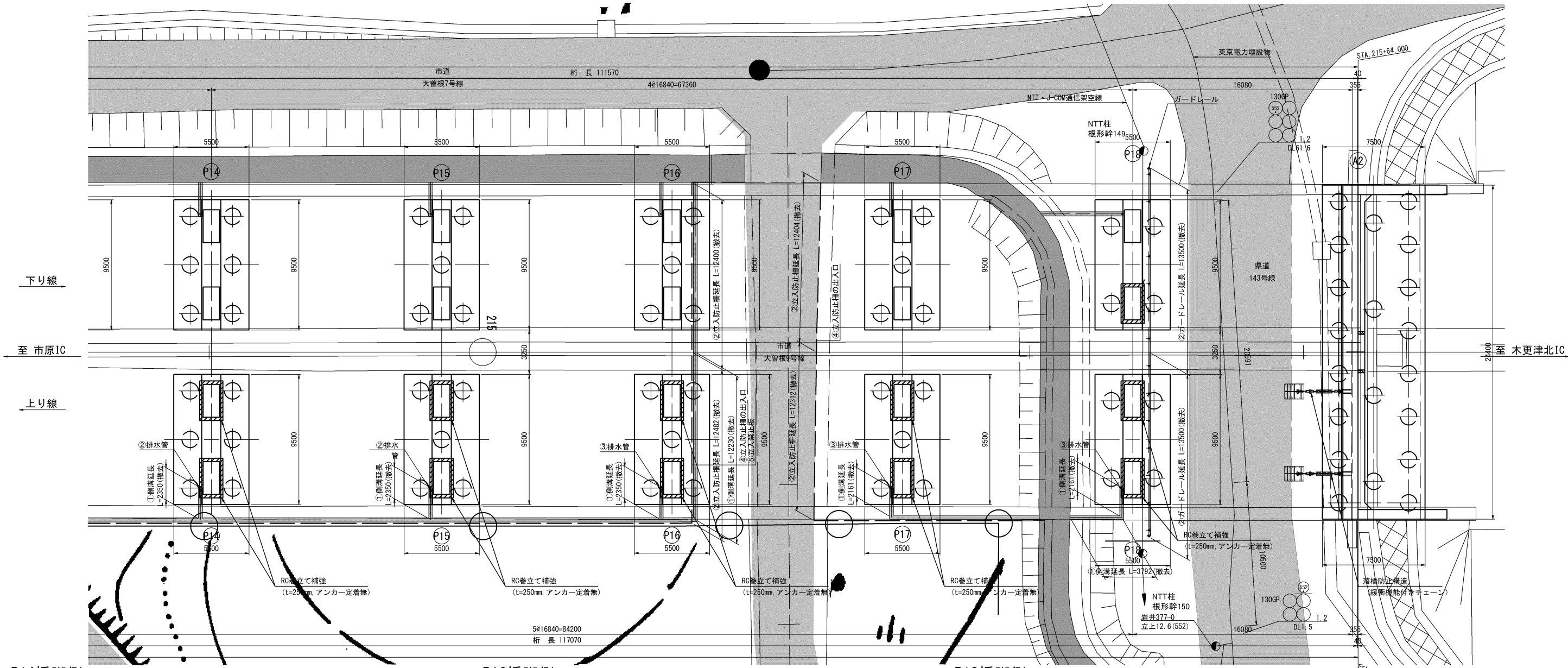
P11橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	12.0	撤去
②	排水管	VPφ150	m	9.5	撤去

P13橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	12.3	撤去
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	30.0	撤去
③	排水管	VPφ150	m	9.3	撤去
④	立入防止柵の出入口	門扉W=3.0m	箇所	1	撤去
⑤	簡易舗装工		m ²	7.9	撤去

大曽根高架橋(上り線) 付帯工 撤去図 (その3) S=1:300
平面図



P14橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	撤去
②	排水管	VPφ150	m	9.1	撤去

P16橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	14.6	撤去
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	24.9	撤去
③	排水管	VPφ150	m	8.5	撤去
④	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	撤去
⑤	立入禁止板		枚	1	撤去

P18橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	6.0	撤去
②	ガードレール	Gr-C-4E	m	27.0	撤去
③	排水管	VPφ150	m	8.4	撤去

P15橋脚側
撤去数量表

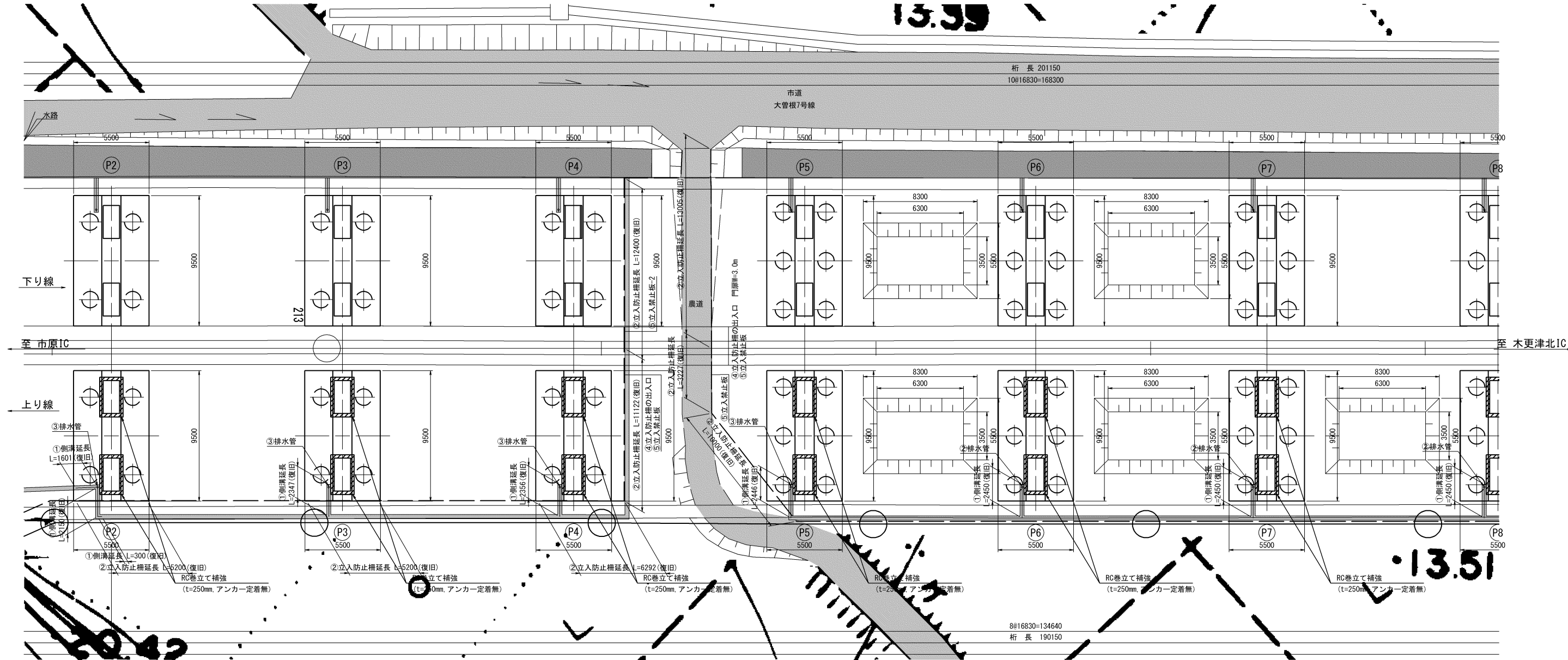
No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	撤去
②	排水管	VPφ150	m	8.4	撤去

P17橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.2	撤去
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	24.7	撤去
③	排水管	VPφ150	m	8.5	撤去
④	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	撤去

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) 付帯工 撤去図 (その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

大曽根高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その1) S=1:300
平面図



P2橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	4.0	復旧
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	5.2	復旧
③	排水管	VPφ150	m	6.8	復旧

P4橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	復旧
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	29.8	復旧
③	排水管	VPφ150	m	7.6	復旧
④	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	復旧
⑤	立入禁止板		枚	3	復旧

P6橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	復旧
②	排水管	VPφ150	m	9.6	復旧

P3橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.3	復旧
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	5.2	復旧
③	排水管	VPφ150	m	7.4	復旧

P5橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	復旧
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	26.2	復旧
③	排水管	VPφ150	m	9.6	復旧
④	立入防止柵の出入口	門扉W=3.0m	箇所	1	復旧
⑤	立入禁止板		枚	1	復旧

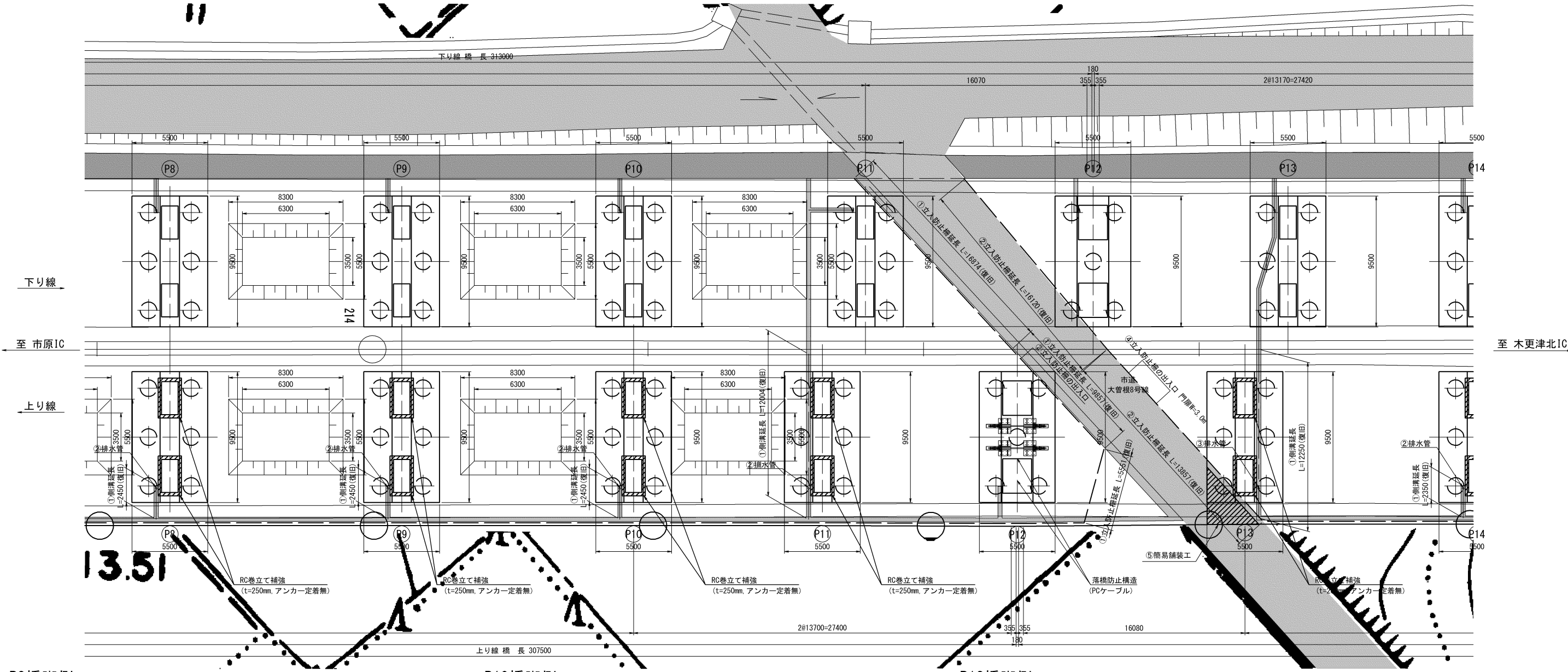
P7橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	復旧
②	排水管	VPφ150	m	9.4	復旧

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
図面の種類		大曽根高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／	
設計会社名		株式会社 建設技術研究所		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面図



P8橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	復旧
②	排水管	VP φ150	m	9.6	復旧

P10橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	復旧
②	排水管	VP φ150	m	9.1	復旧

P12橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	立入防止柵		m	32.3	復旧
②	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	復旧

P9橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	復旧
②	排水管	VP φ150	m	9.1	復旧

P11橋脚側
復旧数量表

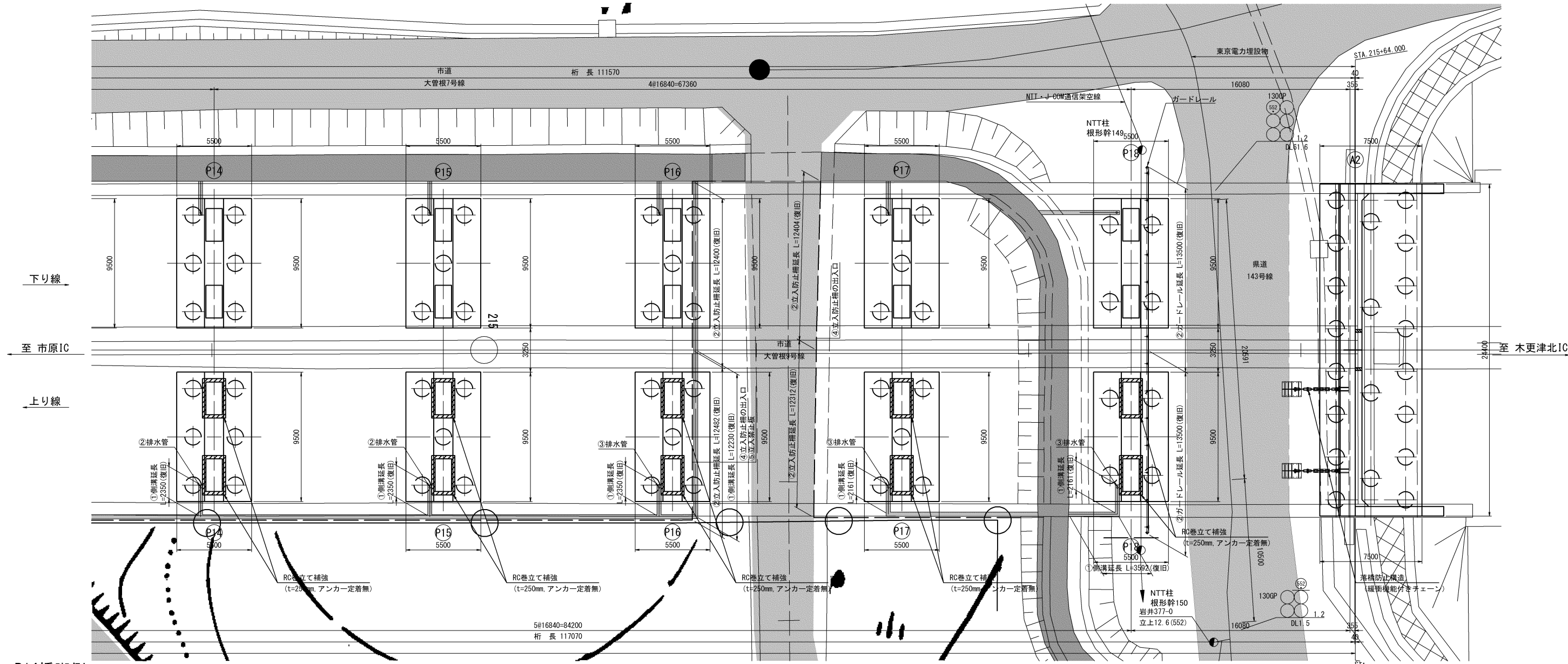
No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	12.0	復旧
②	排水管	VP φ150	m	9.3	復旧

P13橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	12.3	復旧
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	30.0	復旧
③	排水管	VP φ150	m	9.1	復旧
④	立入防止柵の出入口	門扉W=3.0m	箇所	1	復旧
⑤	簡易舗装工		m ²	7.9	復旧

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その2)			
	縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所			

大曽根高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その3) S=1:300
平面図



P14橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	復旧
②	排水管	VP φ150	m	8.9	復旧

P16橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	14.6	復旧
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	24.9	復旧
③	排水管	VP φ150	m	8.3	復旧
④	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	復旧
⑤	立入禁止板		枚	1	復旧

P18橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	6.0	復旧
②	ガードレール	Gr-C-4E	m	27.0	復旧
③	排水管	VP φ150	m	8.2	復旧

P15橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	復旧
②	排水管	VP φ150	m	8.2	復旧

P17橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.2	復旧
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	24.7	復旧
③	排水管	VP φ150	m	8.3	復旧
④	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	復旧

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
大曽根高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その3)				
図面の種類		付帯工 再設置図 (その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社 建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所			

1 - 1



3 - 3



2 - 2



仮設排水管詳細図

DV用ソケット



(ကကက)

高密度ポリエチレン管

4

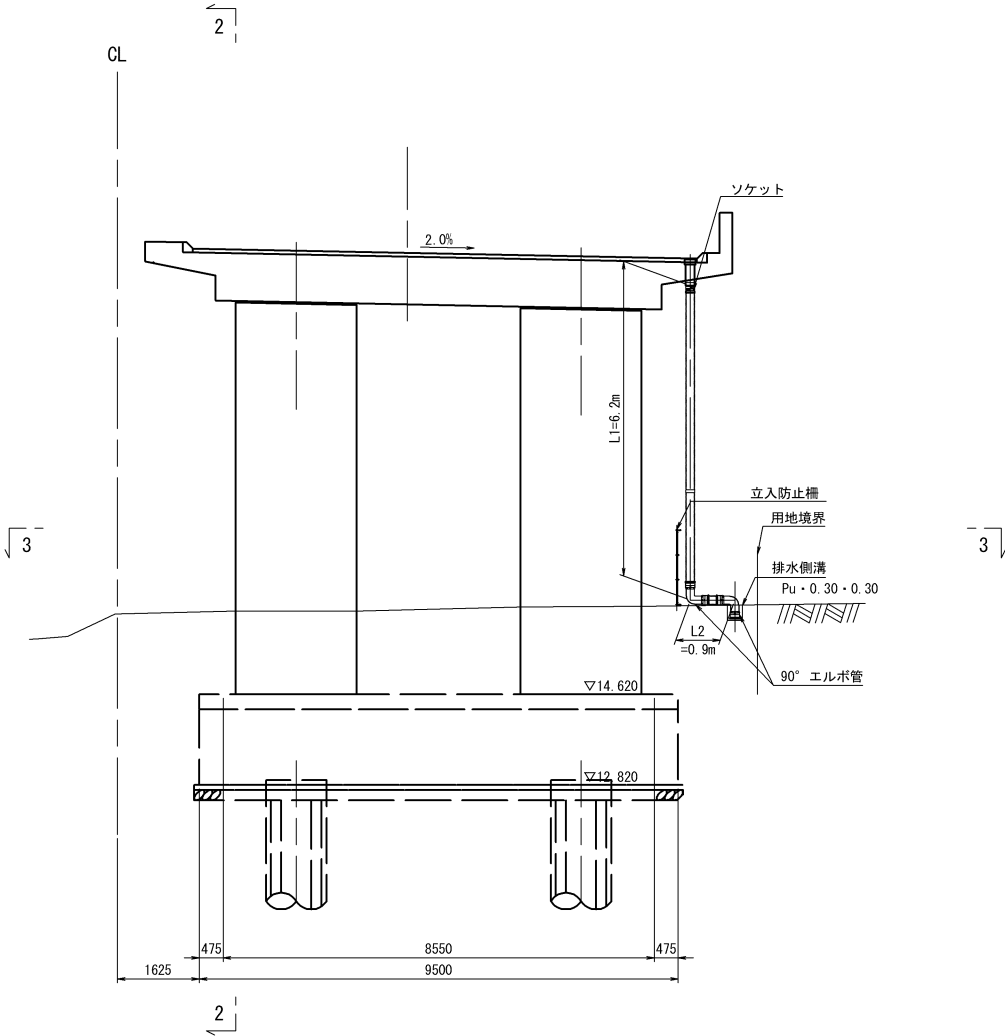
90° エルボ管

仮設排水管数量表

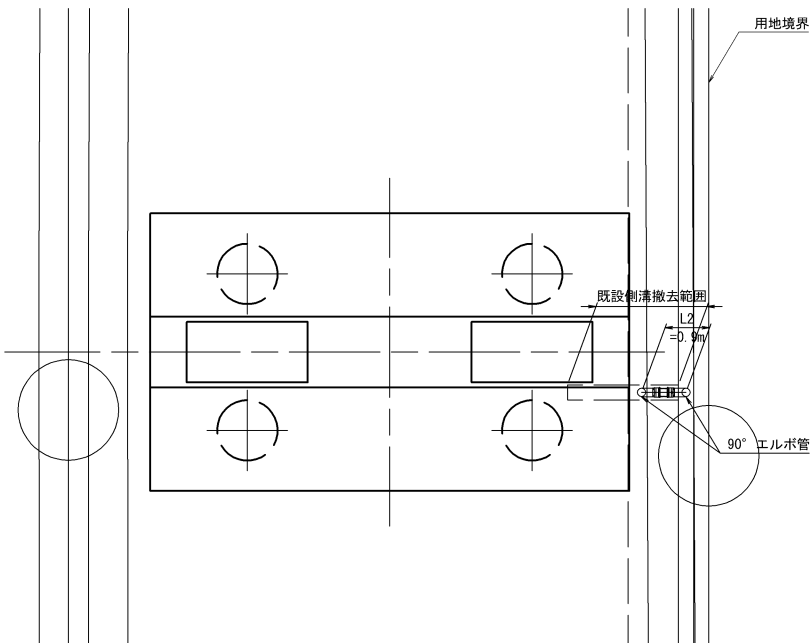
1

東支社
所

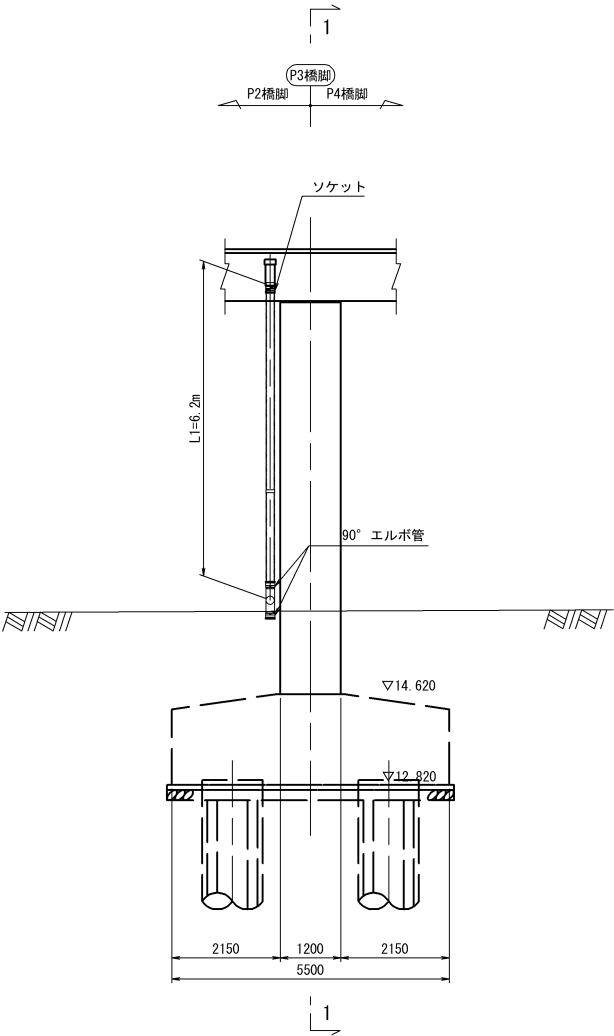
正面図
1 - 1



平面図
3 - 3



側面図
2 - 2

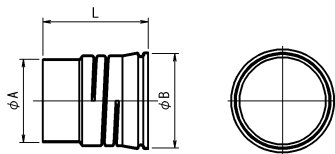


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
6.2	0.9	7.1	2	1

仮設排水管詳細図

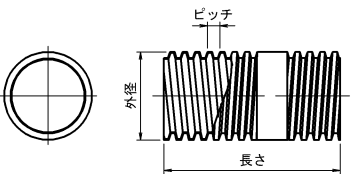
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

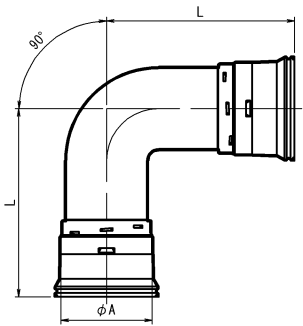
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線)		
	P3橋脚 仮排水管設置図 (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

1 - 1



3 - 3



2 - 2

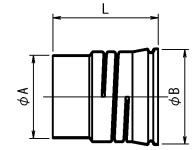


仮設排水管数量表

L1	L2	ΣL	90° エルボ管	ソケット
(m)	(m)	(m)	(個)	(個)
6.7	0.9	7.6	2	1

仮設排水管詳細図

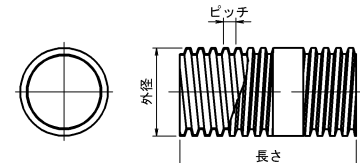
DV用ソケット



規 格	ϕA	ϕB	L
$\phi 200$	165	182	183

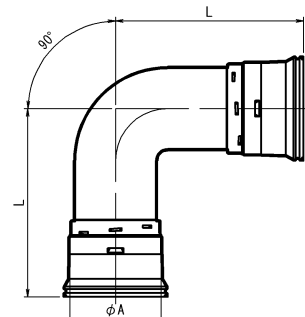
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管



規 格	ϕA	L
$\phi 150$	181	373

(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事		
大曽根高架橋(上り線) P4橋脚 仮排水管設置図 (参考図)		
図面の種類		
縮 尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 本原館理事務所	

1 - 1



3 - 3



2 - 2

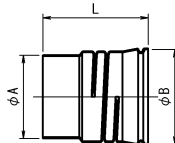


仮設排水管数量表

L1	L2	ΣL	90° エルボ管	ソケット
(m)	(m)	(m)	(個)	(個)
8.4	1.0	9.4	2	1

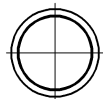
仮設排水管詳細図

DV用ソケット



(continued)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

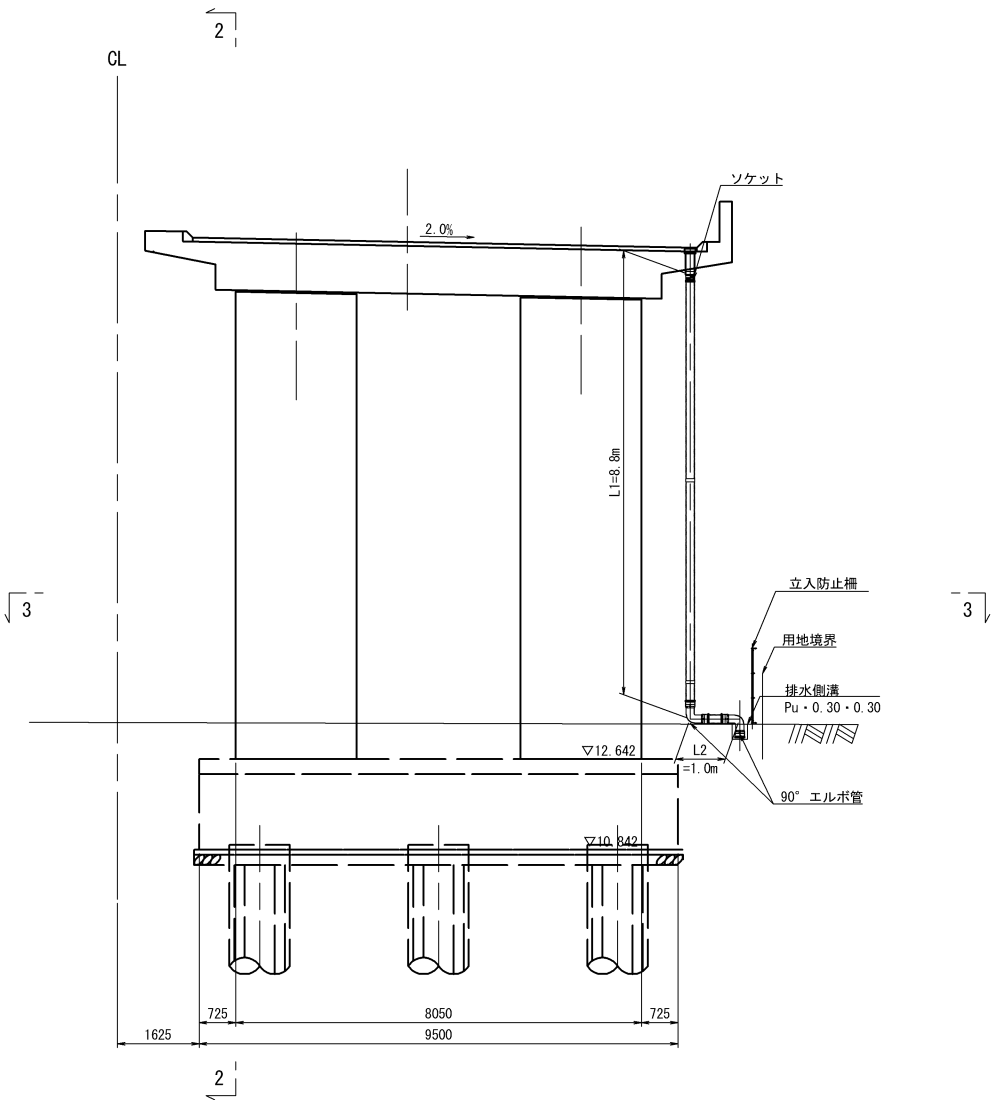
90° エルボ管



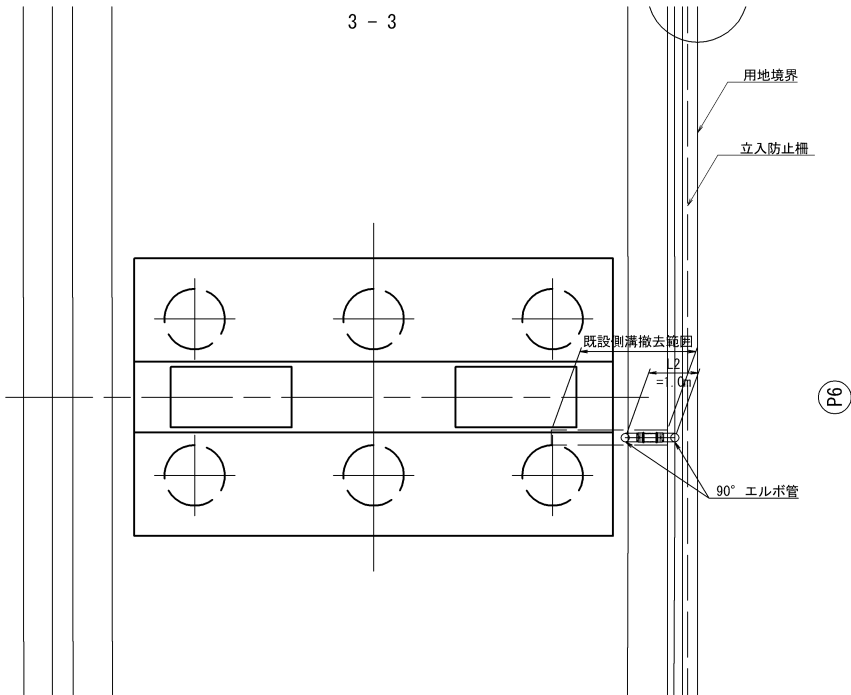
(1000)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類		大曽根高架橋（上り線） P5橋脚 仮排水管設置図（参考図）	
縮	尺	図式	図面番号
設計会社名		株式会社 建設技術研究所	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所	

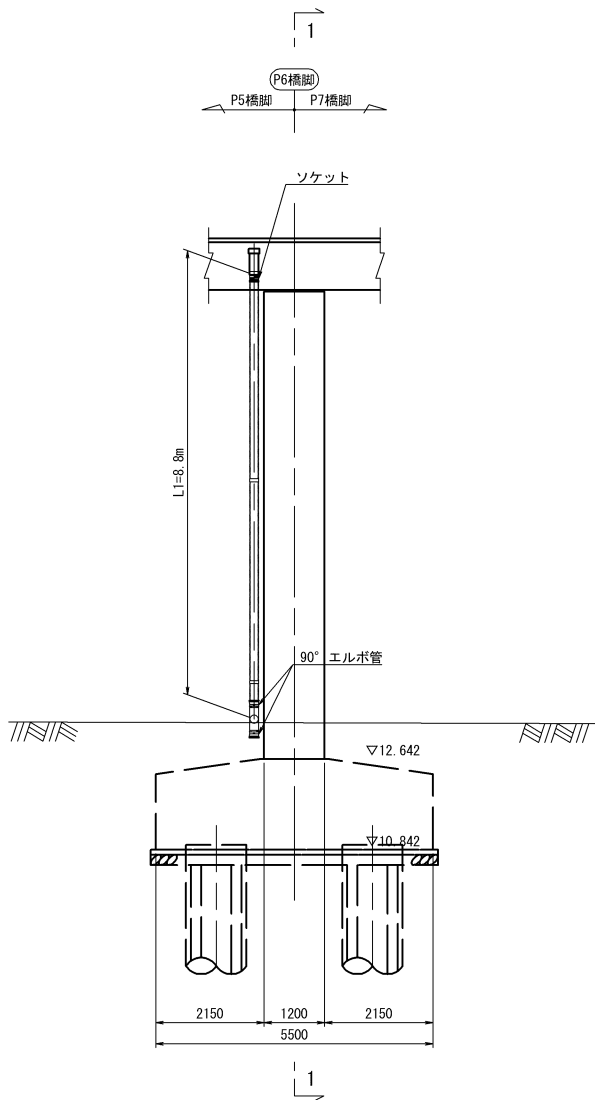
正面図
1 - 1



平面図
3 - 3



側面図
2 - 2

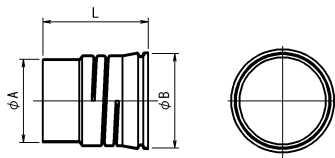


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
8.8	1.0	9.8	2	1

仮設排水管詳細図

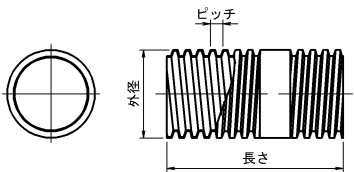
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

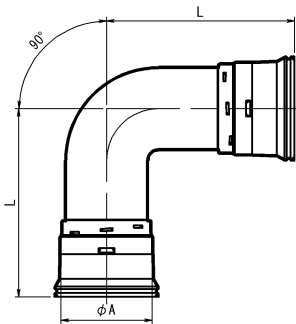
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線)		
	P6橋脚 仮排水管設置図 (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

1 - 1



3 - 3



2 - 2



仮設排水管数量表

L1	L2	ΣL	90° エルボ管	ソケット
(m)	(m)	(m)	(個)	(個)
8.4	1.0	9.4	2	1

仮設排水管詳細図

DV用ソケット



(דצמבר)

高密度ポリエチレン管

4

90° エルボ管

事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所
------	-----------------------------------

1 - 1



3 - 3



2 - 2

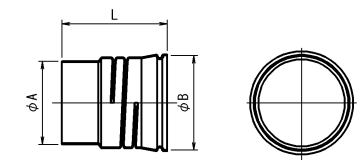


仮設排水管数量表

L1	L2	ΣL	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
(m)	(m)	(m)		
8.6	1.0	9.6	2	1

仮設排水管詳細図

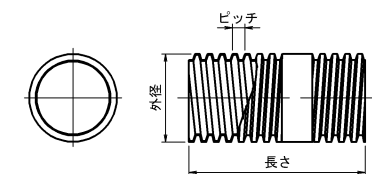
DV用ソケット



規 格	ϕA	ϕB	L
$\phi 200$	165	182	183

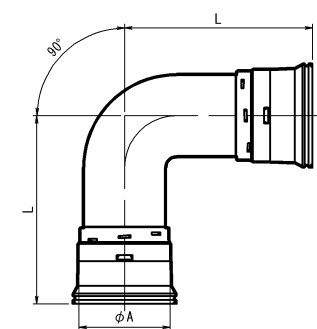
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管



規 格	ϕA	L
$\phi 150$	181	373

(mm)

<p align="center">館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事</p>			
図面の種類		大管根高架橋(上り線) P8橋脚 仮排水管設置図 (参考図)	
縮	尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

1 - 1



3 - 3



2 - 2

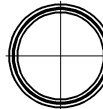


仮設排水管数量表

L1	L2	ΣL	90° エルボ管	ソケット
(m)	(m)	(m)	(個)	(個)
8.7	1.0	9.7	2	1

仮設排水管詳細図

DV用ソケット



(דצמבר)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管



(11)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) P9橋脚 仮排水管設置図 (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支 店 原 節 理 事 務 所		

1 - 1



3 - 3



2 - 2



仮設排水管数量表

L1	L2	ΣL	90° エルボ管	ソケット
(m)	(m)	(m)	(個)	(個)
8.7	1.0	9.7	2	1

仮設排水管詳細図

DV用ソケット



(חזרות)

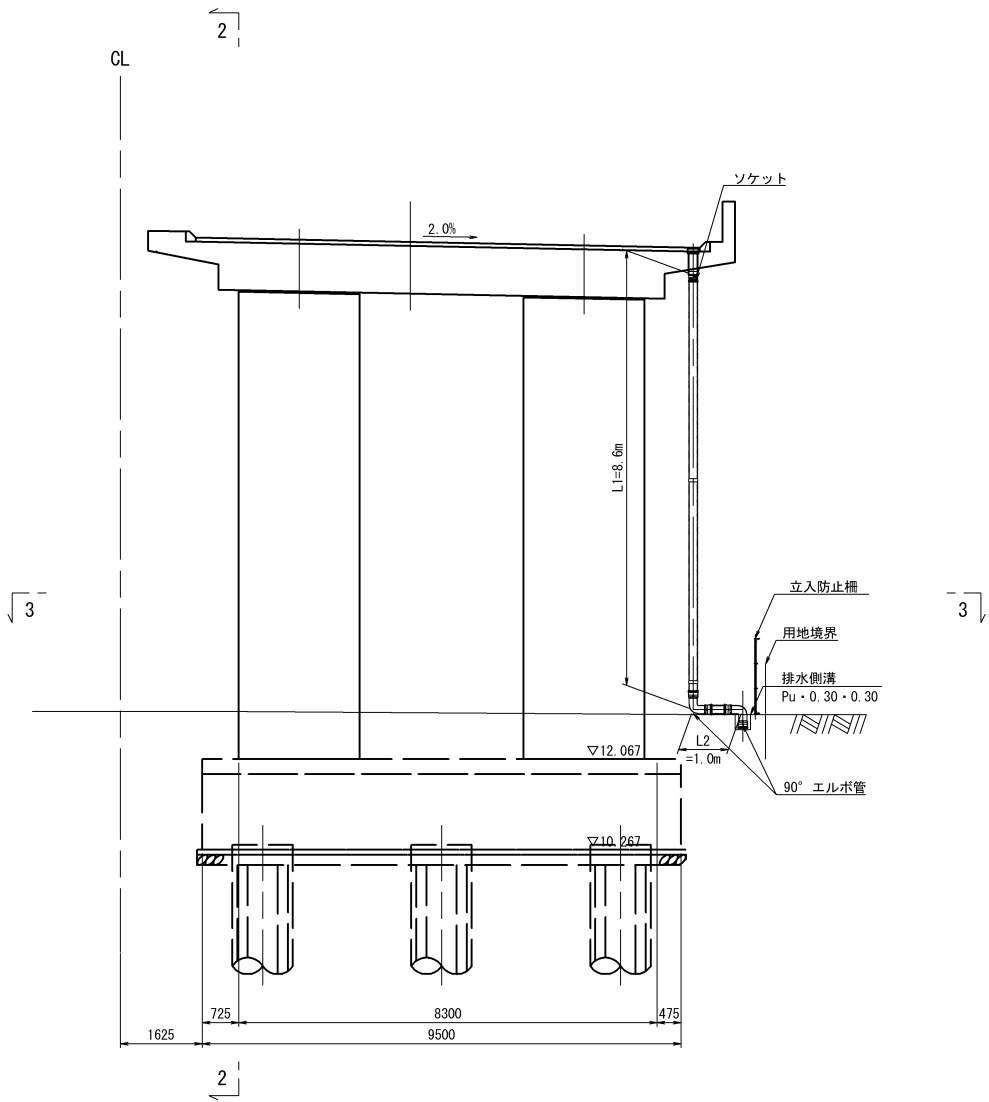
高密度ポリエチレン管


$$\frac{(m)}{4}$$

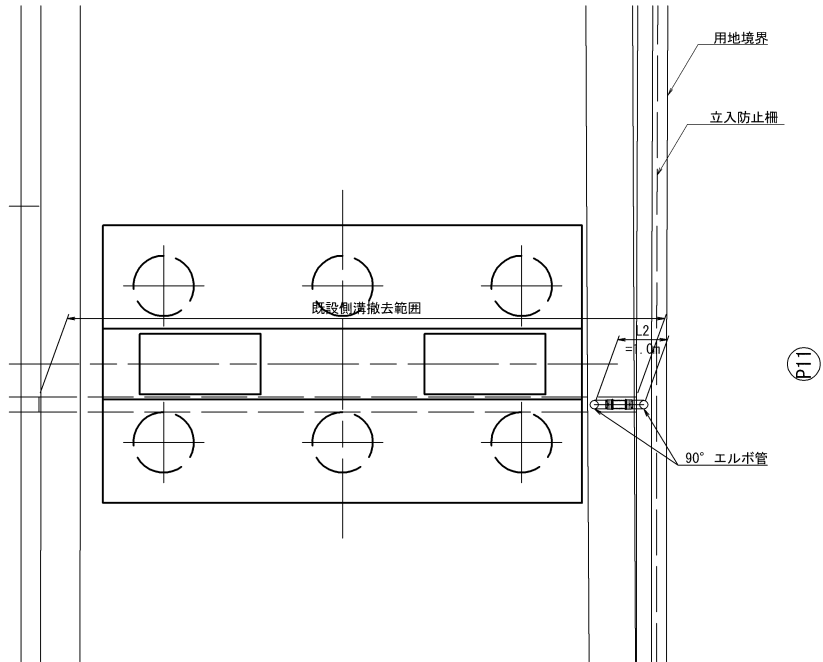
90° エルボ管

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事		
図面の種類	大管根高架橋(上り線) P10橋脚 仮排水管設置図 (参考図)	
縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所	
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社	
事務所名	市 原 管 理 事 務 所	

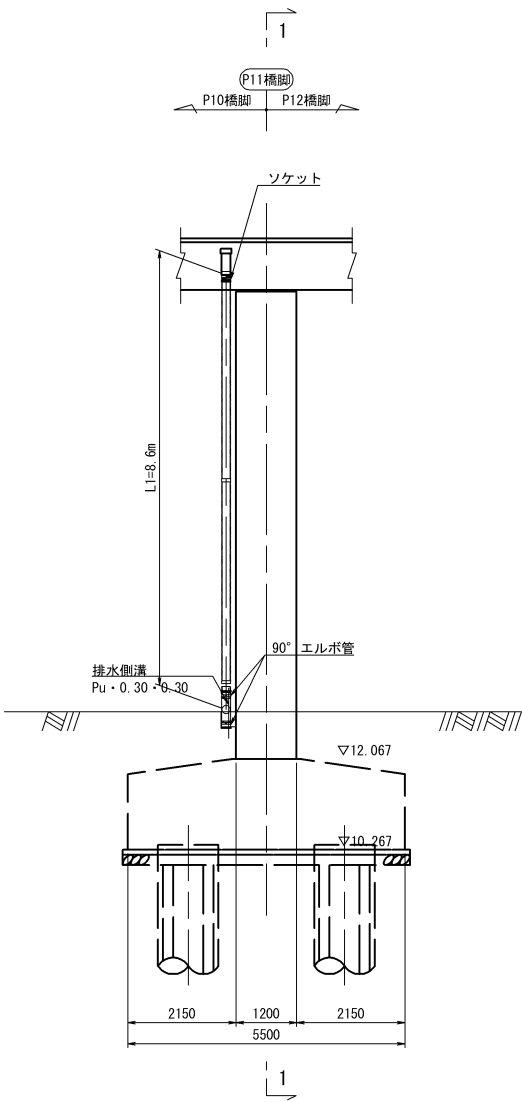
正面図
1 - 1



平面図
3 - 3



側面図
2 - 2

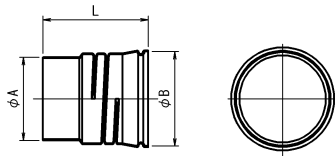


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
8.6	1.0	9.6	2	1

仮設排水管詳細図

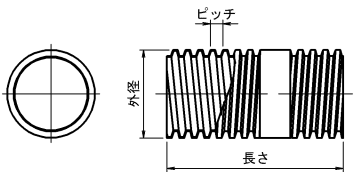
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

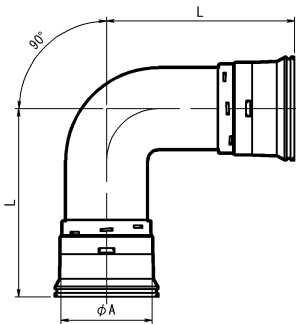
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管

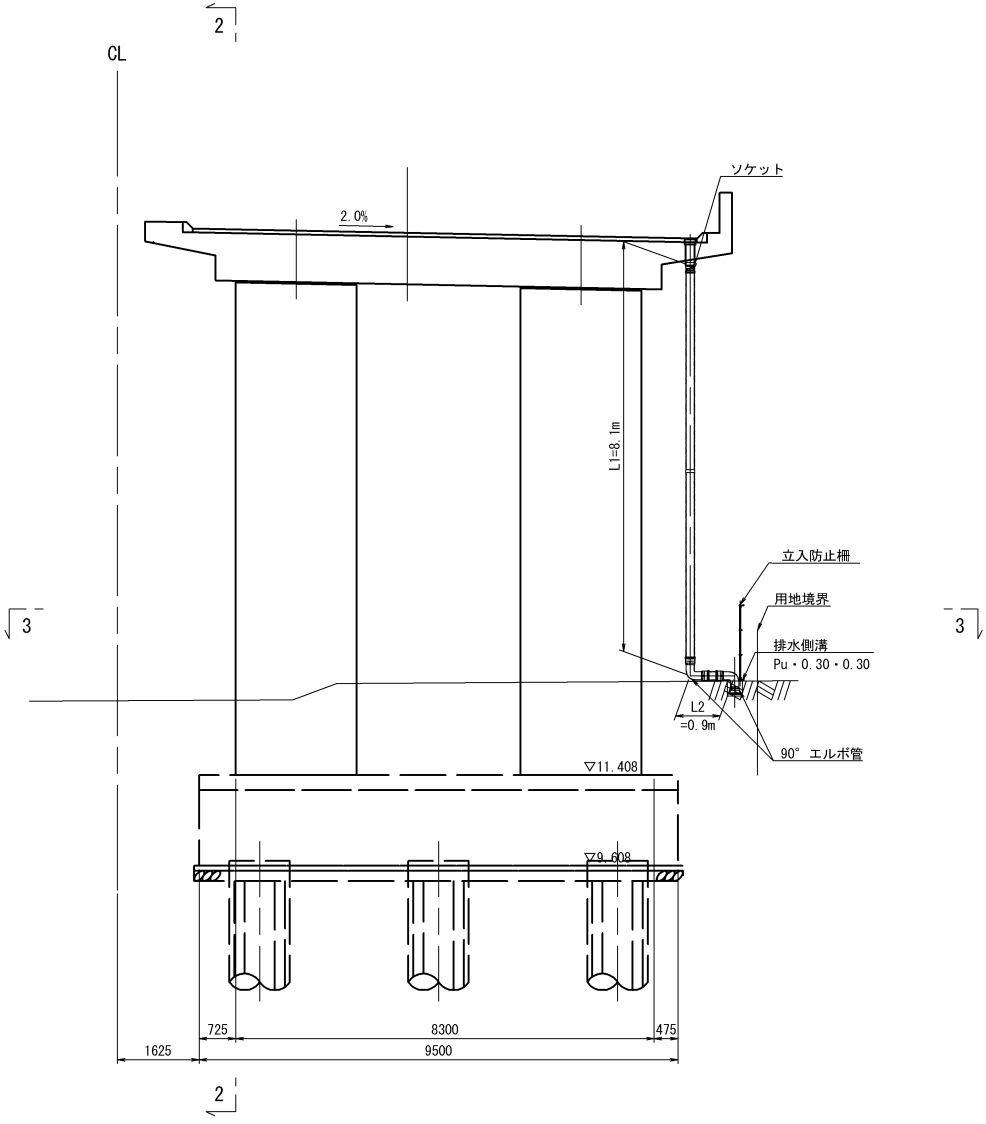


規格	φA	L
φ150	181	373

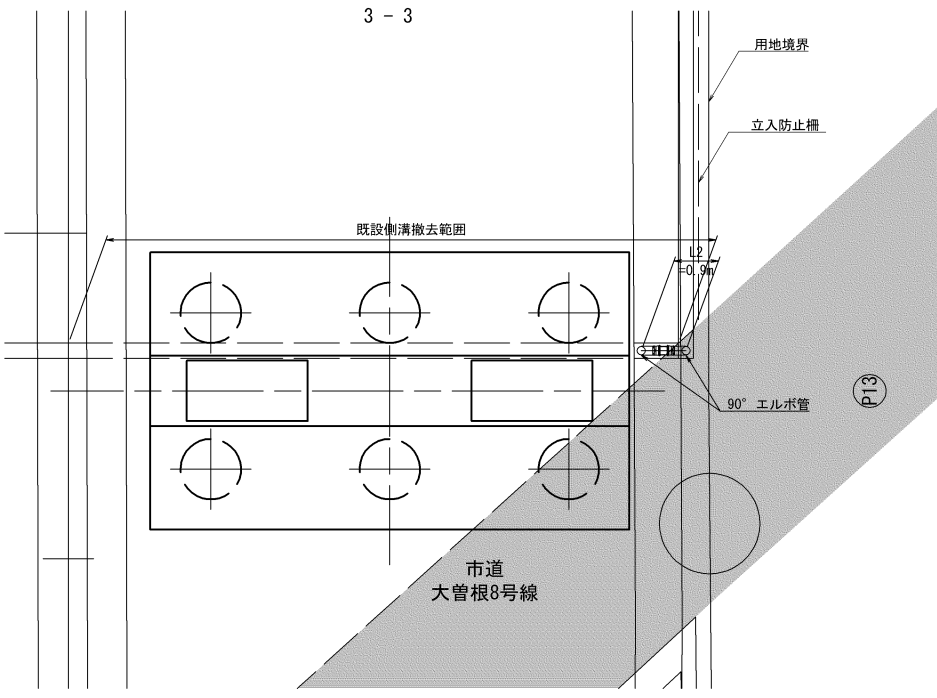
(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) P11橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	市原管理事務所		

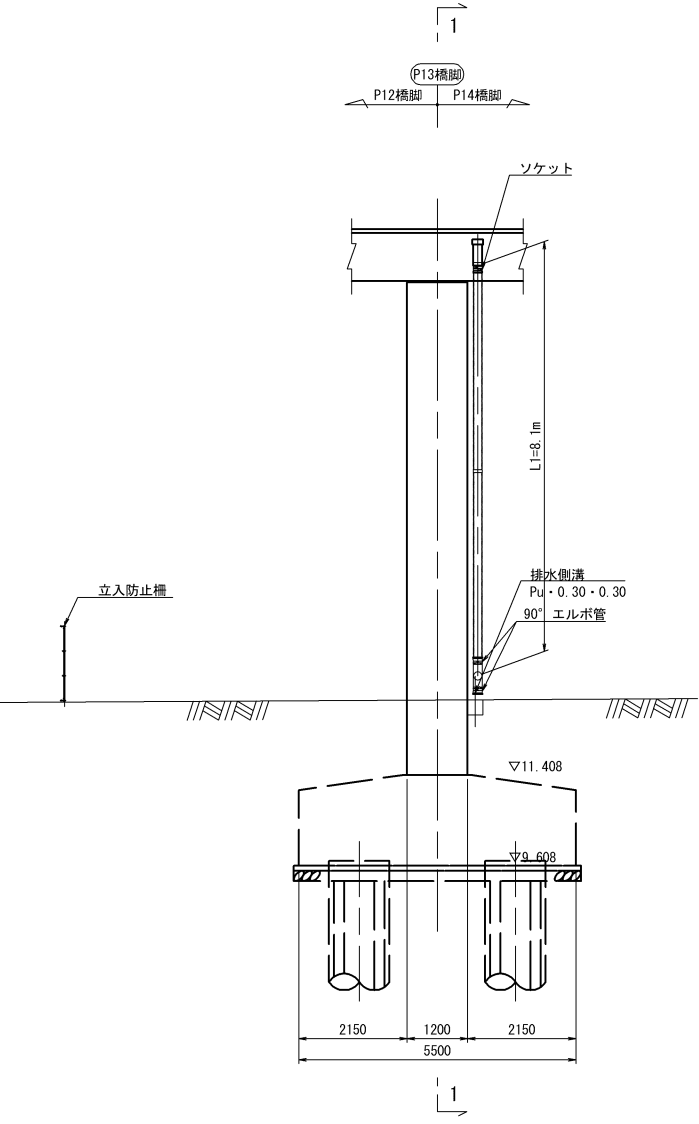
正面図
1 - 1



平面図
3 - 3



側面図
2 - 2

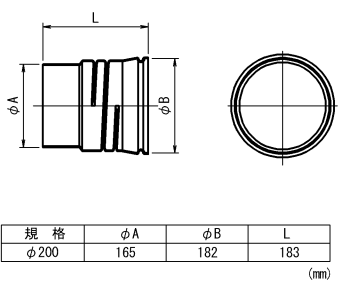


仮設排水管数量表

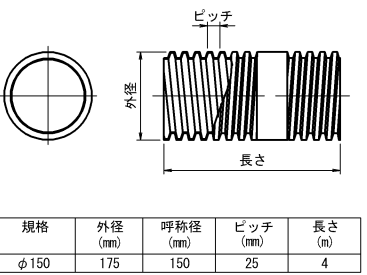
L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
8.1	0.9	9.0	2	1

仮設排水管詳細図

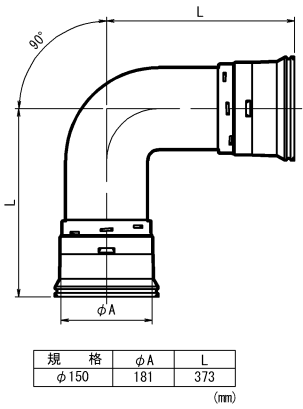
DV用ソケット



高密度ポリエチレン管



90° エルボ管



館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線)		
	P13橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

1 - 1



3 - 3



2 - 2



仮設排水管数量表

L1	L2	ΣL	90° エルボ管	ソケット
(m)	(m)	(m)	(個)	(個)
8.6	0.9	9.5	2	1

仮設排水管詳細図

DV用ソケット



(mm)

高密度ポリエチレン管

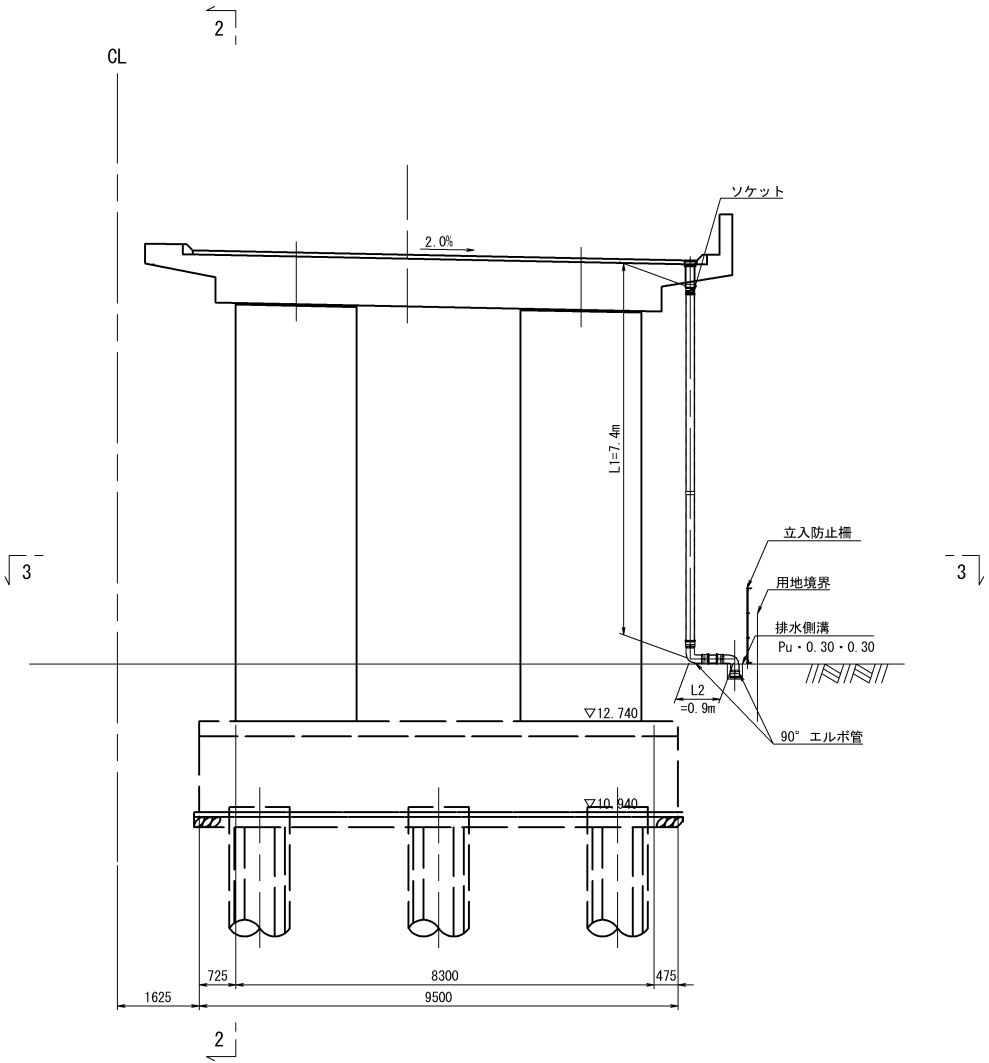


4

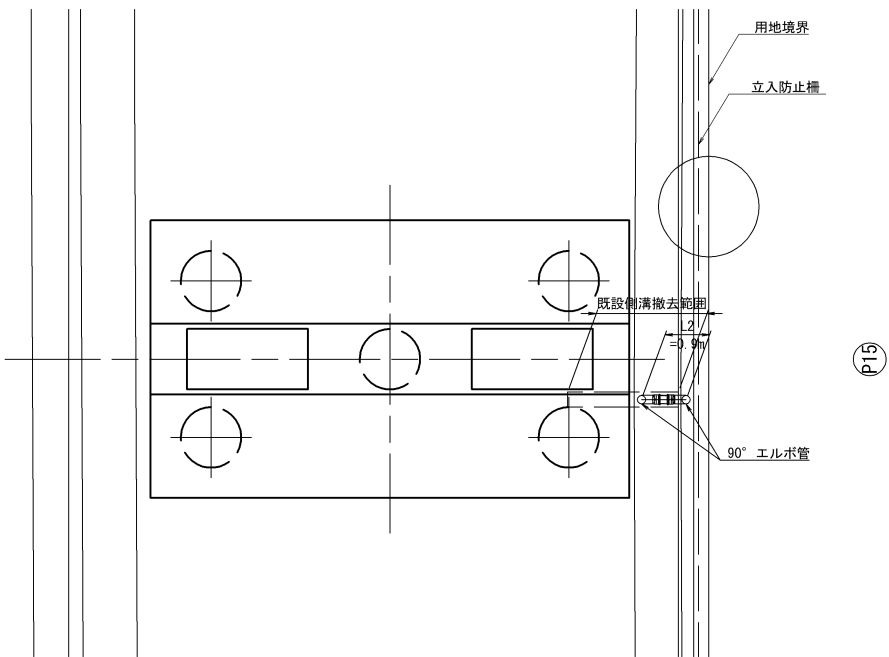
90° エルボ管

<p align="center">館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事</p>			
図面の種類		大曾根高架橋(上り線) P14橋脚 仮排水管設置図 (参考図)	
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

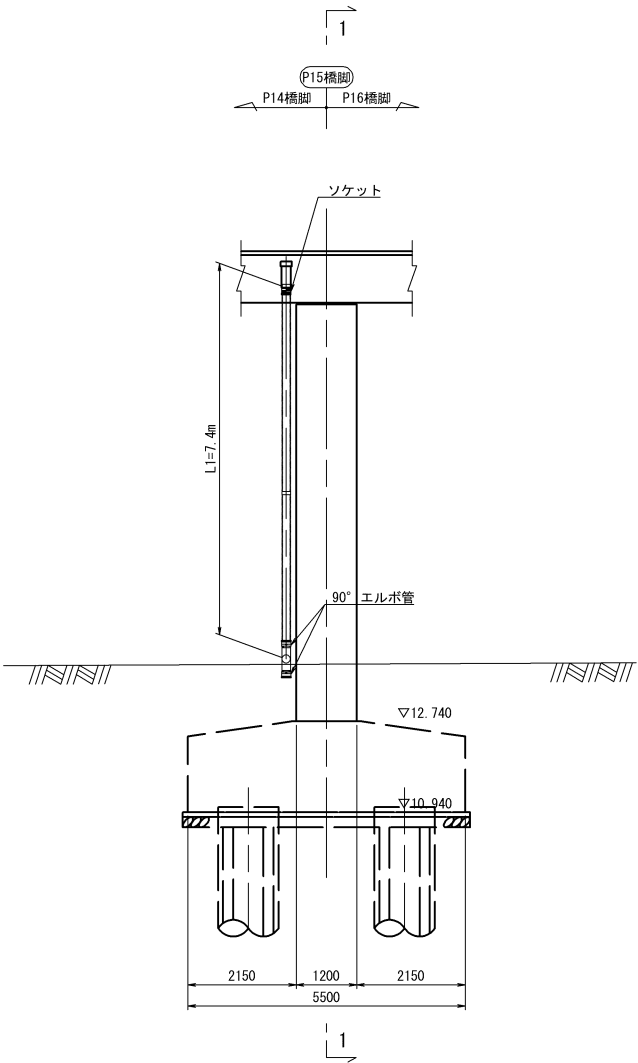
正面図
1 - 1



平面図
3 - 3



側面図
2 - 2

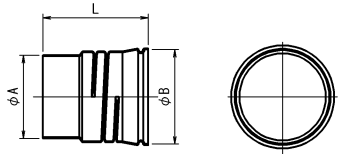


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
7.4	0.9	8.3	2	1

仮設排水管詳細図

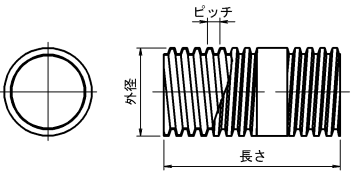
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

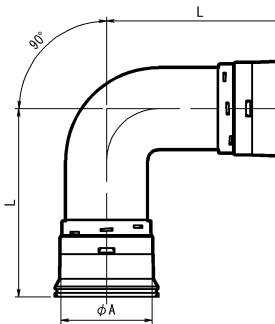
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管

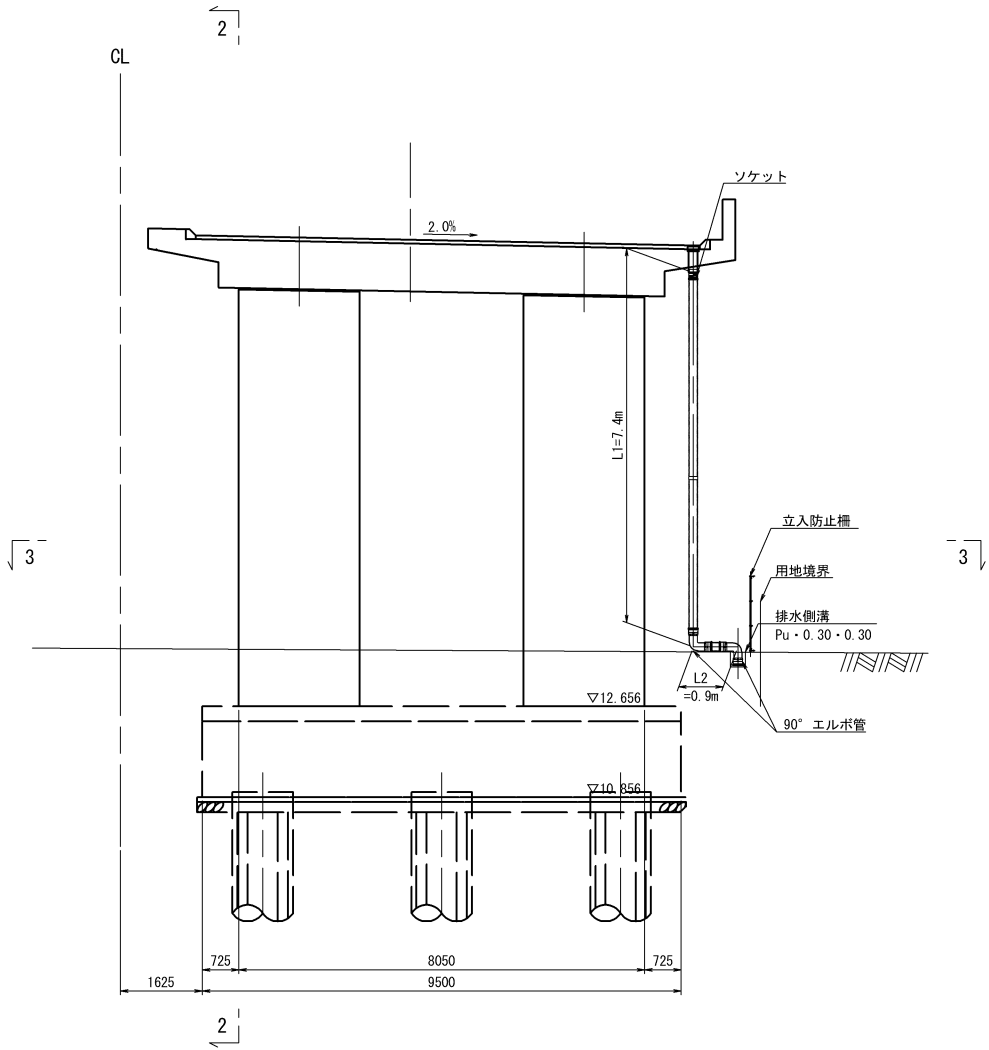


規格	φA	L
φ150	181	373

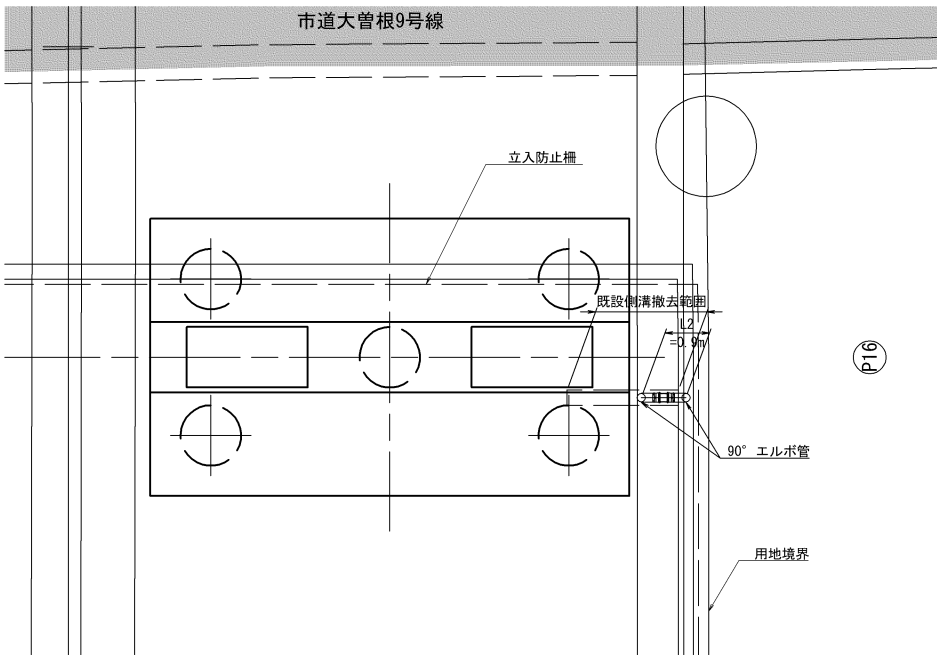
(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) P15橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	市原管理事務所		

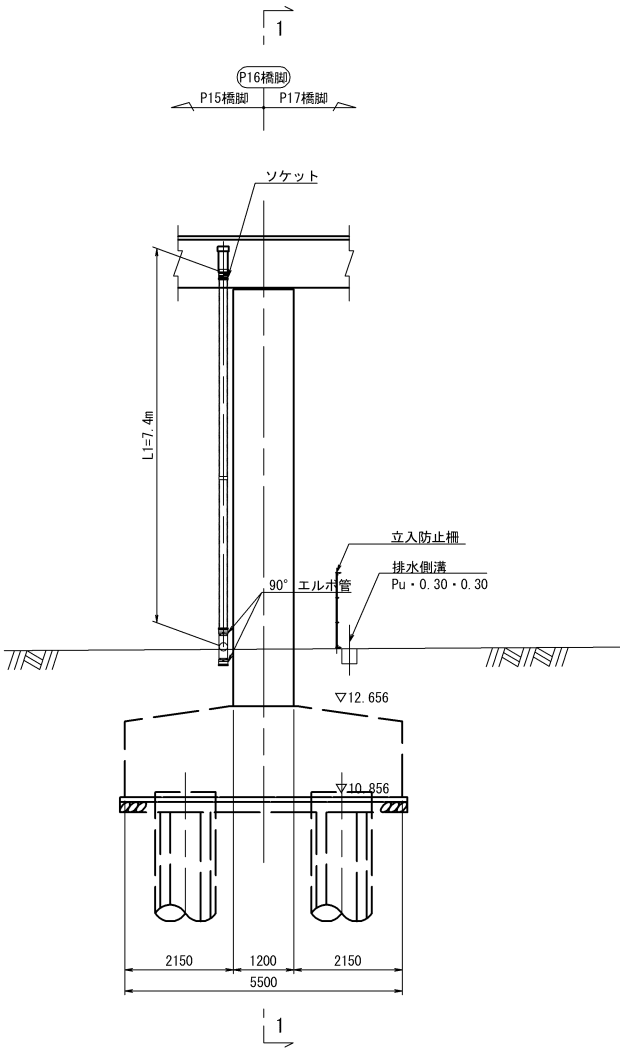
正面図
1 - 1



平面図
3 - 3



側面図
2 - 2

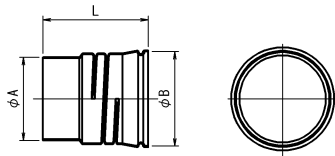


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
7.4	0.9	8.3	2	1

仮設排水管詳細図

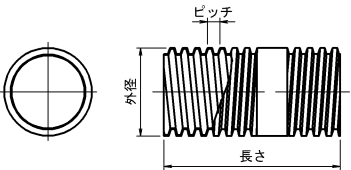
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

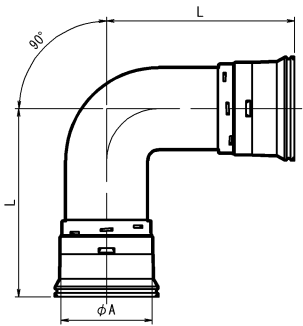
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管



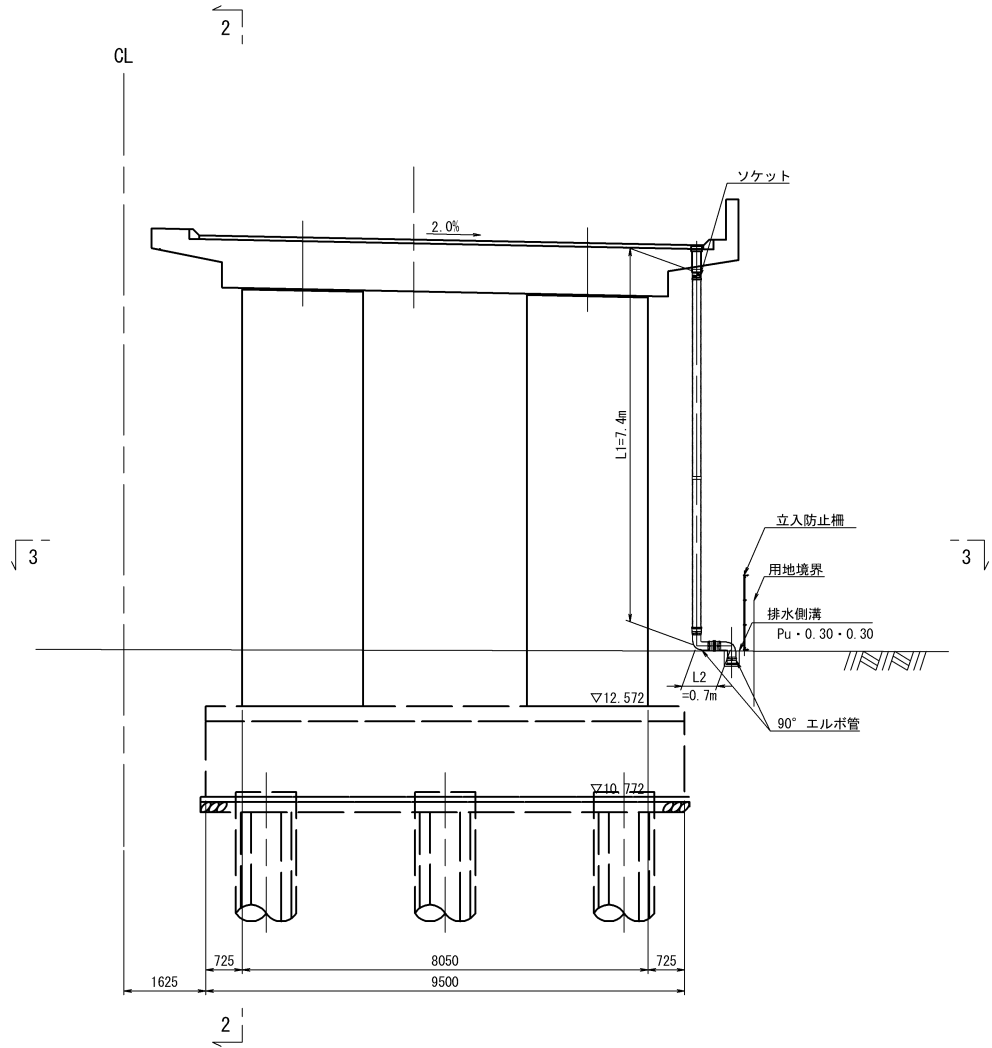
規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線)		
	P16橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

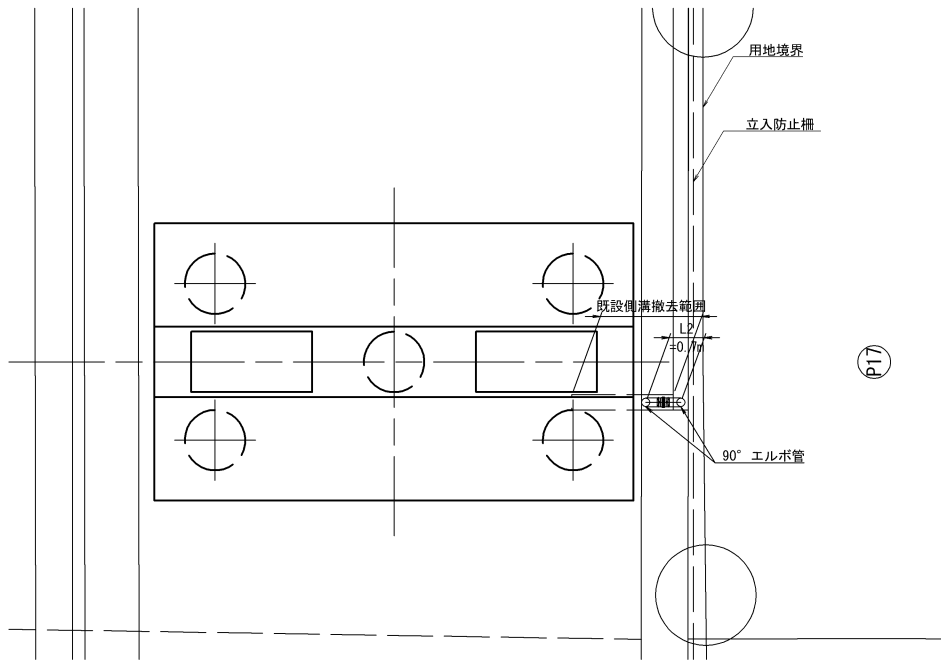
正面図

1 - 1



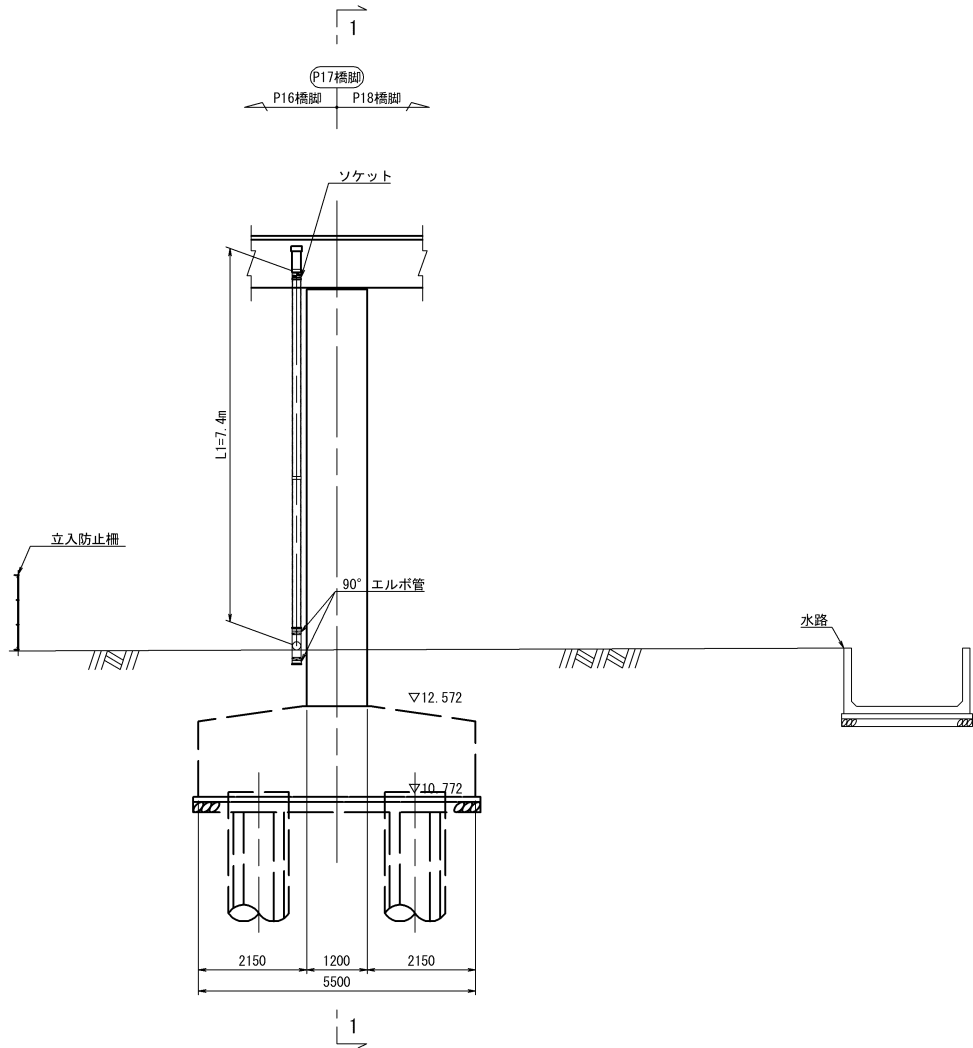
平面図

3 - 3



側面図

2 - 2

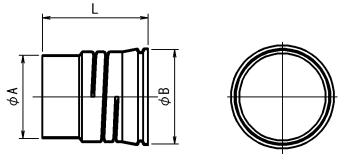


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
7.4	0.7	8.3	2	1

仮設排水管詳細図

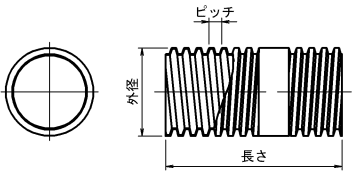
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

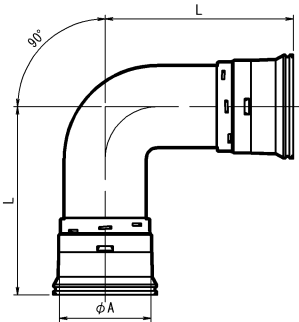
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管

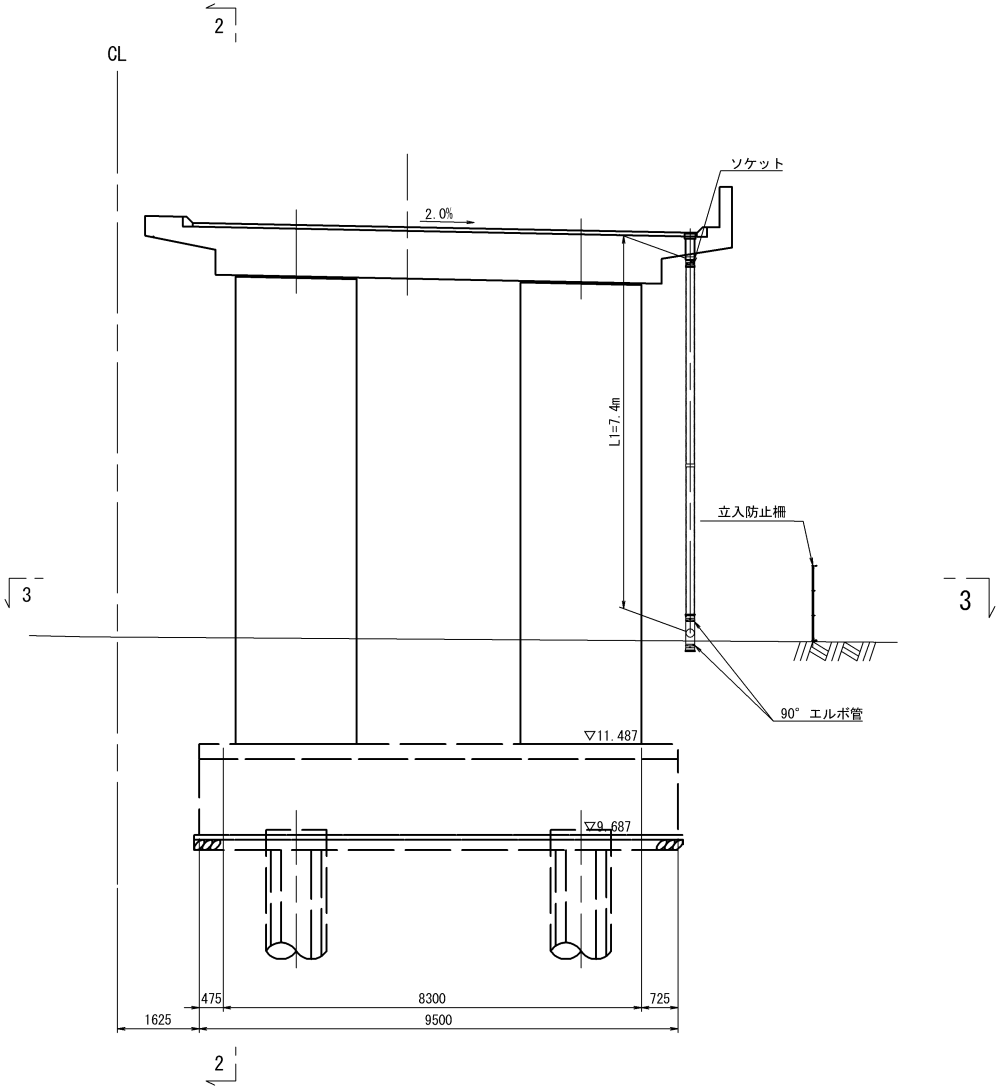


規格	φA	L
φ150	181	373

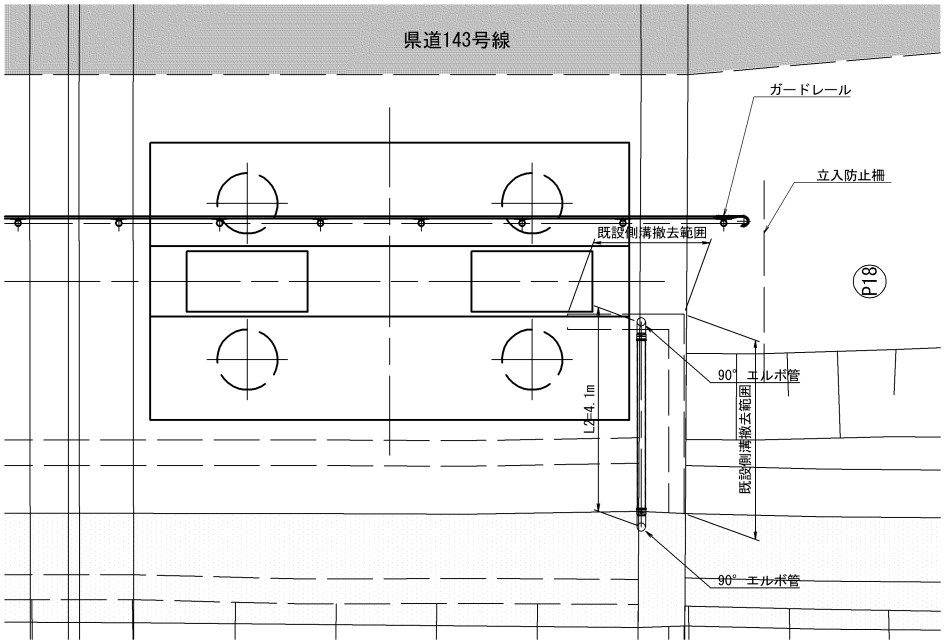
(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) P17橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	市原管理事務所		

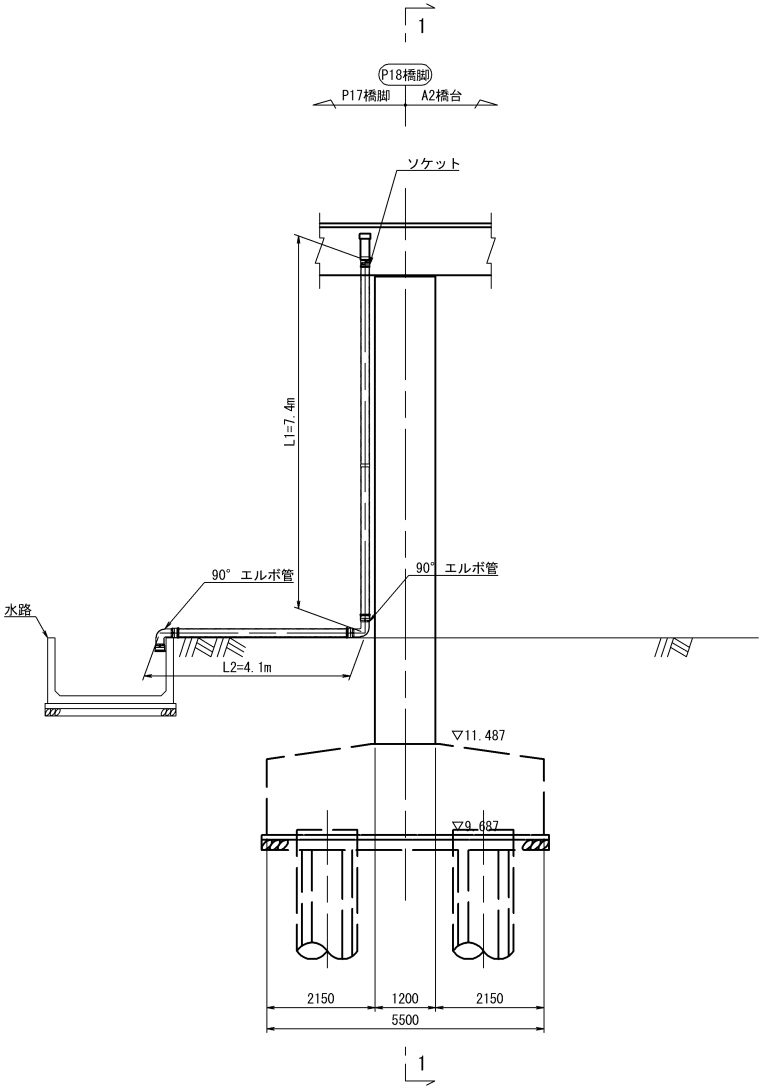
正面図
1 - 1



平面図
3 - 3



側面図
2 - 2

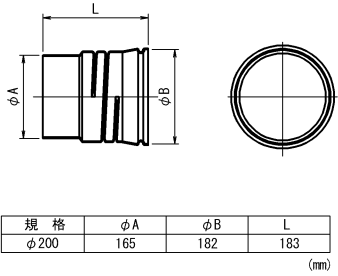


仮設排水管数量表

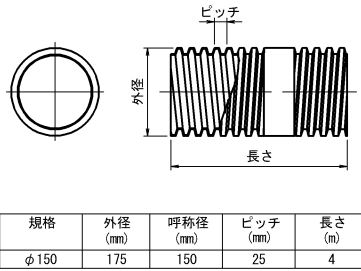
L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
7.4	4.1	11.5	2	1

仮設排水管詳細図

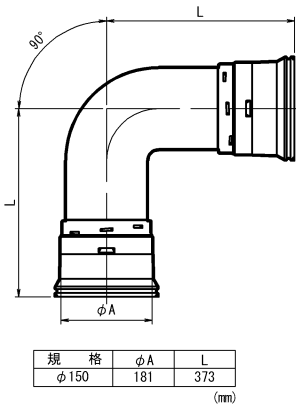
DV用ソケット



高密度ポリエチレン管



90° エルボ管



館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線)		
	P18橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	株式会社 建設技術研究所		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		